

# アジアフォーカス・ 福岡国際映画祭全作品集 1991-2020

THE FOCUS ON ASIA FUKUOKA INTERNATIONAL FILM FESTIVAL  
A COMPREHENSIVE LIST OF FILMS SCREENED (1991-2020)



FOCUS ON ASIA  
FUKUOKA INTERNATIONAL  
FILM FESTIVAL

アジアフォーカス・福岡国際映画祭

# アジアフォーカス・ 福岡国際映画祭全作品集 1991-2020

THE FOCUS ON ASIA FUKUOKA INTERNATIONAL FILM FESTIVAL  
A COMPREHENSIVE LIST OF FILMS SCREENED (1991-2020)

## 目次

「魂へ続く細い道を探して」 アジアフォーカス・福岡国際映画祭ディレクター 梁木靖弘	2
アジアフォーカス・福岡国際映画祭30周年記念インタビュー 映画が映画である必然性とは何か？ これまでのアジアとこれからのアジア 梁木靖弘	6
30年を振り返って 1991年～2020年上映作品一覧	15
英題作品名索引	80
邦題作品名索引	92
国別索引	104
監督名索引	116

## Contents

In Search of a Narrow Path That Reaches the Soul Yasuhiro Hariki Festival Director, Focus on Asia Fukuoka International Film Festival	4
A Commemorative Interview on the 30th Anniversary of The Focus on Asia Fukuoka International Film Festival “Why Do Motion Pictures Need to Stay as Motion Pictures?” Asia As It Was and Asia From Now On Yasuhiko Hariki	10
Looking Back 30 Years: List of Motion Pictures Exhibited (1991-2020)	15
Index: English Title	80
Japanese Title	92
Country of Production	104
Film Director	116

# 「魂へ続く細い道を探して」

アジアフォーカス・福岡国際映画祭ディレクター

## 梁木靖弘

アジアフォーカス・福岡国際映画祭も30年になりました。人間でいえば、ひとつの世代が過ぎたこととなります。来し方をふりかえり、行く末を考えるには、いい頃合いです。個人的な実感ですが、この30年間の前半は、米国を中心に世界秩序は安定していたのですが、その間にも見えないところで亀裂が広がっていて、後半になると、一気に亀裂が目立ってきます。米国は世界のリーダーではなくなり、国連など調整機関は機能しなくなり、どの国でも貧富の差は拡大し、宗教対立は激化し、地球の自然環境は破壊されるなど、手のつけようのない亀裂が顕在化しました。経済面に限れば、アジア圏はほかのどの地域より豊かになりつつあります。しかし、政治面で言えば、アジアは亀裂の主戦場として、不安定化の影響をまろに受けています。アジアの多様性はこれから、かつての欧米のように、共通する社会基盤を形成できるかどうかわかりません。アジアフォーカス・福岡国際映画祭の30年にわたる作品群は、その変化の貴重な証言であるはずで

す。10年前、映画祭の20周年を記念したカタログを刊行したとき、まだアジアは成長の途上にありました。そのころ、私はこう書いています。「日本におけるアジアへの玄関口で開催されるアジア映画の祭典、その意義は小さくありません。始まったのは、まだアジア映画が一般公開される機会にめぐまれない時代でした。アジア各地で優れた映画が作られるようになって、映画といえば欧米のものだという意識は根強く、たとえばアジア映画は地方の優れた特産品とおなじで、少数の目利きや愛好者のものにすぎませんでした。そういう状況のなかで、いち早く福岡市が知られざる優れたアジア映画を積極的に紹介してきたという意義は、特筆すべきことです。いまではすぐれたアジア映画は一般館で封切られるようになり、映画祭だけがアジア映画の窓口であるという時代は終わりました。それでも、日本で封切られるのは、韓国、中国、香港、イランなど特定の国に限られ、

紹介されない優れた作品がアジア各地にあることに変わりはありません。だからといって、当初のような、啓蒙的な役割の必要性がなくなったわけではありません。

また、この20年でアジアの変化はわれわれの想像をはるかに超えて、後進地域の映画を紹介するという古い映画祭の方法論だけでは、現在のアジアを理解することはできなくなっていることも確かです。成長著しいアジアの映画人の意識は、日本人を追い越し、はるか先を行っているのかもしれませんが。アジアの一員として、アジアフォーカス・福岡国際映画祭は、これからアジアとの複眼的なつながり方を模索していかなければならないと思います」。

20世紀は、映画の時代でした。ミネルヴァのふくろうは黄昏に飛び立つといいますが、20世紀最後の10年をカバーして本映画祭は始まりました。そしてこの30年間に福岡市総合図書館に収蔵されたアジア映画の数々は、貴重な文化遺産としてかけがえのないものになるはずで

す。しかし、同時に、30年間の変化は、さらにわれわれの想像を超えたものとなりました。最大の変化は、映画がもはや35ミリフィルムではなくなったことです。映画製作がフィルムからデジタルに転換したこと、これによって20世紀のフィルム・フェスティバルという呼称は、いまだ名付けることのできない21世紀テクノロジーの頭上に、仮にかぶせられたノスタルジックな王冠のような響きをもつことになったのです。

21世紀はもう映画の時代とは言えないでしょう。テクノロジーの驚異的な進歩によって、映画という興業形態は、娯楽あるいは芸術としての主導的な役割を果たせなくなりました。映画館で観客に混じってスクリーンを見るのが、かつては映画を観るという行為だったわけですが、ITの飛躍的進化とともに映像が個人の手のなかで日常化した今では、映画館も選択肢のひとつにすぎなくなりました。映画館が賑わうのは、集客力のあるアニメやファンタジーのヒット作ばかりという状況です。それ以

外のアート系作品を上映する小規模の単館は激減し、映画館といえば大資本のシネマ・コンプレックスばかりになってしまいました。そのシネコンすらも、まれなヒット作以外、観客を呼ぶことが困難になってきています。多様な映画を見る環境は失われ、それを補うのは今のところインターネットしかないという状況になりつつあります。

かつて、2013年に本映画祭で全作品の回顧上映をした韓国映画の名匠イ・チャンドンはこう発言しています。「映画が死にいく今、映画を撮るということにどういう意味があるのか」と。これは考えさせる問いかけです。「映画が死にいく」という自覚は、監督だけでなく、観客であるわれわれにも問いかけています。おそらく、この問いかけこそ優れた監督、優れた観客、優れた映画祭が、21世紀に共通してもたなければならぬ自覚なのです。

むろん映画祭はその時々状況に左右されますから、理想ばかりを追いかけることはできません。つねに過渡期にあるといってもいいのですが、とりわけ30年目の今年はいよいよ新型コロナウイルス感染の流行で、例外的な年となりました。新たな危機の状況は新型コロナだけではありません。社会環境の縮図である映画祭にとって、さらに憂慮すべき事態が起こりつつあります。2020年6月末に「香港国家安全維持法」という法律が中国で成立し、香港の「一国二制度」は終焉を迎えようとしています。私たちが長い間親しんできた香港国際映画祭が、政治的圧力によって、これまでのような表現の自由を保てなくなるとすれば、その影響はわれわれにも及んでくるでしょう。過度なナショナリズムの台頭は、すべての国際映画祭が前提としている表現の自由を奪いかねません。「映画が死にいく」時代に直面しているという自覚が、これからの映画祭には必要なかもしれません。

これは10年前にも書いたことですが、「優れたアジアの作品を選定する基準として守りたいのは、その土地の、その時代の、より深いところから出る声を探ること。そういう声を生み出すためには、かなり密度の濃い文化的共同体が土壌として必要ですが、濃密な土壌は、この20年で急速に近代化が進んだアジアでは、どんどん消滅しています。その後に来るのは、資本主義の下、均一化してのっぺらぼうになったテーマパークのような社会でしょう。そこで作られるアジア映画は、もっぱら消費のためです。グローバル化の波で作られているアジア映画が、その前兆を予感させます。そして、芸術としての映画を志す監督たちは、欧米でそうであったように、故郷

を失った孤独な魂の叫び、先鋭的なモダニズムへ向かうのでしょうか。アジアの映画がはたしてそうなるのかは、これからの問題です。アジアフォーカス・福岡国際映画祭は、そういう意味で、アジア映画の変化の定点観測地でもあります」。

魂へ続く細い道をたどって、その土地の、その時代の、その個人の、より深いところから出る声をさがす旅、それがアジアフォーカス・福岡国際映画祭なのだと思います。これはずっと選定の基準として守り続けてきたことです。

もうひとつこの10年、痛切に感じていることがあります。海外の映画祭に出品されるアジア映画が、年を追うごとに、質量ともに減少傾向にあることです。すばらしい映画を紹介することは映画祭の使命として継承したいのですが、選定の前提となる作品数が少ないとなると、将来に向けて、新機軸を打ち出さなければならないという思いがずっとありました。では、これからはどうすればいいのか。作品が少なければ、われわれが作り出すほかにないわけですが、これが大事なのですが、どんな作品でもいいというわけではありません。福岡というリージョナルな立ち位置を守りつつ、その利点を最大限に活かして、後々に残る作品を作らなければ意味がありません。

その最初のモデルケースがチャン・リュル監督(中国)の『福岡』(2019／韓国)という作品です。監督とは10年かけて深い絆をつくってきました。その結果、監督のもつポエジーと福岡という土地が一体化した見事な映画になりました。これは、映画祭、福岡フィルムコミッション、ボランティアの方々そのほか、福岡市が全面的にバックアップして作り上げた作品です。この作品が、福岡市の映画祭として、今後のあり方を示唆することになると思います。つまり、福岡というリージョナルな場と、映画の最先端の表現との結びつき。この二つが今後の映画祭の新たな方向性ではないかと考えます。アジアの映画人たちと映画を通してリージョナルな場所をポエジーにすること、これがわたしたちの映画祭の進むべき方向だと思っています。

最後に、30年にわたって本映画祭にご協力をいただいたすべてのの方々、参加していただいた国内外のゲストの方々、映画祭スタッフの方々、ボランティアの方々、陰で支えてくださった協賛企業の皆様、熱心に参加してくださった観客の皆様、また、福岡に招待できなかったすべてのアジア映画と関係者の方々に、心から感謝いたします。

# In Search of a Narrow Path That Reaches the Soul

Yasuhiro Hariki

Festival Director, Focus on Asia Fukuoka International Film Festival

The Focus on Asia Fukuoka International Film Festival has now reached its 30th year. In human terms, this would mean the passing of a generation. So, this is a good time if any, to look back at the past and think about the future. I personally feel that in the first half of the last 30 years, there was a stable world order centered around the United States. Yet even during this time, there were cracks in the world order which spread in areas we didn't notice. By the time we entered the second half, these cracks became noticeable, all at once. The United States no longer became the leader of the world and coordinating bodies such as the United Nation started to disfunction. It became apparent that these cracks were getting out of hand as the disparity of wealth and poverty spread in every country. Religious conflicts intensified and our natural environment faced destruction.

From a purely economic point of view, Asia is becoming wealthier than any other region. However, from a political point of view, Asia is the main battlefield for cracks in the world order. As a result, Asia is being hard hit by the effects of destabilization. Whether Asian diversity can come up with a common social foundation, much like Europe and the United States did, remains to be seen. The films screened by the Focus on Asia Fukuoka International Film Festival over these past 30 years, should be a valuable testimony to the changing face of Asia.

10 years ago, when our Film Festival published its commemorative 20th Anniversary catalog, Asia was still in a state of growth development. In my writings at the time, I wrote that "The significance of holding an Asian film festival in Fukuoka, Japan's gateway to Asia, cannot be underestimated. This all started at a time when Asian films still were not available to the general public. Even if excellent films were made in Asia, there was a deep-rooted consciousness that motion pictures as per say were either European or American. Figuratively speaking, Asian films were nothing more than good regional specialty items, which only had the backing of a limited number of film connoisseurs and fans. The significance of the City of Fukuoka taking quick, positive action then to introduce unknown yet quality Asian films, is worthy of mention. Presently, we see excellent Asian films being released in general movie theaters, marking the end of an

era where the film festival was the only gateway of access available to Asian films. However, even as we speak today, Asian films being released in Japan are limited to motion pictures from such countries and regions as Korea, China, Hong Kong, and Iran. The fact of the matter has not changed. There are still many excellent Asian films not being introduced into Japan. So, the enlightening role, which existed at the beginning of our Film Festival, of introducing these Asian films, is still necessary.

Also, changes in Asia in the last 20 years, have far exceeded our wildest expectations. It is also true that we are no longer able to understand present day Asia by using the old-fashioned film festival methodology of introducing films from underdeveloped Asian countries. The consciousness of Asian filmmakers who have attained remarkable growth may have surpassed the Japanese to be way ahead of us. As a member of Asia, I believe the Focus on Asia Fukuoka International Film Festival must search for a multi-facet approach to connect with Asia."

The 20th Century was an era of motion pictures. The mythological owl of Minerva is said to have taken off into the sunset after the end of an era. Our Film Festival was only launched at the end of the 20th Century to cover its last decade. I am certain that the Asian films preserved at the Fukuoka City Public Library Film Archive over the last 30 years will become an irreplaceably precious piece of cultural heritage. At the same time, however, the changes during the last 30 years have exceeded our expectations. The biggest change is that motion pictures are no longer being made in 35mm film. Film production has converted from film to digital technology. As a result, the name "film festival" created in the 20th Century resonates much like a nostalgic crown that temporarily rests above the head of 21st Century technology which we cannot find a name for.

I doubt if the 21st Century is still the age of motion pictures. The motion picture, as a form of show business, no longer can exercise its leading role in entertainment or the arts. It used to be that watching a film meant being part of the audience to see a motion picture on the screen at a movie theater. However, leaping strides in Information Technology have now placed visual images in the hands of the individual as part of his or her daily life to where today, the movie theater is merely an alternative among many

choices, to watch films. Furthermore, movie theaters today only attract crowds when showing blockbuster animation and fantasy films, capable of drawing large audiences. The small scale art-houses which show art films have declined drastically. Furthermore, movie theaters have all turned into cinema complexes built with large capital, and even these cinema complexes are finding it difficult to draw audiences unless they show blockbuster hits. The environment that allowed us to watch a diverse range of motion pictures has been lost and so far, we only have the internet which can make up for this loss.

In 2013, our Film Festival screened a complete film retrospective of Lee Chang Dong, a master filmmaker of Korean cinema, who is noted to have said, "what meaning is there in shooting a film when films are dying?" We should think about this. The awareness of "motion pictures dying" is not only being addressed to film directors but to us, the audience, as well. This is a message that outstanding film directors, audiences and film festivals must hold in common during the 21st Century.

Naturally, film festivals are affected by circumstances of the moment so we can't just be chasing after our ideals. You can say we're always in a state of transition. This year, marking our 30th anniversary, turned out to be quite a different year to say the least, due to the spread of Covid-19 which we never expected. However, new situations of a critical nature aren't limited to Covid-19. Things are brewing which should be of further concern to film festivals, regarded as microcosms of our social environment. At the end of June 2020, China passed the "Law of the People's Republic of China Safeguarding National Security in the Hong Kong Special Administrative Region", marking the demise of Hong Kong's "One Country Two System." If the Hong Kong International Film Festival, which we have befriended for such a long time, is unable to preserve its freedom of expression due to political pressure, this should come to affect us, as well. The rise of excessive nationalism may deprive international film festivals of their prerequisite, that being the freedom of expression. Perhaps film festivals should have an awareness that we face an era "where motion pictures are dying."

This is what I wrote 10 years ago: "What I'd like to protect and maintain as a standard for selecting excellent Asian films, is the search for a voice that resounds ever so deeply in a region during an era. In order to create such a voice, one would need a substantial dense cultural community as its foundation. In Asia, where modernism has seen rapid growth in the last 20 years, this dense foundation is quickly disappearing. What will be left? Probably companies resembling theme parks without expression, which have seen uniformity under capitalism. Asian films created in such an environment will be mostly for consumption and Asian films which are being made under the wave of globalization gives us a premonition of such an omen. And to the people who wish to become

directors of film as a form of art...Will they turn to radical modernism after losing their artistic home base, just like the people in Europe and the United States did? Whether the same happens to Asian films is an issue for the future to decide. In this sense, the Focus on Asia Fukuoka International Film Festival is a fixed point of observation for changes in Asian films."

Taking a journey on a narrow path which leads to the soul, in search of a voice coming from deep within a region, a place in time and an individual...This is what the Focus on Asia Fukuoka International Film Festival is all about. This is our film selection standard we have maintained all these years.

There's something else I've been realizing for the last 10 years. The quality and quantity of Asian films being submitted to overseas film festivals are in decline with each passing year. The mission of a film festival is to introduce excellent motion pictures and I'd like to carry this task out. Now, motion pictures are a prerequisite for film selection. I've always had the thought, however, that if you only have a few motion pictures to choose from, you need to strike out a new direction for the future. Then, what should be done? If we have few motion pictures to work with, there's only one thing to do. We must come up with other films, ourselves. Although this is important, it doesn't mean that we should come up with just any motion picture. It will be meaningless unless we create motion pictures that protect and maintain Fukuoka's regional standing, while taking maximum advantage of its merits so the films can withstand the sands of time to be remembered for years to come.

Our first model case is "*Fukuoka*" (2019/Korea), a film directed by Zhang Lu from China. Our Film Festival built a deep and warm decade-long bond of friendship with the film director. This resulted in the creation of a fantastic film integrating the film director's poetry with a place called Fukuoka. The film received the all-out support of the Film Festival, the Fukuoka Film Commission, volunteers as well as the City of Fukuoka. I believe this film will suggest what the future of Fukuoka's Film Festival should be. In other words, a tie-in between a regional place called Fukuoka and the forefront of cinematic expression. I believe the two will determine the future direction of our Film Festival. To turn a regional place into poetry through Asian filmmakers and motion pictures...I believe this is the new direction our Film Festival should take.

Lastly but not least, I would like to offer my sincere gratitude to everyone who gave us their cooperation to our Film Festival during the past 30 years. My gratitude also extends to every Japanese and foreign guest who participated in our Film Festival, to the Film Festival staff, to our volunteers, to our sponsors who were always behind us to give their support, to our audience who participated in our Film Festival with such passion, as well as all the Asian films and those associated with these motion pictures, which and who we could not invite to Fukuoka.

# 映画が映画である必然性とは何か？

## これまでのアジアとこれからのアジア

映画祭ディレクター 梁木靖弘



—— アジアフォーカスも30周年を迎えましたね。ずいぶん流れが変わったように感じました。

アジア映画全体で見ると、大きな動きは90年代からありました。僕たちがアジア映画を観られるようになったのは80年代からですが、一般館で封切られることはめったになく、映画祭などで単発的に上映される状況でした。1989年のよかトピア（アジア太平洋博覧会）のあたりから変わりましたね。知られざるアジア映画を探そうという、いわば発見の時代。そして1991年に始まったのがアジアフォーカス・福岡国際映画祭です。初めの頃はベトナム、モンゴル、スリランカ、イラン、フィリピン、台湾など国別の特集をしました。まだ日本に紹介されていない国も多く、90年代からの10年間はまさに発見の時代でした。映画館で観られるようになったのは台湾のニューウェーブ、中国の第五世代の台頭によるものが大きいと思います。それにつられて他の国々も追随してきたような流れがありましたね。国内でアジアに特化した国際映画祭は福岡が最初なのですが、ほかの映画祭でもアジア映画が上映されるようになり、いい作品を取り合う時代に入ります。良い作品は全国の映画ファン、そして映画研究者によって知れ渡るようになりました。

—— それから、どんどん各地で映画祭が開催されるようになりましたね。

映画祭もこの10年でかなり多様化し、かつてはアジア映画にはホットスポットがあったのですが、最近は台風が目が見えなくなったような気がします。僕はディレクターとして映画祭のプログラムをどうするか、常にアンテナを張ってきました。先に良い作品を見つけたのに交渉がうまくいかず、東京国際映画祭とかで、ブレイクした作品もあるわけです。持ってかれちゃった感がある（笑）。この10年では、やはりイランのアスガー・ファルハディ監督の作品を、福岡が真っ先に発掘したことが大きいですね。2009年に『アバウト・エリ（彼女が消えた浜辺）』。監督は、スタッフの打ち上げまで参加してくれました。2011年に『ナデルとシミン（別離）』を招待上映した時は、観客の反応が圧倒的でした。その後オスカー受賞ですからね。その時、他の映画祭はそこまでファルハディに注目していなかったんですよ。ディレクターとしては、「先見性アリ」と自負しています。その翌年にファルハディ全作品の特集を実施することもできました。これはアジアフォーカスとしてはとても誇るべきことだと思います。

## デジタル化がもたらした変化と可能性

—— 2000年から2010年の間はアジア映画も緩やかに伸びていったように感じますが、経済の影響が強く出てきます。

社会が経済的に豊かになると、映画は作れるが何が作りたいのか見えなくなるというジレンマも出てくる。既に日本映画は成熟を超えて、方向性を見失っている状態でしたが、この時代に、ある面で成熟したアジア映画が現われます。つまり技術、商業の面です。デジタル映画の台頭によって2010年以降は急速に変化が進んでいきました。

アジアフォーカスも2013年からデジタル上映が基本となりました。機材のデジタル化は、組織力も資金力もないアジアの若い監督たちには、チャンスです。低予算でも優れた映画を作ることが可能になったのです。いいことばかりではありません。母国で資金集めに苦勞するアジアの若い才能に、ヨーロッパのプロデューサーたちが目をつけ、映画を撮らせるケースが増えました。国際映画祭に出品して、賞を取らせたのです。ぼくの見るところ、あまりうまくいった例はないと思います。欧米テイストのアート・フィルムになって、本来の持ち味が消えてしまいます。残念ながら、現在では、アジアのアート・フィルムは、外国の出資に頼らざるをえない状況です。

—— 合作が増えましたよね。製作国にいろんな国名が並ぶようになりました。

そう、その点で、この10年、ますます何がアジア映画なのかという疑問がふくらみました。国内のみで作っていた作品が、資金援助により合作になります。つまり、ヨーロッパ風のエッセンスを加えたアジア映画になる。ボーダーが薄くなっていきました。それをインターナショナル志向といってしまえばそれまでなのですが、アジア映画が世に出る可能性が広がるとともに、作り手には縛りが出てアジアンテイストが薄まっていく。私はそれを、若い作り手の芽が摘まれていった時代と感じています。

—— 確かにどこの国の映画？と思うことが多くなりましたね。5カ国合作なんて当たり前というか。

以前は、何がなんでも自国スタッフで作る、しかも10年がかりで、なんて気概があったものですが、今はどうなのでしょう。これが良い状況か、悪い状況か、正直、私にはわかりません。状況は状況です。じゃあ、何がアジア映画かという点でいうと、監督の国籍と言語で判断するしかないのかと思います。2016年にベトナム映画特集をやりましたよね。共産主義国でもあるし、ずっと国が映画製作を担っていましたが、経済開放政策で民間が参入したとたんに、儲け第一に移行してしまっただけで、残念ながら、東南アジア全体は貧乏だったので、映画製作は国に依るところが大きかったのです。だから真面目な映画を撮っていた。それが経済的自由化で中産

階級が観客になると、娯楽を求めるので、監督たちは本当に表現したい作品を置いて、お金になるエンタメへ走ってしまう。

## 良い映画は対決したからこそ生まれる

—— ここで映画とは何ぞや？と考えさせられます。アジア各国も日本映画と同じ轍を踏みつつあるのでは。

その通りです。今年のバングラデシュ映画『土曜の午後に』は素晴らしかったのですが、自国で上映できない。自分たちが見せたい相手に見せられない…映画ってなんだ？て改めて感じますよ。

いいんです、映画はエンターテインメントでも。しかしアジアフォーカスは目的が違うわけで、消費のための映画は扱わない。そういった意味で毎年、作品の選定が難しくなっているんです。まずアジアは社会情勢が不安定で、映画を作ること自体が難しくなり、テーマ性のある作品がどんどん減っています。

そもそも映画って大衆のものだったんですね。あとからアート・フィルムが出てくる。かつては厳然としてあったエンタメ（商業映画）か芸術（アートフィルム）かの二極化ですが、いまではその議論もあまり意味がないですね。映画はそもそも表現です。カテゴリー争いの必要性はあるのかと。商業映画を作って儲けた資金で、自分の表現したいアート・フィルムを撮るケースも多い。

—— そうなるともうジャンルがよくわからなくなってきました（笑）。

つまり「映画って何？」という問いに答えられない。答えが実に曖昧になってきます。ただひとつと言えるのは、昔僕たちが「映画だ」と思ったものはすでに、死んでいるということです。だって、今は手軽にスマホで動画撮れるし、スタッフがなくても、監督一人で作品作れるし、とにかく表現が簡単な時代になった。また技術を習得する時間も少なくなった。映像だけじゃない、美術とか芸術もそうですよ。

—— そうですね。映画って、さまざまな技術を持った人たちが一緒になって作るものだったのですが、そんな必要はない時代になってしまった。

映画は総合芸術と言われるでしょう。つまり技術屋の集まりで作っていた。アートって、そもそもはプロの技術のことなんですよ。今ではアート＝技術の捉え方が変化しているのかもしれない。いまでは、アートは技巧というよりアイデアなのかもしれない。東京芸大などで映像を学んだ若い人たちから良い作家が出てくるのは当然でしょう。彼らは他の表現ジャンルをたくさん勉強しています。映像だけじゃない、演劇、文学、歴史など。

—— 福岡に来る若い監督は、日本の昔の映画を良く研究して

いますよね。

小津安二郎、溝口健二、黒沢明…。この3人は超えられない壁だと皆わかっています。彼らのまねをしても、同じことは絶対できません。でも、すぐれた映画を撮る現代の監督たちは、先人たちの作品を観なければ、すぐれた映画は撮れないとわかっているんです。今の若い監督たちは映像に囲まれて育っていますから、テクニックはある。ただ、人間を観る力が衰えている。映像に淫しているという傾向にありますね。先人たちを超えられなくても、完璧な先人たちと対決することが大事です。真似ではなく、対決です。別のものを生み出すんです。でも日本の若手監督は日本の巨匠と対決しようとしなのが残念です。

なぜ、先人たちがすごいのか。圧倒的な西洋の異文化と真剣に対決したからです。その果てに、日本映画というものが出来たんですよ。

——環境は大きいですよ。ソビエト連邦の崩壊とか。今まで個人で映画を撮れなかった国が、撮れるようになった。

体制と対決するという点では、中央アジアが面白いですよ。レバノンなんてホットスポットじゃないですか。日常にクローズアップしながら、実は政治的な背景を描いている。2016年の『ハラル・ラブ』なんて政治的姿勢を徹底的に攻撃したいのに、コメディ仕立てにして、迂回路を使って映画を撮っているんですよ。迂回路っていろいろに解釈ができるから面白い。民主主義だから平等が大事だと言われますが、平等って芸術とはむすびつかない。芸術とは突出したものの。創作とはものすごく不平等ものなんです。自由に映画を撮れるようになったは良いのですが、この数年で全体的にアジア映画のクオリティも低くなっていっています。今、アジア全体が社会状況や経済性の面で落ち込んでいます。でもそれは個人の力に依るところも大きいと思うんですよ。やはり個人が創作と対決しないと。

## 常に問いかけ、考え抜いていくことが必要

——今、日本が誇るべき映画はアニメしかないんでしょうか。

基本、アニメは冒険やファンタジーものが多いでしょう。ファンタジーって大昔からある神話なんですよ。そして神話は戦いの物語です。神話は構造的に安定しているので、大衆を惹きつけるんですよ。観客は神話の中で戦いを観る。神話が現実になると戦争になってしまいます。アニメが受けるのは、現実世界にはよりどころとなる国民統合の神話がないからだと思っています。顕著な例で行くとハリウッドですよ。スターウォーズなど、大ヒットしたハリウッド映画は神話を徹底して研究しています。どうも観客は神話に飼いならされてしまった。

神話は便利で、ずるい。神話にしてみれば、媒体は別に映画でなくてもいいんです。大衆は映画でなく、神話に感動しているのです。むしろ、映画って何だろうって思わせる映画

が、映画らしい映画だと思うんですよ。絵だってそうでしょう、見方はいろいろあるわけで。観る人の奥深くにそっと触れる作品が良い映画だと思います。

——映画である必然性とは何だろうという問いはずっと残りますね。

残っていた方がいいんです。物語を描くということは二義的なものだと思えます。生モノですよ、映画って。映画は映画を描くしかない。それが本質に基づくものだと思います。ストーリーは映画とイコールではありません。ストーリーをダシにして、映画とは何かを追求するほうがおもしろい。映画そのものについて考え抜いた作品はおもしろいんですよ。良い映画は何度見ても面白い。

——そうですね。この10年を振り返ると、予測のできない展開だったと思います。

今はメディアがたくさんあるから、同じ作品を別のメディアで作ったら、映画なんてなくなってしまいます。疑問を抱えながら、映画を作り続ける。そして作り上げたものが映画なんです。答えはありません。今後の映画製作については、問いかけていくことが切実だと感じています。

——今後はエンタメのあり方が少し変わってくるかもしれません。映画とは何か、良い作品とは何か？本質が問われていくと思いますね。2016年に福岡でも上映した『凱里ブルース』（2015）で世界的に高い評価を受けた中国のビー・ガン監督は、『ロングデイズ・ジャーニーこの夜の涯てへ』で3Dワンテイク映像を取り入れ、斬新な映像体験を提供していますね。

それは面白いですね。そうやって現代のテクノロジーと共生していくのも、映画への問いかけから生まれたものだと思います。映画って、他の人と一緒に夢を見る体験なんですよ。映画館に入った途端、日常が非日常になる。知らない人々が映画によって、ひとつの夢の中に溶け込んでゆく。それはエンタメであろうがアートであろうが同じです。今後は若い世代がどんどん映画と対決して、才能を花開かせてほしい、そして良い映画を映画祭で上映したいと願っています。

（聞き手：高橋哲也）



### 梁木靖弘

1952年生まれ。早稲田大学大学院修了。九州大谷短期大学教授を経て、現在、演劇・映画評論家。91年の第1回よりアジアフォーカス・福岡国際映画祭企画委員を務め、2007年よりディレクターに就任。主な訳書に「映画について」（ジャン・コクトー）「バリのオフペンバック」（アラン・ドゥコー）「コメディア・デラルテ」（C・ミック）、著書に「聖なる怪物たち」「渚のモダニズム」など。

### 高橋哲也

編集者。映画祭では質疑応答のモデレーター、映画祭カタログの編集長を長年にわたり務める。

# 対社会から個人の時代へ

## 梁木ディレクターが振り返るアジア映画の10年

### 2010年（第20回）

アジア映画の絶頂期ともいえる第20回で、次の時代に移る節目の年。20周年記念として、『運動靴と赤い金魚』（1997）でイラン映画のイメージを決定づけたイランのマジド・マジディ監督の特集。のちに映画祭の常連となるインドネシアのリリ・リザ監督が『夢追いかけて』（2009）を携え、ジョコ・アンワル監督と来福し大いに盛り上がった年。チャン・リュル監督の『豆満江』（2010年／中国・韓国・フランス）も大きな衝撃を観客に与えた。フィリピン映画界をけん引するブリランテ・メンドーサ監督の『ばあさん』（2009）、タイのアノーチャ・スウィチャーゴーンボン監督の『ありふれた話』（2009）などが際立つ。

### 2011年（第21回）

イランのアスガー・ファルハディ監督の『ナデルとシミン（仮題／のちに「別離」）』（2011）が圧倒的な存在感を放った。本作は福岡で上映後、第84回アカデミー賞外国語映画賞を受賞した。まさに“先取り”の年で、面白い映画を選ぶと結果的に先取りになることを証明した年でもある。深田晃司監督の『歓待』（2010）も印象深い。コアなファンがついた『台北カフェ・ストーリー』（2010）など、大衆が楽しめる作品も多く、華やかでバランス的に良い年だった。

### 2012年（第22回）

作品の多様性という点では第21回に近い流れ。サスペンスタッチでありながらエンタメ色も強いインド映画の『カハーニー／物語』（2012）が群を抜いて面白く、やほりのちに一般公開されて大ヒットしている（劇場公開時タイトル『女神は二度微笑む』）。フィリピンのローレンス・ファハルドもこの年に『アモク』（2011）で初登場。社会派の面を強く打ち出した一作で、今までのフィリピン映画のイメージを塗り替えた。パキスタンの『BOL～声をあげる～』（2011）の存在も大きい。アスガー・ファルハディ特集を、オスカー受賞の年に実現できたのも実にタイムリーだった。

### 2013年（第23回）

ひとことで言うとうそごいラインナップ。ウクライナから『ゲーマー』（2011）を招いたことが大きな話題になった。オレグ・センツォフ監督はこの後、2014年に起こったクリミア危機を批判して政府に拘束されたのち、2018年にハンガーストライキに入り命の危機にさらされる。バフマン・ゴバディ監督の『サイの季節』（2012／イラク・トルコ）、レイス・チェリッキ監督の『沈黙の夜』（2012）など、世界的な巨匠による新作を上映。自国の政治と密接に関わり、危ない橋を渡ってきた監督たちの代表作をそろって観られたことは、まさに映画祭の妙味。

### 2014年（第24回）

全体的に地味だったが、閉塞感漂う作品が多かったように思う。象徴的な作品はイランの『予兆の森で』（2013）。全編ワンカットで撮った意欲作で、カメラと一緒に不安が堂々巡りするような異様な緊張感に満ちたイメージは鮮烈。台湾の『山猪温泉』（2014）も実際に起きた台風災害を基にしたフィクションだが、実に巧みな構成で心が静かに温まる作品。チャン・リュル監督が4年ぶりに携えてきた『慶州』（2014／韓国）には、してやられました。その作風の変わりようは、現在に繋がっている。

### 2015年（第25回）

25周年はなんといってもキルギスの『山嶺の女王 クルマンジャン』（2014）の存在感が大きい。国を挙げて、祖国の苦難の歴史を物語るという大作は、もうこれが最後ではないか。歌って踊らないインド映画『裁き』（2014）、も秀逸だった。前年あたりから、福岡フィルムコミッションの支援が盛んになり、ローレンス・ファハルド監督の『インビジブル』（2015／フィリピン・日本）も、映画祭の存在があったからこそ。映画祭スタッフと監督の距離が近くなり、福岡から世界へ作品を生み出す基盤が出来た年でもある。

### 2016年（第26回）

バフマン・ゴバディ監督が『国のない国旗』（2015／イラク）で初来福。イランから亡命し、世界各国で作品製作を続ける監督の来福は、長年交渉を重ねて実現した奇跡的な出来事だった。レバノンの『ハラル・ラブ』（2015）、フィリピンの『ぼくは詩の王様と暮らした』（2015）など、今までは毛色の違う作品も驚きをもたらした。シンガポールの建国50周年を記念して製作された、7人の若手監督によるオムニバス映画『セブンレターズ』（2015）も観客の心を捉えた。成熟するアジアが、自国を見直す振り返りの地点に来ているなど感じた年。

### 2017年（第27回）

通常ラインナップよりも、タイ特集が際立った年。割とおおざっぱに理解していたタイの多様性を、考えられる限りあらゆる側面から集めて、バランスのとれたバラエティ豊かな作品がそろった。中でも『噂の男』（2014）と『マリー・イズ・ハッピー』（2013）の2本と共に来福した、ナワボン・タムロンタナリット監督の新感覚に驚くと共に、若い才能が出てきたと心が沸き立った。映画祭の楽しみは特集や、ゲストを招いてのシンポジウムが持つ役割が大きいことをこの年は証明できたと思う。

### 2018年（第28回）

この年あたりから、明らかに何かが変わってきている。年々作品数が減り、プログラムの構成が難しくなってきた。映画の作り手が対社会から、対家族、そして対個人へと変化していく様子を肌で感じるラインナップだった。先行き不透明な時代になり、もう社会にモノを申しても政治に期待はできないという閉塞感が色濃く出てきたからだと思う。多様性だ、グローバル化だと叫ばれるが、映画製作の視点は個へ向かい、孤立していく感があった。その中でフィリピンの『なあばす・とらんすれいしょん』（2017）のような奇妙キテレツ系のアート・フィルムが出てくるなど、予測できない映画製作への変化を大いに感じた年。

### 2019年（第29回）

個に視点を向けた作品が増えるとともに、「なんじゃこりゃ」というような独特な世界観を持ったアート・フィルムも増えた。いわば、世界が悪夢になりつつあるという感覚が反映されているのでは？と感じるラインナップ。映画は夢の世界だが、かつてのような楽天的な夢を見ることはなくなり、寝覚めの悪い悪夢がふえた。ダークな世界観を持った作品群に戸惑う一方で、気骨のあるブリランテ・メンドーサ監督の『アルファ 殺しの権利』（2018／フィリピン）、映画祭との縁で生まれた、チャン・リュル監督の『福岡』（2019／韓国・日本・中国）などには、その監督ならではの作家性も健在であることを感じた。国や社会を一面的に描くことがあまり意味をもたなくなっただけ、表現の多様性を守るには、とりあえず、作家性とリージョナルであることを結びつけるしかないと感じた。

### 2020年（第30回）

コロナ禍でゲストも招待できず、作品を上映するだけだったが、バランスよく、良い作品がそろったと思う。今まで上映してきたような方向性が、それぞれの作品に集約されている。『土曜の午後に』（2019／バングラデシュ・ドイツ）は内容も圧巻だったが、あれをワンテイクで撮っているという志の高さにはなかなか気づかないだろう。『明日から幸せな人になろう』（2019／中国・ドイツ・セルビア）は、セリフなしどころか主人公なし。観客が主人公を探す映画なんて、今までなかった。映画の面白さという点では、これまでにない表現の斬新さ、社会への切り込み方が生まれてきたなど感じている。

# Why Do Motion Pictures Need to Stay as Motion Pictures?

## Asia As It Was and Asia From Now On

(An interview with Yasuhiro Hariki, Festival Director of the Focus on Asia Fukuoka International Film Festival)

**Interviewer:** So, it's the 30th Anniversary for the Focus on Asia Fukuoka International Film Festival. I feel there's been a lot of changes.

**Yasuhiro Hariki:** Now, if we look at Asian films in its entirety, a big movement came in the 1990s. We got to see Asian films from the 1980s but back then, these films were rarely shown in movie theaters. Instead, they would only be sporadically screened at places like film festivals. Things started to change about the time the Asia-Pacific Exposition-Fukuoka (also known as "Yokatopia") was held, in 1989. This was the start of an age of discovery, so to speak, to unearth unknown films from Asia. In this spirit, the Focus on Asia Fukuoka International Film Festival was launched in 1991. In the beginning we held special feature programs by country and regions such as Vietnam, Mongolia, Sri Lanka, Iran, the Philippines, and Taiwan. This was a time when films from many Asian countries were still not introduced into Japan and so the decade during the 1990s became an era of discovery.

I think the emergence of Taiwan's New Wave films and motion pictures by China's 5th Generation of filmmakers had a big effect in bringing Asian films to movie theaters in Japan. Then, films from other Asian countries seemed to follow in this trend. Our Film Festival in Fukuoka was the first international film festival in Japan to specialize in Asian films. However, other film festivals in Japan started showing Asian films and soon, Japanese film festivals were competing against each other for quality motion pictures from Asia. These films then became known in Japan through Japanese film fans and film researchers.

**Interviewer:** Then, more and more film festivals were launched in all parts of Japan.

**Yasuhiro Hariki:** Film festivals have become diversified in the last 10 years. There used to be a "hot spot" for Asian films but I feel we've lost track of its center or the "eye of the storm", so to speak. As the Director of our Film Festival, I've always been on the lookout for ways to put together our film programs. There were times when I discovered a good film before anyone else but had trouble negotiating it. There were times these films got their break elsewhere in Japan like the Tokyo International Film Festival. You know, I feel the other film festivals kind of "stole" these films from me (chuckle). What I regard as being big and important to us over these past 10 years is the fact that our Film Festival discovered the films of Iranian film director Asghar Farhadi before anyone else in

Japan. We screened Asghar Farhadi's "About Elly" in 2009. He even came to the after-party for our Film Festival staff. When we invited his film, "Nader and Simin, A Separation" (later retitled as "A Separation") in 2011, the audience reaction to the motion picture was overwhelming. And after our Film Festival, the film went on to win an Oscar. At the time, the other film festivals weren't paying that much attention to Asghar Farhadi. As the Film Festival Director, I take pride in my "foresight." Furthermore, in the following year, we were also able to hold a special feature where we screened all his films. The Focus on Asia Fukuoka International Film Festival should take pride in this accomplishment.

### Changes and Potential Brought About by Digitalization

**Interviewer:** I feel Asian films grew slowly from 2000 to 2010, but then we faced an economy which impacted us greatly.

**Yasuhiro Hariki:** When society attains economic wealth, you get to make films but you're also faced with the dilemma of losing sight of what type of motion picture you want to make. At the time, Japanese films were past their state of maturity. They were losing their course of direction but then, matured Asian films, in a sense, appeared. In other words, in the area of technology and commercial business. From 2010, the rise of digital films brought about a growth of rapid change.

Fundamentally, the Focus on Asia Fukuoka International Film Festival also began screening its films digitally, from 2013. The digitalization of film equipment gave opportunities to young Asian film directors who had neither organizational or financial muscle. It now became possible to make excellent films on a low budget. However, not all things turned out positive. European producers would zero in on Asian film directors struggling to finance films at home, and would arrange for them to make their motion pictures. Such cases increased for the purpose of submitting these films to international film festivals in hope that they would win awards. However, as far as I can see, I don't know of that many cases where this really succeeded. These motion pictures would become art films with Euro-American taste, thus losing their original flavor. Unfortunately, Asian art films today have no other alternative but to rely on foreign financing.

**Interviewer:** There's been an increase in film collaboration to where we now see many names listed under "country

of production."

**Yasuhiro Hariki:** That's right. In these last 10 years, it's becoming more and more questionable what an Asian film really is. Asian films strictly produced domestically would become "collaborated" once they received financial assistance from abroad. In other words, these films would become Asian films with Euro-American essence. The borderline became thinner. If you say that's being international, the discussion ends right there. This approach may expand the potential for Asian films to get international exposure but it also ties down the filmmaker and weakens Asian taste. I feel this was the age when the buds of young filmmakers were nipped off.

**Interviewer:** There are more films now that make you wonder what country they all come from. Seeing a film collaboration between five countries isn't strange anymore.

**Yasuhiro Hariki:** Before, filmmakers would use all means possible to make films with a domestic staff. They used to have backbone, often taking 10 years to complete. But what about today? Are filming circumstances good or bad? Honestly, I don't know. Circumstances are circumstances. Then, what is an Asian film? I would have to say it depends on the nationality of the film director and the language of the motion picture. Now, we did hold a special feature on Vietnamese films in 2016. Vietnam is a communist country. The government shouldered the country's film production industry all this time. However, once Vietnam's economic open-door policy allowed the public to participate in filmmaking, things changed to become "profit first." Unfortunately, Southeast Asia in general was poor, and as a result much of the region had to rely on the government for film production. That's why serious films were made. Yet once the middle class became the film audience as a result of economic liberalization, entertainment was in demand. Film directors stopped making films depicting what they really wanted to express and instead rushed to produce money-making motion pictures of entertainment.

### Good Films Are Born Out of Confrontation

**Interviewer:** This makes us ask ourselves, "what is a real film?" Are Asian countries following in the footsteps of Japanese films by making the same mistakes?

**Yasuhiro Hariki:** Exactly. This year we screened the Bangladesh film "Saturday Afternoon." The film is a fantastic motion picture and yet it can't be shown in its country. The filmmakers can't show the motion picture to the people they want...Seeing this, I again feel like asking, "what the heck is a film in the first place?"

It's alright. Motion pictures can be entertainment. Yet we, at the Focus on Asia Fukuoka International Film Festival, hold a different purpose. We don't deal with films made for consumption. In that sense of the meaning, it's getting more difficult each year to make our film selection. First, the social climate in Asia is unstable. Also, it's getting more difficult to make Asian films. Furthermore, the number of theme-

oriented Asian films are dwindling as we speak.

To begin with, films belonged to the masses. Art films came afterwards. At one time, films were strictly bipolarized as being either entertainment (commercial films) or art (art films), but this argument seems a bit meaningless now, doesn't it? In the first place, films are about expression. I don't think there's a need to have competing categories. After all, there are many who used the money they made on commercial films to make art films so as to express their points of view.

**Interviewer:** Hearing that, I'm now really confused about film genres (chuckle).

**Yasuhiro Hariki:** In short, we no longer can give a real answer to the question which asks us, what a film is. When we try, we end up with an ambiguous answer. There's one thing I can say, though. What we used to think a "film" was in the past, is already dead. After all, we can easily shoot moving images with our smart phones and a film director can make a film all by himself or herself without staff assistance. In any case, we now live in an era where expression has been simplified. Also, you can master technology in far less time. This isn't just restricted to visual images. You can say the same thing about fine art and art.

**Interviewer:** That's right. It used to be that people with various technical skills got together to make a film. However, we live in an era where that's not necessary anymore.

**Yasuhiro Hariki:** We call motion pictures composite art, don't we? In other words, motion pictures used to be made by a group of technicians. In the first place, art is a professional form of skill using technique. Perhaps the way we see art=technique may change now. Nowadays, art may be more about ideas than craftsmanship. So, it wouldn't surprise me seeing the rise of young auteurs of talent who have studied visual imagery at such places like the Tokyo University of the Arts. These people have also studied many other genres of expression like theater, literature, and history.

**Interviewer:** Young film directors in Fukuoka are doing a great job researching Japanese films of the past, don't you think?

**Yasuhiro Hariki:** Yasujiro Ozu, Kenji Mizoguchi and Akira Kurosawa...No one can rise above these three legendary film directors. Everyone knows that. Even if you try and imitate them, you won't get the same results. Yet Japanese film directors of the present who create excellent films know that they can't make their fine motion pictures without seeing the works of those who came before them. These young film directors are growing up in a world surrounded by visual images, so they have the technical skills. However, their ability to observe and examine human beings has deteriorated. Instead, they seem to be in a trend of overdoing visual imagery. They may not be able to rise above those who came before them. Yet it's important for them to face and confront their legendary predecessors. Not imitating but confronting them and creating something of their own. And

it's unfortunate because young Japanese film directors aren't trying to face and confront the master film directors of Japanese cinema.

Why were our predecessors so great? That was because they seriously faced and confronted a different culture. The culture of the west, which was so overpowering and overwhelming. What we call the Japanese motion picture was created this way.

**Interviewer: Environment plays a big role, doesn't it? Like the fall of the Soviet Union...Individuals can now make films in countries where previously, they couldn't.**

**Yasuhiro Hariki:** From the point of view of confronting the Establishment, Central Asia is very interesting. Lebanon is a real hot spot, isn't it? Now, the Lebanese film, "*Halal Love (and Sex)*" made in 2016. It highlights daily routine but in fact depicts the political background. It wants to attack the political context so much but instead uses comedy as a diversion to complete the film. It's very interesting because you can interpret diversions in many ways. They say equality is important to democracy. However, equality isn't affiliated with art. Art is something that sticks out. An original work of creation is something extremely unequal. It's good to see that films can be made freely now but the quality of Asian films, in general, have deteriorated in the past several years. Right now, Asia, in general, is feeling depressed in as far as social conditions and economic efficiency are concerned. For this, however, I think it's important to rely on the power of the individual. After all, it's the individual that must face and confront original works of creation.

## It's Necessary to Keep Asking and Think Matters Through

**Interviewer: Is Animation the only type of motion picture Japan should be proud of?**

**Yasuhiro Hariki:** Basically, works of Animation deal with a lot of Adventure and Fantasy, don't they? Fantasy comes from mythology which we hold from ancient times. And mythology is a story of fighting. Mythology is structurally stable and so it attracts the masses. The audience watches the fighting inside mythology. If mythology turns into reality, the fighting becomes war. I feel that Animation is accepted because there's no basis in the world for mythology to be nationally integrated. A noted example is Hollywood. Hollywood blockbuster hits like "Star Wars" have thoroughly conducted research on mythology. It appears mythology has tamed the audience.

Mythology is convenient and crafty. If it's mythology, the medium doesn't necessarily have to be motion pictures. After all, the audience is moved by mythology, not the motion picture. I think films which make me pose the question, "what's a motion picture?", are what I consider to be real motion pictures. That also holds true with paintings, doesn't it? There are many ways to view a painting. I think a good film is the type that gently touches the audience deep inside.

**Interviewer: "Why Do Motion Pictures Need to Stay as Motion Pictures?" This question always remains...**

**Yasuhiro Hariki:** It's better that the question remains with us. I think depicting the story is something secondary. Motion pictures, so to speak, stay alive within people, don't you think? And yet, motion pictures are nothing more than motion pictures so they must be depicted as such. I think that's what "based on the essence" means. The story does not equal the motion picture. It's more interesting to use the story to pursue the issue of what a film is. Films which think matters through about motion pictures, themselves, are interesting. And good films are interesting no matter how many times you see them.

**Interviewer: You're right. Looking back at these 10 years, I think there were a lot of unpredictable developments.**

**Yasuhiro Hariki:** Nowadays, we have many forms of media. So, if we make the same cinematic work on different media, we lose the notion of the "motion picture." Despite having our doubts and reservations, however, we continue to make motion pictures. And the final product is our motion picture. There are no answers to this. I feel that an earnest approach to the future of film production, is to keep asking questions.

**Interviewer: I think the future of what entertainment films should be, may see some changes. What is a film? What is a good film? I think the essence of motion pictures will be questioned. Film director Bi Gan of China who attained high international acclaim for his film "Kaili Blues" (2015), which we screened at our Film Festival in 2016, has included 3D one-take visual imagery for his motion picture "Long Days Journey Into Night", providing the audience with an innovative visual experience.**

**Yasuhiro Hariki:** That's interesting. To co-exist with present technology like that, I believe, is something which was created through the process of questioning motion pictures. Motion pictures are dreams and experiences we have with other people. The moment we enter a movie theater, our daily routine becomes non-routine. Through motion pictures, strangers start to blend inside a dream. It doesn't make a difference whether the motion picture is an entertainment film or an art film. It's the same. In the future, I'd like to see our younger generation of filmmakers face and confront more and more motion pictures so that their skills can blossom. And I'd like to screen their great films at our Film Festival.

(Interviewer: Tetsuya Takahashi)

### Yasuhiro Hariki

Born in 1952, Yasuhiro Hariki graduated from the Graduate School of Waseda University. Leaving Kyushu Otani Junior College where he was a professor, Yasuhiro Hariki is now a theater and film critic. He has been a member of the Focus on Asia Fukuoka International Film Festival Planning Committee from the first year of its conception in 1991. In 2007, he was appointed its Festival Director. His translated works include "Du Cinématographie" (by Jean Cocteau), "Offenbach: Roi du Second Empire" (by Allan Decroix) and "La Commedia dell'arte" (by Constant Mic). He is also the author of "Seinaru Kaibutsutachi" (The Holy Beasts) and "Nagisa no Modanizumu" (Modernism on the Beach).

Interviewer: Tetsuya Takahashi is an Editor. He has served the Film Festival for many years as the Editor-in-Chief of its official catalog. He is also a long-time moderator to Q&A sessions held by the Film Festival.

# From Addressing Society to the Age of Addressing the Individual

## Festival Director Yasuhiro Hariki Looks Back at 10 Years of Asian Films

### 2010 (Our 20th Film Festival)

You could say our 20th Film Festival was a high point for Asian films, and a turning point to a new age. Commemorating our 20th Anniversary, we held a retrospective featuring Majid Majidi, a film director who shaped the image of Iranian films with his film, "*Children of the Heaven*" (1997). 2010 was a year of high spirits for the Film Festival with the participation of Indonesian film directors Joko Anwar and Riri Riza, a future regular at our Festival who came with his film "*The Dreamer*" (2009). "*Dooman River*" (2010/China-Korea-France) directed by Zhang Lu also made a big impact with the audience. Films which also stood out included "*Lola*" (2009) by film director Brillante Ma. Mendoza, the driving force behind films from the Philippines, and "*Mundane History*" (2009) by Anocha Suwichakornpong from Thailand.

### 2011 (Our 21st Film Festival)

"*Nader and Simin, A Separation*" (later retitled "A Separation") made in 2011, a film by Iranian film director Asghar Farhadi, had an overwhelming presence at our Film Festival. After its screening in Fukuoka, the film went on to win the Best Foreign Language Film Award at the 84th Academy Awards. This was indeed a year where we were able to "screen a film in advance" and a year which proved that selecting an interesting film can net such results. "*Hospitalité*" (2010) directed by Koji Fukada was a deeply impressive film as well. We selected many films the public could enjoy such as "*Taipei Exchanges*" (2010), which attracted a core of fans. It was a splendid year with a well-balanced selection of films.

### 2012 (Our 22nd Film Festival)

From the point of film diversity, our selection of motion pictures was close to our 2011 lineup. The Indian film "*Kahaani*" (2012), having a touch of suspense but with strong entertainment flavor, stood out as being extremely interesting. Indeed, it was later released in Japan and became a big hit. Lawrence Fajardo from the Philippines made his first appearance in Fukuoka with his film, "*Amok*" (2011). The film, which strongly addressed social issues, reset the image we had of a film from the Philippines. "*Speak Up*" (2011), a film from Pakistan, also had a big presence at our Film Festival. It was very timely that we were able to hold a special feature on Asghar Farhadi in the same year he won his Oscar award.

### 2013 (Our 23rd Film Festival)

"A Great Lineup." In a couple of words, that's how I would describe our 23rd Film Festival. Inviting the film "*Gaamer*" (2011) from the Ukraine made big news. Oleg Sentsov, who directed the film, was later arrested by his government for criticizing the Crimean Crisis, which occurred in 2014. In 2018, he would go on a hunger strike, which almost took his life. Separately, we were able to screen the latest films from such international masters of cinema as Bahman Ghobadi ("*Rhino Season*" 2012/Iraq-Turkey) and Reis Çelik ("*Night of Silence*" 2012/Turkey). The beauty and advantage of being a film festival was truly what made it possible for us to screen these film masterpieces by two film directors who took risks in being closely associated with national politics in their respective countries.

### 2014 (Our 24th Film Festival)

The Film Festival was generally low-keyed but there were many films, I think, which had a cooped-up feeling of despair. Typical of this was an Iranian film called "*Fish and Cat*" (2013). It was an ambitious film that shot the whole motion picture in one cut. The vivid imagery was full of tension but of a strange sort, as if insecurity went around in circles with the camera. "*The Boar King*" (2014) from Taiwan was also based on a true story. Although based on real events which happened during a catastrophic typhoon, the motion picture is one which will serenely warm your heart, thanks to its skillfully devised film composition. Film director Zhang Lu returned after 4 years with "*Gyeongju*" (2014/Korea), a film that really got to me. The style changes in the film are tied in with the present.

### 2015 (Our 25th Film Festival)

Undeniably, "*Kurmanjan Datka, Queen of the Mountains*" (2014), a film from Kyrgyzstan, had a big presence at our Film Festival which celebrated its 25th Anniversary. Perhaps this is the last time an entire nation will go all-out in making a monumental film about a story of hardship in the history of its beloved homeland. "*Court*" (2014), the Indian film which sings but doesn't dance, was also superb. It was from about the previous year in 2014 that films supported by the Fukuoka Film Commission became widespread, and our Film Festival had everything to do with the success of Lawrence Fajardo's "*Invisible*" (2015/Philippines-Japan) which was shot in Fukuoka. This all led to a closer relationship between the film director and the Film Festival staff. It was a year that established the standard for

sending films made in Fukuoka to the world.

### 2016 (Our 26th Film Festival)

Film Director Bahman Ghobadi visited Fukuoka for the very first time, bringing with him, his film, "*A Flag Without a Country*" (2015/Iraq). Inviting the film director who fled Iran and who continues to make films all around the world, was a miracle requiring years of negotiation. Screening films such as "*Halal Love (and Sex)*" (2015) from Lebanon and "*My Life with a King*" (2015) from the Philippines, motion pictures regarded as a bit different from what we exhibited in the past, added a flavor of surprise. "*7 Letters*" (2015), an omnibus film by 7 young film directors commemorating half a century of Singapore, also captured the heart of the audience. The year felt as if Asia, in a state of growth to maturity, was at the point of looking back and taking another look at itself.

### 2017 (Our 27th Film Festival)

It was a year when our special feature on Thai films stood out even more than our regular lineup. Having a rough understanding about diversity in Thailand, we put together a collection of Thai films from every conceivable angle, ending up with a well-balanced special feature program which was rich in variety. In addition to being amazed at the new sensation of Thai film director Nawapol Thamrongrattanarit, who came to our Film Festival with "*The Master*" (2014) and "*Mary Is Happy, Mary Is Happy*" (2013), we were also terribly excited about the emergence of young Thai talent. I think we proved in 2017 that special features, and symposiums featuring guests play a big and important role in providing ways to enjoy a film festival.

### 2018 (Our 28th Film Festival)

From 2018, I clearly felt that something was changing. Year after year, we were showing fewer films making it more difficult for us to put together our programs. Our 2018 lineup made me feel there was a change in what filmmakers were addressing. The subject of what they were addressing changed, from society to the family and then to the individual. I think this change came about as a result of us entering an era where the future is unpredictable, and where an air of despair grows stronger as we no longer can place our reliance on politics to deliver our social needs. People would scream and yell to emphasize diversity and globalization. However, I felt the viewpoint of film production was heading towards the individual, and becoming isolated as a result. To see, in such an environment, a strange type of art film like "*Nervous Translation*" (2017) from the Philippines get as much exposure as it did, made me feel this was a year that brought big changes of unpredictability to film production.

### 2019 (Our 29th Film Festival)

With more films pointing their viewpoints towards the individual, there were more art films with such unique worldly values that we would ask ourselves "what in the world is this!" I felt that perhaps our films in our lineup were reflecting a feeling of the world turning into a nightmare. Films exist in a world of dreams. However, films stopped seeing optimistic dreams like they did in the past. Instead, there were more nightmares, the type that came with an uneasy conscience. While we were bewildered with a group of films having dark and gloomy worldly views, we felt that the unique writing skills of such film directors as the spirited Brillante Mendoza of "*Alpha, The Right To Kill*" (2018/Philippines) and Zhang Lu of "*Fukuoka*" (2019/Korea-Japan-China; a film that was made with his ties to our Film Festival), were healthy, alive and well. As it has become rather meaningless these days to depict something one-sided about a country or society, we came to realize that the only way to protect and preserve diversity of expression for the time being, is to bring together such writing skills with a regional location.

### 2020 (Our 30th Film Festival)

The Covid-19 pandemic didn't allow us to invite any guests. We were left to only screen our films, but all in all, I think we ended up with a well-balanced selection of fine motion pictures. These films had similar directional tendencies as our film screenings to date. "*Saturday Afternoon*" (2019/Bangladesh-Germany) was a masterpiece even for its content. Yet not many will notice the high level of determination put into the motion picture considering it was shot in just one take. For the film "*From Tomorrow On, I Will*" (2019/China-Germany-Serbia), there is no dialogue, but neither does the motion picture have a protagonist. We never had a film like this before where the audience searches for the protagonist. From the point of view of being interesting, I feel these films created a form of innovative expression and social critique that we've never seen before.





# 30年を振り返って

## LOOKING BACK 30 YEARS

1991年～2020年上映作品一覧  
 LIST OF MOTION PICTURES EXHIBITED 1991-2020

## 1991



期 間 9月6日(金)～13日(金)  
会 場 大洋、東映パラス、  
ソラリアシネマ2  
内 容 10カ国・地域23作品  
入場者数 10,724人

HELD: 6th - 13th September, 1991  
VENUES: Taiyo, Toei Palace, Solaria Cinema 2  
EXHIBITION OF: 23 films from 10 nations and regions  
ATTENDANCE: 10,724

アジア映画だけに焦点を当てた本格的な国際映画祭の第1回であり、同年3月に惜しくも亡くなったインドのG. アラヴィンダン監督の作品8本(児童映画を含む)が特集上映された。亡き監督のご子息や撮影監督シャージ氏等多くの関係者が参加し、上映後に観客とディスカッションを行うという福岡映画祭のスタイルがこの時からスタートした。

オープニング上映作品『客途秋恨』は、監督アン・ホイの自伝的要素も加わり湯布院で撮影が行われたが、その時の関係者が舞台挨拶に立った。また香港映画『川島芳子』では、観客のひとりが川島芳子に直接出会ったことがあると発言するなど、九州とアジアとの交流の歴史が深いことが改めて証明される結果となった。

秀作部門で上映された13本の作品は、期せずして家族の離散や故郷の喪失というテーマが浮かび上がる選択となった。『キルソドム』や『バナナ・パラダイス』、『希望の行方』や『サイクリスト』はアジアの今日的な問題を鮮やかに示し、映画がもつ社会的な力を十分に発揮した。また、朝鮮民主主義人民共和国からは学術映画ではあるが1本出品され、来日した監督が韓国のイム・グォンテック監督とパーティーで抱き合うシーンが見られるなど映画人同士の交流が花開いた。児童映画部門では、後に岩波ホールで上映されることになる『青空がぼくの家』等3本が上映され、日本語字幕を付けずに地元劇団の役者によるヴォイスオーバー方式が試みられた。

「アジアの映画人はアジア映画を知っているか」と題されたシンポジウムが開催された。参加した10カ国・地域の監督、評論家、映画祭関係者によってアジア文化における映画の果たす役割や映画製作の難しさ、隣国の映画を容易に観られない現状等さまざまな問題が熱心に討議された。また、トークショー「映画が語るアジア文化」では、インドのサイー・パラーンジペー監督の「福岡にアジアのフィルム・ライブラリーを作っては」という提言が出され、後の福岡市総合図書館フィルムアーカイヴ開設へと繋がっていく。



川島芳子 / The Last Princess of Manchuria (Kawashima Yoshiko)



客途秋恨 / Song of the Exile



夢二 / Yumeji



〈オープニング上映〉客途秋恨(1990年 香港・台湾)

OPENING FILM: *Song of the Exile* (1990/Hong Kong, Taiwan)

This was the first year for the Focus on Asia Fukuoka International Film Festival, a film festival that features only Asian films. The first year of our film festival featured 8 films from the late Indian film director, G. Aravindan who passed away in March, 1991. Of the 8 films, one was specially made to appeal to children. The retrospective exhibition was joined by its distinguished guests including the son of the late G. Aravindan, and Shaji N. Karun, a director of photography. A unique feature of holding Q&A sessions after film screenings, began with our first festival.

As the opening film, *Song of the Exile*, an autobiographical film by Ann Hui, was shot in Yufuin, Kyushu, a number of the production staff involved in the shooting were also invited on stage to be greeted. At the Q&A session of *The Last Princess of Manchuria* (Kawashima Yoshiko), a member of the audience recalled meeting the real Yoshiko Kawashima in the past. Such events turned out to once again prove the long and close relationship between Asia and Kyushu.

The 13 films shown in the "Excellent Films of Asia" section of the festival, unintentionally turned out to be a collection of motion pictures dealing with the separation of family and the loss of one's hometown. Problems facing Asia today were explicitly depicted in such films as *Gilsodum*, *Banana Paradise*, *The Immigrants* and *The Cyclist*. At the same time, these films demonstrated what cinema could do for our society. From the Democratic People's Republic of Korea came an academic film, *The Land of the Equestrian People, Vol.3:Koguryo*. The director of the film and Im Kwon-taek, a film director from the Republic of Korea, hugged each other at a party sponsored by the film festival. Such was the type of exchange witnessed between people in the film industry at our festival. 3 films were introduced in the "Films for Children" section of our festival. Among them was *My Sky, My Home* which later was screened at the Iwanami Hall in Tokyo. These films did not have Japanese subtitles. Instead, actors and actresses from a local theatrical company recited the dialog in Japanese to the audience.

The festival held a symposium entitled "Do People in the Asian Film Industry Really Understand Asian Films?" At the symposium, film directors, film critics and others in the film industry from 10 Asian countries and regions, held a heated discussion covering such subjects as the role of cinema in Asian culture, difficulties encountered in filmmaking, and trends making the viewing of films from neighboring countries difficult. At a talk session held under the theme of "Asian Culture Depicted in Film", an Indian film director Sai Paranjypte proposed that Fukuoka establish a library of Asian films, a suggestion that led to the future establishment of the Fukuoka City Public Library Film Archive.

## PROGRAM FOR 1991

※作品名の後に★の付いている作品は福岡市総合図書館所蔵  
★ Part of the Fukuoka City Public Library Film Archive Collection  
掲載順序: 題名 Title / 監督 Director / 製作年 / 製作国 Country of Production / カラー / 分數

## アラヴィンダン回顧上映 Aravindan's Retrospective

黄金のシーター★ Golden Sita	G. アラヴィンダン	G. Aravindan	1977 / インド India / Color / 87min.
サーカス★ The Circus Tent	G. アラヴィンダン	G. Aravindan	1978 / インド India / BW / 129min.
魔法使いのおじいさん★ The Bogey-Man	G. アラヴィンダン	G. Aravindan	1979 / インド India / Color / 88min.
エスタッパン★ Stephen	G. アラヴィンダン	G. Aravindan	1979-80 / インド India / Color / 93min.
黄昏★ Twilight	G. アラヴィンダン	G. Aravindan	1981 / インド India / Color / 108min.
チダンバラム Chidambaram	G. アラヴィンダン	G. Aravindan	1985 / インド India / Color / 103min.
追われた人々★ The Dispossessed	G. アラヴィンダン	G. Aravindan	1990 / インド India / Color / 102min.

## アジアの秀作映画 Excellent Films of Asia

サイクリスト★ The Cyclist	モフセン・マフマルバフ	Mohsen Makhmalbaf	1989 / イラン Iran / Color / 83min.
希望の行方★ The Immigrants	サイー・パラーンジペー	Sai Paranjypte	1990 / インド India / Color / 135min.
囚われの美女 ロロ・ムンドゥット★ Roro Mendut	アミ・プリヨノ	Ami Priyono	1982 / インドネシア Indonesia / Color / 107min.
十月になれば★ How I Long for October	ダン・ニャット・ミン	Dang Nhat Minh	1984 / ベトナム Vietnam / BW / 86min.
李蓮英〜清朝最後の宦官★ Li Lianying, The Imperial Eunuch	ティエン・チュアンチュアン(田社社)	Tian Zhuang Zhuang	1990 / 中国・香港 China, Hong Kong / Color / 106min.
客途秋恨 Song of the Exile	アン・ホイ(許鞍華)	Ann Hui	1990 / 香港・台湾 Hong Kong, Taiwan / Color / 100min.
川島芳子	エディ・フォン(方令正)	Eddie Fong	1990 / 香港 Hong Kong / Color / 97min.
The Last Princess of Manchuria (Kawashima Yoshiko)			
バナナ・パラダイス★ Banana Paradise	ワン・トン(王童)	Wang Tung	1989 / 台湾 Taiwan / Color / 145min.
騎馬民族国家・第3編「高句麗」	バク・キルス(박철순/朴吉洙)	Pak Kil Su	1990 / 北朝鮮・日本 North Korea, Japan / Color / 70min.
The Land of the Equestrian People, vol. 3: Koguryo	ソン・チグク(成国國)	Song Chi Guk	
キルソドム★ Gilsodum	イム・グォンテック(임권택/林權澤)	Im Kwon Taek	1985 / 韓国 Korea / Color / 101min.
夢二 Yumeji	鈴木清順	Suzuki Seijun	1991 / 日本 Japan / Color / 128min.
ワールド・アパートメント・ホラー World Apartment Horror	大友克洋	Otomo Katsuhiro	1991 / 日本 Japan / Color / 97min.
三国志・第一部「英雄たちの夜明け」	勝間田具治	Katsumata Tomoharu	1991 / 日本 Japan / Color / 137min.
Romance of the Three Kingdoms, Part 1: The Dawn of Heroes			

## 子どもの映画 Films for Children

子象ちゃん★	G. アラヴィンダン、N. マーダヴァン・ピッライ	G. Aravindan, N. Madhavan Pillai	
The Catch			1984・85 / インド India / Color / 29min.
Naming Ceremony			1991 / インド India / Color / 9min.
青空がぼくの家★ My Sky, My Home	スラムット・ラハルジョ・ジャロット	Slamet Rahardjo Djarot	1989 / インドネシア Indonesia / Color / 105min.
ステファノとグレチェン★ Oseam	バク・チョルス(박철순/朴吉洙)	Park Chul Soo	1990 / 韓国 Korea / Color / 115min.

■トークショー「映画が語るアジア文化」(9月10日/イムズホール)

■シンポジウム「福岡映画祭シンポジウム〜アジアの映画人はアジアの映画を知っているか」(9月11日/福岡市役所15階講堂)



魔法使いのおじいさん / The Bogey-Man



囚われの美女 ロロ・ムンドゥット / Roro Mendut



希望の行方 / The Immigrants



青空がぼくの家 / My Sky, My Home



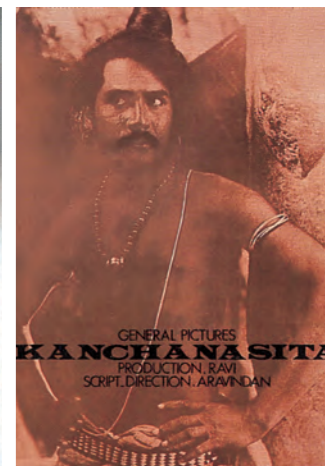
キルソドム / Gilsodum



サイクリスト / The Cyclist



バナナ・パラダイス / Banana Paradise



黄金のシーター / Golden Sita

1992



期 間 9月11日(金)~21日(月)  
会 場 ソラリアシネマ1、  
宝塚シネマ2、スカラエスパシオ  
内 容 18カ国・地域27作品(協賛企画除く)  
入場者数 11,885人(協賛企画除く)

HELD: 11th - 21st September, 1992  
VENUES: Solaria Cinema 1, Takarazuka Cinema 2, Skala Espacio  
EXHIBITION OF: 27 films from 18 nations and regions  
ATTENDANCE: 11,885

福岡映画祭の目的のひとつに知られざるアジア映画の発掘がある。ベトナム映画特集で上映された9本の作品がこの目的を世界的な意味で果たすことになった。国内では国際交流基金「東南アジア祭 '92」の一環として東京で全作品が上映され、また『河の女』や『黒いサボテン』等がNHK-BS2で放映された。国際的にはハワイ、香港等の各映画祭、ニューヨークやシカゴ等での上映会に招待され、その都度プリントが福岡から貸し出された。これは当時ベトナムに字幕を製作する技術がなく、福岡で上映したものが唯一の外国語字幕付きプリントだったことによる。

珍しいドキュメンタリーも2本上映された。モンゴルの『ハルハ河の英雄的な頁』は、日本ではノモンハン事件と呼ばれている1939年の軍事衝突をモンゴル側から撮影した作品で、当時福岡近郊からの部隊が多数参加していたらしく、高齢の観客が集まり入場者ベスト1を記録した。もう1本はバングラデシュからのビデオ作品『民衆の中の顔』で、民主主義が完全に達成されていない政治社会状況を映し出していた。

また、ベトナム人監督による『空白のページ』は、ポルポト政権下のカンボジアを描いてインドシナ半島の複雑な政治状況を示し、カザフスタン映画『少年と狼』は、なじみの薄い中央アジア地域も確かにアジアの一員だとわれわれに感じさせ、ともにアジアの多様性を伝えてくれた。『始皇帝暗殺』(チェン・カイコー監督)では俳優としても活躍しているスン・チョウ監督は、監督作『心の香り』が中国珠江撮影所による作品だったこともあり、福岡市と友好都市である広州市が窓口となって来日を果たした。

この年から期間が10日間に延長され、映画祭情報をコンパクトにまとめたハンドブックが無料配布されるようになった。



ハルハ河の英雄的な頁—ノモンハン事件—  
The Heroic Pages from the History of the Haruha River Region



上海假期 / My American Grandson



はるか、ノスタルジ / Haruka, Nostalgie



〈オープニング上映〉めざめ(1991年インド)

OPENING FILM: *The Initiation* (1991/India)

One of the objectives of the Fukuoka International Film Festival lies in uncovering unrecognized Asian films. The 9 films featured in the festival's "A Collection of Vietnamese Films" section in 1992 served to achieve this objective at the international level. In Japan, all 9 films were exhibited in Tokyo as a part of the South-East Asian Film Festival '92, organized by the Japan Foundation. Films such as *The Girl on the River* and *The Black Cactuses* were televised on NHK-BS2 (NHK's broadcast satellite channel). Outside Japan, these films were invited to international film festivals such as those held in Hawaii and Hong Kong. The films were screened in NY and Chicago as well. On each occasion, the prints were sent from Fukuoka on loan. Because Vietnam at the time lacked the know-how of putting subtitles on to film, the prints held by the City of Fukuoka became the only material subtitled in a foreign language.

Our festival also exhibited two rare documentary films. *The Heroic Pages from the History of the Haruha River Region* dealt with a phase of military disturbance which broke out in 1939, referred to by the Japanese as the "Nomonhan Incident", presented from the point of view of Mongolia. The film drew the largest crowd at the festival, with the audience being predominantly elderly. One of the reasons for this lay in the fact that military units stationed around the City of Fukuoka at the time were eventually sent to the battlefield depicted in the motion picture, thus attracting many of the elderly to the film. The other documentary was a video production from Bangladesh entitled *Face in the Millions*, which depicted political and social dilemma in a region where democracy is yet to be realized.

Depicting Cambodia under the Pol Pot regime, *White Page* directed by a Vietnamese, presented an excellent picture of the complex political situation in Indochina. *Wolf Cub among People* from Kazakhstan made us aware that Central Asia, which is often less familiar to the Japanese, was unmistakably a part of Asia. These films conveyed an air of diversity of Asia.

Film director Sun Zhou, who played an active part as an actor in *The First Emperor* directed by Chen Kaijie, brought his latest film, *The True Hearted*, which was made by the Pearl River Film Company of Guangzhou, China. Sun Zhou's visit was made possible through the cooperation of the City of Guangzhou and the City of Fukuoka, two cities bound by an accord of friendship.

From 1992, the festival was extended to 10 days. Free distribution of the informative festival "Handbook" also started from this year.

## PROGRAM FOR 1992

※日本語の[ ]内は、劇場公開題 ※作品名の後に★の付いている作品は福岡市総合図書館所蔵  
★ Part of the Fukuoka City Public Library Film Archive Collection  
掲載順序: 題名 Title / 監督 Director / 製作年 / 製作国 Country of Production / カラー / 分鏡

## ベトナム映画特集 Our Feature on Film Director Oigigami Naoko

ハノイの少女★ <i>The Little Girl of Hanoi</i>	ハーイ・ニン Hai Ninh	1974 / ベトナム Vietnam / BW / 77min.
静か過ぎる町★ <i>The Quiet Town</i>	レー・ドック・ティエン Le Duc Tien	1986 / ベトナム Vietnam / BW / 77min.
とんちんかんなボム★ <i>Bom, the Fool</i>	レー・ドック・ティエン Le Duc Tien	1987 / ベトナム Vietnam / Color / 85min.
河の女★ <i>The Girl on the River</i>	ダン・ニャット・ミン Dang Nhat Minh	1987 / ベトナム Vietnam / Color / 98min.
夢の中のランプ★ <i>Light in Dream</i>	ド・ミン・トゥアン Do Minh Tuan	1987 / ベトナム Vietnam / BW / 75min.
退役将軍★ <i>The Retired General</i>	グエン・カック・ロイ Nguyen Khac Loi	1988 / ベトナム Vietnam / BW / 92min.
幸福になりたい★ <i>Luck Trier</i>	トゥ・フイ Tu Huy	1989 / ベトナム Vietnam / BW / 84min.
黒いサボテン★ <i>The Black Cactuses</i>	レー・ザン Le Dan	1991 / ベトナム Vietnam / Color / 90min.
街角の歌★ <i>The Strolling Singers</i>	チャウ・フエ Chau Hue	1991 / ベトナム Vietnam / Color / 89min.

## アジアの秀作映画 Excellent Films of Asia

めざめ★ <i>The Initiation</i>	アルン・コウル Arun Kaul	1991 / インド India / Color / 140min.
少年と狼★ <i>Wolf Cub among People</i>	タルガット・テメノフ Talgat Temenov	1989 / カザフスタン Kazakhstan / Color / 85min.
民衆の中の顔 <i>Face in the Millions</i>	ザキル・ホセイン・ラジュ Zakir Hossain Raju	1990 / バングラデシュ Bangladesh / Color / 24min.
空白のページ★ <i>White Page</i>	ホー・クワン・ミン Ho Quang Minh	1991 / カンボジア・スイス Cambodia, Switzerland / Color / 100min.
ハルハ河の英雄的な頁—ノモンハン事件—★ <i>The Heroic Pages from the History of the Haruha River Region</i>	トゥデビーン・チミッド(解説者) Tudevijn Chimid	1991 / モンゴル Mongolia / BW & Color / 71min.
心の香り★ <i>The True Hearted</i>	スン・チョウ(孫周) Sun Zhou	1992 / 中国 China / Color / 98min.
上海假期★ <i>My American Grandson</i>	アン・ホイ(許鞍華) Ann Hui	1991 / 台湾・香港 Taiwan, Hong Kong / Color / 100min.
剣士 [スウォーズマン剣士列伝] <i>Swordsman</i>	キン・フー(胡金銓) King Hu	1990 / 香港 Hong Kong / Color / 125min.
	ツイ・ハーク(徐克) Tsui Hark	
	チン・シウトン(程小東) Ching Siu Tung	
ミョンジャ・明子・ソーニャ <i>Myungja - Akiko - Sonya</i>	イ・ジャンホ(이정호/李長鎬) Lee Jang Ho	1992 / 韓国 Korea / Color / 140min.
はるか、ノスタルジ <i>Haruka, Nostalgie</i>	大林宣彦 Obayashi Nobuhiko	1991 / 日本 Japan / Color / 165min.
福本耕平かく走りき <i>Kohei's Race</i>	久保田傑 Kubota Suguru	1992 / 日本 Japan / Color / 113min.

## 東南アジア映画 Films from South-East Asia

勇者の道 <i>Path of the Brave</i>	ユッタナー・ムクダーサニット Yuthana Mukdasanit	1991 / タイ Thailand / Color / 133min.
アナザー・ワールド★ <i>The Two Worlds</i>	チャード・ソンスイー Cherd Songsri	1990 / タイ Thailand / Color / 136min.
ハッサン軍曹 <i>Sergeant Hassan</i>	ランベルト・アヴェリャーナ Lamberto Avellana	1958 / マレーシア Malaysia / BW / 121min.
パシコムおじさん <i>Uncle Pasikom</i>	ハエルル・ウマム Chaerul Umam	1991 / インドネシア Indonesia / Color / 84min.
マニラ・光る爪 <i>Manila: In the Claws of Light</i>	リノ・ブロッカ Lino Brocka	1975 / フィリピン Philippines / Color / 125min.

## 児童映画 Films for Children

七つの海を越えて★ <i>Beyond the Seven Seas</i>	サイド・アンジュム Saeed Anjum	1991 / パキスタン・ノルウェー Pakistan, Norway / Color / 88min.
娃娃(ワワ)と子豚★ <i>A Piggy Tail</i>	コ・イーチョン(柯一正) Ko I Cheng	1991 / 台湾 Taiwan / Color / 101min.

■協賛企画: パワー・オブ・アジア〜世紀末ヤングシネマ・バトルロイヤル(主催/パワー・オブ・アジアプロジェクト)  
■ベトナムについての講演会(9月14日/スカラエスパシオ)



黒いサボテン / The Black Cactuses



少年と狼 / Wolf Cub among People



空白のページ / White Page



心の香り / The True Hearted



ミョンジャ・明子・ソーニャ / Myungja-Akiko-Sonya



ハッサン軍曹 / Sergeant Hassan



七つの海を越えて / Beyond the Seven Seas



娃娃と子豚 / A Piggy Tail



アナザー・ワールド / The Two Worlds



とんちんかんなボム / Bom, the Fool



ハノイの少女 / The Little Girl of Hanoi



街角の歌 / The Strolling Singers

1993



期 間	9月9日(木)～19日(日)	
会 場	ソラリアシネマ1、 ニュー大洋1、都久志会館、 スカラエスパシオ	
内 容	14カ国・地域 27作品(協賛企画除く)	
入場者数	アジアフォーカス・福岡映画祭1993 第38回アジア太平洋映画祭 合計	11,235人 4,855人 16,090人

HELD: 9th - 19th September, 1993  
 VENUES: Solaria Cinema 1, New Taiyo 1, Tsukushi Kaikan, Skala Espacio  
 EXHIBITION OF: 27 films from 14 nations and regions  
 ATTENDANCE: Focus on Asia '93 - FIFF 11,235  
 38th Asian-Pacific Film Festival 4,855  
 Total 16,090

9月7日から10日まで「第38回アジア太平洋映画祭」が同時開催されたことで、より一層の賑わいをみせた。観客は例年に増して多くのアジア映画を目にすることができ、またジャッキー・チェンや名取裕子など内外の豪華なゲストたちと接することができた。

前年のベトナム映画特集に続き、この年のモンゴル映画特集も世界的に注目を集めた。上映された6本の作品は翌年2月のベルリン国際映画祭フォーラム部門で全作品が紹介され、ハワイやインドの各映画祭でも一部が紹介された。モンゴル映画は外国語の字幕を付ける技術もなく、資金もままならないため、独自に国外の映画祭に出品できず、『マンドハイ』等の一部の作品を除いて、国内に埋もれたままになっていた。

1993年のベルリン国際映画祭でグランプリを分けあったのは中国と台湾の作品だった。その『香魂女』と『ウェディング・バンケット』がともに上映され、入場者数の上位を占めた。ゲストで訪れた『ウェディング・バンケット』の父子役は当然のことながら、到るところでサイン責めにあっていた。

イラン映画といえば真っ先にアッバス・キアロスタミ監督の名前があげられるが、日本で人気を決定づけたのが『友だちのうちはどこ?』である。この作品は福岡においても、その後のイラン映画への関心を高める上で大きな役割を果たしたことはいうまでもない。

日本映画は福岡出身の川島透監督作品と、『アドレナリンドライブ』でパワー全快なところを見せた矢口史靖監督の劇場用長編第1作で、ともに異色の作品であった。

協賛企画として『草の上の仕事』や『ヒルコ〜妖怪ハンター』などの日本の若手作家の長・短編16作品が上映された。



香魂女 / Oilmakers' Family



ウェディング・バンケット / The Wedding Banquet



友だちのうちはどこ? / Where is the Friend's Home?



〈オープニング上映〉至福の禍 (1991年 モンゴル)

OPENING FILM: An Unfortunate Fortune (1991/Mongolia)

From September 7th through the 10th, the 38th Asia-Pacific Film Festival was held at the same time as our festival. This created a richer content for our entire festival. The audience enjoyed more Asian films and had more opportunities in seeing prominent guests from both Japan and abroad. Guests included such celebrities as Jackie Chan and Yuko Natori.

Like the Vietnamese films collection during the previous year, the Mongolian Films Collection during our 1993 festival received worldwide attention. All six of the exhibited films were introduced at the International Forum of New Cinema at the Berlin International Film Festival in February of the following year. A portion of the collection was also shown in film festivals in Hawaii and India. The lack of funds and unfamiliarity with know-how and technology of putting foreign subtitles to film had prevented most Mongolian films, with a few exceptions such as *Manduhai*, from being shown in international film festivals. As a result, these films had been buried within Mongolia.

*Oilmakers' Family* from China and *The Wedding Banquet* from Taiwan shared the Grand Prix Prize at the Berlin International Film Festival. These films were both shown in 1993 in Fukuoka where they took top audience ranking. The actors who played the roles of father and son in *The Wedding Banquet* were, naturally, bombarded with requests for autographs wherever they went.

When thinking of Iranian films, the name Abbas Kiarostami comes to mind first. Kiarostami established his popularity in Japan with *Where is the Friend's Home?*, which was exhibited during our 1993 festival. Needless to say, this motion picture also played a significant role in enticing Fukuoka's interest towards Iranian films.

As for Japanese films, a motion picture by Toru Kawashima from Fukuoka is introduced. Shinobu Yaguchi, who exploded his energy in his film, *Adrenaline Drive*, brought his first feature motion picture to our festival. Both were unique films.

In sponsored events, 16 feature films and short films, including *Work on the Grass* and *Hiruko* presented by young Japanese film directors, were exhibited at our festival.

## PROGRAM FOR 1993

※作品名の後に★の付いている作品は福岡市総合図書館所蔵  
 ★ Part of the Fukuoka City Public Library Film Archive Collection  
 掲載順序: 題名 Title / 監督 Director / 製作年 / 製作国 Country of Production / カラー / 分數

## モンゴル映画特集 Mongolian Films Collection

モンゴルの息子 <i>Son of Mongolia</i>	I.トラウベルク I. Trauberg	1936 / モンゴル Mongolia / BW / 89min.
ゴビの蜃気楼 <i>Mirage above the Gobi Desert</i>	R.ドルジバラム R. Dorjpalam	1980 / モンゴル Mongolia / Color / 100min.
牙 <i>The Fang</i>	バヤンツァガネ・バートル Bayanzagane Baatar	1991 / モンゴル Mongolia / BW / 90min.
枷(かせ) <i>Shackles</i>	ナンサリーン・オランチメグ N. Uranchimeg	1991 / モンゴル Mongolia / BW / 75min.
至福の禍 <i>An Unfortunate Fortune</i>	N. ニヤムダワ N. Nyamdawaa	1991 / モンゴル Mongolia / Color / 67min.
風雲の聖者 <i>A Saint in a Turbulent Age</i>	Ts. シェレンドルジ Ts. Tserendorj L. シャラブドルジ L. Sharavdorj	1992 / モンゴル Mongolia / Color / 134min.

## アジアの秀作映画 Excellent Films of Asia

選択★ <i>The Need</i>	アリレザ・ダヴドネジャード Alireza Davudnezhad	1991 / イラン Iran / Color / 81min.
神の与えしもの★ <i>Creation</i>	T. ハリハラン T. Hariharan	1992 / インド India / Color / 147min.
香魂女★ <i>Oilmakers' Family</i>	シエ・フェイ(謝飛) Xie Fei	1993 / 中国 China / Color / 103min.
ウェディング・バンケット★ <i>The Wedding Banquet</i>	リー・アン(李安) Lee Ang	1993 / 台湾 Taiwan / Color / 102min.
われらの歪んだ英雄 <i>Our Twisted Hero</i>	パク・チョンウォン(박종원) Park Chong Won	1992 / 韓国 Korea / Color / 119min.
開闢(かいびやく)★ <i>Kae Byok</i>	イム・グォンテク(임권택/林権澤) Im Kwon Taek	1991 / 韓国 Korea / Color / 135min.
押繪と旅する男★ <i>Mirage</i>	川島透 Kawashima Toru	1992 / 日本 Japan / Color / 84min.
裸足のピクニック★ <i>Down the Drain</i>	矢口史靖 Yaguchi Shinobu	1992 / 日本 Japan / Color / 92min.

## 児童映画 Children's Films

友だちのうちはどこ?★ <i>Where is the Friend's Home?</i>	アッバス・キアロスタミ Abbas Kiarostami	1987 / イラン Iran / Color / 90min.
ぼくの家出★ <i>Shelter</i>	シヴァン Sivan	1991 / インド India / Color / 93min.

■協賛企画: パワー・オブ・アジア〜ヤングシネマ・バトルロイヤル1993(主催/パワー・オブ・アジアプロジェクト)  
 ■モンゴル・フォーラム(9月11日/イムズホール)  
 ■第38回アジア太平洋映画祭 The 38th Asia-Pacific Film Festival



モンゴルの息子 / Son of Mongolia



風雲の聖者 / A Saint in a Turbulent Age



選択 / The Need



神の与えしもの / Creation



開闢 / Kae Byok



裸足のピクニック / Down the Drain



ぼくの家出 / Shelter



悪魔のしるし / Devil's Mark



ゴビの蜃気楼 / Mirage above the Gobi Desert



われらの歪んだ英雄 / Our Twisted Hero



押繪と旅する男 / Mirage



牙 / The Fang

## 1994



期 間	9月9日(金)~18日(日)	
会 場	ソラリアシネマ1、 ニュー大洋2、明治生命ホール	
内 容	13カ国・地域36作品	
入場者数	アジアフォーカス・福岡映画祭1994	14,084人
	協賛企画など	2,940人
	合計	17,024人

HELD: 9th - 18th September, 1994  
 VENUES: Solaria Cinema 1, New Taiyo 2, Meiji Seimei Hall  
 EXHIBITION OF: 36 films from 13 nations and regions  
 ATTENDANCE: Focus on Asia '94 - FIFF 14,084  
 Sponsored Events 2,940  
 Total 17,024

タイで女性の権利のために闘った実在の人物を、人気女優チンタラー・スカパットが演じた話題作『ムアンとリット』をオープニング作品にしたこの年の映画祭では、協賛企画や特別上映など含めて36作品が上映された。

特集上映は、シンハラ語映画の歴史を変えたといわれる『運命線』など新旧7作品を集めたスリランカ映画で、同作品のレスター・J・ペーリス監督をはじめとする10人がゲストとして来福。「スリランカの映画と文化」と題したフォーラムも併せて開催され、映画と文学を含めたスリランカ文化の紹介が行われた。

トルコの『メルセデス、わが愛』というほろ苦い喜劇が大変評判となった。ドイツに移住した男の目を通して描かれた故郷の物語は、ギュネイ監督とはまた違ったトルコの一面を見せてくれた。また、70年代の解放前夜を撮ったラオス映画と、父子関係を人情味豊かに描いたミャンマー映画の2本の長編作品が上映されたのも日本ではきわめて珍しいことであった。

例年観客動員力が高いのが中国語圏映画である。香港の『新不了情 [つきせぬ想い]』は、女優アンタ・ユンの魅力と相まって観客が長蛇の列を作った。福岡の反応を見た翌日、東京のプロモーションに向かった監督と女優の顔には自信が満ち溢れていた。リー・アン監督の『飲食男女 [恋人たちの食卓]』(台湾)、中国の『哀戀花火』の新作上映とともに協賛企画で『上海ブルース』(ツイ・ハーク監督)や『天幻城市』等これまで福岡で劇場公開されなかったニューウェーブ作品がプログラムされ、中国語圏映画の紹介が大きく進んだ年であった。

「アジア映画監督会議」も協賛企画で実施され、ホウ・シャオシェンや川島透らアジアの監督たちがアジア映画について語り合った。



新不了情 [つきせぬ想い] / C'est la Vie, Mon Chéri



飲食男女 [恋人たちの食卓] / Eat Drink Man Woman



哀戀花火 / Red Firecracker, Green Firecracker



〈オープニング上映〉ムアンとリット(1994年タイ)

OPENING FILM: *Muen and Rid* (1994/Thailand)

Beginning with the opening film *Muen and Rid*, starring Jintara Sukhapat, a popular actress from Thailand who played the non-fictional role of a woman who fought for women's right in her country, 36 films were exhibited at our festival, including motion pictures shown under the categories of sponsored events and special programs.

The festival put on a feature of Sri Lankan Films in 1994. Seven Sri Lankan motion pictures, both new and old, were shown including *The Line of Destiny*, a film considered to have changed the history of Sinhalese films. Ten film industry related guests from Sri Lanka were invited to Fukuoka including Lester J. Peries, director of *The Line of Destiny*. A forum was held under the theme of "Sri Lankan Cinema and Culture", which introduced the culture of Sri Lanka including its literature and films.

*Mercedes, Mon Amour* from Turkey, a bittersweet comedy, enjoyed a favorable reception. The story of one's hometown depicted through the eyes of a Turkish migrant in Germany, explored a different aspect of Turkey than that of Yilmaz Guney, another Turkish film director. Two feature films, one from Laos and the other from Myanmar, recalled the eve of national liberation, and depicted respectfully in a warm manner, the relationship between a father and his children. Films from these countries are rarely introduced in Japan.

Every year, Chinese language films attract large crowds. Drawn to the charm of Anita Yuen, audiences waited in long lines to see *C'est la Vie, Mon Chéri*. Looking confident after seeing the audience reaction in Fukuoka, the film director and starring actress, Anita Yuen, left for Tokyo a day later to promote the motion picture. In addition to new films in the likes of *Eat Drink Man Woman* by Lee Ang and *Red Firecracker, Green Firecracker* from China, new wave pictures such as Tsui Hark's *Shanghai Blues*, and *Dust of Angels* saw their premier in Fukuoka by being programmed in the sponsored event section of the festival, thus helping promote the introduction of even more Chinese language motion pictures.

As one of the sponsored events, the Asian Film Directors' Conference was held where Asian filmmakers such as Hou Hsiao Hsien and Toru Kawashima debated Asian cinemas.

## PROGRAM FOR 1994

※日本語題の[ ]内は、劇場公開題 ※作品名の後に★の付いている作品は福岡市総合図書館所蔵  
 ★ Part of the Fukuoka City Public Library Film Archive Collection  
 掲載順序: 題名 Title / 監督 Director / 製作年 / 製作国 Country of Production / カラー / 分数

スリランカ映画特集 Sri Lanka Films Collection				
運命線★ <i>The Line of Destiny</i>	レスター・ジェームス・ペーリス Lester James Peries	1956 / スリランカ Sri Lanka / BW / 90min.		
変革の時代★ <i>The Age of Kali</i>	レスター・ジェームス・ペーリス Lester James Peries	1982 / スリランカ Sri Lanka / Color / 85min.		
日が沈むところ★ <i>Where the Sun Sets</i>	レスター・ジェームス・ペーリス Lester James Peries	1994 / スリランカ Sri Lanka / Color / 180min.		
長女★ <i>The Eldest Daughter</i>	スミトラ・ペーリス Sumitra Peries	1993 / スリランカ Sri Lanka / Color / 144min.		
その橋の下で★ <i>Under the Bridge</i>	H. D. プレマラトゥナ H. D. Premaratne	1990 / スリランカ Sri Lanka / Color / 143min.		
大都会 <i>The City</i>	H. D. プレマラトゥナ H. D. Premaratne	1993 / スリランカ Sri Lanka / Color / 112min.		
蓮の道★ <i>The Way of the Lotus</i>	ティッサ・アペーセカラ Tissa Abeysekara	1987 / スリランカ Sri Lanka / Color / 140min.		

アジアの秀作映画 Excellent Films of Asia				
メルセデス、わが愛★ <i>Mercedes, Mon Amour</i>	ベイ・オカン Bay Okan	1993 / トルコ Turkey / Color / 95min.		
従属する者★ <i>The Servile</i>	アドゥール・ゴーパーラクリシュナン Adoor Gopalakrishnan	1993 / インド India / Color / 112min.		
川の流れるように★ <i>Down Stream</i>	チャー・ソウ・トン Kyi Soe Tun	1989 / ミャンマー Myanmar / Color / 114min.		
レッド・ロータス★ <i>The Red Lotus</i>	ソムオック・スッティポン Som-ok Southiphone	1988 / ラオス Laos / BW / 83min.		
ムアンとリット★ <i>Muen and Rid</i>	チャード・ソンスイー Cherd Songsri	1994 / タイ Thailand / Color / 120min.		
帰還★ <i>The Return</i>	ダン・ニャット・ミン Dang Nhat Minh	1994 / ベトナム Vietnam / Color / 110min.		
哀戀花火★ <i>Red Firecracker, Green Firecracker</i>	ハー・ピン (何平) He Ping	1994 / 中国 China / Color / 111min.		
新不了情 [つきせぬ想い]★ <i>C'est la Vie, Mon Chéri</i>	イー・タンシン (爾冬陸) Derek Yee Tung Sing	1993 / 香港 Hong Kong / Color / 99min.		
飲食男女 [恋人たちの食卓]★ <i>Eat Drink Man Woman</i>	リー・アン (李安) Lee Ang	1994 / 台湾 Taiwan / Color / 123min.		
その木戸を通して <i>Fusa</i>	市川崑 Ichikawa Kon	1992 / 日本 Japan / Color / 92min.		
妻はフィリピーナ <i>My Wife is Filipina</i>	寺田靖範 Terada Yasunori	1993 / 日本 Japan / Color / 100min.		

児童映画 Children's Film				
ザ・ブーツ★ <i>The Boots</i>	モハマッド=アリ・タレビ Mohammad-Ali Talebi	1993 / イラン Iran / Color / 60min.		
おせっかいはNO、愛はOK★ <i>Love is Oh Yeah</i>	キム・ユジン (김윤진 / 金裕珍) Kim Yoo Jin	1993 / 韓国 Korea / Color / 98min.		

- スリランカ・フォーラム(9月12日/福岡市役所15階講堂)
- 協賛企画:アジア映画監督会議(9月11日/イムズホール)
- 協賛企画:中国語圏映画特集(主催/福岡映画祭企画委員会 9月11日~16日/ニュー大洋)
- 協賛企画:ヤングシネマ・バトルロイヤル(主催/福岡映画祭企画委員会 9月14日~15日/ソラリアシネマ1、ニュー大洋)
- 特別上映:『エンジェル・ダスト』『戯夢人生』



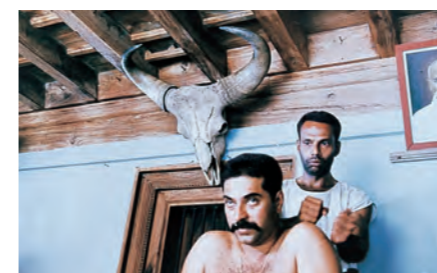
日が沈むところ / Where the Sun Sets



蓮の道 / The Way of the Lotus



メルセデス、わが愛 / Mercedes, Mon Amour



従属する者 / The Servile



川の流れるように / Down Stream



帰還 / The Return



ザ・ブーツ / The Boots



おせっかいはNO、愛はOK / Love is Oh Yeah



その橋の下で / Under the Bridge

1995



期 間 9月14日(木)~24日(日)  
 会 場 ソラリアシネマ1、  
 明治生命ホール、東映グランド  
 内 容 11カ国・地域26作品  
 入場者数 アジアフォーカス・福岡映画祭1995 15,596人  
 協賛企画 3,682人  
 合計 19,278人

HELD: 14th - 24th September, 1995  
 VENUES: Solaria Cinema 1, Meiji Seimei Hall, Toei Grand  
 EXHIBITION OF: 26 films from 11 nations and regions  
 ATTENDANCE: Focus on Asia '95 - FIFF 15,596  
 Sponsored Event 3,682  
 Total 19,278

祝祭日の関係で、会期が11日間だったこともあり、協賛企画を含め、過去最多の19,278人の入場者数を記録した。なかでも日本映画『午後の遺言状』は主演の乙羽信子さんの遺作となったこともあり、最終日の上映には会場に入りきれないほどの多くの観客が集まり、急遽、福岡映画祭初の追加上映を実施した。

特集上映は、1980年代後半から国際的に注目を集めるようになってきたイラン映画。キアロスタミ、マフマルバフだけではないイラン映画界の才能を紹介し、上映した7作品は翌年東京で開催されたイラン映画祭にも貸し出され、上映された。

またリー・アン監督(台湾)は長編デビュー作『推手』を出品、『ウェディング・バンケット』、『飲食男女 [恋人たちの食卓]』に続く“父親三部作”の3年連続上映が話題を集めた。香港のトップスター、トニー・レオンは主演作『月夜の願い』とともに参加が決定していたが、直前のベネチア映画祭で主演最新作『シクロ』が金獅子賞を受賞、スケジュール変更となり、来日は突然白紙に。トニー・レオンから待ち焦がれたファンに向けて、メッセージを録音したテープが届けられた。

なお、この年の3月に情報紙「アジアフォーカス」を創刊(年3回発行)する。このほか、アドゥール・ゴーパーラクリシュナン(インド)、チャード・ソンスィー(タイ)、ダン・ニャット・ミン(ベトナム)、ナサリーン・オランテメグ(モンゴル)といった過去福岡映画祭に参加した監督が、NHK主催のアジア・フィルム・フェスティバルで共同製作を果たしたことは、形となったひとつの成果といえるだろう。



午後の遺言状 / A Last Note



べにおしろい / 紅粉 / Blush



推手 / Pushing Hands



〈オープニング上映〉青いベール(1995年 イラン)

OPENING FILM: *The Blue-Veiled* (1995/Iran)

The festival in 1995 was held for 11 days due to a national holiday, which served as one of the reasons for its record-breaking attendance, drawing a total of 19,278 to the theaters including those who came to see the sponsored events. *A Last Note*, a posthumous work of the late Japanese actress, Nobuko Otowa, drew big crowds to the theater. Because the theater could not accommodate everyone who came to see the film, an unprecedented additional screening of the motion picture was held.

The festival in 1995 featured Iranian films that began attracting worldwide attention from the late 1980's. Apart from Abbas Kiarostami and Mohsen Makhmalbaf who had already been recognized, many other individuals representing the Iranian film industry were introduced. The seven films exhibited in Fukuoka were then placed on loan to the Iranian Film Festival which was held in 1996 in Tokyo.

Film director Lee Ang brought his first feature film, *Pushing Hands*, to our film festival in 1995. The exhibition of this film, as part of a "father's trilogy", following *The Wedding Banquet* and *Eat Drink Man Woman* which were respectively shown in Fukuoka in 1993 and 1994, became the talk of the town. Tony Leung, the star from Hong Kong, was to visit Fukuoka to promote his film, *He Ain't Heavy, He's My Father*. However, his winning the Gold Lion Award at the Venice International Film Festival held right before our festival for his starring role in *Cyclo*, forced him to change his schedule. Being forced to abruptly cancel his trip to Fukuoka, Tony Leung, instead, sent a taped message to his fans who were looking forward to seeing the actor at the festival.

Our festival news letter, "Focus on Asia", made its first appearance in March, 1995. The news letter, has since been issued three times a year. The fact that participants to our festival such as Adoor Gopalakrishnan from India, Cherd Songsri from Thailand, Dang Nhat Minh from Vietnam and N.Uranchimeg from Mongolia realized their collaborative film projects at the NHK sponsored Asian Film Festival is just one example of the fruitful results of the Focus on Asia Fukuoka International Film Festival.

## PROGRAM FOR 1995

※作品名の後に★の付いている作品は福岡市総合図書館所蔵  
 ★ Part of the Fukuoka City Public Library Film Archive Collection  
 掲載順序: 題名 Title / 監督 Director / 製作年 / 製作国 Country of Production / カラー / 分数

## イラン映画特集 Iranian Films Collection

青いベール★ <i>The Blue-Veiled</i>	ラクシャン・バニエテマド Rakhshan Bani'etamad	1995 / イラン Iran / Color / 85min.
チック・タック★ <i>Tick Tack</i>	モハマド=アリ・タレビ Mohammad-Ali Talebi	1994 / イラン Iran / Color / 65min.
パンと詩★ <i>Bread and Poetry</i>	キュマルス・ブルアマド Kiumars Poorahmad	1994 / イラン Iran / Color / 90min.
サラ★ <i>Sara</i>	ダリウシュ・メルジュイ Dariush Mehrjui	1993 / イラン Iran / Color / 100min.
これを最後に★ <i>Once and for All</i>	シルス・アルバンド Sirus Alvand	1992 / イラン Iran / Color / 98min.
戦火の中へ★ <i>Hoor on Fire</i>	アズイゾラー・ハミドネジャド Azizollah Hamidnezhad	1992 / イラン Iran / Color / 100min.
ハーモニカ★ <i>Harmonica</i>	アミル・ナデリ Amir Naderi	1973 / イラン Iran / Color / 75min.

## アジアの秀作映画 Excellent Films of Asia

私自身のもの★ <i>My Own</i>	シャージ・N. カルン Shaji. N. Karun	1994 / インド India / Color & BW / 141min.
車輪★ <i>The Wheel</i>	モルシェドウル・イスラム Morshedul Islam	1993 / バングラデシュ Bangladesh / Color / 65min.
ある時一度★ <i>Once upon a Time</i>	バンディット・リッタコン Bhandit Rittakol	1995 / タイ Thailand / Color / 125min.
貴女のためにたたかう★ <i>Redeem her Honor</i>	マリルー・ディアス=アバヤ Marilou Diaz-Abaya	1995 / フィリピン Philippines / Color / 130min.
さまよう雄鹿★ <i>Running Antelope</i>	I. ニヤムガワー I. Nyamgawaa N. ニヤムダワー N. Nyamdawaa	1993 / モンゴル Mongolia / Color / 70min.
べにおしろい / 紅粉★ <i>Blush</i>	リー・シャオホン (李少紅) Li Shao Hong	1994 / 中国 China / Color / 118min.
月夜の願い <i>He Ain't Heavy, He's My Father</i>	ピーター・チャン (陳可辛) Peter Chan チー・リー (李志毅) Chee Lee	1993 / 香港 Hong Kong / Color / 97min.
推手★ <i>Pushing Hands</i>	リー・アン (李安) Lee Ang	1991 / 台湾 Taiwan / Color / 104min.
太白山脈 <i>The Taebaek Mountains</i>	イム・グォンテク (임권택 / 林権澤) Im Kwon Taek	1994 / 韓国 Korea / Color / 168min.
午後の遺言状 <i>A Last Note</i>	新藤兼人 Shindo Kaneto	1995 / 日本 Japan / Color / 112min.
スキヤキ <i>Sukiyaki</i>	すずきじゅんいち Suzuki Junichi	1995 / 日本 Japan / Color / 94min.

■シンポジウム「イラン文化について」(9月18日 / アクロス福岡国際会議場)

■協賛企画: 中国語圏映画特集2 (主催 / 福岡映画祭企画委員会 9月15日~22日 / 東映グランド)



チック・タック / Tick Tack



パンと詩 / Bread and Poetry



戦火の中へ / Hoor on Fire



私自身のもの / My Own



車輪 / The Wheel



ある時一度 / Once upon a Time



月夜の願い / He Ain't Heavy, He's My Father



太白山脈 / The Taebaek Mountains



これを最後に / Once and for All



さまよう雄鹿 / Running Antelope



サラ / Sara



ハーモニカ / Harmonica

1996



期 間	9月13日(金)~23日(月・祝)	
会 場	ソラリアシネマ1、東映グランド、 明治生命ホール、都久志会館、 福岡市総合図書館映像ホール	
内 容	12カ国・地域40作品	
入場者数	アジアフォーカス・福岡映画祭1996	13,693人
	協力企画	1,967人
	合計	15,660人

HELD: 13th - 23rd September, 1996  
 VENUES: Solaria Cinema 1, Toei Grand, Meiji Seimei Hall,  
 Tsukushi Kaikan, Fukuoka City Public Library Movie Hall  
 EXHIBITION OF: 40 films from 12 nations and regions  
 ATTENDANCE: Focus on Asia '96 - FIFF 13,693  
 Jointly Organized Event 1,967  
 Total 15,660

この年の6月、福岡市総合図書館内に、アジア映画や日本映画の名作を中心に調査・研究、収集、保存、公開するフィルムアーカイヴが開設した。

これにより、アジア映画の情報拠点としての福岡のポジションはさらに重要なものとなり、その後、映画祭で上映されたフィルムの多くはフィルムアーカイヴに収蔵していくというシステムが確立した。

アジアでも、産業的にアメリカ映画に負けていない数少ない国フィリピンの特集は、娯楽性も兼ね備えたパワー溢れる作品を中心に、福岡在住のフィリピン人を巻き込んで大いに盛り上がった。特に前年に続いて参加のマリルー・ディアス=アバヤ監督は、その後、新作を発表することに福岡映画祭に出品してもらえるようになり、地元の市民団体との交流も積極的に引き受け、福岡ではよく知られたアジアの監督のひとりとなった。また韓国を代表するスター、アン・ソングも、代表作『祝祭』上映後、ファンに囲まれ、サイン責めにあう光景も見られた。

歌と踊りを盛り込んだ、マニラトナム監督の社会派エンターテインメント『ボンベイ』の上映は、その後の日本におけるインド娯楽映画ブームの礎となったといえるだろう。このほかにも、前年の参加をきっかけにイランと日本との合作となった『神さまへの贈り物』を上映したほか、この年参加のブラサンナ・ヴィターナゲ監督(スリランカ)、ウ=エイ・ビン・ハジサアリ監督(マレーシア)の新進ふたりは、NHKの共同製作のパートナーに選ばれた。

韓国のパク・チョルス監督も、この年の参加が縁で、福岡市の国際プロモーション・ビデオの演出を手掛けることになる。

またこの年より、参加ゲストのコメントなどを伝えるフェスティバル・ニュースが、映画祭期間中に3回発行され、観客の手にわたるようになった。



絵の中のぼくの村/Village of Dreams



ボンベイ/Bombay



熱帯魚/Tropical Fish



〈オープニング上映〉祝祭(1996年 韓国)

OPENING FILM: Festival (1996/Korea)

June, 1996, saw the inauguration of the Fukuoka City Public Library Film Archive, which researches, collects, acquires, preserves and exhibits visual material centered around masterpieces in Asian and Japanese cinema. The Film Archive has enhanced the significance of Fukuoka as a center of information on Asian films. Since 1996, a system has been established where many titles exhibited at our festival are acquired into the collection of the Film Archive.

The festival in 1996 featured a collection of films from the Philippines, one of the few countries in the world where the domestic film industry can stand up to American films in terms of box office success. Centered on powerful, robust and entertaining films, the collection brought great excitement to the audience which included Filipinos residing in Fukuoka. In particular, Marilou Diaz-Abaya, a participant to our 1995 as well as 1996 festival, has come to place her most recent works for exhibition with us. Marilou Diaz-Abaya's positive attitude towards exchanging opportunities with local civic groups has made her one of Fukuoka's best known filmmakers from Asia. Regarding exchange, we found Ahn Sung Ki, the famous Korean actor, surrounded by a crowd asking for his autograph after the screening of Festival.

The introduction of *Bombay*, an entertaining film full of song and dance dealing with social issues, can be regarded as the starting point in the popular trend of mainstream Indian cinema in Japan which we expect to see more of. The festival had the opportunity to introduce *Bag of Rice*, a collaboration effort between a Japanese and Iranian company, realized as a result of the Iranian film director's participation in our festival the year before. Additionally, two newcomers, Prasanna Vithanage of Sri Lanka and U-Wei Bin Hajisaari of Malaysia were selected by NHK for collaborative projects.

After the 1996 festival, Korean film director, Park Chul Soo, came to Fukuoka to direct an international public relations video for the City of Fukuoka.

Starting in 1996, the festival began passing out three editions of its Festival News, a bulletin report of comments made by festival participants to the audience, during the course of its festivity.

## PROGRAM FOR 1996

※日本語の[ ]内は、劇場公開題 ※作品名の後に★の付いている作品は福岡市総合図書館所蔵  
 ★ Part of the Fukuoka City Public Library Film Archive Collection  
 掲載順序: 題名 Title / 監督 Director / 製作年 / 製作国 Country of Production / カラー / 分數

## フィリピン映画特集 Philippine Films Collection

マドンナ・アンド・チャイルド★ <i>Madonna and Child</i>	マリルー・ディアス=アバヤ Marilou Diaz-Abaya	1996 / フィリピン Philippines / Color / 121min.
フロール事件★ <i>The Flor Contemplacion Story</i>	ジョエル・ランガン Joel Lamangan	1995 / フィリピン Philippines / Color / 123min.
あの日の約束★ <i>Yesterday's Promise</i>	ジョエル・ランガン Joel Lamangan	1994 / フィリピン Philippines / Color / 136min.
バイオレンス★ <i>Rage</i>	チト・S・ロニーニョ Chito S. Roño	1995 / フィリピン Philippines / Color / 104min.
あなたに夢中で★ <i>Loving Someone</i>	ホセ・ハヴィール・レイエス Jose Javier Reyes	1993 / フィリピン Philippines / Color / 117min.
愛すればこそ★ <i>Because I Love You</i>	ローリス・ギリエン Laurice Guillen	1993 / フィリピン Philippines / Color / 110min.
ノリ・メ・タンヘレ★ <i>Touch Me Not</i>	ヘラルド・デ・レオン Gerardo de Leon	1961 / フィリピン Philippines / BW / 180min.

## アジアの秀作映画 Excellent Films of Asia

夢がほんとに★ <i>Lily Is with Me</i>	キャマル・タブリジ Kamal Tabrizi	1996 / イラン Iran / Color / 100min.
父★ <i>The Father</i>	マジド・マジディ Majid Majidi	1996 / イラン Iran / Color / 92min.
神さまへの贈り物★ <i>Bag of Rice</i>	モハマッド=アリ・タレビ Mohammad-Ali Talebi	1996 / イラン・日本 Iran, Japan / Color / 81min.
ボンベイ★ <i>Bombay</i>	マニー・ラトナム Mani Ratnam	1995 / インド India / Color / 140min.
心の闇★ <i>Dark Night of the Soul</i>	ブラサンナ・ヴィターナゲ Prasanna Vithanage	1995 / スリランカ Sri Lanka / Color / 82min.
放火犯★ <i>The Arsonist</i>	ウ=エイ・ビン・ハジサアリ U-Wei Bin Hajisaari	1994 / マレーシア Malaysia / Color / 70min.
祈り★ <i>Gone, Gone, Forever Gone</i>	ホー・クワン・ミン Ho Quang Minh	1996 / ベトナム・スイス Vietnam, Switzerland / Color / 85min.
スケッチ・オブ・Peking★ <i>On the Beat</i>	ニン・イン(寧瀛) Ning Ying	1995 / 中国 China / Color / 102min.
虎度門(フードウモン) [喝采の扉] <i>Stage Door</i>	シュウ・ケイ(舒琪) Shu Kei	1995 / 香港 Hong Kong / Color / 87min.
熱帯魚★ <i>Tropical Fish</i>	チェン・ユージュン(陳玉勳) Chen Yu Hsun	1995 / 台湾 Taiwan / Color / 108min.
祝祭 <i>Festival</i>	イム・グォンテク(임권택/林權澤) Im Kwon Taek	1996 / 韓国 Korea / Color / 100min.
301・302★ <i>Three-Oh-One, Three-Oh-Two</i>	パク・チョルス(박철수/朴哲洙) Park Chul Soo	1995 / 韓国 Korea / Color / 99min.
絵の中のぼくの村★ <i>Village of Dreams</i>	東陽一 Higashi Yoichi	1995 / 日本 Japan / Color / 112min.

■フォーラム「フィリピン映画について」(9月18日/アクロス福岡国際会議場)

■関連企画:アジア映画人会議(9月13~15日/福岡市総合図書館映像ホール)

■協力企画:韓国映画祭第2期(主催/韓国映画祭実行委員会、福岡市総合図書館、KBC九州朝日放送、朝日新聞社 9月14~23日/東映グランド、福岡市総合図書館映像ホール)



フロール事件/The Flor Contemplacion Story



バイオレンス/Rage



夢がほんとに/Lily Is with Me



心の闇/Dark Night of the Soul



放火犯/The Arsonist



祈り/Gone, Gone, Forever Gone



スケッチ・オブ・Peking/On the Beat



ノリ・メ・タンヘレ/Touch Me Not



虎度門[喝采の扉]/Stage Door



神さまへの贈り物/Bag of Rice



マドンナ・アンド・チャイルド/Madonna and Child



あの日の約束/Yesterday's Promise

1997



期 間	9月12日(金)~21日(日)	
会 場	ソラリアシネマ1、 エルガーホール、都久志会館、 福岡ピカデリー	
内 容	12カ国・地域27作品	
入場者数	アジアフォーカス・福岡映画祭1997	11,866人
	協賛企画	2,251人
	合計	14,117人

HELD: 12th - 21st September, 1997  
 VENUES: Solaria Cinema 1, Elgala Hall, Tsukushi Kaikan,  
 Fukuoka Piccadilly  
 EXHIBITION OF: 27 films from 12 nations and regions  
 ATTENDANCE: Focus on Asia '97 - FIFF 11,866  
 Sponsored Event 2,251  
 Total 14,117

毎年台風シーズン中の開催であるにもかかわらず、難を逃れてきた福岡映画祭だったが、この年は会期中に台風19号が九州に接近し、ついに交通機関がストップ。百貨店なども臨時休業するなかで、やむなく一部の作品を上映中止した。入場者数は前年よりも減って14,117人に。しかし、映画祭参加ゲストは、前年特集上映したフィリピンから多くの自費による参加者を迎えて、過去最多の64人を数え、観客とのディスカッションは大いに盛り上がった。またこの年から、福岡から飛行機で40分の距離にある韓国・プサンでも国際映画祭がスタート。同時期開のため、福岡からプサンへ移動するゲストも多く見られた。

台湾映画特集は、巨匠リー・シン監督の名作など、これまで紹介されることなかった台湾ニューウェーブ以前のものを含んだ7作品。シンポジウムは、リー・シン監督のほか、ワン・レン、ワン・トンといった台湾映画界を代表する監督が台湾映画の歩みを総括し、充実した内容となった。1999年の東京国際映画祭でグランプリなどを独占したチャン・ツォーチ監督もこの年に参加している。

日本を舞台にした香港映画『広島廿八』は製作後20年以上たって日本初公開。被爆者を主人公にした異色のメロドラマは社会的にも注目を集めた。

韓国映画『灼熱の屋上』は新人監督による傑作コメディ。以後、韓国から新世代の作品が多く出品されるようになる。

また、後に劇場公開された『天使のような子どもたち [運動靴と赤い金魚]』(イラン)、『遙かな旅 [サイゴンからの旅人]』(ベトナム)は、この年の映画祭での評判により配給が決まったもの。

この年から福岡市総合図書館では、映画祭期間中に海外からのゲストを対象に英語字幕を付けた日本映画の傑作を上映するようになり、好評を博している。

なお、前年までで福岡映画祭に4作品の出品を数える、韓国映画界を代表するイム・グォンテク監督が、この年の第8回福岡アジア文化賞・芸術文化賞に輝いた。



灼熱の屋上 / A Hot Roof



天使のような子どもたち [運動靴と赤い金魚] / Children of the Heaven



愛する / To Love



〈オープニング上映〉天使のような子どもたち

〔運動靴と赤い金魚〕(1997年イラン)

OPENING FILM: Children of the Heaven (1997/Iran)

Despite being held every year during the typhoon season, our festival was fortunate in not having received a direct hit from one of these storms. In 1997, however, a typhoon did approach the island of Kyushu during the festival and public transportation was halted as a result. Shops closed temporarily and the festival office was forced to give up a part of its planned screenings, which led to a drop in attendance from the previous year, to 14,117. Attendance may have dropped, but to the festival came the largest number of participants - a total of 64 individuals, who exchanged lively discussions with the audience. This was due to many guests from the Philippines, the country featured in our 1996 festival, who came at their own expense. Another international film festival was launched in 1997 - in Busan, Korea, only a 40 minute flight from Fukuoka. As the festival was held at the same time as our festival, many guests moved to Busan after Fukuoka.

Including masterpieces by the great filmmaker, Lee Hsing, our Taiwan Films Collection presented 7 films, which saw their Japan Premier. Some of these films were made prior to Taiwan's New Wave Cinema movement. At the Symposium, Lee Hsing, as well as other individuals representing Taiwan's film industry such as Wan Jen and Wang Tong, gave summaries on the history of Taiwanese films. The Symposium, as a result, turned out to be a very fruitful event. One of the festival participants was film director Chang Tso Chi, winner of many awards including the Grand Prix Prize at the Tokyo International Film Festival in 1999. Set in Japan, the Hong Kong film, Hiroshima 28, saw its premier in Japan more than 20 years after it was made. The novel, melodramatic film, focusing on victims of the atomic bomb, drew the wide attention of the audience.

The Korean film, A Hot Roof, was an excellent comedy created by a newcomer to the film industry. Starting with this film, our festival began exhibiting more of Korea's new generation films.

Children of the Heaven (Iran) and The Long Journey (Vietnam), being favorably received in Fukuoka, caught the eye of film distributors, which eventually led to their release in Japan.

Starting in 1997, the Fukuoka City Public Library began exhibiting masterpieces in Japanese cinema during our festival, with English subtitles made especially for our festival guests.

Having had four of his films exhibited at our festival, Im Kwon Taek, a prominent Korean film director, received the 1997 Arts and Culture Prize of the 8th Fukuoka Prize.

## PROGRAM FOR 1997

※日本語の[ ]内は、劇場公開題 ※作品名の後に★の付いている作品は福岡市総合図書館所蔵  
 ★ Part of the Fukuoka City Public Library Film Archive Collection  
 掲載順序: 題名 Title / 監督 Director / 製作年 / 製作国 Country of Production / カラー / 分數

台湾映画特集 Taiwan Films Collection			
海辺の女たち* Oyster Girl	リー・チャ (李嘉) Lee Chia		1963 / 台湾 Taiwan / Color / 119min.
	リー・シン (李行) Lee Hsing		
原郷人* My Native Land	リー・シン (李行) Lee Hsing		1980 / 台湾 Taiwan / Color / 107min.
老年萬歳* Warmth of the Old House	チャン・ペイチェン (張佩成) Chang Pei Cheng		1984 / 台湾 Taiwan / Color / 111min.
ある女の一生* Kuei-Mei, A Woman	チャン・イ (張毅) Chang Yi		1985 / 台湾 Taiwan / Color / 117min.
超級大国民* Super Citizen Ko	ワン・レン (萬仁) Wan Jen		1995 / 台湾 Taiwan / Color / 122min.
赤い柿* Red Persimmon	ワン・トン (王童) Wang Tong		1996 / 台湾 Taiwan / Color / 166min.
チュンと家族* Ah Chung	チャン・ツォーチ (張作麟) Chang Tso Chi		1996 / 台湾 Taiwan / Color / 98min.

アジアの秀作映画 Excellent Films of Asia			
天使のような子どもたち [運動靴と赤い金魚]* Children of the Heaven	マジド・マジディ Majid Majidi		1997 / イラン Iran / Color / 90min.
また逢えるなら* Maybe Some Other Time	バハム・ベイザイ Bahram Beizai		1988 / イラン Iran / Color / 159min.
飛びたち* The Flight	ハントーナ・ボルドロイ Santwana Bardoloi		1996 / インド India / Color / 94min.
城壁* Walls Within	ブラサンナ・ヴィターナゲー Prasanna Vithanage		1997 / スリランカ Sri Lanka / Color / 85min.
苦難の大地* Dukhai	モルシェドウル・イスラム Morshedul Islam		1997 / バングラデシュ Bangladesh / Color / 128min.
ファン・バー・カラオケ* Fun, Bar, Karaoke	ベンエーク・ラタナルアン Pen-Ek Ratanaruang		1996 / タイ Thailand / Color / 102min.
遙かな旅 [サイゴンからの旅人]* The Long Journey	レ・ホアン Le Hoang		1996 / ベトナム Vietnam / Color / 95min.
ミラグロス* Milagros	マリルー・ディアス=アバヤ Marilou Diaz-Abaya		1997 / フィリピン Philippines / Color / 130min.
あの時、なぜ! * Why is There a Yesterday?	ジョエル・ラマンガン Joel Lamangan		1996 / フィリピン Philippines / Color / 107min.
太陽の少年 In the Heat of the Sun	チアン・ウェン (姜文) Jiang Wen		1994 / 中国 China / Color / 128min.
広島廿八* Hiroshima 28	ルン・コン (龍剛) Lung Kong		1974 / 香港 Hong Kong / Color / 110min.
灼熱の屋上* A Hot Roof	イ・ミニョン (이민용/李珉瑛) Lee Min Yong		1995 / 韓国 Korea / Color / 110min.
愛する To Love	熊井啓 Kumai Kei		1997 / 日本 Japan / Color / 114min.

■シンポジウム「台湾映画について」(9月17日/エルガーホール)

■協賛企画:現代アジアを描いた日本映画(主催/アジアフォーカス・福岡映画祭企画委員会 9月13日~19日/福岡ピカデリー)



老年萬歳 / Warmth of the Old House



また逢えるなら / Maybe Some Other Time



城壁 / Walls Within



苦難の大地 / Dukhai



ファン・バー・カラオケ / Fun, Bar, Karaoke



遙かな旅 [サイゴンからの旅人] / The Long Journey



あの時、なぜ! / Why is There a Yesterday?



太陽の少年 / In the Heat of the Sun



ある女の一生 / Kuei-Mei, A Woman



チュンと家族 / Ah Chung



ミラグロス / Milagros



超級大国民 / Super Citizen Ko



## 1998



期 間	9月11日(金)~20日(日)	
会 場	ソラリアシネマ1、 エルガーラホール、都久志会館、 あいれふ10階講堂	
内 容	15カ国・地域30作品	
入場者数	アジアフォーカス・福岡映画祭1998	15,519人
	協力企画など	852人
	合計	16,371人

HELD: 11th - 20th September, 1998  
 VENUES: Solaria Cinema 1, Elgala Hall, Tsukushi Kaikan, AIREF  
 EXHIBITION OF: 30 films from 15 nations and regions  
 ATTENDANCE: Focus on Asia '98 - FIFF 15,519  
 Jointly Presented Events 852  
 Total 16,371

21世紀を間近に控え、新人監督を中心に若手監督の意欲作が数多く登場するようになってきた。『そこに光を』(トルコ)、『運命からの逃走』(タイ)、『ザ・コンタクト』、『8月のクリスマス』(ともに韓国)といった作品は、いずれも新人のメガホンによるもの。後者2作品は、のちに韓国の新世代監督が日本でも注目を集めるきっかけのひとつとなった。また映画大国インドからは、ヒンディー語、ベンガル語、タミル語、マラーラム語など各映画界の5作品が出品され、『メロディ』、『ザ・デュオ』といった、スクリーンを魅力的に飾った音楽を収めたサントラCDは、上映会場で飛ぶように売れた。

この年のシンポジウムのテーマは「アジア映画の現状と将来」。経済危機に直面しているアジア各地の映画界からさまざまな問題が熱く訴えられ、映画人共通の悩みが再認識されることとなった。また、ベトナム映画界を代表するダン・ニャット・ミン監督は、九州芸術工科大学でセミナーの講師として教壇に立った。

前年より上映会場に加わったエルガーラホールにはビデオ上映の設備が常設されているため、以後、ビデオによる作品の上映も容易となっていく。この年はネパール、カンボジアからのビデオ作品が参加した。ネパールの若手監督ツェリン・リタルは、その才能を高く評価され、次回作『欲望の仮面』をNHKと共同製作することとなったほか、日本映画『原野の子ら』は、福岡映画祭参加をきっかけに、イラン、インドなどの映画祭に招待されるという嬉しい結果をもたらした。

なお、この年より公式ホームページを開設し、国内外へ福岡映画祭についての情報を発信することとなった。

福岡市総合図書館における映画祭上映作品の収蔵は、1998年度末で100本を超えている。



ザ・コンタクト / The Contact



8月のクリスマス / Christmas in August



ザ・デュオ / The Duo



〈オープニング上映〉そこに光を(1996年 トルコ)

OPENING FILM: *Let There Be Light* (1996/Turkey)

With the 21st Century drawing closer to us, an increasing number of new film directors exhibiting their highly motivated films have taken the central stage to our festival. These new film directors have given us such films as *Let There Be Light* (Turkey), *Who is Running?* (Thailand), *The Contact* and *Christmas in August* (Korea). The last two films have enticed the Japanese audience in taking an interest in films made by new generation filmmakers of Korea. From India, a major film producing country, came 5 films in Hindi, Bengali, Tamil and Malayalam. Sound track compact discs full of attractive song and music highlighting such films as *Melody* and *The Duo* sold extremely well at the theaters.

The theme for the 1998 festival symposium was "Asian Films Today and Its Future". Various problems were raised concerning the film industry of Asian countries facing economic crises with a confirmation of common concern addressed by those involved. Film director Dang Nhat Minh, a leading figure in the Vietnamese film industry, gave a lecture for a seminar at the Kyushu Institute of Design.

The permanent video screening facility at the Elgala Hall, one of the screening theaters used from the previous year, facilitated the exhibition of works of video. Nepal and Cambodia participated in our 1998 festival by presenting their works in the form of video. Recognized for his talent, Tsering Rhitar, a young Nepalese director, received an offer from NHK to co-produce his next film, *Mask of Desire*. The Japanese film, *Children of the Plains* was well received as well. The film, after being screened in Fukuoka, was invited to film festivals in Iran and India.

1998 marked the launching of our official home page that provides festival information not only to Japan but to the world as well.

As of the end of March 1998, over 100 motion pictures previously exhibited at the Focus on Asia Fukuoka International Film Festival have been acquired at the Fukuoka City Public Library.

## PROGRAM FOR 1998

※日本語の[ ]内は、劇場公開題 ※作品名の後に★の付いている作品は福岡市総合図書館所蔵  
 ★ Part of the Fukuoka City Public Library Film Archive Collection  
 掲載順序: 題名 Title / 監督 Director / 製作年 / 製作国 Country of Production / カラー / 分數

上映作品			
そこに光を★ <i>Let There Be Light</i>	レイス・チェリッキ Reis Çelik	1996 / トルコ Turkey	Color / 85min.
ぼくは一人前★ <i>The Little Man</i>	エブラヒム・フルゼシュ Ebrahim Forouzes	1998 / イラン Iran	Color / 85min.
新生★ <i>Birth of a Butterfly</i>	モジュタバ・ライー Mojtaba Raie	1998 / イラン Iran	Color / 110min.
モノローグ★ <i>Monologue</i>	アドゥール・ゴパールクリシュナン Adoor Gopalakrishnan	1987 / インド India	Color / 125min.
神の戯れ★ <i>The Play of God</i>	ジャヤラージ Jayaraaj	1997 / インド India	Color / 121min.
クロスファイアー★ <i>Crossfire</i>	リトゥボルノ・ゴシュ Rituparno Ghosh	1997 / インド India	Color / 145min.
メロディ★ <i>Melody</i>	サイー・パラーンジパー Sai Paranjypte	1997 / インド India	Color / 158min.
ザ・デュオ★ <i>The Duo</i>	マニラトナム Maniratnam	1997 / インド India	Color / 163min.
マザー・アローン★ <i>Mother Alone</i>	スミトラ・ピーリス Sumitra Peries	1997 / スリランカ Sri Lanka	Color / 129min.
転校生ディブー★ <i>Dipu Number Two</i>	モルシェッド・イスラム Morshedul Islam	1996 / バングラデシュ Bangladesh	Color / 156min.
祈禱師★ <i>The Spirit Doesn't Come Anymore</i>	ツェリン・リタル・シェルバ Tsering Rhitar Sherpa	1997 / ネパール Nepal	Color / 38min.
平和の行進★ <i>An Army of Peace</i>	チェン・ダラブド・コサル Chheng Daravuth Kosal	1997 / カンボジア Cambodia	Color / 52min.
運命からの逃走★ <i>Who Is Running?</i>	オキサイド・パン Oxide Pang	1997 / タイ Thailand	Color / 105min.
ハノイ、1946年冬★ <i>Hanoi, Winter 1946</i>	ダン・ニャット・ミン Dang Nhat Minh	1996 / ベトナム Vietnam	Color / 94min.
海に抱かれて★ <i>In the Navel of the Sea</i>	マリルー・ディアス=アバヤ Marilou Diaz-Abaya	1998 / フィリピン Philippines	Color / 114min.
ゴビの聖者★ <i>Ferocious Saint Lord of Gobi</i>	I. ニャムガワ I. Nyamgavaa	1998 / モンゴル Mongolia	Color / 106min.
安居 [榕樹の丘へ] <i>Live at Peace</i>	フー・ビンリウ (胡炳榴) Hu Bing Liu	1997 / 中国 China	Color / 100min.
国道封閉★ <i>Wolves Cry under the Moon</i>	ホー・ピン (何平) Ho Ping	1997 / 台湾 Taiwan	Color / 121min.
ザ・コンタクト★ <i>The Contact</i>	チャン・ユンヒョン (張允炫) Chang Yoon Hyun	1997 / 韓国 Korea	Color / 104min.
8月のクリスマス★ <i>Christmas in August</i>	ホ・ジノ (許進浩/許泰豪) Hur Jin Ho	1998 / 韓国 Korea	Color / 97min.
原野の子ら <i>Children of the Plains</i>	中山節夫 Nakayama Setsuo	1997 / 日本 Japan	Color / 127min.

■シンポジウム「アジア映画の現状と将来」(9月14日/エルガーラホール)

■協力企画:「ガンガー/僕万智イン・カルカッタ」上映会(主催/アジアの心実行委員会 9月11日~13日/あいれふ10階講堂)

■関連企画:アジアの新進監督特集(主催/福岡市総合図書館 9月9日~12日/福岡市総合図書館映像ホール・シネラ)



ぼくは一人前 / The Little Man



メロディ / Melody



祈禱師 / The Spirit Doesn't Come Anymore



平和の行進 / An Army of Peace



運命からの逃走 / Who Is Running?



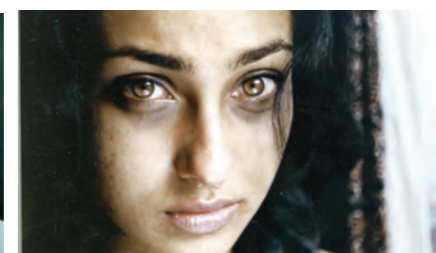
ハノイ、1946年冬 / Hanoi, Winter 1946



ゴビの聖者 / Ferocious Saint Lord of Gobi



国道封閉 / Wolves Cry under the Moon



クロスファイアー / Crossfire



マザー・アローン / Mother Alone



原野の子ら / Children of the Plains



転校生ディブー / Dipu Number Two

1999



期 間	9月10日(金)～19日(日)	
会 場	ソラリアシネマ1、 エルガーホール、都久志会館、 あいれふ10階講堂	
内 容	12カ国・地域27作品	
入場者数	アジアフォーカス・福岡映画祭1999	14,916人
	協賛企画など	1,274人
	合計	16,190人

HELD: 10th - 19th September, 1999  
 VENUES: Solaria Cinema 1, Elgala Hall, Tsukushi Kaikan, AIREF  
 EXHIBITION OF: 27 films from 12 nations and regions  
 ATTENDANCE: Focus on Asia '99 - FIFF 14,916  
 Sponsored Events 1,274  
 Total 16,190

オープニング上映作品『カラー・オブ・パラダイス』が直前のモントリオール世界映画祭でグランプリに輝いたことで熱い注目を浴び、時の人となったマジド・マジディ監督(イラン)はモントリオールからテヘラン、ドバイ、香港、福岡と乗り継いで、劇的にも上映直前に会場に到着。観客の興奮は最高潮に達した。この話題作は、のちに『太陽は、ぼくの瞳』の題で劇場公開されることが決まった。

上映前から話題を集めた作品としてはほかにも、インドのシヴァン監督、サントーシュ・シヴァン監督の親子での出品、イランのアボルファズル・ジャリリ監督の35ミリ第1作、台湾の新人3監督によるオムニバス、九州でもロケが行われた日中合作映画などがあった。モンゴルの『新文字先生』は爽やかで楽しい映画。マスコミ、観客の評判も高く、ビデオ作品ではあったが、“優れたアジア映画の発見”という本映画祭の目的を再認識するものとなった。

この年は5人の女性監督の作品が一堂に会したが、このうち『アパートメント』(ベトナム)、『ホセ・リサル』(フィリピン)の2作品がその後、東京国際映画祭・カネボウ国際女性映画週間(カネボウ)に招待されることとなった。

またホウ・シャオシェン監督(台湾)の第10回福岡アジア文化賞・大賞受賞を記念してのホウ監督初期作品の上映、福岡中国映画会による『満映〜国策映画の諸相』日本語版出版を機にしたシンポジウムが、それぞれ協賛企画として映画祭に併せて実施された。

なお過去4作品を福岡映画祭へ出品しているベトナムのダン・ニャット・ミン監督が、日本経済新聞社主催の日経アジア賞を受賞したことも嬉しい知らせだった。



玻璃の城 / City of Glass



カラー・オブ・パラダイス [太陽は、ぼくの瞳] / Color of Paradise



スパイシー・ラブスープ / Spicy Love Soup



〈オープニング上映〉カラー・オブ・パラダイス

【太陽は、ぼくの瞳】(1999年 イラン)

OPENING FILM: Color of Paradise (1999/Iran)

Color of Paradise directed by Majid Majidi was awarded the Grand Prix at the Montreal International Film Festival, held just prior to the Fukuoka International Film Festival. The film, which opened our festival in 1999, attracted worldwide attention to its director who received wide news coverage. After Montreal, Majid Majidi came all the way to Fukuoka via Tehran, Dubai and Hong Kong. Audience emotion reached a climax when Majidi made a dramatic appearance just as the opening screening was about to start. This most talked about film would later see a general release in Japan.

Other films which drew public attention even prior to their exhibition included an entry by film director Sivan and his son Santosh Sivan from India, the first 35mm film by Iranian director Abolfazl Jalili, a trilogy made by three young film directors from Taiwan, and a joint film production between China and Japan, a section of the film being shot on the island of Kyushu. From Mongolia came The Teacher of Cyril Alphabet, a peaceful and enjoyable story highly rated by both the media and the audience. Seeing this video production gave us an opportunity to reaffirm the purpose of our film festival, that being to discover excellent films from Asia.

The festival in 1999 saw five films directed by female film directors. Among them, Collective Flat (Vietnam) and Jose Rizal (Philippines) were invited to KANEBO International Women's Film Week, one of the sponsored events of the Tokyo International Film Festival, after their exhibition in Fukuoka.

Additionally, related events were held such as an exhibition of Hou Hsiao Hsien's early pictures in commemoration of the film director being awarded the 1999 Grand Prize of the 10th Fukuoka Prize, and a symposium on the Japanese language publication of "Manchow Film Studio - Aspects of Propaganda Film" by Fukuoka Chugoku Eiga Kai (the Chinese Cinema Association in Fukuoka).

We were delighted to hear the good news of Vietnamese film director Dang Nhat Minh, receiving the Nikkei Asia Prize sponsored by the Nihon Keizai Shimbun. Our festival has so far exhibited four of Dang Nhat Minh's films.

## PROGRAM FOR 1999

※日本語の[ ]内は、劇場公開題 ※作品名の後に★の付いている作品は福岡市総合図書館所蔵  
 ★ Part of the Fukuoka City Public Library Film Archive Collection  
 掲載順序: 題名 Title / 監督 Director / 製作年 / 製作国 Country of Production / カラー / 分數

上映作品				
グッバイ・トゥモロー★	Goodbye Tomorrow	レイス・チェリッキ	Reis Celik	1998 / トルコ Turkey / Color / 110min.
春へ★	The Spring	アボルファズル・ジャリリ	Abolfazl Jalili	1985 / イラン Iran / Color / 86min.
魅惑★	The Love-Stricken	アリ・ハタミ	Ali Hatami	1992 / イラン Iran / Color / 91min.
としごろ★	Sweet Agony	アリ=レザ・ダヴドネジャド	Alireza Davudnezhad	1999 / イラン Iran / Color / 90min.
カラー・オブ・パラダイス [太陽は、ぼくの瞳]★		マジド・マジディ	Majid Majidi	1999 / イラン Iran / Color / 88min.
Color of Paradise				
誓いの炎★	With Fire as Witness	シャマブラサード	Shyamprasad	1998 / インド India / Color / 111min.
旅路★	The Journey	シヴァン	Sivan	1998 / インド India / Color / 110min.
テロリスト★	The Terrorist	サントーシュ・シヴァン	Santosh Sivan	1998 / インド India / Color / 100min.
ラスト・マレー・ウーマン★	The Last Malay Women	エルマ・ファティマ	Erma Fatima	1997 / マレーシア Malaysia / Color / 119min.
歳月★	Hai Nguyet	ミー・ハー	Miet Ha	1998 / ベトナム Vietnam / Color / 90min.
アパートメント★	Collective Flat	ヴィエト・リン	Viet Linh	1999 / ベトナム Vietnam / Color / 90min.
ホセ・リサル★	Jose Rizal	マリルー・ディアス=アバヤ	Marilou Diaz-Abaya	1998 / フィリピン Philippines / Color / 178min.
新文字先生★	The Teacher of Cyril Alphabet	B. バダルオーガン	B. Badarugan	1998 / モンゴル Mongolia / Color / 109min.
スパイシー・ラブスープ	Spicy Love Soup	チャン・ヤン (張揚)	Zhang Yang	1998 / 中国 China / Color / 109min.
チンパオー=陳宝の故事一	Chen Bao	中田新一	Nakada Shinichi	1999 / 中国・日本 China, Japan / Color / 94min.
玻璃の城★	City of Glass	メイベル・チャン (張婉婷)	Cheung Yuen Ting	1998 / 香港 Hong Kong / Color / 110min.
悪女列傳★	Bad Girl Trilogy			1998 / 台湾 Taiwan / Color / 115min.
2番手のクイーン	Queen of the Bench	ウェン・ヤオティン (溫耀庭)	Wen Yao Ting	
私の可愛い拳銃 (ヒストル)	My Own Personal Gun	リン・ジンジエ (林靖傑)	Lin Jing Jie	
猫ちゃん、犬ちゃん	A Dog from Hong Kong	チャン・インユウ (詹穎鄺)	Chan Ying Yu	
ミステリー・オブ・ザ・キューブ★	The Mystery of the Cube	ジョンサン・ユン (尹尚燾)	Jonathan You	1999 / 韓国 Korea / Color / 110min.
マヨネーズ★	Mayonnaise	ユン・イン (윤인호)	Yoon In Ho	1999 / 韓国 Korea / Color / 104min.
一審日に架ける一愛の鉄道		千葉茂樹	Chiba Shigeki	1999 / 日本 Japan / Color / 87min.
-Spanning Australia and Japan-The Railroad of Love				

■シンポジウム「21世紀の映画づくりとアジアの伝統文化」(9月14日/エルガーホール)

■協賛企画:今、語る「満洲映画協会(満映)」(9月12日/福岡市総合図書館第1会議室)

■協賛企画:侯孝賢レトロスベクティブ1980-87(主催/アジアフォーカス・福岡映画祭企画委員会 9月15日～19日/エルガーホール)

■協力企画:青木透写真展「アジアの映画人たち〜出会いと夢の旅〜」(9月10～30日/ギャラリイ大手門)

■協力企画:「チベットの紅い谷」・「高朋満座〜The Weddings」上映会(主催/アジアの心実行委員会 9月10日～12日/あいれふ10階講堂)



春へ / The Spring



魅惑 / The Love-Stricken



としごろ / Sweet Agony



歳月 / Hai Nguyet



新文字先生 / The Teacher of Cyril Alphabet



チンパオー=陳宝の故事一 / Chen Bao



悪女列傳 / Bad Girl Trilogy



ミステリー・オブ・ザ・キューブ / The Mystery of the Cube



アパートメント / Collective Flat



ホセ・リサル / Jose Rizal



マヨネーズ / Mayonnaise



ラスト・マレー・ウーマン / The Last Malay Women

# 2000



期 間 9月8日(金)~17日(日)  
 会 場 ソラリアシネマ1、  
 エルガーラホール、都久志会館、  
 福岡アジア美術館あじびホール  
 内 容 15カ国・地域50作品  
 入場者数 アジアフォーカス・福岡映画祭2000 16,690人  
 協賛企画など 2,101人  
 合計 18,791人

HELD: 8th -17th September, 2000  
 VENUES: Solaria Cinema 1, Elgala Hall, Tsukushi Kaikan, Ajibi Hall  
 EXHIBITION OF: 50 films from 15 nations and regions  
 ATTENDANCE: Focus on Asia 2000 - FIFF 16,690  
 Sponsored Events 2,101  
 Total 18,791

1991年にスタートしたアジアフォーカス・福岡映画祭も、西暦2000年という節目の年に、第10回を迎えることになった。それまでの9回で正式招待された196作品のうち、132作品については福岡市総合図書館フィルムアーカイヴが上映プリントのアーカイヴ権を取得し、保存している。これらのなかから9作品をピックアップした特別企画「アジアフォーカス傑作選1991-1999」に協賛企画、協力企画を加えた全50本という上映本数は、それまでの10年間で最多である。

この年の正式招待作品のなかにはシャージ.N.カルン監督、マリルー・ディアス=アバヤ監督、イム・グォンテック監督といった、10年を振り返るうえで欠かすことのできない監督たちの名前が並んだ。なかでもイム監督の『春香伝』は、韓国の永遠の古典の映画化。パンソリと映像を見事に融合させた傑作で、オープニング上映となった。

また「インド映画コレクション」と題し、1999年に生み出された傑作5本が上映されたほか、福岡映画祭をきっかけに完成したネパール映画『欲望の仮面』のお披露目、ブータンからの初出品などがあった。

さらに10回からの新しい試みとして、公式ポスターをアジアのアーティストに依頼したことが話題を集めるとともに、キネマ旬報社からはアジアフォーカス10年の歩みを記念した書籍『新世紀アジア映画』が発行された。

なお12月には、東京の国際交流基金フォーラムで福岡映画祭10回を記念した「合同アジア映画祭」が開催され、過去の福岡映画祭でしか観ることのできなかったアジアの傑作11本が、東京でも披露された。



心のままに / Straight from the Heart



サロージャー / Saroja



ペパーミント・キャンディー / Peppermint Candy



〈オープニング上映〉春香伝(2000年 韓国)

OPENING FILM: Chunhyang (2000/Korea)

Launched in 1991, the Focus on Asia Fukuoka International Film Festival celebrates its first decade in the year 2000, the year which opens the new millennium. Out of 196 titles which were officially invited to Fukuoka during the last nine festivals, 132 are now part of the Fukuoka City Public Library Film Archive Collection. The Library preserves these films by retaining their archival rights. For the tenth year of our festival, 9 of these films preserved at the Film Archive have been selected for a special exhibit program entitled, "Focus on Asia Retrospective 1991-1999". Together with those programmed under sponsored and related events, we will see in the year 2000, the exhibition of 50 films, the largest number to be screened in the history of our festival.

Our main program to this year's festival included films by Shaji N. Karun, Marilou Diaz-Abaya, and Im Kwon Taek, film directors who can not be ignored when looking back at our 10-year history. The Focus on Asia Fukuoka International Film Festival 2000 opened with Im Kwon Taek's *Chunhyang*, yet another masterpiece based on a Korean classic. Korea's traditional song from "Pansori" perfectly blends in with the visual imagery of the film.

Five extraordinary films from India produced in 1999 were introduced in the "Indian Cinema Collection 2000" section of our festival. Tsering Rhitar Sherpa, the Nepalese film director, returned to Fukuoka with his first feature film, *Mask of Desire*. It was the showing of his documentary in Fukuoka that afforded him the opportunity to make this film. Our festival also welcomed the first entry ever from Bhutan.

People were attracted to our official festival poster designed by an Asian artist, a new project for our 10th anniversary. A commemorative book featuring Asian cinema with reference to our 10-year history was published by Japan's leading film magazine company, Kinema Junpo.

Another commemorative event called the Joint Asian Film Festival was held at the Japan Foundation Forum in Tokyo in December, 2000, where 11 films selected from our past festivals were exhibited for the first time outside Fukuoka in Japan.

## PROGRAM FOR 2000

※日本語の[ ]内は、劇場公開題 ※作品名の後に★の付いている作品は福岡市総合図書館所蔵  
 ★ Part of the Fukuoka City Public Library Film Archive Collection  
 掲載順序: 題名 Title / 監督 Director / 製作年 / 製作国 Country of Production / カラー / 分數

アジアパノラマ Asian Panorama				
スニーカーの少女★	The Girl in the Sneakers	ラスール・サドレアメリ	Rassul Sadr-Ameli	1999 / イラン Iran / Color / 98min.
ささやき★	Whispers	バルビズ・シャーブズイ	Parviz Shahbazi	2000 / イラン Iran / Color / 80min.
サロージャー★	Saroja	ソーマラトウネ・ディサーナーヤカ	Somaradne Dissanayake	1999 / スリランカ Sri Lanka / Color / 125min.
少年義勇兵★	Boys will be Boys, Boys will be Men	ユッタナー・ムグダーサニット	Euthana Mukdasanit	2000 / タイ Thailand / Color / 120min.
砂のような人生★	Sandy Lives	グエン・タイン・ヴァン	Nguyen Thanh Van	1999 / ベトナム Vietnam / Color / 90min.
ムロアミ★	Reef Hunters	マリルー・ディアス=アバヤ	Marilou Diaz-Abaya	1999 / フィリピン Philippines / Color / 117min.
The Cup [ザ・カップ、夢のアンテナ]	The Cup	ケンツェ・ノルブ	Khyentse Norbu	1999 / ブータン・オーストラリア Bhutan, Australia / Color / 93min.
欲望の仮面	Mask of Desire	ツェリン・リターール・シェルバ	Tsering Rhitar Sherpa	1999 / ネパール・日本 Nepal, Japan / Color / 105min.
愛のさだめ★	Alaqnii Hee	J. ビンデル	J. Binder	2000 / モンゴル Mongolia / BW / 78min.
草の家★	Thatched Memories	シュイ・コン (徐耿)	Xu Geng	1999 / 中国 China / Color / 105min.
リトル・チュン	Little Cheung	フルーツ・チャン (陳果)	Fruit Chan	1999 / 香港・日本 Hong Kong, Japan / Color / 103min.
天馬茶房★	March of Happiness	リン・チェンシェン (林正盛)	Lin Cheng Sheng	1999 / 台湾 Taiwan / Color / 93min.
沙河悲歌 (シャ-は-えれじ-)	Lament of the Sand River	チャン・チヨン (張志勇)	Chang Chi Yung	2000 / 台湾 Taiwan / Color / 108min.
春香伝★	Chunhyang	イム・グォンテック (임권택 / 林権澤)	Im Kwon Taek	2000 / 韓国 Korea / Color / 120min.
ペパーミント・キャンディー	Peppermint Candy	イ・チャンドン (이창동 / 李滄東)	Lee Chang Dong	1999 / 韓国・日本 Korea, Japan / Color / 129min.
三文役者★	Byplayer	新藤兼人	Shindo Kaneto	2000 / 日本 Japan / Color / 126min.
あかね色の空を見たよ	Hope beyond the Crimson Skies	中山節夫	Nakayama Setsuo	2000 / 日本 Japan / Color / 100min.

インド映画コレクション2000 Indian Cinema Collection 2000				
心のままに	Straight from the Heart	サンジャイ・リーラー・バンサーリー	Sanjay Leela Bhansali	1999 / インド India / Color / 187min.
青いマンゴー★	The Raw Mango	アモール・パレーカル	Amol Palekar	1999 / インド India / Color / 96min.
最後の舞★	The Last Dance	シャージ.N.カルン	Shaji N. Karun	1999 / インド India / Color / 119min.
悲哀★	Pathos	ジャヤラージ	Jayaraaj	1999 / インド India / Color / 77min.
河は流れる★	And the River Flows	ジャヌ・バルア	Jahnu Barua	1999 / インド India / Color / 90min.

特別企画: アジアフォーカス傑作選 1991-1999 Focus on Asia Retrospective 1991-1999				
パンと詩★	Bread and Poetry	キュマルス・プリアマド	Kiumars Poorahmad	1994 / イラン Iran / Color / 90min.
私自身のもの★	My Own	シャージ.N.カルン	Shaji N. Karun	1994 / インド India / Color & BW / 141min.
運命線★	The Line of Destiny	レスター・ジェームス・ピーリス	Lester James Peries	1956 / スリランカ Sri Lanka / BW / 90min.
十月になれば★	How I Long for October	ダン・ニャット・ミン	Dang Nhat Minh	1984 / ベトナム Vietnam / BW / 86min.
マドンナ・アンド・チャイルド★	Madonna and Child	マリルー・ディアス=アバヤ	Marilou Diaz-Abaya	1996 / フィリピン Philippines / Color / 121min.
ゴビの聖者★	Ferocious Saint Lord of Gobi	I. ニヤムガワ	I. Nyamgavaa	1998 / モンゴル Mongolia / Color / 106min.
心の香り★	The True Hearted	スン・チョウ (孫周)	Sun Zhou	1992 / 中国 China / Color / 98min.
バナナ・パラダイス★	Banana Paradise	ワン・トン (王童)	Wang Tung	1989 / 台湾 Taiwan / Color / 145min.
キルゾドム★	Gilsodom	イム・グォンテック (임권택 / 林権澤)	Im Kwon Taek	1985 / 韓国 Korea / Color / 101min.

■シンポジウム「映画大国インドの全貌を探る」(9月10日/エルガーラホール)

■協賛企画: CINEMA LIVE! 日本映画の未来形(主催/アジアフォーカス・福岡映画祭企画委員会 9月9日~12日/福岡アジア美術館あじびホール)

■協力企画: 韓国映画フェスティバル(主催/アジアの心実行委員会 9月15日~19日/福岡アジア美術館あじびホール)



ささやき / Whispers



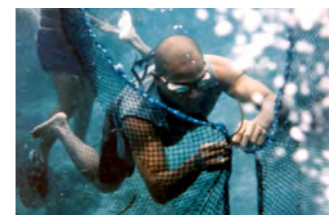
少年義勇兵 / Boys will be Boys, Boys will be Men



あかね色の空を見たよ / Hope beyond the Crimson Skies



河は流れる / And the River Flows



ムロアミ / Reef Hunters



最後の舞 / Chunhyang



草の家 / Thatched Memories



愛のさだめ / Alaqnii Hee



スニーカーの少女 / The Girl in the Sneakers



沙河悲歌(シャ-は-えれじ-) / Lament of the Sand River



砂のような人生 / Sandy Lives



三文役者 / Byplayer

2001



期 間	9月14日(金)~24日(月・休)
会 場	ソラリアシネマ1、 エルガーホール、都久志会館、 福岡アジア美術館あじびホール、中洲大洋1
内 容	15カ国・地域50作品
入場者数	アジアフォーカス・福岡映画祭2001 17,896人 協賛企画など 2,599人 合計 2,495人

HELD: 14th -24th September, 2001  
 VENUES: Solaria Cinema 1, Elgala Hall, Tsukushi Kaikan, Ajibi Hall, Nakasu Taiyo 1  
 EXHIBITION OF: 50 films from 15 nations and regions  
 ATTENDANCE: Focus on Asia 2001 - FIFF 17,896  
 Sponsored Events 2,599  
 Total 20,495

21世紀最初のアジアフォーカスは、15カ国・地域50作品と昨年同様最多の上映本数に、開催11回目で初めて2万人を超える入場者数を記録した。いま振りかえれば、充実した11日間といえるが、開幕直前にはニューヨークで同時多発テロ事件が起こり、福岡映画祭も大きな影響を受けた。アメリカを中心とした航空路線の運休などで、数名のゲストが来日不可能となった。事件発生当時カナダに滞在中であったマジド・マジディ監督は、監督作『バラン』のオープニング上映にやむなく欠席。会場ではマジディ監督からのメッセージが披露された(マジディ監督はその後4日遅れで来日)。アフガン難民を扱った作品だっただけに、世界平和について改めて考えさせる場となり、涙する参加者も見受けられた。

この『バラン』などイラン映画の最新作4本を集めた「イラン映画コレクション」の他に、「中国語圏映画特集」の多様なラインナップ7作品も注目を集めた。また、新作2本がまとめて紹介されたマレーシアのアズイス・M・オスマン監督や、日本ロケも行われたタイ映画『絵の裏』も話題となった。

一方、『ゴビを渡るフィルム』、『山の蒼い影』のモンゴル映画2本は、福岡での評判を受けて、11月に開催されたフィルム・ネットワーク映画祭2001に提供され、東京のアジア映画ファンにも紹介された。

なお、この年、第12回福岡アジア文化賞・芸術文化賞を受賞したマリルー・ディアス=アバヤ監督は、福岡映画祭にとってまたいへんゆかりの深い監督である。フィリピン映画界を代表するディアス=アバヤ監督の福岡映画祭出品6作品はこれまでで最多であり、福岡発で広く知られるようになった一人。年末には1998年の大作『ホセ・リサル』も岩波ホールで封切られた。



鬼子来了[鬼が来た!]/Devils on the Doorstep



吠える犬は噛まない/Barking Dogs Never Bite



飛天舞(ビチョンム)/Bichunmoo



〈オープニング上映〉バラン[少女の髪どめ](2001年 イラン)

OPENING FILM: Baran (2001/Iran)

Our first festival of the new century exhibited 50 films, the same number as last year, a year, which set a record for the largest number of films shown in our festival history. Our films from 15 countries and regions attracted an attendance of over 20,000 people, the first time our audience total reached such a number in our 11-year history. The 11-day festival was full of activity but just prior to the opening, terrorists attacked New York (in what we now call "9.11") and this impacted our festival greatly. Several of our guests gave up their flights to Fukuoka because the American air routes were not working. Majid Majidi who directed Baran was staying in Canada when the attack struck and as a result, he could not attend the opening. His message was read out loud at the ceremony, instead (Mr. Majidi arrived four days later). Baran addressed the issue of refugees from Afghanistan and so it afforded the audience an opportunity to think about world peace and what was really happening in the world. Some in the audience were seen crying.

Much attention was placed on the four films that made up our "Iranian Film Cinema Collection" and the seven films from our "Chinese Language Film Collection". Also attracting attention was Malaysian film director Aziz M. Osman's two films and the Thai film, Behind the Painting, which was shot on location in Japan.

Having received favorable response at our festival this year, A Vanishing Trade and The Shadow from Mongolia were exhibited in November at the Film Network Festival in Tokyo.

Mariou Diaz-Abaya, the 2001 laureate of the 12th Fukuoka Prize has retained close ties with our festival. Being one of the most prominent film directors of the Philippines, she has placed six of her films on exhibition at our festival. She is well known to us as well as the world through the exhibitions of her films at our festival. Her film, Jose Rizal (1998) was released for exhibition at the Iwanami Hall in Tokyo at the end of 2001.

## PROGRAM FOR 2001

※日本語の[ ]内は、劇場公開題 ※作品名の後に★の付いている作品は福岡市総合図書館所蔵  
 ★ Part of the Fukuoka City Public Library Film Archive Collection  
 掲載順序: 題名 Title / 監督 Director / 製作年 / 製作国 Country of Production / カラー / 分秒

アジアパノラマ Asian Panorama			
五月の雲 Clouds of May	ヌリ・ビルゲ・ジェイラン Nuri Bilge Ceylan	2000 /トルコ Turkey / Color / 120min.	
アクスアット Aksuat	セリック・アプリモフ Serik Aprymov	1998 /カザフスタン・日本 Kazakhstan, Japan / Color / 93min.	
パロミタ★ House of Memories	アパルナ・セン Aparna Sen	1999 /インド India / Color / 130min.	
追いつ追われつ★ Senario Again	アズイス・M・オスマン Aziz M. Osman	1999 /マレーシア Malaysia / Color / 118min.	
アドナン中尉★ Lieutenant Adnan	アズイス・M・オスマン Aziz M. Osman	2000 /マレーシア Malaysia / Color / 127min.	
絵の裏 Behind the Painting	チャード・ソンスイー Cherd Songsri	2000 /タイ Thailand / Color / 120min.	
朝よ 来ないで★ The Golden Key	レ・ホアン Le Hoang	2000 /ベトナム Vietnam / Color / 90min.	
母と子★ Child	ロリー・B・キントス Rory B. Quintos	2000 /フィリピン Philippines / Color / 120min.	
山の蒼い影★ The Shadow	B. バダルオーガン B. Badarugan	2000 /モンゴル Mongolia / Color / 80min.	
ゴビを渡るフィルム★ A Vanishing Trade	D. ツェンドルジ D. Tsenddorj T. サラントヤー T. Sarantuya	2001 /モンゴル Mongolia / Color / 23min.	
飛天舞(ビチョンム)★ Bichunmoo	キム・ヨンジュン(김영준) Kim Young Jun	2000 /韓国 Korea / Color / 117min.	
吠える犬は噛まない★ Barking Dogs Never Bite	ボン・ジュン(봉준호) Bong Joon Ho	2000 /韓国 Korea / Color / 106min.	
空の穴 Hole in the Sky	熊切和嘉 Kumakiri Kazuyoshi	2001 /日本 Japan / Color / 127min.	
ハッシュ!★ Hush!	橋口亮輔 Hashiguchi Ryosuke	2001 /日本 Japan / Color / 135min.	

イラン映画コレクション Iranian Film Collection			
酔っぱらった馬の時間 A Time for Drunken Horses	バフマン・ゴバディ Bahman Ghobadi	2000 /イラン Iran / Color / 80min.	
バラン[少女の髪どめ]★ Baran	マジド・マジディ Majid Majidi	2001 /イラン Iran / Color / 100min.	
石油地帯の子たち★ Oil Children	エブラヒム・フルゼシュ Ebrahim Forouzesh	2001 /イラン Iran / Color / 90min.	
街の陰★ Under the Skin of the City	ラクシャン・バニエテマド Rakhshan Bani-Etemad	2001 /イラン Iran / Color / 92min.	

中国語圏映画特集 Chinese Language Film Collection			
鬼子来了[鬼が来た!]* Devils on the Doorstep	チャン・ウェン(姜文) Jiang Wen	2000 /中国 China / Color & BW / 140min.	
北京の自転車★ Beijing Bicycle	ワン・シャオシュエイ(王小帥) Wang Xiaoshuai	2001 /中国・台湾 China, Taiwan / Color / 113min.	
千言萬語★ Ordinary Heroes	アン・ホイ(許鞍華) Ann Hui	1999 /香港 Hong Kong / Color / 128min.	
Ha Ha 上海★ Ha Ha Shanghai	クリスティン・チョイ(崔明慧) Christine Choy	2001 /香港・アメリカ Hong Kong, USA / Color / 76min.	
夜に逃れて★ Fleeing by Night	シュー・リーコン(徐立功) Hsu Li Kong イン・チー(尹祺) Yin Chi	2000 /台湾 Taiwan / Color / 123min.	
運転手の恋★ The Cabbie	チャン・ホアクン(張華坤) Chang Hwa Kun チェン・イーウェン(陳以文) Chen Yi Wen	2000 /台湾 Taiwan / Color / 94min.	
檳榔売りの娘★ Betelnut Beauty	リン・チェンシェン(林正盛) Lin Cheng Sheng	2001 /台湾 Taiwan / Color / 106min.	

特別企画:マリルー・ディアス=アバヤ監督特集 Director in Focus: Mariou Diaz-Abaya			
カルナル〜愛の不条理★ Of the Flesh	マリルー・ディアス=アバヤ Mariou Diaz-Abaya	1984 /フィリピン Philippines / Color / 110min.	
貴女のためにたたかう★ Redeem her Honor	マリルー・ディアス=アバヤ Mariou Diaz-Abaya	1995 /フィリピン Philippines / Color / 130min.	
マドンナ・アンド・チャイルド★ Madonna and Child	マリルー・ディアス=アバヤ Mariou Diaz-Abaya	1996 /フィリピン Philippines / Color / 121min.	
ミラグロス★ Milagros	マリルー・ディアス=アバヤ Mariou Diaz-Abaya	1997 /フィリピン Philippines / Color / 130min.	
海に抱かれて★ In the Navel of the Sea	マリルー・ディアス=アバヤ Mariou Diaz-Abaya	1998 /フィリピン Philippines / Color / 114min.	
ホセ・リサル★ Jose Rizal	マリルー・ディアス=アバヤ Mariou Diaz-Abaya	1998 /フィリピン Philippines / Color / 178min.	
ムロアミ★ Reef Hunters	マリルー・ディアス=アバヤ Mariou Diaz-Abaya	1999 /フィリピン Philippines / Color / 117min.	

- フォーラム「アジア映画は元気なのか〜韓国映画を中心として」(9月18日/エルガーホール)
- 第12回福岡アジア文化賞市民フォーラム「わたしが伝えたいもの〜民衆とその社会」(9月15日/イムズホール)
- 協賛企画:続・日本映画の未来形 フィルムの中のデジタル(主催:福岡映画祭企画委員会 9月22日~23日/福岡アジア美術館あじびホール、中洲大洋1)
- 協力企画:中国映画フェスティバル(主催:アジアの心実行委員会 9月24日~29日/福岡アジア美術館あじびホール)



ゴビを渡るフィルム/A Vanishing Trade



ハッシュ!/Hush!



母と子/Child



運転手の恋/The Cabbie



パロミタ/House of Memories



Ha Ha 上海/Ha Ha Shanghai



アクスアット/Aksuat



アドナン中尉/Lieutenant Adnan

2002



期 間	9月13日(金)~23日(月・祝)
会 場	ソラリアシネマ1、エルガーラ ホール、西鉄ホール、都久志会館、 NTT 夢天神ホール、福岡アジア美術館あじびホール 15カ国・地域60作品
内 容	アジアフォーカス・福岡映画祭2002 17,690人
入場者数	協賛企画など 4,911人
	合計 22,601人

HELD: 13th -23rd September, 2002  
 VENUES: Solaria Cinema 1, Elgala Hall, Nishitetsu Hall,  
 Tsukushi Kaikan, NTT Yume Tenjin Hall, Ajibi Hall  
 EXHIBITION OF: 60 films from 15 nations and regions  
 ATTENDANCE: Focus on Asia 2002 - FIFF 17,690  
 Sponsored Events 4,911  
 Total 22,601

協賛企画、協力企画も充実し、上映本数が15カ国・地域60作品と昨年をさらに上回ったことで、入場者数も22,000人を超える過去最多を記録した。映画祭12年の歴史の中でもまず特筆すべきことは、中山節夫監督が最新作『旅の途中で-FARDA-』を完成させ、福岡に戻ってきたことだ。この作品は1998年の福岡映画祭における中山監督とイランの映画人との出会いがきっかけとなったもので、初のイラン・日本合作作品。アジアフォーカスから生まれた作品の「里帰り」は、大きな話題となった。

『旅の途中で-FARDA-』のほか、ミンダナオ島の宗教紛争を描いた『光、新たに』など7本を集めた特集「映画でみるイスラム世界」は、関連して実施したシンポジウムとともに評判を集めた。なお、この特集で上映したウズベキスタン映画(『演説者』)と、アジア・パノラマ部門で取り上げたシンガポール映画(『チキンライス・ウォー』)、キルギス映画(『旅立ちの汽笛』)は、福岡映画祭で初めて取り上げた国々であった。

観客の人気を集めたのは、香港の新進人気女優カーリーナ・ラム(『男人四十』)の参加や、『ラスト・プレゼント』、『酔画仙』、『おばあちゃんの家』といった韓国映画3本。これらは作品別入場者数の上位を占めた。上映会場には、都心に位置し駅と直結した西鉄ホールも加わり、観客の利便性は一層高まった。

一方、「スリランカ映画コレクション」で上映した6作品については、直後に国交樹立50周年を記念して開催された「スリランカ映画祭2002」において、東京のアジア映画ファンにも披露された。

なお、福岡におけるフィルムコミッションの設立に併せた協賛企画、中国のチャン・イーモウ監督の第13回福岡アジア文化賞大賞受賞を記念した協力企画なども実施された。

この年から、登録者に対するメールマガジンの配信も始まっている。



ラスト・プレゼント / Last Present



酔画仙 / Chihwaseon



おばあちゃんの家 / The Way Home



〈オープニング上映〉酔画仙(2002年 韓国)

OPENING FILM: Chihwaseon (2002/Korea)

With more substantial programs of sponsored and jointly presented events, and with even a larger number of screened films than last year (60 films in total from 15 countries and regions), our audience attendance set a high record of more than 22,000. We must first make a special mention of film director Setsuo Nakayama's return to Fukuoka with his latest film, *Tomorrow-Farda-*, which is the very first collaboration in film production between Iran and Japan. It all started when film director Nakayama met filmmakers from Iran at our 1998 festival. This film that "brought him back to Fukuoka" and "created from our festival" was the topic of much conversation.

*Tomorrow-Farda-* was shown in "The World of Islam through the Medium of Film" section with other six films including *New Moon*, a motion picture depicting religious war on Mindanao Island. This section together with our symposium under the same name drew wide attention. *Orator* from Uzbekistan in this section, as well as *Chicken Rice War* from Singapore and *The Chimp* from Kyrgyzstan in the "Asian Panorama" section were selections from countries participating in our festival for the first time.

Karena Lam, Hong Kong's up-and-coming actress from *July Rhapsody* became real popular in Fukuoka. The three entries from Korea, *Last Present*, *Chihwaseon*, and *The Way Home* were also the favorite of our audience. These four films drew the largest audience. Nishitetsu Hall, which is directly connected to the train station in downtown Fukuoka, joined our team of screening theatres, bringing better venue access to our audience.

The "Sri Lanka Cinema in Focus" section exhibited six films from Sri Lanka. Right after our festival in Fukuoka, these films were introduced to Asian cinema fans in Tokyo at the "Sri Lanka Film Festival 2002" commemorating the 50th anniversary of diplomatic relationship between Sri Lanka and Japan.

Other events held included a program in connection with the creation of the Fukuoka Film Commission and a selection of Zhang Yimou films celebrating his receiving the 2012 Grand Prize of 13th Fukuoka Prize.

## PROGRAM FOR 2002

※作品名の後に★の付いている作品は福岡市総合図書館所蔵  
 ★ Part of the Fukuoka City Public Library Film Archive Collection  
 掲載順序: 題名 Title / 監督 Director / 製作年 / 製作国 Country of Production / カラー / 分數

## 映画でみるイスラム世界 The World of Islam through the Medium of Film

旅の途中で-FARDA-★ <i>Tomorrow-Farda-</i>	中山節夫 Nakayama Setsuo	2002 / イラン・日本 Iran, Japan / Color / 106min.
ベマニ★ <i>Bemani</i>	ダリウシュ・メールジュイ Dariush Mehrjui	2002 / イラン Iran / Color / 97min.
私は15歳★ <i>I'm Taraneh, 15</i>	ラスール・サドレアメリ Rassul Sadr-Ameli	2002 / イラン Iran / Color / 110min.
ふたりのミナ★ <i>Through Sunglasses</i>	モハメド・ホセイン・ラティフィ Mohammad Hossein Latifi	2000 / イラン Iran / Color / 98min.
演説者★ <i>Orator</i>	ユスフ・ラジコフ Yusup Razzykov	1999 / ウズベキスタン Uzbekistan / Color / 83min.
根のない樹★ <i>A Tree without Roots</i>	タンビール・モカンメル Tanvir Mokammel	2001 / バングラデシュ Bangladesh / Color / 113min.
光、新たに★ <i>New Moon</i>	マリルー・ディアス=アバヤ Marilou Diaz-Abaya	2001 / フィリピン Philippines / Color / 134min.

## アジア・パノラマ Asian Panorama

旅立ちの汽笛 <i>The Chimp</i>	アクタン・アブディカリコフ Aktan Abdykalykov	2001 / キルギスタン・フランス・日本 Kyrgyzstan, France, Japan / Color / 90min.
心の調べ★ <i>Octave</i>	シャージ・N. カルン Shaji N. Karun	2002 / インド India / Color / 118min.
島★ <i>The Island</i>	ギリシヤ・カーサラヴァリ Girish Kasaravalli	2002 / インド India / Color / 137min.
虹に乗って★ <i>Ride on the Rainbow</i>	ジャヌ・バルア Jahnu Barua	2002 / インド India / Color / 116min.
ビューティフル・フラワー★ <i>A Beautiful Flower</i>	ナビン・スッパ Nabin Subba	2002 / ネパール Nepal / Color / 113min.
チキンライス・ウォー★ <i>Chicken Rice War</i>	チーク Cheek	2000 / シンガポール Singapore / Color / 100min.
ムーンハンター★ <i>The Moonhunter</i>	バンディット・リッタコン Bhandit Rittakol	2001 / タイ Thailand / Color / 122min.
グアバの季節★ <i>Guava House</i>	ダン・ニャット・ミン Dang Nhat Minh	2000 / ベトナム Vietnam / Color / 103min.
男人四十★ <i>July Rhapsody</i>	アン・ホイ(許鞍華) Ann Hui	2001 / 香港 Hong Kong / Color / 103min.
きらめきの季節/美麗時光★ <i>The Best of Times</i>	チャン・ツォーチ(張作驥) Chang Tso Chi	2001 / 台湾・日本 Taiwan, Japan / Color / 110min.
酔画仙★ <i>Chihwaseon</i>	イム・グォンテク(임권택/林權澤) Im Kwon Taek	2002 / 韓国 Korea / Color / 117min.
おばあちゃんの家 <i>The Way Home</i>	イ・ジョンヒャン(이정향) Lee Jung Hyang	2002 / 韓国 Korea / Color / 87min.
ラスト・プレゼント <i>Last Present</i>	オ・ギファン(오기환) Oh Ki Hwan	2001 / 韓国 Korea / Color / 112min.
美しい夏キリシマ <i>Kirishima 1945</i>	黒木和雄 Kuroki Kazuo	2002 / 日本 Japan / Color / 119min.

## スリランカ映画コレクション Sri Lanka Cinema in Focus

スリ★ <i>Pickpocket</i>	リンタン・セーマゲー Linton Semage	2002 / スリランカ Sri Lanka / Color / 80min.
白い影★ <i>White Shadows</i>	スニル・アリアヤラトゥナ Sunil Ariyaratna	2002 / スリランカ Sri Lanka / Color / 119min.
湖畔の邸宅★ <i>Mansion by the Lake</i>	レスター・ジェームス・ピーリス Lester James Peries	2002 / スリランカ Sri Lanka / Color / 124min.
告白★ <i>The Compensation</i>	ベナットウ・ラトゥナーヤカ Bennett Rathnayake	2001 / スリランカ Sri Lanka / Color / 112min.
私への旅★ <i>Pilgrimage</i>	ワサンタ・オベセーカラ Vasantha Obeyesekere	1998 / スリランカ Sri Lanka / Color / 103min.
蓮の道★ <i>The Way of the Lotus</i>	ティッサ・アベセーカラ Tissa Abeysekara	1987 / スリランカ Sri Lanka / Color / 140min.

■協賛企画:九州を舞台にした映画特集~福岡フィルムコミッション(仮称)設立に向けて(主催:福岡映画祭企画委員会 9月21日~23日/都久志会館)

■協力企画:2002年(第13回)福岡アジア文化賞大賞受賞記念~張芸謀映画特集(主催:福岡アジア文化賞委員会 9月17日/NTT 夢天神ホール)

■協力企画:中国映画フェスティバル(主催/アジアの心実行委員会 9月23日~28日/福岡アジア美術館あじびホール)



グアバの季節 / Guava House



スリ / Pickpocket



ビューティフル・フラワー / A Beautiful Flower



ムーンハンター / The Moonhunter



湖畔の邸宅 / Mansion by the Lake



光、新たに / New Moon



告白 / The Compensation



根のない樹 / A Tree without Roots



私は15歳 / I'm Taraneh, 15



私への旅 / Pilgrimage



虹に乗って / Ride on the Rainbow



蓮の道 / The Way of the Lotus

2003



期 間	9月12日(金)~23日(火・祝)	
会 場	ソラリアシネマ1、 エルガーラホール、西鉄ホール、 NTT 夢天神ホール、福岡アジア美術館あじびホール	
内 容	14カ国・地域60作品	
入場者数	アジアフォーカス・福岡映画祭2003	18,235人
	協賛企画など	4,485人
	合計	22,720人

HELD: 12th -23rd September, 2003  
 VENUES: Solaria Cinema 1, Elgala Hall, Nishitetsu Hall,  
 NTT Yume Tenjin Hall, Ajibi Hall  
 EXHIBITION OF: 60 films from 14 nations and regions  
 ATTENDANCE: Focus on Asia 2003 - FIFF 18,235  
 Sponsored Events 4,485  
 Total 22,720

1991年にスタート以来の総入場者数が、映画祭初日に20万人を突破するという節目を迎え、昨年と同じ総上映本数60作品に、最多の入場者数を記録した。特に今年は女性監督の作品が目立ち、「アジアの女性監督たち」と題した部門で6作品を上映したが、なかでもクルド問題を扱ったトルコ映画『少女ヘジャル』は大きな注目を集めた。また50周年を迎えて変貌しつつあるベトナム映画界から、新たなタイプの作品を特集した「ベトナム映画コレクション」、人気の高い韓国映画から多様な作品を集めた「韓国映画コレクション」の部門も話題となった。

映画祭全体としては、長編劇映画のみならず、日本の池谷薫監督が中国を舞台に撮った『延安の娘』、イランを代表するマジド・マジディ監督が隣国アフガニスタンの国情を見つめた『裸足でヘラトまで』といったドキュメンタリー、そのマジディ監督や韓国の6人の実力派監督たちによる傑作短編群にも、多くの映画ファンが集まった。

近年活況を呈しているタイ映画界からは、『メコン・フルムーン・パーティ』、『ワン・ナイト・ハズバンド』と新人監督の注目作2本が登場した。アジアフォーカス初参加となるオーストラリアからも新人のデビュー作『雲の下を』が出品された。

春先にはアジア地域でSARS(重症急性呼吸器症候群)が大流行し、映画祭ゲストの参加も懸念されたが無事収束し、コンコナ・センシャルマー(インド)、ニンミ・ハラスガマ(スリランカ)、チャン・キム・カイン(ベトナム)、シリヤゴーン・ブッカウェート(タイ)、チェン・シアンチー(台湾)、チャン・ミヒ(韓国)といったアジア各地を代表する女優たちが、映画祭に華を添えてくれた。

なお「アジアからのメッセージ」と題して実施したフォーラムには、福岡を「第二の故郷」と呼ぶフィリピンのマリルー・ディアス=アバヤ監督が、パネリストのひとりとして駆けつけてくれた。



炭野行/WARABINOKOU - to the bracken fields



シヨンヤンの酒家/Life Show



少女ヘジャル/Hejar



〈オープニング上映〉シャドー・キル(2002年インド)

OPENING FILM: Shadow Kill (2002/India)

On opening day, the accumulative sum of our audience from our very first festival in 1991 surpassed the 200,000 mark. This year, 60 films were screened, as many as last year and our audience set a record high. One of our feature programs was the "Spotlight-Women's Film" section where six films directed by women were introduced. Of these excellent films, *Hejar*, a Turkish film addressing the Kurdish issue drew wide attention.

Two other special programs attracted the attention of people. The "Vietnam Film in Focus" section screened the newer type of films representing the Vietnam film industry now in a transformation phase after celebrating its 50th year, and the "Korean Cinema Collection" section put together a variety of popular Korean films.

Many movie fans rushed to see not only feature films but documentaries and short films such as *Daughter from Yan'an* filmed in China by Japanese film director Kaoru Ikeya, and *Barefoot to Herat* by the prominent Iranian filmmaker Majid Majidi who witnesses what is really going on in his neighboring country. Majidi also presented a short film, which was popular among the audience. Many also flocked to see a Korean film made up of short stories directed by six talented film directors.

Thailand's humming film industry sent Fukuoka two noteworthy films made by young film directors, namely *Mekhong Full Moon Party* and *One Night Husband*. Also, Australia made its very first entry into the festival with *Beneath Clouds*, a debut film from a young director.

With the outbreak of SARS that hit Asia this spring, the question of how it would affect our guest attendance concerned us. Far from our worry, however, leading Asian actresses including Konkona Sensharma (India), Nimmi Harasgama (Sri Lanka), Ho Thi Kim Khanh (Vietnam), Siriyakorn Pookaves (Thailand), Chen Shiang Chyi (Taiwan), and Chang Mi Hee (Korea), came and lit up our festival.

Asian filmmaker Marilou Diaz-Abaya from the Philippines who calls Fukuoka her "second home" came to the festival as one of the panelists of our Forum entitled "Message from Asian Filmmakers".

## PROGRAM FOR 2003

※日本語の[ ]内は、劇場公開題 ※作品名の後に★の付いている作品は福岡市総合図書館所蔵  
 ★ Part of the Fukuoka City Public Library Film Archive Collection  
 掲載順序: 題名 Title / 監督 Director / 製作年 / 製作国 Country of Production / カラー / 分数

アジアパノラマ Asian Panorama				
裸足でヘラトまで★	Barefoot to Herat	マジド・マジディ	Majid Majidi	2002 / イラン Iran / Color / 65min.
僕らのオリンピック★	Olympic in Camp	マジド・マジディ	Majid Majidi	2002 / イラン Iran / Color / 5min.
歌って	Don't Cry	アミール・カラクーロフ	Amir Karakulov	2003 / カザフスタン・日本 Kazakhstan, Japan / Color / 80min.
シャドー・キル★	Shadow Kill	アドゥール・ゴーパーラクリシュナン	Adoor Gopalakrishnan	2002 / インド India / Color / 90min.
少年とハーモニカ★	Mouth Organ	A. K. ビール	A. K. Bir	2002 / インド India / Color / 80min.
灼熱の日々★	August Sun	ブラサンナ・ヴィターナゲー	Prasanna Vithanage	2003 / スリランカ Sri Lanka / Color / 108min.
メコン・フルムーン・パーティ★	Mekhong Full Moon Party	チラ・マリクン	Jira Malikul	2002 / タイ Thailand / Color / 119min.
マグニフィコ★	Magnifico	マリーヨ・J・デ・ロス・レイエス	Maryo J. de los Reyes	2003 / フィリピン Philippines / Color / 123min.
心の言葉★	Words from the Heart	O. バトルズイー	O. Bat-ulzii	2001 / モンゴル Mongolia / Color / 96min.
シヨンヤンの酒家(みせ)	Life Show	フォ・ジェンチイ(霍建起)	Huo Jianqi	2002 / 中国 China / Color / 106min.
小雨の歌★	Southbound Swallow	リェン・チンホア(連錦華)	Lien Chin Hua	2002 / 台湾 Taiwan / Color / 85min.
人間喜劇★	The Human Comedy	ホン・ホン(鴻鴻)	Hung Hung	2001 / 台湾 Taiwan / Color / 117min.
雲の下を	Beneath Clouds	イワン・セン	Ivan Sen	2001 / オーストラリア Australia / Color / 90min.
炭野行(わらびのこう)	WARABINOKOU - to the bracken fields	恩地日出夫	Onchi Hideo	2003 / 日本 Japan / Color / 124min.
延安の娘	Daughter from Yan'an	池谷薫	Ikeya Kaoru	2002 / 日本 Japan / Color / 120min.

アジアの女性監督たち Spotlight - Women's Film				
少女ヘジャル★	Hejar	ハンダン・イペクチ	Handan Ipekci	2001 / トルコ Turkey / Color / 120min.
刑務所の女たち★	Women's Prison	マニジェ・ヘクマット	Manijeh Hekmat	2002 / イラン Iran / Color / 106min.
Mr. & Mrs. アイヤル★	Mr. and Mrs. Iyer	アパルナ・セン	Aparna Sen	2002 / インド India / Color / 120min.
ワン・ナイト・ハズバンド★	One Night Husband	ピムパカー・トウィラ	Pimpaka Towira	2003 / タイ Thailand / Color / 114min.
アメリカン・アドボ★	American Adobo	ローリス・ギリエン	Laurice Guillen	2002 / フィリピン Philippines / Color / 110min.
メタオ★	There was Once a Time When...	ヴィエト・リン	Viet Linh	2002 / ベトナム Vietnam / Color / 108min.

ベトナム映画コレクション Vietnam Film in Focus				
メタオ★	There was Once a Time When...	ヴィエト・リン	Viet Linh	2002 / ベトナム Vietnam / Color / 108min.
ハノイの12日間★	Hanoi 12 Days and Nights	ブイ・ディン・ハック	Bui Dinh Hac	2003 / ベトナム Vietnam / Color / 127min.
天の網★	Heaven's Net	フィエ・ティエン・ソン	Phi Tien Son	2002 / ベトナム Vietnam / Color / 100min.
ゴミの山の大将★	King of Rubbish-Dump	ドゥー・ミン・トゥアン	Do Minh Tuan	2002 / ベトナム Vietnam / Color / 100min.

韓国映画コレクション Korean Cinema Collection				
もし、あなたなら★	If You were Me	ヨ・キュンドン(여균동)	Yeo Kyun Dong	2003 / 韓国 Korea / Color / 110min.
大陸横断	Crossing	ジョン・ジェウン(정재은)	Jeong Jae Eun	
その男、事情あり	The Man with an Affair	イム・スルレ(임순례)	Yim Soon Rye	
彼女の重さ	The Weight of Her	パク・クワンズ(박광수)	Park Kwang Su	
顔の価値	Face Value	パク・ジンピョ(박진표)	Park Jin Pyo	
神秘的な英語の国	Tongue Tie	パク・チャヌク(박찬욱)	Park Chan Wuk	
平和と愛は終わらない	Never Ending Peace and Love			
ボリウルの夏★	Season in the Sun	イ・ミニョン(이민용/李銀鏞)	Lee Min Yong	2003 / 韓国 Korea / Color / 102min.
オアシス	Oasis	イ・チャンドン(이창동/李滄東)	Lee Chang Dong	2002 / 韓国 Korea / Color / 132min.
Lovers' Concerto [永遠の片思い]	Lovers' Concerto	イ・ハン(이한)	Lee Han	2002 / 韓国 Korea / Color / 105min.
泣かないで★	Let's not Cry!	ミン・ビョンフン(민병훈)	Min Byung Hoon	2001 / 韓国 Korea / Color / 110min.

■協賛企画: アジアのコラボレーション特集(主催/アジアフォーカス・福岡映画祭企画委員会 9月20日~23日/NTT 夢天神ホール)  
 ■協力企画: フィリピン・インド映画フェスティバル(主催/アジアの心実行委員会 9月18日~22日/福岡アジア美術館あじびホール)  
 ■協力企画: 中国映画フェスティバル2003(主催/アジアの心実行委員会 9月23日~30日/福岡アジア美術館あじびホール)



ゴミの山の大将 / King of Rubbish-Dump



ハノイの12日間 / Hanoi 12 Days and Nights



マグニフィコ / Magnifico



メコン・フルムーン・パーティ / Mekhong Full Moon Party



ワン・ナイト・ハズバンド / One Night Husband



灼熱の日々 / August Sun



小雨の歌 / Southbound Swallow



天の網 / Heaven's Net

# 2004



**期 間** 9月10日(金)～20日(月・祝)  
**会 場** ソラリアシネマ1、エルガーホール、  
 西鉄ホール、ふくふくホール、  
 NTT 夢天神ホール、福岡アジア美術館あじびホール、  
 AMCチャンネルシティ13(第49回アジア太平洋映画祭)  
**内 容** 19カ国・地域54作品  
**入場者数** アジアフォーカス・福岡映画祭2004 17,076人  
 協賛企画など 3,315人  
 第49回アジア太平洋映画祭(共通券のみを対象) 2,629人  
 合計 23,020人

HELD: 10th -20th September, 2004  
 VENUES: Solaria Cinema 1, Elgala Hall, Nishitetsu Hall, Fukufuku Hall, NTT Yume Tenjin Hall, Ajibi Hal, AMC Canal City 13(49th Asia Pacific Film Festival)  
 EXHIBITION OF: 54 films from 19 nations and regions  
 ATTENDANCE: Focus on Asia 2004 - FIFF 17,076  
 Sponsored Events 5,944  
 Total 23,020

福岡では11年ぶり2回目となる「第49回アジア太平洋映画祭」が、アジアフォーカス終了後に引き続いて開催された。アジアフォーカスに彩りを添える関連の企画として、作品上映については入場券を共通化したことで、この年の総入場者数は23,020人とこれまでで最高を記録した。

オープニングを飾った中国映画『秘境モトウオヘ…』やバングラデシュの『ラロン』は、“知られざる傑作の発見”という点からも、特に映画関係者の注目を集めた。中国からは他に、雲南を舞台に少女の初恋を情感豊かに描いた『ルオマは17歳 [雲南の少女 ルオマの初恋]』、国内で数々の賞を受賞した『台湾往事』を上映。韓国映画4作品の上映には、“韓流”ブーム真っ直中ということもあって、多くのファンが詰めかけた。あわせて開催したフォーラム「韓国映画・新世紀」にも多くの聴講者が集まった。

この年はまた、ダリウシュ・メールジュイ(イラン)、マニラトナム(インド)、スミトラ・ペリス(スリランカ)、ガリン・ヌグロホ(インドネシア)、マリルー・ディアス=アバヤ(フィリピン)、イム・グオンテク(韓国)といった、日本でもよく知られているアジアの監督たちの新作が集まり、豊かなラインナップとなった。

また初めての試みとして、バリアフリー上映会を実施。日本映画『風音』に、耳の不自由な方のための日本語字幕、目の不自由な方のための副音声をつけて上映した。映画祭入場券を提示することで、提携した飲食店舗で特典を受けられるサービスもスタートした。

なお、協賛企画として映画祭の最終日に特別上映された『ジーナ・K』は福岡を舞台にした作品。福岡出身の藤江儀全監督のデビュー作で、主演のSHUUBI、助演の吉居亜希子も参加してのプレミア上映には、朝早くから当日券を求める列ができた。



オー!マイDJ / Au Revoir, UFO



ホワイト・バレンタイン / White Valentine



下流人生 / Raging Years



〈オープニング上映〉秘境モトウオヘ…(2003年 中国)  
 OPENING FILM: *Stirring Trip to Mutuo* (2003/China)

Returning to Fukuoka for its second hosting after a lapse of 11 years, the 49th Asia Pacific Film Festival was held following the Focus on Asia 2004 Fukuoka International Film Festival. To add an air of color to our festival, tickets permitted audiences to see films presented in either festival. As a result, audience figures for this year reached a total of 23,020 setting an all time record.

*Stirring Trip to Mutuo*, the opening film from China and *Lalon* from Bangladesh drew special attention from those in the film industry from the point of view of being “discoveries of unknown masterpieces”. Other films from China included *When Ruoma Was Seventeen* depicting, with a rich sense of feeling, a girl from Yunan falling in love for the first time and *My Bittersweet Taiwan*, a winner of many film awards in China. With Japan presently in the midst of the very popular “Hanryu” trend of accepting Korean culture, the festival's four Korean films and a special Korean forum entitled “New Vision for a New Century” attracted quite an audience.

The film festival was able to present a rich lineup of the latest films by Asian film directors already well known in Japan, such as Dariush Mehrjui (Iran), Maniratnam (India), Sumitra Peries (Sri Lanka), Garin Nugroho (Indonesia), Marilou Diaz-Abaya (Philippines) and Im Kwon Taek (Korea).

A “barrier-free exhibition” was attempted for the very first time. *The Crying Wind* was screened with Japanese subtitles for the visually handicapped and a supplementary sound channel for those handicapped with hearing. Starting this year, tickets were offered with special added value good at participating restaurants.

A special screening of *Gena K*, the film directional debut of Yoshimasa Fujie of Fukuoka, was held on the closing day of the festival. The film set in Fukuoka, starred SHUUBI and Akiko Yoshii, who both attended the premiere screening which drew a large audience arriving early in the morning for their tickets.

## PROGRAM FOR 2004

※日本語の[ ]内は、劇場公開題 ※作品名の後に★の付いている作品は福岡市総合図書館所蔵  
 ★ Part of the Fukuoka City Public Library Film Archive Collection  
 掲載順序: 題名 Title / 監督 Director / 製作年 / 製作国 Country of Production / カラー / 分數

アジアパノラマ Asian Panorama				
裏側の子どもたち★ <i>Children of Secret</i>	アイトウン・サイマン Aydin Sayman	ウミット・C・ギュベン Ümit C. Güven	2002	トルコ・ハンガリー Turkey, Hungary / Color / 120min.
ザ・リザード★ <i>The Lizard</i>	カマル・タブリーズィー Kamal Tabrizi		2004	イラン Iran / Color / 115min.
ママのお客★ <i>Mama's Guest</i>	ダリウシュ・メールジュイ Dariush Mehrjui		2004	イラン Iran / Color / 108min.
冷たい涙★ <i>The Tear of the Cold</i>	アズィゾラー・ハミドネジャド Azizzollah Hamidnezhad		2004	イラン Iran / Color / 103min.
へだたり★ <i>At a Distance</i>	シャーマブラサード Shyamaprasad		2004	インド India / Color / 92min.
再び森で…★ <i>In the Forest... Again</i>	ゴータム・ゴシュ Goutam Ghose		2003	インド India / Color & BW / 125min.
愛は至高のもの★ <i>Love is God</i>	スンダル C. Sunder C.		2003	インド India / Color / 158min.
頬にキス★ <i>A Peck on the Cheek</i>	マニラトナム Maniratnam		2002	インド India / Color / 136min.
太陽のジャングル★ <i>Fire Fighters</i>	ソーマラトウネ・ディサーナーヤカ Somaratne Dissanayake		2004	スリランカ Sri Lanka / Color / 117min.
散歩の園★ <i>The Garden</i>	スミトラ・ペリス Sumitra Peries		2003	スリランカ Sri Lanka / Color / 110min.
ラロン★ <i>Lalon</i>	タンビール・モカンメル Tanvir Mokammel		2004	バングラデシュ Bangladesh / Color / 131min.
一度でいいからキスしたい <i>Bird-Man Tale</i>	ガリン・ヌグロホ Garin Nugroho		2002	インドネシア Indonesia / Color / 90min.
ビッグ・ドリアン★ <i>The Big Durian</i>	アミール・ムハマド Amir Muhammad		2003	マレーシア Malaysia / Color / 75min.
コウノトリの歌 <i>Song of the Stork</i>	ジョナサン・フー Jonathan Foo	グエン・ファン・クワン・ビン Nguyen Phan Quang Binh	2001	ベトナム・シンガポール Vietnam, Singapore / Color / 99min.
昔と今★ <i>Then and Now</i>	マリルー・ディアス=アバヤ Marilou Diaz-Abaya		2003	フィリピン Philippines / Color / 127min.
苦難の時代★ <i>The Seventies</i>	チト・S・ローニョ Chito S. Roño		2002	フィリピン Philippines / Color / 132min.
秘境モトウオヘ…★ <i>Stirring Trip to Mutuo</i>	ハスチャロー (哈斯朝魯) Hasi Chaolu		2003	中国 China / Color / 98min.
台湾往事 <i>My Bittersweet Taiwan</i>	ジョン・ドォンティエン (鄭洞天) Zheng Dongtian		2003	中国 China / Color / 93min.
ルオマは17歳 [雲南の少女 ルオマの初恋]	チャン・チアルイ (章家瑞) Zhang Jiarui		2002	中国 China / Color / 91min.
When Ruoma was Seventeen				
下流人生★ <i>Raging Years</i>	イム・グオンテク (임권택 / 林權澤) Im Kwon Taek		2004	韓国 Korea / Color / 105min.
僕が9歳になったら [僕が9歳だったころ]	ユン・イノ (윤인호) Yun In Ho		2004	韓国 Korea / Color / 105min.
When I Turned Nine				
オー!マイDJ <i>Au Revoir, UFO</i>	キム・ジンミン (김진민) Kim Jin Min		2004	韓国 Korea / Color / 106min.
ホワイト・バレンタイン <i>White Valentine</i>	ヤン・ユノ (양윤호) Yang Yun Ho		1999	韓国 Korea / Color / 89min.
ジャパニーズ・ストーリー <i>Japanese Story</i>	シュエ・ブルックス Sue Brooks		2003	オーストラリア Australia / Color / 107min.
風音 (ふうおん)★ <i>The Crying Wind</i>	東陽一 Higashi Yoichi		2004	日本 Japan / Color / 106min.
熊笹の遺言 <i>Live Forever</i>	今田哲史 Imada Satoshi		2003	日本 Japan / Color / 60min.
空白～迷壊・ハンセン病報道～ <i>Kuhaku</i>	井上佳子 Inoue Keiko		2001	日本 Japan / Color / 25min.

- 協賛企画:特別上映 Special Screening (9月20日/西鉄ホール)「ジーナK」(藤江儀全監督)
- 協賛企画:チャイニーズ・シネマ・コレクション (9月18日～20日/NTT 夢天神ホール)
- 協力企画:中国映画フェスティバル2004 中国電影之精華 - 第五代初期傑作選 (9月23日～28日/福岡アジア美術館あじびホール)
- 関連企画:第49回アジア太平洋映画祭 49th Asia Pacific Film Festival in Fukuoka (9月21日～25日/AMCチャンネルシティ13)



ビッグ・ドリアン / The Big Durian



ラロン / Lalon



ルオマは17歳 [雲南の少女 ルオマの初恋] / When Ruoma was Seventeen



裏側の子どもたち / Children of Secret



コウノトリの歌 / Song of the Stork



一度でいいからキスしたい / Bird-Man Tale



ザ・リザード / The Lizard



ジャパニーズ・ストーリー / Japanese Story



へだたり / At a Distance



ママのお客 / Mama's Guest



苦難の時代 / The Seventies



空白～迷壊・ハンセン病報道～ / Kuhaku



期 間	9月16日(金)～25日(日)
会 場	ソラリアシネマ1、 エルガーホール、西鉄ホール、 ふくふくホール、NTT夢天神ホール、中央市民センター
内 容	15カ国・地域36作品
入場者数	アジアフォーカス・福岡映画祭2005 16,446人 協賛企画など 2,230人 合 計 18,676人

HELD: 16th - 25th September, 2005  
 VENUES: Solaria Cinema 1, Nishitetsu Hall, Elgala Hall,  
 Fukufuku Hall, NTT Yume Tenjin Hall, Chuo Ward Civic Center  
 EXHIBITION OF: 36 films from 15 nations and regions  
 ATTENDANCE: Focus on Asia 2005 - FIFF 16,446  
 Sponsored Events 2,230  
 Total 18,676

開催15回目となるこの年は、「中東映画特集」としてシリア映画、イラク映画を初めてとりあげることとなり、大いに注目を集めた。特にフセイン政権崩壊後の正統政府樹立が進むイラクから参加した、『少女ジャーナ』のジャノ・ロジビアーニー監督には、数多くのメディア取材が集中した。併せて開催したフォーラム「中東映画事情」にも多くの聴衆が熱心に耳を傾けた。このフォーラムではロジビアーニー監督や、シリアのワーハ・アル＝ラーヒブ監督らが自国の映画製作状況について発表したほか、アジアフォーカス直前の9月1日から3日にかけて開催された「第1回イラク短編映画祭」の受賞作品も数本、参考上映した。

このほかにも、特集上映のなかでは、マジド・マジディ監督(イラン)の4年ぶりの劇映画『柳の木のように』、2005年イラン映画界の注目作『こんなに近く、こんなに遠く』などが話題を集めた。ドキュメンタリー作品では、台湾の傑作『ジャンプ! ボーイズ』が日本初公開されたことにより、国内配給会社の関心を集めている。『三池～終わらない炭鉱の物語』は地元の問題を描いているだけに、大牟田からも多くの観客が足を運んだ。

インド映画『ひと呼吸』、スリランカ映画『流れに逆らって』、マレーシア映画『砂利の道』などの胸を打つ作品も、観客の心に残った。

参加ゲストのなかでは、パク・チュンファンがトップスターぶりを発揮し、多くの韓国映画ファンの期待に応えたり、『二人日和』の主演、栗塚旭さんが上映の度に、福岡と京都を3度も往復していただき、観客を大いに沸かせた。バングラデシュの子役スター、ファハド君もあつという間に人気者に。

また、昨年スタートした映画祭チケット半券による優待サービスが、加盟店舗も増えて好評だったほか、今年から携帯電話用の映画祭ホームページも登場し、情報入手がより便利になった。



麻婆島(マバド)/Mapado



ネギをサクサク、卵をボン/Cracked Eggs &amp; Noodles



あぶない奴ら～TWO GUYS～/Two Guys



〈オープニング上映〉生きるために(2005年イラン)

OPENING FILM: A Border for Life (2005/Iran)

In our 15th year, we featured films from the Middle East. Our festival attracted attention from the fact that we exhibited our first Syrian and Iraqi film. With the fall of Saddam Hussein and a new country being built in Iraq, the media focused its attention by taking many interviews of Iraqi film director Jano Rosebani of Life. Our Forum, "Middle East Cinema", attracted a big audience, which listened enthusiastically to Jano Rosebani and film director Waha Alraheb from Syria make presentations on the current situation of film productions in their respective country. Several prize-winning short films from the "1st Iraqi Short Film Festival" were also screened as reference.

Within our feature program, much talk centered on The Willow Tree (Iran), the latest film from Majid Majidi after a lapse of 4 years, and So Close, So Far (Iran), which attracted the attention of the Iranian film industry in 2005. In the category of documentaries, we screened Jump! Boys from Taiwan, which caught the interest of domestic film distributors. Echoes from the Miike Mine (Japan) depicted a local problem in Fukuoka, and as a result, attracted big audiences from the locality.

Moving films such as A Breath (India), Against the Tide (Sri Lanka) and The Gravel Road (Malaysia) were also screened, leaving an impression with the audience.

Park Joong Hoon satisfied the expectation of film buffs as one of Korean top-name stars. Asahi Kurizuka, the leading star of Turn Over (Japan) thrilled the audience by making three trips to Fukuoka from Kyoto during our festival. Fahad, a child star from Bangladesh, also achieved instant popularity.

The system, which start last year where discounts were made available by presenting festival tickets, became ever more popular with more participating shops. Our home page also began a service where mobile phones could more easily receive festival information.

## PROGRAM FOR 2005

※作品名の後に★の付いている作品は福岡市総合図書館所蔵  
 ★ Part of the Fukuoka City Public Library Film Archive Collection  
 掲載順序: 題名 Title / 監督 Director / 製作年 / 製作国 Country of Production / カラー / 分数

## 中東映画特集 Feature Presentation: Middle East Cinema

頑固者たちの物語★ Tales of Intransigence	レイス・チェリッキ Reis Çelik	2004 /トルコ・ドイツ Turkey, Germany / Color / 91min.
夢と現実の日々 Dreamy Visions	ワーハ・アル＝ラーヒブ Waha Alraheb	2003 /シリア Syria / Color / 103min.
少女ジャーナ★ Life	ジャノ・ロジビアーニー Jano Rosebani	2002 /イラク Iraq (Kurdistan) / Color / 99min.
生きるために★ A Border for Life	レザ・アザミアン Reza Azamian	2005 /イラン Iran / Color / 78min.
母ギーラーネ★ Gilaneh	ラクシャン・バニエテマド Rakhshan Bani-Etemad	2005 /イラン Iran / Color / 84min.
	モフセン・アブドルヴァハブ Mohsen Abdolvahab	
こんなに近く、こんなに遠く★ So Close, So Far	レザ・ミル・カリミ Reza Mir Karimi	2005 /イラン Iran / Color / 121min.
柳の木のように★ The Willow Tree	マジド・マジディ Majid Majidi	2005 /イラン Iran / Color / 97min.

## アジア・パノラマ Asian Panorama

男が踊るとき★ Men's Dance	ユスフ・ラジコフ Yusuf Razykov	2002 /ウズベキスタン Uzbekistan / Color / 75min.
マナサロワールの愛★ Manasarovar	アヌーブ・クリアン Anup Kurian	2004 /インド India / Color / 94min.
ひと呼吸★ A Breath	サンディープ・サーヴァント Sandeep Sawant	2003 /インド India / Color / 107min.
流れに逆らって★ Against the Tide	スダットゥ・デーワプリヤ Sudath Devapriya	2003 /スリランカ Sri Lanka / Color / 103min.
ぼくはひとりぼっち★ The Alienation	モルシェドゥル・イスラム Morshedul Islam	2004 /バングラデシュ Bangladesh / Color / 91min.
砂利の道★ The Gravel Road	ディーパク・クマラン・メーナン Deepak Kumaran Menon	2005 /マレーシア Malaysia / Color / 92min.
はるか遠い日★ A Time Far Past	ホー・クワン・ミン Ho Quang Minh	2004 /ベトナム・フランス Vietnam, France / Color / 113min.
逃亡者トゥムル★ Tumur of Mountain	O. バトウルズィー O. Bat-ulzii	2004 /モンゴル Mongolia / Color / 107min.
窒息★ Suffocation	チャン・ビンジン(張秉堅) Zhang Bingjian	2004 /中国 China / Color / 89min.
ようこそ、羊さま Two Great Sheep	リュウ・ハオ(劉浩) Liu Hao	2004 /中国 China / Color / 100min.
草原の女★ The Story of Zhula	ハスチョロー(哈斯朝魯) Hasi Chaolu	2000 /中国 China / Color / 91min.
ジャンプ! ボーイズ★ Jump! Boys	リン・ユウシェン(林育賢) Lin Yu Hsien	2004 /台湾 Taiwan / Color / 84min.
ネギをサクサク、卵をボン★ Cracked Eggs & Noodles	オ・サンファン(오상훈) Oh Sang Hun	2005 /韓国 Korea / Color / 116min.
麻婆島(マバド)★ Mapado	チュ・チャンミン(추창민) Choo Chang Min	2005 /韓国 Korea / Color / 109min.
あぶない奴ら～TWO GUYS～ Two Guys	パク・ホンス(박현수) Park Hun Soo	2004 /韓国 Korea / Color / 111min.
二人日和(ふたりびより) Turn Over	野村恵一 Nomura Keiichi	2005 /日本 Japan / Color / 111min.
三池～終わらない炭鉱(やま)の物語★ Echoes from the Miike Mine	熊谷博子 Kumagai Hiroko	2005 /日本 Japan / Color / 103min.
ある朝スープは★ The Soup, One Morning	高橋泉 Takahashi Izumi	2003 /日本 Japan / Color / 90min.

■協賛企画:バリアフリー上映会(9月18日/ふくふくホール)

■協力企画:東アジア映画フェスタ2005(9月23～27日/中央市民センター)

こんなに近く、こんなに遠く/  
So Close, So Far

ジャンプ! ボーイズ/Jump! Boys



はるか遠い日/A Time Far Past



ぼくはひとりぼっち/The Alienation



マナサロワールの愛/Manasarovar



ようこそ、羊さま/Two Great Sheep



頑固者たちの物語/Tales of Intransigence



少女ジャーナ/Life



夢と現実の日々/Dreamy Visions



窒息/Suffocation



逃亡者トゥムル/Tumur of Mountain



母ギーラーネ/Gilaneh



# 2006



期 間 9月15日(金)~24日(日)  
 会 場 ソラリアシネマ1、  
 エルガーラホール、西鉄ホール、  
 NTT 夢天神ホール  
 内 容 15カ国・地域47作品  
 入場者数 アジアフォーカス・福岡映画祭2006 13,480人  
 協賛企画など 3,293人  
 合計 16,773人

HELD: 15th - 24th September, 2006  
 VENUES: Solaria Cinema 1, Elgala Hall, Nishitetsu Hall,  
 NTT Yume Tenjin Hall  
 EXHIBITION OF: 47 films from 15 nations and regions  
 ATTENDANCE: Focus on Asia 2006 - FIFF 13,480  
 Sponsored Events 3,293  
 Total 16,773

開催 16 回目を迎え、この年から、観客の評価によって決定する「コダック VISION アワード」がスタート。栄えある第 1 回受賞作品としてインドのジャヌ・バルア監督の社会派ドラマ『私はガンディーを殺していない』が選ばれ、コダックより副賞として、次回作製作のためのフィルム、250 万円相当が贈られた。

「この賞をいただいたということは、私のメッセージに観客のみなさんがすぐ反応してくださったということです。つまり、平和、非暴力のメッセージを大切に思ってくださった人が多かったということで、それをたいへん嬉しく思います。福岡のみなさまが、この映画を気に入ってくださったことを、私は決して忘れません。次回作はまだ考えていませんが、賞をいただいたことで、次回作を撮る勇気が出てきました」(バルア監督コメント)

オープニング上映作品は、アジア映画界の巨匠、スリランカのレスター・ジェームス・ピーリス監督が 87 歳を迎えて発表した最新作『母』のワールド・プレミア。残念ながら、監督は高齢のためにアジアフォーカス参加はならなかったが、この作品の製作を務めた、夫人のスミトラ・ピーリス監督からメッセージが代読された。

またこの年の5月に亡くなったタイ映画界の巨匠、チャード・ソンスィー監督の遺作となった『絵の裏』の特別上映のほか、協賛企画として福岡市総合図書館所蔵7作品によるチャード監督の回顧展も実施された。

この年のアジアフォーカスの特徴としては、公式招待24作品のうちの半数以上が長編2作目までの監督作となるなど、新しい世代の台頭があげられる。フォーラムは「アジア映画の新しい世代と未来」をテーマに行われた。パネリストとしてリリ・リザ監督がインドネシア、ロイストン・タン監督がシンガポールのそれぞれの映画製作事情をレポートした。

開催期間中の三連休には、台風13号が福岡に上陸して最大瞬間風速49.0メートル(観測史上2番目)を記録。交通機関の運休や商業施設の臨時休業などのなか、なんとか上映は予定どおり実施したものの、観客の足には大きな影響がでた。一方で、池谷薫監督が元残留兵のその後を追ったドキュメンタリー『蟻の兵隊』に多くの観客が詰めかけた。会場に観客が入りきれない状態となって、最終日に急遽、追加上映を実施。1995年の日本映画『午後の遺言状』以来の追加上映となった。

10月には、ここ数年の映画祭上映6作品を集めた「アジアフォーカス・イン・熊本」を実施した。



〈コダックVISIONアワード受賞作品〉  
 私はガンディーを殺していない/  
 Kodak VISION Award: "I Did Not Kill Gandhi"



蟻の兵隊 / The Ants



ミスター主婦クイズ王 / Mr. Housewife



〈オープニング上映〉母(2006年 スリランカ)  
 OPENING FILM: *Elegy for a Mother* (2006/Sri Lanka)

On its 16th anniversary, the Festival presented the 1st Kodak VISION Award. The 1st of this prestigious award was given to an Indian social film *I Did Not Kill Gandhi*. Jahnú Barua, the film director, accepted the award and the prize of raw stock film worth ¥2,500,000 from Kodak to be used for his next film.

Jahnú Barua commented on the occasion as follows: "I won this award thanks to the audience's quick response to my film's message. I am very pleased with it because it means so many people agreed with my message of peace and nonviolence as it is considered something very important. I will never forget how the audience in Fukuoka liked this film. I am not sure of my next feature yet, however I am encouraged to shoot it thanks to this award".

The opening film *Elegy for a Mother* from Sri Lanka was screened as a world premiere. It was directed by one of the great Asian film directors, Lester James Peries, who unfortunately could not attend because of his age (87 years old). On his behalf, his wife, Sumitra Peries, delivered a message.

*Behind the Painting*, the posthumous work of the late great Thai director, Cherd Songsri, who passed away in May, was shown in a special screening. His film retrospective was also held as a special event with the exhibition of 7 of his films currently archived by the Fukuoka City Public Library Film Archive.

This year's festival was characterized by the rise of a new generation of filmmakers. Of our 24 officially invited films, more than half were either the film director's 1st or 2nd feature film. At our Forum entitled "A New Generation and the future for Asian Films" film director Riri Riza from Indonesia and Royston Tan from Singapore gave a report on the circumstances surrounding film production in their respective countries.

During the festival, Typhoon No. 13 hit Fukuoka on a three-day weekend with a maximum momentary wind speed of 49.0 meters (the 2nd biggest typhoon in Fukuoka's history). Somehow the screening was able to proceed as scheduled. However, cancellation of public transportation and the temporary closing of commercial shops and facilities did affect our audience. On the other hand, a huge crowd turned out to see *The Ants*, a documentary on the life of a former soldier who stayed behind at the warfront. An additional screening of this film was held on very short notice on the final day of the festival due to the over-capacity size of the audience. It was the 2nd additional screening in the history of the festival since *A Last Note* in 1995.

A "Focus on Asia in Kumamoto" was held in October where 6 films shown in Fukuoka in the past few years, were exhibited.

## PROGRAM FOR 2006

※作品名の後に★の付いている作品は福岡市総合図書館所蔵  
 ★ Part of the Fukuoka City Public Library Film Archive Collection  
 掲載順序: 題名 Title / 監督 Director / 製作年 / 製作国 Country of Production / カラー / 分数

上映作品				
キロメートル・ゼロ★ <i>Kilometre Zero</i>	ヒネル・サリム Hiner Saleem	2005 / イラク・フランス Iraq, France / Color / 89min.		
おやすみなさい、兵士たち★ <i>Goodbye, Life</i>	エンスイエ・シャー・ホセイニ Ensieh Shah-Hosseini	2006 / イラン Iran / Color / 93min.		
私はガンディーを殺していない★ <i>I Did Not Kill Gandhi</i>	ジャヌ・バルア Jahnú Barua	2005 / インド India / Color / 104min.		
霧の中の記憶★ <i>Memories in the Mist</i>	ブッダデーブ・ダスグプタ Buddhadeb Dasgupta	2005 / インド India / Color / 120min.		
母★ <i>Elegy for a Mother</i>	レスター・ジェームス・ピーリス Lester James Peries	2006 / スリランカ Sri Lanka / Color / 94min.		
人形の家★ <i>Dollhouse</i>	モルシェドル・イスラム Morshedul Islam	2006 / バングラデシュ Bangladesh / Color / 123min.		
GIE★ <i>Gie</i>	リリ・リザ Riri Riza	2005 / インドネシア Indonesia / Color / 147min.		
4:30 (フォーサーティ) 4:30	ロイストン・タン Royston Tan	2005 / シンガポール・日本 Singapore, Japan / Color / 93min.		
ドバイの恋★ <i>Dubai</i>	ロリー・B・キントス Rory B. Quintos	2005 / フィリピン Philippines / Color / 110min.		
ビザさえあれば★ <i>La Visa Loca</i>	マーク・メイリー Mark Meily	2005 / フィリピン Philippines / Color / 107min.		
親友 <i>Dear Dakanda</i>	コムグリット・ドゥリーウィモン Khomkrit Treewimol	2005 / タイ Thailand / Color / 132min.		
パオの物語★ <i>Story of Pao</i>	ゴウ・クアン・ハイ Ngo Quang Hai	2006 / ベトナム Vietnam / Color / 102min.		
癒やされた地 <i>Living in Fear</i>	ブイ・タク・チュエン Bui Thac Chuyen	2005 / ベトナム・日本 Vietnam, Japan / Color / 110min.		
あなたがいない時★ <i>In Your Absence</i>	O. バトウルズィー O. Bat-uzii	2006 / モンゴル Mongolia / Color / 90min.		
胡同(フートン)の理髪師★ <i>The Old Barber</i>	ハスチャロウ(ハス朝魯) Hasi Chaolu	2006 / 中国 China / Color / 105min.		
無窮動★ <i>Perpetual Motion</i>	ニン・イン(寧瀛) Ning Ying	2005 / 中国 China / Color / 90min.		
飛び魚を待ちながら★ <i>Fishing Luck</i>	ツェン・ウェンチェン(曾文珍) Tseng Wen Chen	2005 / 台湾 Taiwan / Color / 94min.		
ドント・ルック・バック★ <i>Don't Look Back</i>	キム・ヨナム(김영남) Kim Young Nam	2006 / 韓国・日本 Korea, Japan / Color / 127min.		
私の生涯で最も美しい一週間★	ミン・ギュドン(민규동) Min Kyu Dong	2005 / 韓国 Korea / Color / 131min.		
<i>All for Love - The Most Beautiful Week of My Life</i>				
ミスター主婦クイズ王 <i>Mr. Housewife</i>	ユ・ソンドン(유선동) Yoo Sun Dong	2005 / 韓国 Korea / Color / 107min.		
ウェディング・キャンペーン <i>My Wedding Campaign</i>	ファン・ビョングク(황병국) Hwang Byeng Gug	2005 / 韓国 Korea / Color / 121min.		
蟻の兵隊★ <i>The Ants</i>	池谷薫 Ikeya Kaoru	2005 / 日本 Japan / Color / 101min.		
エイン <i>EIN</i>	モンティンダン Maung Thein Dan	2006 / 日本 Japan / Color / 45min.		
はい毎度! A Korean I met in Japan	ファン・ビョングク(황병국) Hwang Byeng Gug	1998 / 日本 Japan / Color / 40min.		
<i>A Korean I met in Japan</i>				
絵の裏 <i>Behind the Painting</i>	チャード・ソンスィー Cherd Songsri	2000 / タイ Thailand / Color / 120min.		

- 協賛企画: バリアフリー上映会(9月24日/エルガーラホール)
- 協賛企画: チャード・ソンスィー監督回顧展(9月16日~18日・9月21日~24日/福岡市総合図書館映像ホール・シネラ)
- 協賛企画: 中国映画フェスティバル2006(9月21日~26日/福岡アジア美術館あじびホール)
- 協賛イベント: 総合図書館フィルム・アーカイヴ・コレクション(9月8日~10日/福岡アジア美術館あじびホール)
- 協賛イベント: 2006年(第17回)福岡アジア文化賞大賞受賞記念映画上映会「映像でみる莫言の世界」(9月9・10・16日/西鉄ホール・イムズホール)
- アジアフォーカス・イン・熊本(10月4日~9日/熊本市現代美術館アートロフト)



私の生涯で最も美しい一週間 /  
*All for Love - The Most Beautiful Week of My Life*



胡同の理髪師 / The Old Barber



ドバイの恋 / Dubai



4:30 (フォーサーティ) / 4:30



GIE / Gie



おやすみなさい、兵士たち / Goodbye, Life



キロメートル・ゼロ / Kilometre Zero



パオの物語 / Story of Pao



親友 / Dear Dakanda



人形の家 / Dollhouse

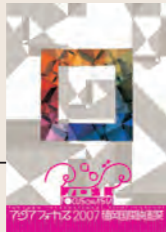


飛び魚を待ちながら / Fishing Luck



癒やされた地 / Living in Fear

2007



期 間	9月14日(金)~24日(月・休)	
会 場	ソラリアシネマ1、西鉄ホール、 エルガーラホール	
内 容	16カ国・地域51作品	
入場者数	アジアフォーカス・福岡国際映画祭2007	13,234人
	協賛企画など	3,044人
	合計	16,278人

HELD: 14th - 24th September, 2007  
 VENUES: Solaria Cinema 1, Nishitetsu Hall, Elgala Hall  
 EXHIBITION OF: 51 films from 16 nations and regions  
 ATTENDANCE: Focus on Asia 2007 - FIFF 13,234  
 Sponsored Events 3,044  
 Total 16,278

開催17回目を迎えた今年の映画祭は、新ディレクターに梁木靖弘氏が就任するとともに、名称に「国際」の2文字を加え「アジアフォーカス・福岡国際映画祭」として、新たなスタートをきった。観客が観たい作品を選択しやすいように、何を観せたいのかというコンセプトを明確にし、「泣くな、踊れ、アジアの女性たちよ!」「ディーバ・メータ監督特集~ディアスポラのアジア」「日本の民衆史」「福岡フィルムコミッション支援作品」など、さまざまな切り口で特集を組んだ。そのほか、アジアの新作・話題作でも注目すべき作品を集め、芸術から娯楽まで、アジア映画の幅広さと魅力を満載したラインナップを揃えた。

オープニング上映作品は、2007年ベルリン国際映画祭金熊賞に輝いた、ワン・チュアンアン監督の『トゥーヤの結婚』。同作品は2008年お正月第2弾ロードショーとして劇場公開が決定した(劇場公開題『トゥーヤの結婚』)。また昨年より始まった市民が選ぶ福岡観客賞(コダックVISIONアワード)には、リュウ・フイン・リュウ監督のベトナム映画『アオザイ』が選ばれた。

多彩な関連イベントも開催した。「泣くな、踊れ、アジアの女性たちよ!」で特集された監督たちをパネリストに迎えたフォーラムでは、昨年度日本映画界の話題をさらった『フラガール』を鑑賞後に、映画の中で表現される女性と踊りについて意見交換を行った。また、この年、福岡市と姉妹都市を結んだ韓国・釜山市で開催されている「釜山アジア短編映画祭」の入賞作品等6本を上映するとともに、同映画祭ディレクターと入賞作品監督による、シンポジウム「釜山からの新しい風」を開催した。地元・福岡出身の国民的歌手、赤坂小梅の生涯を描いたドキュメンタリー『小梅姐さん』の上映では、炭坑節の踊りやSPレコードコンサートなどで会場を盛り上げた。

映画祭開幕前の8月には、アジア映画ファンの裾野を広げようと、3回連続の映画講座「シネマ・デ・アジア」を開催した。福岡市総合図書館映像ホール・シネラを会場に、李鳳宇・高樹のぶ子・石坂健治の各氏が、アジア映画の上映後に梁木ディレクターとの対談を行った。



〈コダックVISIONアワード受賞作品〉  
アオザイ Kodak VISION Award: The White Silk Dress



あたしが踊る! / I Want to Dance



マイ・マザー・イズ・ア・ベリーダンサー / My Mother is a Belly Dancer



〈オープニング上映〉トゥーヤの結婚 [トゥーヤの結婚]  
(2006年 中国)

OPENING FILM: Tuya's Marriage (2006/China)

On our 17th year, the Festival took a new direction with the appointment of Yasuhiro Hariki as its new Festival Director, and by adding the word "international" ("kokusa" in Japanese) to our Japanese name to match our English name. The Festival made a conceptual presentation of its program line-up in an effort to make it easier for the audience to select the films of their choice. As a result, our feature programs were produced under such headings as "Woman of Asia, Brush Away Your Tears and Dance!", "Asia with Diaspora -The Deepa Mehta Trilogy", "The Folk History of Japan" and "Films Supported by the Fukuoka Film Commission". Additionally we put together an attractive Asian film lineup of brand new and much talked about titles, encompassing a wide spectrum of Asian film splendor from art to entertainment.

Our opening film, Tuya's Marriage, a film directed by Wang Quanan, which won the Golden Bear Award at the Berlin International Film Festival in 2006, has since been theatrically released in Tokyo during the 2008 New Year holiday season. The 2007 winner of our Fukuoka Audience Award (Kodak VISION Award), which was started last year, went to The White Silk Dress, a Vietnamese film directed by Luu Huynh Luu.

A wide variety of events were held during the Festival. Film directors to films featured in our "Woman of Asia, Brush Away Your Tears and Dance!" section of our program were invited as panelists to a Forum where they exchanged views on women and dance in motion pictures, after the screening of Hula Girl a much talked about motion picture in the Japanese film industry in 2006. Additionally, we exhibited 6 award-winning titles from the Busan Asian Short Film Festival, of Busan, Korea, a city, which formalized a sister-city relationship with Fukuoka this year. A special symposium entitled, "A New Breeze From Busan" was presented featuring the Director of the Busan Asian Short Film Festival and the film directors to the award winning titles exhibited. On another note, the exhibition of KOUUME, the Legendary Singer, a documentary on the life of Koume Akasaka, a nationally renowned female singer in Japan born in Fukuoka, was accompanied by performances of the Tankobushi, a local dance which originated as a coal miners' work song, and SP phonographic recitals of the singer, which helped liven up the audience.

In August, before the opening of the Festival, a series of 3 lecture courses entitled "Cinema de Asia" was held at the Fukuoka City Public Library for the purpose of broadening the audience base for Asian films. The courses featured distinguished guests such as Lee Bong Ou, Nobuko Takagi and Kenji Ishizaka who, with Yasuhiro Hariki, the Festival Director, held discussions on stage after the exhibition of Asian films.

## PROGRAM FOR 2007

※日本語の[ ]内は、劇場公開題 ※作品名の後に★の付いている作品は福岡市総合図書館所蔵  
 ★ Part of the Fukuoka City Public Library Film Archive Collection  
 掲載順序: 題名 Title / 監督 Director / 製作年 / 製作国 Country of Production / カラー / 分数

泣くな、踊れ、アジアの女性たちよ! Woman of Asia, Brush Away Your Tears and Dance!				
ヴァナジャ★ Vanaja	ラージネーシュ・ドーマラパリ Rajnesh Domalpalli	2006 / インド・アメリカ India, USA / Color / 111min.		
ダンシング・ベル★ Dancing Bells	ディーバク・クマラン・メナン Deepak Kumaran Menon	2006 / マレーシア Malaysia / Color / 98min.		
マイ・マザー・イズ・ア・ベリーダンサー My Mother is a Belly Dancer	リー・コンロク (李公樂) Lee Kung Lok	2006 / 香港 Hong Kong / Color / 100min.		
あたしが踊る! I Want to Dance	フー・シュー (胡庶) Hu Shu	2006 / 中国 China / Color / 79min.		

アジアの新作・話題作 New Asian Films				
砂塵を越えて★ Crossing The Dust	シャウキット・A. コルキ Shawkat A.Korki	2006 / イラク クルディスタン・フランス Iraq (Kurdistan), France / Color / 76min.		
地の果てまでも★ The Last Queen of the Earth	モハマト・レザ・アラブ Mohammad Reza Arab	2006 / イラン Iran / Color / 89min.		
天空の路★ The Road Under the Heavens	カマラ・カマロフ Kamara Kamalova	2006 / ウズベキスタン Uzbekistan / Color / 74min.		
ドン Don	ファルハーン・アクタル Farhan Akhtar	2006 / インド India / Color / 168min.		
いきなり、ダンドゥット★ Suddenly Dangdut	ルディ・スジャラルウォ Rudi Soedjarwo	2006 / インドネシア Indonesia / Color / 95min.		
永遠探しの3日間★ 3 Days to Forever	リリ・リザ Riri Riza	2006 / インドネシア Indonesia / Color / 103min.		
ここに陽はのぼる ~東ティモール独立への道★ Where the Sun Rises	グレース・パン Grace Phan	2006 / シンガポール・東ティモール Singapore, Timor - Leste / Color / 71min.		
早春譜★ Seasons Change	ニティワット・タラートーン Nithiwat Tharatorn	2006 / タイ Thailand / Color / 117min.		
ミージュ Mheejou	スキャンヤー・ウォンサターパット Sukanya Vongthapat	2007 / タイ Thailand / Color / 79min.		
アオザイ★ The White Silk Dress	リュウ・フイン・リュウ Luu Huynh Luu	2006 / ベトナム Vietnam / Color / 142min.		
風と砂の女★ Desert Dream	チャン・リュル (張麗 / 苴露) Zhang Lu	2006 / モンゴル・韓国・フランス Mongolia, Korea, France / Color / 125min.		
トゥーヤの結婚 [トゥーヤの結婚]★ Tuya's Marriage	ワン・チュアンアン (王全安) Wang Quanan	2006 / 中国 China / Color / 96min.		
自転車で行こう★ The Road in the Air	イサク・リイ (李志蕃) Isaac Li	2006 / 台湾 Taiwan / Color / 81min.		

ディーバ・メータ監督特集~ディアスポラのアジア Diaspora Asia-The Deepa Mehta Trilogy				
とらわれの水 Water	ディーバ・メータ Deepa Mehta	2005 / インド・カナダ India, Canada / Color / 117min.		
1947年・大地 Earth	ディーバ・メータ Deepa Mehta	1998 / インド・カナダ India, Canada / Color / 108min.		
炎 Fire	ディーバ・メータ Deepa Mehta	1996 / インド・カナダ India, Canada / Color / 108min.		

日本の民衆史 The Folk History of Japan				
陸(おか)に上った軍艦 The Warship That Walked on Land	山本保博 Yamamoto Yasuhiro	2007 / 日本 Japan / Color / 95min.		
新・あつい壁 New Thick Wall	中山節夫 Nakayama Setsuo	2007 / 日本 Japan / Color / 111min.		
小梅姐さん★ KOUUME, the Legendary Singer	山本祥古 Yamamoto Hiko	2007 / 日本 Japan / Color / 76min.		

福岡フィルムコミッション支援作品 Films Supported by the Fukuoka Film Commission				
相撲ら!★ Let's Sumo!	アフドリン・シャウキ Afdlin Shauki	2007 / マレーシア・日本 Malaysia, Japan / Color / 142min.		
逃亡くそわけー 21才の夏 Fuckin' Runaway	本橋圭太 Motohashi Keita	2007 / 日本 Japan / Color / 99min.		

釜山アジア短編映画祭 The Busan Asian Short Film Festival				
贈り物 Gift	イ・イニ (이민익) Lee In Eui	2006 / 韓国 Korea / Color / 28min.		
普通の人々 Ordinary People	イ・ユリム (이유림) Lee Yu Rim	2007 / 韓国 Korea / Color / 28min.		
過ぎ去る一日 One Day to Be Passing by	キム・ヤンヒ (김양희) Kim Yang Hee	2007 / 韓国 Korea / Color / 19min.		
道具 Tool	ユン・ヨンア (윤용아) Yoon Yong-A	2006 / 韓国 Korea / Color / 8min.		
いつか判る You Will Know	キム・ヨンジェ (김영제) Kim Young Jae	2007 / 韓国 Korea / Color / 21min.		
グレイスランド Graceland	アノーチャ・スウィチャー・ゴーンポン Anocha Suwichakornpong	2006 / タイ Thailand / Color / 17min.		

- 協賛企画: バリアフリー上映会 (9月23日 / エルガーラホール)
- 中国映画フェスティバル2007 (9月27日~10月2日 / 福岡アジア美術館あじびホール)
- アジアフォーカス・アーカイヴズ (9月15日~30日 / 福岡市総合図書館映像ホール・シネラ)



ダンシング・ベル / Dancing Bells



炎 / Fire



砂塵を越えて / Crossing The Dust



早春譜 / Seasons Change



ヴァナジャ / Vanaja

## 2008



期 間	9月12日(金)~21日(日)
会 場	ソラリアシネマ1、 エルガーラホール、西鉄ホール
内 容	21カ国・地域69作品
入場者数	アジアフォーカス・福岡国際映画祭2008 14,379人 協賛企画など 5,231人 合計 19,610人

HELD: 12th - 21st September, 2008  
 VENUES: Solaria Cinema 1, Elgala Hall, Nishitetsu Hall  
 EXHIBITION OF: 69 films from 21 nations and regions  
 ATTENDANCE: Focus on Asia FIFF 2008 14,379  
 Sponsored Events 5,231  
 Total 19,610

開催 18 回目を迎えた今年の映画祭は、西はトルコから、北はキルギス・カザフスタン、南はシンガポールまでとアジア全域より、さらに新人監督から巨匠まで多彩な顔ぶれの監督による作品が揃った。

特集として、近年世界の映画祭で注目を集めているトルコ映画を4本まとめて上映した。また、台湾出身で香港、アメリカ、中国と舞台を移しながら活躍を続けている、李安監督の長編デビュー作からの父親3部作も一挙上映した。

オープニング上映作品は、トルコ映画特集の中の一作品、アブドゥラー・オズ監督の『至上の掟』。ゲストとして来福した、主演俳優のタラット・ブルット氏が日本語で挨拶をすると、会場は大きな歓声に包まれた。第3回目となる市民が選ぶ福岡観客賞には、現代イスラム共同体全般にみられる数多くの問題や論点を取り上げた、ショエーブ・マンズール監督のパキスタン映画『神に誓って』が選ばれた。

また、例年以上に充実した関連イベントも開催された。特集に対応する形で「トルコ・シネマ・ルネッサンス」と題し、トルコ映画監督、トルコ研究者、トルコ人留学生を講師に、トルコ共和国並びにトルコ映画の現状と、その魅力を探った。また、在福岡トルコ共和国名誉総領事館とともに「トルコ交流の夕べ」を開催し、駐日大使をお迎えして地元経済人を中心に同国と九州・福岡との友好を深めた。

さらに本年、福岡大学人文学部東アジア地域言語学科が開設 10 周年を迎えることから、同学科との共催により、シンポジウム〜ディアスポラのアジア第二章〜「アジア映画のキメラ “李安” 監督」を語る」を開催し、学生を中心に多くの聴衆を集めた。

その他にも、本映画祭初めての試みとして、子育て世代のアジア映画鑑賞を手助けするために乳幼児を預かる託児サービスを始めるとともに、字幕を読むことが難しい小学生を対象にボランティアの声優がその場で台詞を吹き替えるボイスオーバー上映会を行った。また、会場以外でもゲストと身近に接することができる機会として、文化芸術情報館アトリエを会場にドリンク付きのトークイベント「カフェトーク」を開催し、大いに賑わった。

映画祭前には、3月から7月までの各月1回、韓国や中国、東南アジアなど各国・地域の映画をテーマとしたアジア映画講座を開催したところ、毎回定員を上回る申し込みをいただき、熱心なアジア映画ファンが育っていることが実感された。



〈福岡観客賞受賞作品〉神に誓って  
 WINNER OF THE FUKUOKA AUDIENCE AWARD : In the Name of God



パボ / BA:BO



オーム・シャンティ・オーム / Om Shanti Om



〈オープニング上映〉至上の掟(2006年 トルコ)

OPENING FILM: Bliss (2006/Turkey)

Celebrating its 18th year, our Festival exhibited a wide selection of films from countries and regions across Asia ranging from Turkey in the west, the Kyrgyz Republic, Kazakhstan in the north, and Singapore in the south. Our diversified line-up of motion pictures ranged from the works of new film directors to those of the maestros.

As a special feature, we exhibited four films from Turkey, a country receiving much attention lately at international film festivals. Our other special screening was the 'Father Trilogy' by Ang Lee, the director from Taiwan who continues his filmmaking career, moving about from and to such places as Hong Kong, the United States and China. The "Father Trilogy" we exhibited included Lee's feature film directional debut.

Our opening night film was *Bliss* directed by Abdullah Oguz from Turkey; a motion picture we included in our special feature of Turkish films. The audience broke out in cheers when Talat Bulut, the leading actor of the film, gave a speech in Japanese. The Fukuoka Audience Award in its 3rd year was awarded to *In the Name of God* from Pakistan directed by Shoab Mansoor, a film addressing many of the problems and issues surrounding Muslim communities today.

Events of our 2008 Festival were more enriching than last year. Along with our special screening of Turkish films, a forum entitled "A Renaissance of Turkish Cinema" was held to discuss the present state of Turkish films and to explore the fascination behind Turkish cinema. Panelists included a film director from Turkey, a Turkish researcher and a graduate student from Turkey. In addition, a reception entitled "Turkish Night" was co-hosted by the Honorary Consulate General of the Republic of Turkey in Fukuoka to which the Turkish ambassador to Japan was invited along with local business people to deepen exchanges between Turkey, Kyushu and Fukuoka.

A symposium entitled "Asia with Diaspora - Ang Lee, the 'Chimera of Asian Films'" was organized jointly by our festival and Fukuoka University in commemoration of the 10th Anniversary of the university's Faculty of Humanities, Department of East Asian Studies. The symposium attracted a considerable audience, centered on students.

For the first time, day care services for infants and little children were made available to parents to provide them with an opportunity to appreciate Asian films. Furthermore Voice-Over Screenings were also held for the first time for elementary school students who often have difficulty following subtitles. Such screenings had volunteer voice actors and actresses dub the script live on the spot.

Additionally, "Cafe Talk", a talk show style event, was held at the Culture Information Artelier, which offered one drink with the admission. The greatly successful event provided an opportunity for the public to get acquainted with festival guests.

Prior to the opening of the festival lecture courses were held monthly from March through July that thematically highlighted motion pictures from Korea, China and Southeast Asia. Each lecture attracted an over capacity amount of applicants making us realize the existence of an increasing number of Asian film lovers.

## PROGRAM FOR 2008

※日本語の[ ]内は、劇場公開題 ※作品名の後に★の付いている作品は福岡市総合図書館所蔵  
 ★ Part of the Fukuoka City Public Library Film Archive Collection  
 掲載順序: 題名 Title / 監督 Director / 製作年 / 製作国 Country of Production / カラー / 分数

トルコ・シネマ・ルネッサンス A Renaissance of Turkish Cinema			
至上の掟★ Bliss	アブドゥラー・オズ	Abdullah Oğuz	2006 /トルコ Turkey / Color / 111min.
天使の墜落★ Angel's Fall	セミ・カプランオウル	Semih Kaplanoglu	2005 /トルコ・ギリシャ Turkey, Greece / Color / 97min.
卵★ Egg	セミ・カプランオウル	Semih Kaplanoglu	2007 /トルコ・ギリシャ Turkey, Greece / Color / 98min.
インターナショナル★ The International	スッル・スレイヤ・オンデル	Sirri Sureyya Önder	2006 /トルコ Turkey / Color / 106min.
	ムハムレム・ギュルメズ	Muharem Gülmez	

## 上映作品

サービス圏外 Out of Coverage	アブドゥラティフ・アブドゥルハミド	Abdullatif Abdulhamid	2007 /シリア Syria / Color / 100min.
サントゥール奏者★ Santouri	ダリウシュ・メールジュイ	Dariussh Mehrjui	2007 /イラン Iran / Color / 106min.
すずめの唄★ The Song of Sparrows	マジド・マジディ	Majid Majidi	2007 /イラン Iran / Color / 96min.
神に誓って★ In the Name of God	ショエーブ・マンズール	Shoab Mansoor	2007 /パキスタン Pakistan / Color / 169min.
盗まれた花嫁★ Pure Coolness	エルネスト・アブディジャパロフ	Ernest Abdyjaparov	2007 /キルギスタン・カザフスタン Kyrgyzstan, Kazakhstan / Color / 100min.

オーム・シャンティ・オーム Om Shanti Om	ファラー・カーン	Farah Khan	2007 /インド India / Color / 169min.
881 歌え! ババイヤ 881	ロイストン・タン	Royston Tan	2007 /シンガポール・日本 Singapore, Japan / Color / 109min.

ポケットの花★ Flower in the Pocket	リュウ・センタック (劉城達)	Liew Seng Tat	2007 /マレーシア Malaysia / Color / 97min.
サイアム・スクエア [ミウの歌] Love of Siam	チュウキアット・サククウィーラクン	Chookiat Sakveerakul	2007 /タイ Thailand / Color / 158min.
どん底★ Slingshot	ブリランテ・メンドーサ	Brillante Ma. Mendoza	2007 /フィリピン Philippines / Color / 86min.
愛を信ず In Love We Trust	ワン・シャオシュアイ (王小帥)	Wang Xiaoshuai	2007 /中国 China / Color / 115min.
愛の歯★ Teeth of Love	チュアン・ユイシン (庄宇新)	Zhuang Yuxin	2007 /中国 China / Color / 114min.
生きていく日々★ The Way We Are	アン・ホイ (許鞍華)	Ann Hui	2007 /香港・中国 Hong Kong, China / Color / 90min.
マッド探偵 (ディテクティブ) Mad Detective	ジョニー・トー (杜琪峰)	Johnnie To	2007 /香港 Hong Kong / Color / 98min.
	ワイ・カーファイ (韋家輝)	Wai Ka Fai	

神も人も犬も★ God Man Dog	チェン・シンイー (陳芯宜)	Chen Singing	2007 /台湾 Taiwan / Color / 119min.
7月32日★ July 32nd	チン・スンヒョン (진승현)	Jin Seung Hyun	2008 /韓国 Korea / Color / 96min.
見知らぬ国★ Hello, Stranger	キム・ドンヒョン (김동헌)	Kim Dong Hyun	2007 /韓国 Korea / Color / 113min.
パボ BA:BO	キム・ジョンゴン (김정권)	Kim Jung Kwon	2008 /韓国 Korea / Color / 100min.
ネコナデ Nekonade	大森美香	Oomori Mika	2008 /日本 Japan / Color / 85min.

## ディアスポラのアジア〜第二章〜「李安」監督 Asia with Diaspora II: Director Ang Lee

推手★ Pushing Hands	リー・アン (李安)	Lee Ang	1991 /台湾 Taiwan / Color / 107min.
ウェディング・バンケット★ The Wedding Banquet	リー・アン (李安)	Lee Ang	1993 /台湾 Taiwan / Color / 108min.
飲食男女 [恋人たちの食卓]★ Eat Drink Man Woman	リー・アン (李安)	Lee Ang	1994 /台湾 Taiwan / Color / 124min.

- ボイスオーバー上映会(9月21日/エルガーラホール)
- 協賛企画:バリアフリー上映会(9月20日/エルガーラホール)
- 協賛企画:アジアフォーカス・アーカイヴズ(8月13日~29日/福岡市総合図書館映像ホール・シネラ)
- 協賛企画:日本映画名作選(9月10日~27日/福岡市総合図書館映像ホール・シネラ)
- 協賛企画:福岡アジア文化賞大賞受賞記念アン・ホイ監督特集(9月4日~7日/福岡市総合図書館映像ホール・シネラ)
- 協賛企画:中国映画フェスティバル2008 東南アジアの映像クリエイター特集(9月25日~29日/福岡アジア美術館あじびホール)



卵 / Egg



すずめの唄 / The Song of Sparrows



ポケットの花 / Flower in the Pocket



サイアム・スクエア [ミウの歌] / Love of Siam



どん底 / Slingshot



愛を信ず / In Love We Trust

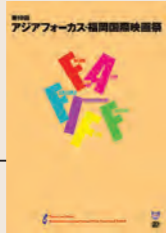


神も人も犬も / God Man Dog



881 歌え! ババイヤ / 881

# 2009



期 間	9月18日(金)~27日(日)
会 場	西鉄ホール、エルガーラホール、福岡国際会議場
内 容	18カ国・地域、47作品
入場者数	アジアフォーカス・福岡国際映画祭2009 14,471人 協賛企画 4,205人 合計 18,676人

HELD: 18th - 27th September, 2009  
 VENUES: Elgala Hall, Nishitetsu Hall, Fukuoka International Congress Center  
 EXHIBITION OF: 47 films from 18 nations and regions  
 ATTENDANCE: Focus on Asia FIFF 2009 14,471  
 Sponsored Events 4,205  
 Total 18,676

「福岡アジアマンス 20 周年」となる今年は、福岡アジア文化賞やアジア太平洋フェスティバル福岡、福岡アジア美術トリエンナーレなどアジアマンス主要事業と共同で記念事業を実施するなど、これまで以上に各事業との連携を深め協力して事業に取り組んだ。

また、福岡市と韓国・釜山広域市との間で今年を「福岡 - 釜山友情年」と設定したことを受け、韓国映画3本を特集上映するとともに、韓流ブーム以降の日韓映画を振り返るシンポジウムを開催した。

オープニング上映は、その韓国映画特集の中の一作品、チェ・ホ監督が70年代の若者たちを描いた感動の音楽映画『GO GO 70s』。『福岡アジアマンス 20 周年』記念として、初めて福岡国際会議場を上映会場に使用した。アジア各国・地域から来福したゲストが会場内のレッドカーペットを華やかに歩いて入場すると、メインホールを埋めた約1,000人の観客が大きな拍手で迎えた。

第4回目となる市民が選ぶ福岡観客賞には、ベトナム戦争時に書かれた日記のベトナムと米国を結ぶ長い長い旅路を実話に基づいて描いた、ダン・ニャット・ミン監督のベトナム映画『きのう、平和の夢を見た』が選ばれた。

フォーラムでは、今年の特徴として欧米人監督が撮ったアジア映画がピックアップされた。イタリア人監督によるスリランカ人キャストの『マチャン／大脱走』と、英国人監督による日本人キャストの『扉のむこう』。監督を除けば主人公以下キャストのほとんどがアジア人による映画の登場は、オリエンタリズムを越えたのか。両作品の関係者を招いて、その背景を探った。

この年は新たに2つの協賛企画が開催された。一つは、地元の自主制作団体が集まって開催した「福岡インディペンデント映画祭」。福岡で制作されたインディペンデント作品（自主制作・ドキュメンタリー・実験映像など）の上映を通じて、各団体の交流と活性化を目的に初めて開催された。また同映画祭は、釜山広域市で29回の歴史を持つ「釜山アジア短編映画祭」と姉妹映画祭の関係を結び、開幕式では覚書締結調印式も行われた。

もう一つの協賛企画が「福大生による東アジア映画字幕制作・成果発表会」。福岡大学人文学部東アジア地域言語学科の有志学生が、1950年代の韓国映画および中国映画の字幕を制作し、その成果発表会が開かれた。



〈福岡観客賞受賞作品〉きのう、平和の夢を見た  
 WINNER OF THE FUKUOKA AUDIENCE AWARD : Don't Burn



幼獣マメシバ / Mameshiba



虹の兵士たち / The Rainbow Troops



〈オープニング上映〉GO GO 70s(2008年 韓国)

OPENING FILM: GO GO 70s (2008/Korea)

As the year celebrated the 20th Anniversary of Fukuoka's "Asian Month", our film festival planning proceeded with a stronger emphasis than before on strengthening cooperation with other Asian Month projects through the co-hosting of anniversary activities with such entities as the Fukuoka Prize, the Asian Pacific Festival Fukuoka and the Fukuoka Asian Art Triennale.

Following the Fukuoka and Busan declaration designating the year 2009 as "Fukuoka-Busan Friendship Year", our Festival exhibited a special feature program of 3 Korean films and hosted a symposium, which addressed films in Korea and Japan after Japan's "Hanryu Korean Wave" fever.

The Festival opened with Go Go 70s, a Korean film included in our special feature program; a moving motion picture directed by Choi Ho about music and youngsters in Korea during the 70s.

As part of the 20th anniversary celebration of Fukuoka's "Asian Month", our Opening Night was held at the Fukuoka International Congress Center for the very first time. When our guests from the various countries and regions of Asia entered the main hall on the red carpet, the cheering crowd of about 1000 welcomed them with a storm of applause.

The 4th Fukuoka Audience Award went to Don't Burn, a Vietnamese film directed by Dang Nhat Minh; a motion picture based on a true story about the long journey of a diary written during the Vietnamese War, which brought Vietnam and the United States closer together.

The Forum highlighted Asian films directed by Western filmmakers. Examples included Machan a film directed by an Italian with a Sri Lankan cast and Left Handed, directed by an Englishman with a Japanese cast. Did these films with mostly an Asian cast and staff except for the film director, signify a move transcending "Orientalism"? Filmmakers from both films were invited for a discussion to probe into the background of this new trend.

This year, two new co-sponsored projects were held. One was the "Fukuoka Independent Film Festival" organized by a group of local independent film producers. The "Fukuoka Independent Film Festival" was held for the very first time with the purpose of promoting communication and activity between its groups of organizers by exhibiting independent films, documentaries and experimental films produced in Fukuoka. The festival also established a sister-festival relationship with the Busan Asian Short Film Festival, which has a 29-year film festival history in Busan Metropolitan City. The festival opened with a memorandum signing ceremony making the sister-festival relationship official.

The other co-hosted project was the presentation of the "East Asian Film Subtitling Project by Students of Fukuoka University". This was a presentation of a project where students from the Department of East Asian Studies, Faculty of Humanities of Fukuoka University volunteered to produce subtitles for Korean and Chinese films of the 1950s.

## PROGRAM FOR 2009

※日本語の[ ]内は、劇場公開題 ※作品名の後に★の付いている作品は福岡市総合図書館所蔵  
 ★ Part of the Fukuoka City Public Library Film Archive Collection  
 掲載順序: 題名 Title / 監督 Director / 製作年 / 製作国 Country of Production / カラー / 分鏡

上映作品			
黒犬、吠える★ Black Dogs Barking	メフメット・バドゥル・エル マリナ・ゴルバチ	Mehmet Bahadir Er Maryna Gorbach	2009 /トルコ Turkey / Color / 88min.
難民キャンプ★ Refugee	レイス・チェリッキ	Reis Celik	2008 /トルコ Turkey / Color / 106min.
ザクロとミルラ★ Pomegranates and Myrrh	ナジュフ・ナジャール	Najwa Najjar	2009 /パレスチナ Palestine / Color / 98min.
アバウト・エリ [彼女が消えた浜辺] About Elly	アスガー・ファルハディ	Asghar Farhadi	2009 /イラン Iran / Color / 116min.
テヘランの孤独★ Lonely Tunes of Tehran	サマン・サルール	Saman Salour	2008 /イラン Iran / Color / 75min.
さよならグルサルー Farewell, Gulsary!	アルダク・アミルクロフ	Ardak Amirkulov	2008 /カザフスタン Kazakhstan / Color / 102min.
ようこそサッジャンプルへ★ Welcome to Sajjanpur	シャーム・ベネガル	Shyam Benegal	2008 /インド India / Color / 136min.
夢の花びら★ Flowers of the Sky	ブラサンナ・ヴィターナゲー	Prasanna Vithanage	2008 /スリランカ Sri Lanka / Color / 89min.
マチャン／大脱走★ Machan	ウベルト・パバリニ	Uberto Pasolini	2008 /スリランカ・ドイツ・イタリア Sri Lanka, Germany, Italy / Color / 107min.
虹の兵士たち★ The Rainbow Troops	リリ・リザ	Riri Riza	2008 /インドネシア Indonesia / Color / 124min.
ゴーン・ショッピング! Gone Shopping	ウィー・リーリン	Wee Li Lin	2007 /シンガポール Singapore / Color / 97min.
タレントタイム Talentime	ヤスミン・アフマド	Yasmin Ahmad	2008 /マレーシア Malaysia / Color / 120min.
カティの幸せ The Happiness of Kati	ジェーンワイ・トンディーノーク	Genwai Thongdenok	2009 /タイ Thailand / Color / 105min.
きのう、平和の夢を見た★ Don't Burn	ダン・ニャット・ミン	Dang Nhat Minh	2009 /ベトナム Vietnam / Color / 105min.
伝説の男★ The Legend is Alive	リュウ・フイン・リュウ	Luu Huynh Luu	2009 /ベトナム Vietnam / Color / 106min.
爆走自転車 Crazy Racer	ニン・ハオ (寧浩)	Ning Hao	2008 /中国 China / Color / 101min.
崖っぷちの女たち True Women for Sale	ハーマン・ヤウ (邱禮濤)	Herman Yau	2008 /香港 Hong Kong / Color / 90min.
あなたなしでは生きていけない★ No Puedo Vivir Sin Ti	レオン・ダイ (戴立忍)	Leon Dai Li Ren	2009 /台湾 Taiwan / BW / 92min.
扉のむこう★ Left Handed	ローレンス・スラッシュ	Laurence Thrush	2008 /日本 Japan / BW / 110min.
幼獣マメシバ★ Mameshiba	亀井亨	Kamei Toru	2009 /日本 Japan / Color / 106min.

### 福岡 - 釜山友情年記念 韓国映画コレクション Commemorating the Fukuoka-Busan Friendship Year with 3 Powerful New Films from Korea

酒を呑むなら Daytime Drinking	ノ・ヨンソク (노영석)	Noh Young Seok	2008 /韓国 Korea / Color / 116min.
GO GO 70s Go Go 70s	チェ・ホ (최호)	Choi Ho	2008 /韓国 Korea / Color / 118min.
イリ Iri	チャン・リュル (張律/장률)	Zhang Lu	2008 /韓国 Korea / Color / 107min.

- ボイスオーバー上映会(9月27日/エルガーラホール)
- 協賛企画:バリアフリー上映会(9月26日/エルガーラホール)
- 協賛企画:アジアフォーカス・アーカイヴズ(9月3日~5日・9月9日~13日/福岡市総合図書館映像ホール・シネラ)
- 協賛企画:日本映画名作選(9月16日~26日/福岡市総合図書館映像ホール・シネラ)
- 協賛企画:福岡インディペンデント映画祭2009(9月19~22日/福岡市総合図書館)
- 協賛企画:福大生による東アジア映画字幕制作・成果発表会(9月22日/エルガーラホール中ホールI)



黒犬、吠える / Black Dogs Barking



アバウト・エリ [彼女が消えた浜辺] / About Elly



さよならグルサルー / Farewell, Gulsary!



マチャン / 大脱走 / Machan



タレントタイム / Talentime



カティの幸せ / The Happiness of Kati



爆走自転車 / Crazy Racer



扉のむこう / Left Handed



難民キャンプ / Refugee



ザクロとミルラ / Pomegranates and Myrrh



テヘランの孤独 / Lonely Tunes of Tehran



ようこそサッジャンプルへ / Welcome to Sajjanpur

# 2010



**期 間** 9月17日(金)～26日(日)  
**会 場** ソラリアシネマ、  
 エルガーラホール、  
 福岡国際会議場  
**内 容** 18か国・地域41作品  
**入場者数** アジアフォーカス・福岡国際映画祭2010 13,917人  
 協賛企画など 6,404人  
 合計 20,321人

HELD: 17th - 26th September, 2010  
 VENUES: Solaria Cinema, Elgala Hall,  
 Fukuoka International Congress Center  
 EXHIBITION OF: 41 films from 18 nations and regions  
 ATTENDANCE: Focus on Asia FIFF 2010 13,917  
 Sponsored Events 6,404  
 Total 20,321

アジアフォーカス・福岡国際映画祭が20回の節目を迎えたこの年、これを記念して複数の記念事業を展開した。

これまでイランの巨匠マジド・マジディ監督の新作を全て上映し、福岡市総合図書館のフィルムアーカイヴに収蔵してきた。この機会に、唯一本映画祭で未上映だった初長編監督作『バダック』を上映し、20周年の記念特集として、同監督の全作品を一挙に回顧上映した。

また、もうひとつの記念事業「福岡観客賞受賞作品上映会」では、2006年にスタートした福岡観客賞の中から、これまでの4年間に観客から選ばれた4本の受賞作を上映した。このふたつの特別上映企画は、図書館のフィルムアーカイヴと深く結びついた、本映画祭ならではの事業といえるだろう。

オープニング上映会では、昨年大好評だった、インドネシアのリリ・リザ監督『虹の兵士たち』の続編となる『夢追いかけて』を上映。同監督は20周年記念シンポジウム「知られざる国、インドネシア映画の魅力」にも登壇し、インドネシア映画の現状と魅力を論じた。

この年の福岡観客賞はタジキスタン映画『トゥルー・ヌーン』が選ばれ、ノシール・サイドフ監督は「観客賞は最も重要な賞なので大変うれしい」と感無量の様子だった。

さらに「アジア映画と映画祭のゆくえ」と題した記念シンポジウムでは、映画監督青山真治氏を迎えて、世界の映画祭をめぐる状況を概観し、映画祭の将来を議論した。

そのほか、アジア映画の振興を目的とする組織であるNETPAC（アジア映画振興機構）が選んだ日本映画の特集上映を実施し、その代表であるアルナー・ワースデーウ氏も来福し挨拶をした。

さらにこの年は、福岡市内の中学生1,000人を招待して、2010アジアフォーカス公式招待作品『夢追いかけて』の鑑賞会「アジア映画鑑賞会中学生招待」など、例年になく数多くの協賛企画が開催された。協賛企画も含めると、過去最多175本の作品が上映され、20回目の開催にふさわしい盛り上がりを見せた。



〈福岡観客賞受賞作品〉トゥルー・ヌーン  
 WINNER OF THE FUKUOKA AUDIENCE AWARD : True Noon



10月のソナタ / October Sonata



バダック / Baduk



〈オープニング上映〉夢追いかけて (2009年 インドネシア)

OPENING FILM: *The Dreamer* (2009/Indonesia)

Several undertakings were planned and held in 2010, commemorating the 20th Anniversary of our Film Festival.

Film director Majid Majidi is a master of Iranian cinema. Our Film Festival had screened every one of his newer films which were then placed under the collection of the Fukuoka City Public Library Film Archive. Taking this opportunity, the Film Festival screened the only Majid Majidi film it had not yet exhibited, namely *Baduk*, his very first feature film, which was shown as part of our "20th Anniversary Special Feature Program: The Majid Majidi Retrospective."

For our other commemorative undertaking, we held the "20th Anniversary Special Screening of Previous Winners of the Fukuoka Audience Award", exhibiting 4 previous winners of the Award, which began in 2006. These 2 special undertakings could be described as unique to our Film Festival, made possible as a result of our deep ties with the Film Archive of the Fukuoka City Public Library.

Our Opening Film in 2010 was *The Dreamer*, the sequel to *The Rainbow Troops* directed by Indonesian film director Riri Riza, a film extremely well received by our Film Festival audience a year earlier in 2009. Riri Riza also took to the stage at our 20th Anniversary Symposium, "The Charm of Indonesian Cinema-A Glimpse of Unfamiliar Indonesia", where he discussed the charm and current status of Indonesian films.

The Fukuoka Audience Award for 2010 went to *True Noon*, a film from Tajikistan. Appearing terribly moved, Nosir Saidov, the film's director, issued a statement saying "The Fukuoka Audience Award is the most important award to me so I'm overjoyed!"

Inviting Japanese film director Shinji Aoyama, our other 20th Anniversary Symposium, "The Future of Asian Cinema and Film Festivals", began by presenting an overview of international festivals. This was followed by a discussion on the future of international film festivals.

We also held the "Special Screening of NETPAC Award-Winning Japanese Films", exhibiting Japanese films which have received awards from the Network for the Promotion of Asian Films (NETPAC). On this occasion, we introduced Aruna Vasudev, President of NETPAC, who was invited to the event.

2010 saw an unprecedented large number of sponsored programs such as "Inviting Junior High School Students for Asian Film Appreciation." This was an event where we invited 1,000 students from junior high schools in Fukuoka to watch *The Dreamer*, a film officially invited to our 2010 Film Festival. Including these sponsored events, we showed a record-breaking 175 films in 2010, an appropriate number to live up our 20th anniversary celebration.

## PROGRAM FOR 2010

※日本語の[ ]内は、劇場公開題 ※作品名の後に★の付いている作品は福岡市総合図書館所蔵  
 ★ Part of the Fukuoka City Public Library Film Archive Collection  
 掲載順序：題名 Title / 監督 Director / 製作年 / 製作国 Country of Production / カラー / 分數

上映作品				
11時10分前★	10 to 11	ペリン・エスメル Pelin Esmer	2009	トルコ・フランス・ドイツ Turkey, France, Germany / Color / 115min.
風のささやき	Whisper with the Wind	シャフラム・アリーディ Shahram Alidi	2009	イラク Iraq / Color / 77min.
私のテヘラン	My Tehran for Sale	グラナズ・ムサヴィー Granaz Moussavi	2009	イラン・オーストラリア Iran, Australia / Color / 95min.
セレモニーホール★	Twenty	アブドレザ・カハニー Abdolreza Kahani	2009	イラン Iran / Color / 88min.
まぼろしの砦★	Fortress	シャミール・ナジャフザデ Shamil Najafzade	2008	アゼルバイジャン Azerbaijan / Color / 83min.
トゥルー・ヌーン★	True Noon	ノシール・サイドフ Nosir Saidov	2009	タジキスタン Tajikistan / Color / 83min.
ケララの獅子	Kerala Varma Pazhassi Raja	ハリハラン Hariharan	2009	インド India / Color / 194min.
夢追いかけて★	The Dreamer	リリ・リザ Riri Riza	2009	インドネシア Indonesia / Color / 122min.
禁断の扉★	The Forbidden Door	ジョコ・アンワル Joko Anwar	2009	インドネシア Indonesia / Color / 115min.
水辺の物語★	Woman on Fire Looks for Water	ウー・ミンジン (胡明進) Woo Ming Jin	2009	マレーシア Malaysia / Color / 100min.
ありふれた話★	Mundane History	アノーチャ・スウィチャーゴーンポン Anocha Suwichakornpong	2009	タイ Thailand / Color / 82min.
10月のソナタ★	October Sonata	ソムキアット・ウィットウラニット Somkiat Vithuranich	2009	タイ Thailand / Color / 113min.
ばあさん	Lola	ブリランテ・メンドーサ Brillante Ma. Mendoza	2009	フィリピン Philippines / Color / 110min.
マニラ・スカイ	Manila Skies	レイモンド・レッド Raymond Red	2009	フィリピン Philippines / Color / 98min.
豆満江 (とまんこう)★	Dooman River	チャン・リュル (張律/장률) Zhang Lu	2010	中国・韓国・フランス China, Korea, France / Color / 92min.
セックスワーカー	Whispers and Moans	ハーマン・ヤウ (邱禮濤) Herman Yau	2007	香港 Hong Kong / Color / 96min.
お父ちゃんの初七日★	Seven Days in Heaven	ワン・ユイリン (王育麟) Wang Yulin	2009	台湾 Taiwan / Color / 92min.
		エッセイ・リウ (劉梓潔) Essay Liu		
EIGHTEEN ~旋風~★	Eighteen	チャン・ゴンジェ (정건재) Jang Kun Jae	2009	韓国 Korea / Color / 95min.
手のとど限り★	Elbowroom	ハム・ギョノク (함경옥) Ham Kyoung Rock	2009	韓国 Korea / Color / 104min.
サムソンとデリラ	Samson & Delilah	ワーウィック・ソートン Warwick Thornton	2009	オーストラリア Australia / Color / 101min.
不惑のアダージョ	Autumn Adagio	井上都紀 Inoue Tsuki	2009	日本 Japan / Color / 70min.

### 20周年記念 マジド・マジディ 監督特集 A 20th Anniversary Special Feature Program : The Majid Majidi Retrospective

バダック★	Baduk	マジド・マジディ Majid Majidi	1992	イラン Iran / Color / 86min.
父★	The Father	マジド・マジディ Majid Majidi	1996	イラン Iran / Color / 95min.
天使のような子どもたち [運動靴と赤い金魚]★	Children of the Heaven	マジド・マジディ Majid Majidi	1997	イラン Iran / Color / 88min.
カラー・オブ・パラダイス [太陽は、ぼくの瞳]★	Color of Paradise	マジド・マジディ Majid Majidi	1999	イラン Iran / Color / 90min.
バラン [少女の髪どめ]★	Baran	マジド・マジディ Majid Majidi	2001	イラン Iran / Color / 96min.
裸足でヘラトまで★	Barefoot to Herat	マジド・マジディ Majid Majidi	2002	イラン Iran / Color / 65min.
僕らのオリンピック★	Olympic in Camp	マジド・マジディ Majid Majidi	2002	イラン Iran / Color / 5min.
柳の木のように★	The Willow Tree	マジド・マジディ Majid Majidi	2005	イラン Iran / Color / 96min.
すずめの唄★	The Song of Sparrows	マジド・マジディ Majid Majidi	2007	イラン Iran / Color / 96min.

### 20周年記念 福岡観客賞受賞作品上映会 A 20th Anniversary Special Feature Program : The Fukuoka Audience Award Winners

私はガンディーを殺していない★	I Did Not Kill Gandhi	ジャヌ・バルア Jahnur Barua	2005	インド India / Color / 104min.
アオザイ★	The White Silk Dress	リュウ・フイン・リュウ Luu Huynh Luu	2006	ベトナム Vietnam / Color / 143min.
神に誓って★	In the Name of God	ショエーブ・マンズール Shoab Mansoor	2007	パキスタン Pakistan / Color / 168min.
きのう、平和の夢を見た★	Don't Burn	ダン・ニャット・ミン Dang Nhat Minh	2009	ベトナム Vietnam / Color / 105min.

### NETPAC賞受賞日本映画特集

ナビィの恋	Nabbie's Love	中江裕司 Nakae Yuji	1999	日本 Japan / Color / 92min.
月はどっちに出ている	All Under the Moon	崔洋一 Sai Yoichi	1993	日本 Japan / Color / 95min.
無花果の顔	Faces of a Fig Tree	桃井かおり Momoi Kaori	2006	日本 Japan / Color / 94min.
殯の森	The Mourning Forest	河瀬直美 Kawase Naomi	2007	日本・フランス Japan, France / Color / 97min.
トウキョウソナタ	Tokyo Sonata	黒沢清 Kurosawa Kiyoshi	2008	日本・オランダ・香港 Japan, Netherlands, Hong Kong / Color / 119min.

- 20周年記念シンポジウム「知られざる国、インドネシア映画の魅力」(9月18日/エルガーラホール 会議室 I)
- 20周年記念シンポジウム「アジア映画と映画祭のゆくえ」(9月19日/エルガーラホール 中ホール)
- ボイスオーバー上映会(9月26日/エルガーラホール)
- 協賛企画:アジアフォーカス・アーカイヴズ(9月2日~12日/福岡市総合図書館映像ホール・シネラ)、日本映画名作選(9月20日~29日/福岡市総合図書館映像ホール・シネラ)
- 協賛企画:バリアフリー上映会(9月25日/エルガーラホール)、福岡インディペンデント映画祭2010(9月10~12日/福岡アジア美術館あじびホール)
- 協賛企画:台湾映画祭2010(9月16日~21日/福岡アジア美術館あじびホール)、東アジア映画フェスタ2010【中国・韓国】(9月23日~28日/福岡アジア美術館あじびホール)
- 協賛企画:第2回福大生による東アジア映画字幕制作・成果発表会(9月23日/エルガーラホール 中ホール)
- 協賛企画:故郷を想う上映会~台湾ドキュメンタリー映画~「トータム song for home」(8月27日/福岡アジア美術館あじびホール)



サムソンとデリラ / Samson & Delilah



ありふれた話 / Mundane History



豆満江(とまんこう) / Dooman River



ばあさん / Lola

# 2011



期 間 9月16日(金)～25日(日)  
 会 場 T・ジョイ博多、JR九州ホール、  
 JR博多シティ大会議室  
 内 容 13か国・地域32作品  
 入場者数 アジアフォーカス・福岡国際映画祭2011 15,655人  
 協賛企画など 8,571人  
 合計 24,226人

HELD: 16th - 25th September, 2011  
 VENUES: T-Joy Hakata, JR Kyushu Hall,  
 JR Hakata City Large Conference Room  
 EXHIBITION OF: 32 films from 13 nations and regions  
 ATTENDANCE: Focus on Asia FIFF 2011 15,655  
 Sponsored Events 8,571  
 Total 24,226

未曾有の被害をもたらした東日本大震災の年として記憶される2011年は、アジア全体として、社会を正面から告発する作品の減少が感じられた。平均的に豊かになるにつれて、アジア映画はかつてのダイナミズムを失いつつあるのかもしれないという疑問が浮かんだ。その変化のためか、コメディという迂回路で社会を批評する作品がある一方で、精神的に立ち尽くす若者を描いた作品もこの年の特徴として挙げられる。

オープニングを飾ったのは、ベルリン金熊賞ほか各国の映画祭で高い評価を受けた、イランのファルハディ監督の『ナデルとシミン』(劇場公開時題『別離』)。同作は観客投票による福岡観客賞を受賞。福岡での上映の後、米アカデミー外国語映画賞を受けた。

日本映画では、世界各地で絶賛された深田晃司監督の『歓待』を上映、また若いながら独自の世界観をもつ荻上直子監督の長編5作品を特集上映した。

通常上映に加えて、イベントも精力的に開催され、参加ゲストを招いてのシンポジウム「アジアの喜劇センス」、二部構成のアジア映画文化フォーラム「アジア映画で活躍する日本人」、「アジア的ホラー・コメディの可能性」、九州産業大学での出前講座「芸術学会小講演会」を実施。さらに字幕を読むのが難しい子どもたちのために、学生ボランティアによるボイスオーバー上映会や、視覚・聴覚障がい者の方々のためのバリアフリー上映会が実施された。また映画祭会期前の6月には三か所で出前映画祭を開催した。

福岡フィルムコミッション支援作品として、九州新幹線開通を記念して作られた是枝裕和監督の『奇跡』を含む3作品が上映された。

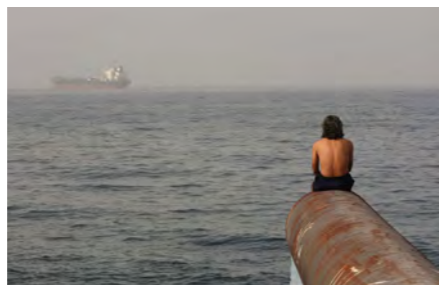
上映会場は、新博多駅開業を記念して、天神地区からJR博多シティへ全面移転。JR九州グループの協力により、九州全域での広報やタイアップ、各種割引などの新機軸で、賑わいを増した。

映画祭に先立ち、7月に「アジアフォーカス・ビジュアルイメージコンテスト」を実施。チラシイメージを専門学校九州デザイナー学院・九州ビジュアルアーツの学生から募集。最優秀作は、チラシや博多駅壁面の大型懸垂幕に使用された。

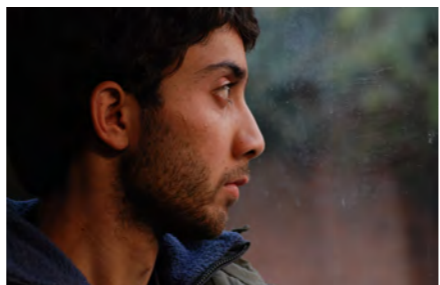
この年は入場者数も協賛企画まで含めると過去最高となり、新会場移転に花を添えた。



〈福岡観客賞受賞作品〉ナデルとシミン〔別離〕  
 WINNER OF THE FUKUOKA AUDIENCE AWARD:  
 Nader and Simin, A Separation



ゲシェル〜ぎりぎり日記 / Geshher



カシミールの秋 / Autumn



〈オープニング上映〉ナデルとシミン〔別離〕(2011年イラン)

OPENING FILM: Nader and Simin, A Separation (2011/Iran)

We remember 2011 as the year the Great East Japan Earthquake Disaster inflicted unparalleled damage to Japan. In as far as Asian films, I felt it was a year where fewer films were made censoring society head on. I had this suspicion that as Asia averagely attained wealth, Asian films might start to lose their dynamism. Perhaps due such change, some films would make a diversion in criticizing society through comedy, while others depicted the youth standing up for what they believed in.

Our Opening Film was Nader and Simin, A Separation, an Iranian film directed by Asghar Farhadi which won the Golden Bear Award at Berlinale and which received high acclaim from many other film festivals. After taking the Fukuoka Audience Award at our Film Festival in 2011, the film went on to win the U.S. Academy Award for Best Foreign Language Film.

Among the Japanese films we exhibited was Hospitalité, a film directed by Koji Fukada, which received high acclaim throughout the world. We also put on a special exhibition of 5 features films directed by Naoko Oigami, who, despite her young age, already had a unique outlook of the world.

As with our regular film exhibitions, we placed much energy in holding our events, which included "Asian Sense of Comedy", a symposium with invited guests from abroad, a two-part "Asian Cinema Cultural Forum" discussing "The Japanese Active in Asian Films" and "The Potential For An Asian Sense of Horror and Comedy", "Talk in KSU Art-A Workshop Outside the Festival" held at Kyushu Sangyo University, a "Voice Over Screening" put on by student volunteers for children having difficulty reading subtitles and a "Barrier-Free Special Screening" with supplementary sound and subtitles to assist people with visual and hearing impairments. Also, Film Festival events were presented away from our regular venue under our "Demae Eigasai" program, which was held at 3 different locations in June.

We exhibited 3 films supported by the Fukuoka Film Commission including / Wish directed by Hirokazu Koreeda, commemorating the opening of the Kyushu Shinkansen Bullet Train line.

Commemorating the opening of Hakata Station, which was newly rebuilt, all our venues moved from the Tenjin region to JR Hakata City. The Film Festival achieved a new level of increased activity with the cooperation of the JR (Japan Railway) Kyushu Group in such areas as public relations throughout the Kyushu region and tie-in campaigns which included the promotion of a variety of reduced rates.

Prior to the holding of our Film Festival, we held the "Focus on Asia Visual Image Contest." In a competition format, images to be used in flyers and other public relations material for the Film Festival were selected from works submitted by students of Kyushu Design Gakuin and Kyushu Visual Arts. The Grand Prize image was used for flyers as well as the mammoth curtain hung over the wall surface at Hakata Station.

Attendance including co-sponsored programs set a new Film Festival record, adding a bit of luster to the moving of our venues to a new location.

## PROGRAM FOR 2011

※日本語の[ ]内は、劇場公開題 ※作品名の後に★の付いている作品は福岡市総合図書館所蔵  
 ★ Part of the Fukuoka City Public Library Film Archive Collection  
 掲載順序: 題名 Title / 監督 Director / 製作年 / 製作国 Country of Production / カラー / 分數

上映作品				
マジョリティ Majority	セレン・ユージェ Seren Yüce	2010 / トルコ Turkey / Color / 107min.		
ナデルとシミン〔別離〕★ Nader and Simin, A Separation	アスガー・ファルハディ Asghar Farhadi	2011 / イラン Iran / Color / 123min.		
ゲシェル〜ぎりぎり日記★ Geshher	ワヒド・ワキリファー Vahid Vakilifar	2010 / イラン Iran / Color / 84min.		
カシミールの秋★ Autumn	アーミール・バシール Amir Bashir	2010 / インド India / Color / 101min.		
妻は、はるか日本に★ The Japanese Wife	アパルナ・セン Aparna Sen	2010 / インド India / Color / 105min.		
僕はジダン★ Little Zizou	スーニー・ターラーブルワラー Sooni Taraporevala	2007 / インド India / Color / 101min.		
恋するリトル・コメディアン★ The Little Comedian	ウィッターヤー・トーンユーン Vithaya Thongyuyong	2010 / タイ Thailand / Color / 129min.		
	メート・タラトーン Mez Tharatorn			
レッド・イーグル The Red Eagle	ウシット・サーサナティアン Wisit Sasanatieng	2010 / タイ Thailand / Color / 130min.		
タンロンの歌姫 The Fate of a Songstress in Thang Long	ダオ・バー・ソン Dao Ba Son	2010 / ベトナム Vietnam / Color / 125min.		
すばらしき大世界 It's A Great, Great World	ケルビン・トン (唐永健) Kelvin Tong	2011 / シンガポール Singapore / Color / 91min.		
趙夫人の地獄鍋 Claypot Curry Killers	ジェームス・リー (李添興) James Lee	2011 / マレーシア Malaysia / Color / 97min.		
車の影に★ Chassis	アドルフォ・ボリナガ・アリックス Jr. Adolfo Borinaga Alix Jr.	2009 / フィリピン Philippines / BW / 73min.		
鋼のピアノ The Piano in a Factory	チャン・メン (張猛) Zhang Meng	2010 / 中国 China / Color / 105min.		
遠い帰郷★ Return Ticket	トン・ヨンシン (鄧勇星) Teng Yung Shing	2011 / 中国 China / Color / 88min.		
陽に灼けた道★ The Sun Beaten Path	ソンタルジャ (松太加) Sonthar Gyal	2010 / 中国 China / Color / 89min.		
冬休みの情景★ Winter Vacation	リー・ホンチー (李紅旗) Li Hongqi	2010 / 中国 China / Color / 91min.		
ピノイ・サンデー Pinoy Sunday	ホー・ウィー・ディン (何蔚庭) Ho Wi Ding	2009 / 台湾・フィリピン・日本・フランス Taiwan, Philippines, Japan, France / Color / 85min.		
台北カフェ・ストーリー★ Taipei Exchanges	シアオ・ヤーチュアン (蕭雅全) Hsiao Ya Chuan	2010 / 台湾 Taiwan / Color / 82min.		
浄土アニャン★ Anyang, Paradise City	パク・チャンギョン (朴軫暎) Park Chan Kyong	2010 / 韓国 Korea / Color / 102min.		
Bleak Night (原題) Bleak Night	ユン・ソンヒョン (윤성현) Yoon Sung Hyun	2010 / 韓国 Korea / Color / 116min.		
歓待★ Hospitalité	深田晃司 Fukada Koji	2010 / 日本 Japan / Color / 96min.		

荻上直子監督特集 Our Feature on Film Director Oigami Naoko				
バーバー吉野 Yoshino's Barber Shop	荻上直子 Oigami Naoko	2003 / 日本 Japan / Color / 96min.		
恋は五・七・五! Koiwa Go-Shichi-Go!	荻上直子 Oigami Naoko	2004 / 日本 Japan / Color / 105min.		
かもめ食堂 Kamome Diner	荻上直子 Oigami Naoko	2005 / 日本 Japan / Color / 102min.		
めがね Megane	荻上直子 Oigami Naoko	2007 / 日本 Japan / Color / 106min.		
トイレット Toilet	荻上直子 Oigami Naoko	2010 / 日本・カナダ Japan, Canada / Color / 109min.		

- アジアフォーカス・ビジュアルイメージコンテスト(7月12日)
- アジア映画文化フォーラム(9月18日/JR博多シティ10F大会議室)
- シンポジウム「アジアの喜劇センス」(9月20日/JR博多シティ10F大会議室)
- ボイスオーバー上映会(9月25日)
- バリアフリー上映会(9月24日/JR九州ホール)
- 福岡フィルムコミッション支援作品特集(9月23日)
- 福岡観客賞授賞式&上映会(9月21日/JR九州ホール)
- 2010年観客賞受賞作品上映会(9月4日/福岡市総合図書館映像ホール・シネラ)
- 協賛企画:アジアフォーカス・アーカイヴズ(9月1日~11日/福岡市総合図書館映像ホール・シネラ)
- 協賛企画:日本映画名作選(9月14日~10月2日/福岡市総合図書館映像ホール・シネラ)
- 協賛企画:アジア映画鑑賞会中学生招待事業(9月15日~16日/JR九州ホール)
- 協賛企画:福岡インディペンデント映画祭2011(9月9日~13日/福岡アジア美術館あじびホール)
- 協賛企画:台湾映画祭2011(9月15日~20日/福岡アジア美術館あじびホール)
- 協賛企画:東アジア映画フェスタ2011(9月22日~27日/福岡アジア美術館あじびホール)
- 協賛企画:第3回福大生による東アジア映画字幕制作・成果発表会(9月25日/エルガーホール 中ホール)



タンロンの歌姫 / The Fate of a Songstress in Thang Long



僕はジダン / Little Zizou



趙夫人の地獄鍋 / Claypot Curry Killers



車の影に / Chassis



レッド・イーグル / The Red Eagle



台北カフェ・ストーリー / Taipei Exchanges



陽に灼けた道 / The Sun Beaten Path



歓待 / Hospitalité



恋するリトル・コメディアン / The Little Comedian



期 間	9月14日(金)～23日(日)
会 場	T・ジョイ博多、JR九州ホール、 JR博多シティ大会議室など
内 容	15か国・地域37作品
入場者数	アジアフォーカス・福岡国際映画祭2012 15,980人 協賛企画など 7,197人 合計 23,177人

HELD: 14th - 23rd September, 2012  
 VENUES: T-Joy Hakata, JR Kyushu Hall,  
 JR Hakata City Large Conference Room and others  
 EXHIBITION OF: 37 films from 15 nations and regions  
 ATTENDANCE: Focus on Asia FIFF 2012 15,980  
 Sponsored Events 7,197  
 Total 23,177

この年、開会式は、福岡市主催アジアマンス主要事業の総合オープニングとして、野外でのレッドカーペット、野外上映を市役所西側ふれあい広場で実施した。式典では『終の信託』の周防正行監督、アジアの監督や俳優など多くのゲストが登壇した。大画面での野外上映は韓国映画『ダンシング・クイーン』。雨天にも関わらず、約2,000人の観客でにぎわった。

公式招待作品は、トルコから日本まで、地域、ジャンル、内容も多様なラインナップで、福岡観客賞はパキスタンの『BOL ～声をあげる～』。ショエーブ・マンズール監督は、前作に続く2回目の受賞となった。

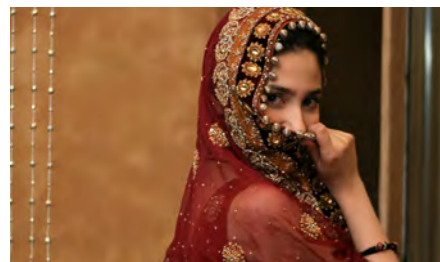
特集はアスガー・ファルハディ監督の回顧上映、長編全5作品。前年本映画祭で日本初上映し観客賞を受賞した『別離』は、その後米アカデミー賞外国語映画賞に輝いた。5本のうち3本は日本初公開である。

もうひとつの特集上映は『〈アグリ・シネマ〉農業と映画』。農業をテーマにした日本映画3本を上映し、岡山県で農業を営みながら映画製作をする山崎樹一郎監督を招き、シンポジウム「映画を耕す～農業は映画だ!～」を開催。地方で映画を撮ること、モノづくりをすることの現代的な意義を探った。

シンポジウムは他に「南アジアの映画製作を聞く」。スリランカのブラサンナ・ヴィターナゲ監督、バングラデシュのモルシェドウル・イスラム監督を迎え、大国インドを中心とする南アジアの現状と映画製作について聞いた。多言語、多民族、宗教の違いから複雑な成り立ちと相互関係にある地域だけに、興味深いシンポジウムとなった。

この年公開の新作日本映画を紹介する試みも実施され、『黄金を抱いて翔べ』(井筒和幸監督)『終の信託』(周防正行監督、上映はメイキング映像)を上映。それぞれの監督を招聘し、特別試写会・舞台挨拶、トークイベント等を開催した。また、この年に福岡アジア文化賞を受賞したフィリピンのキドラット・タヒミック監督の中長編5作品を記念上映した。

この年、すでに映画館等で普及していた、DCP(デジタルシネマパッケージ)が上映素材にも初めて含まれ、35mmフィルム、ビデオ素材、DCPが混在して上映される、フィルムからデジタルシネマへの移行期を象徴する年となった。



〈福岡観客賞受賞作品〉BOL ～声をあげる～  
 WINNER OF THE FUKUOKA AUDIENCE AWARD : *Speak Up*



未来へつづく声 / *Future Lasts Forever*



9月 / *The September*



〈オープニング上映〉ダンシング・クイーン(2011年 韓国)

OPENING FILM: *Dancing Queen* (2011/Korea)

The Opening Ceremony of the Film Festival in 2012 also served as the Grand Opening to all events of Asian Month organized by Fukuoka City, and featured an outdoor red-carpet celebration, with an outdoor film screening which took place at "Fureai Park" on the west side of Fukuoka City Hall. Masayuki Suo, the film director of *A Terminal Trust* and many Film Festival guests from Asia including film directors, actors, and actresses, took to the stage on the red-carpet. Despite the rain, an audience of about 2,000 came to see the outdoor film screening of the Korean film, *Dancing Queen*.

The official lineup of motion pictures invited to our Film Festival, which ranged from Turkish to Japanese films, were extremely diverse in nature, from the point of geography, film genre and content. Our Fukuoka Audience Award went to the Pakistani film *Speak Up* directed by Shoaib Mansoor, who also won an award for his previous film.

Our main feature program, "The Complete Cinematic Works of Asghar Farhadi", exhibited 5 feature films, including *Nadar and Simin, A Separation* (retitled *A Separation*), which a year earlier, had its Japanese Premier at our Film Festival where it won the Fukuoka Audience Award. The film would go on to win the U.S. Academy Award for Best Foreign Language Film. Of the 5 featured films of our feature program, 3 were exhibited for the first time in Japan.

Our other feature program was "AgriCinema-Cinema within Agriculture." The feature program screened 3 Japanese films, which addressed the theme of agriculture. Inviting Juichiro Yamasaki, a filmmaker who also works in the field of agriculture in Okayama Prefecture, we held "AgriCinema-Cinema Within Agriculture-Films Produced to Enrich the Community", a symposium, which explored the modern significance of making films and consumable products in regional localities.

We held another symposium entitled, "Film Production in South Asia from the Source". Inviting film directors Prasanna Vithanage from Sri Lanka and Morshedul Islam from Bangladesh, the symposium inquired about the state of film production in South Asia, focusing on the cinematic powerhouse of India. The event turned into a deeply interesting symposium especially as complexities in origin, history and interrelationships of the subject region were a result of diverse languages, ethnic groups, and religion.

We also experimented on screening new Japanese films, which were just released within the year. For this endeavor, we screened *Fly with Gold* directed by Kazuyuki Izutsu and footage of the making of *A Terminal Trust* directed by Masayuki Suo. Both film directors were invited to the Film Festival where they participated in special screenings, stage greetings and talk shows. We also showed 5 films directed by Kidlat Tahimik of the Philippines, who was awarded the Fukuoka Prize in 2012.

In 2012, our motion picture exhibition material included DCP (Digital Cinema Package), the use of which began to spread to movie theaters. We therefore exhibited films in 35mm film, video and DCP, thereby symbolizing the transition to digital cinema.

## PROGRAM FOR 2012

※日本語の[ ]内は、劇場公開題 ※作品名の後に★の付いている作品は福岡市総合図書館所蔵  
 ★ Part of the Fukuoka City Public Library Film Archive Collection  
 掲載順序: 題名 Title / 監督 Director / 製作年 / 製作国 Country of Production / カラー / 分数

上映作品				
未来へつづく声★ <i>Future Lasts Forever</i>	オズジャン・アルベル Özcan Alper	2011	トルコ Turkey	Color / 108min.
9月★ <i>The September</i>	ジェミル・アアジックオウル Cemil Agacikoglu	2011	トルコ Turkey	Color / 88min.
BOL ～声をあげる～★ <i>Speak Up</i>	ショエーブ・マンズール Shoaib Mansoor	2011	パキスタン Pakistan	Color / 159min.
カハニー／物語 [女神は二度微笑む]★ <i>Kahaani</i>	スジョイ・ゴシュ Sujoy Ghosh	2012	インド India	Color / 123min.
やさしい女★ <i>With You, Without You</i>	ブラサンナ・ヴィターナゲ Prasanna Vithanage	2012	スリランカ Sri Lanka	Color / 90min.
わが友ラシド★ <i>My Friend Rashed</i>	モルシェドウル・イスラム Morshedul Islam	2011	バングラデシュ Bangladesh	Color / 100min.
4月の終わりに霧雨が降る★ <i>In April The Following Year, There Was A Fire</i>	ウィチャノン・ソムウムジャーン Wichanon Somunjarn	2012	タイ Thailand	Color / 76min.
ねじきれ奇譚★ <i>Twisted</i>	ツァイ・ユイウェイ (蔡於位) Chai Yee Wei	2011	シンガポール・マレーシア Singapore, Malaysia	Color / 100min.
飼育 <i>The Catch</i>	リティー・パニユ Rithy Panh	2011	フランス・カンボジア France, Cambodia	Color / 93min.
さかなの寓話 <i>Fable of the Fish</i>	アドルフ・ボリナガ・アリックス Jr. Adolfo Borinaga Alix Jr.	2011	フィリピン Philippines	Color / 85min.
アモク★ <i>Amok</i>	ローレンス・ファハルド Lawrence Fajardo	2011	フィリピン Philippines	Color / 82min.
ミスター・ツリー <i>Mr. Tree</i>	ハン・ジェ (韓杰) Han Jie	2011	中国 China	Color / 88min.
時空の扉 <i>Lee's Adventure</i>	クオ・ファン (郭帆) Frant Gwo リー・ヤン (李阳) Li Yang	2011	中国 China	Color / 91min.
天龍一座がゆく★ <i>Flying Dragon, Dancing Phoenix</i>	ワン・ユイリン (王育麟) Wang Yulin	2012	台湾 Taiwan	Color / 109min.
あの頃、君を追いかけた <i>You Are the Apple of My Eye</i>	ギデنز (九把刀) Giddens	2011	台湾 Taiwan	Color / 110min.
ダンシング・クイーン <i>Dancing Queen</i>	イ・ソクン (이석훈) Lee Seok Hoon	2011	韓国 Korea	Color / 124min.
バラナシへ <i>From Seoul to Varanasi</i>	チョン・ギユファン (전규환) Jeon Kyu Hwan	2011	韓国 Korea	Color / 98min.

## アカデミー賞受賞監督アスガー・ファルハディ全作上映 The Complete Cinematic Works of Asghar Farhadi

砂塵にさまよう★ <i>Dancing in the Dust</i>	アスガー・ファルハディ Asghar Farhadi	2003	イラン Iran	Color / 95min.
美しい都市 (まち)★ <i>Beautiful City</i>	アスガー・ファルハディ Asghar Farhadi	2004	イラン Iran	Color / 102min.
火祭り★ <i>Fireworks Wednesday</i>	アスガー・ファルハディ Asghar Farhadi	2006	イラン Iran	Color / 104min.
彼女が消えた浜辺 <i>About Elly</i>	アスガー・ファルハディ Asghar Farhadi	2009	イラン Iran	Color / 116min.
別離★ <i>Nader and Simin, A Separation [A Separation]</i>	アスガー・ファルハディ Asghar Farhadi	2011	イラン Iran	Color / 123min.

## 〈アグリシネマ〉農業と映画 AgriCinema - Cinema Within Agriculture

ひかりのおと <i>The Sound of Light</i>	山崎樹一郎 Yamasaki Juichiro	2011	日本 Japan	Color / 89min.
恋するトマト <i>Love Tomato</i>	南部英夫 Nanbu Hideo	2005	日本 Japan	Color / 126min.
遠雷 <i>Enrai</i>	根岸吉太郎 Negishi Kichitaro	1981	日本 Japan	Color / 135min.

- シンポジウム「南アジアの映画製作を聞く」、「映画を耕す～農業は映画だ!」(9月17日/JR博多シティ 大会議室)
- 新作日本映画特別上映『黄金を抱いて翔べ』、『終の信託』(9月15日・17日)
- バリアフリー上映会(9月22日/JR九州ホール)
- 福岡フィルムコミッション支援作品特集(9月18日・21日)
- 福岡アジア文化賞受賞監督作品上映 キドラット・タヒミック(フィリピン)(9月19日)
- 特別招待韓国映画(9月15日)
- 福岡観客賞授賞式&上映会(9月19日/JR九州ホール)
- 協賛企画:アジアフォーカス・アーカイヴズ(9月2日～9日/福岡市総合図書館映像ホール・シネラ)
- 協賛企画:日本映画名作選(9月12日～29日/福岡市総合図書館映像ホール・シネラ)
- 協賛企画:福岡インディペンデント映画祭2012(9月6日～11日/福岡アジア美術館あじびホール、冷泉荘)
- 協賛企画:アジア映画鑑賞会中学生招待事業(9月13日・14日/T・ジョイ博多)
- 協賛企画:台湾映画祭2012(9月13日～18日/福岡アジア美術館あじびホール)
- 協賛企画:東アジア映画フェスティバル2012(9月20日～25日/福岡アジア美術館あじびホール)
- 協賛企画:第4回福大生による東アジア映画字幕制作・成果発表会(9月29日/エルガーラ 多目的ホール)



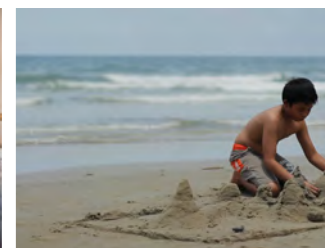
カハニー／物語 / *Kahaani*



やさしい女 / *With You, Without You*



わが友ラシド / *My Friend Rashed*



4月の終わりに霧雨が降る /  
*In April The Following Year, There Was A Fire*



美しい都市(まち) / *Beautiful City*



さかなの寓話 / *Fable of the Fish*



アモク / *Amok*



ミスター・ツリー / *Mr. Tree*

2013



期 間	9月13日(金)～23日(月・祝)
会 場	キャナルシティ博多、 ユナイテッド・シネマ キャナルシティ13、 キャナルシティ劇場など
内 容	23か国・地域51作品
入場者数	アジアフォーカス・福岡国際映画祭2013 25,693人 協賛企画など 8,128人 合計 33,821人

HELD: 13th - 23rd September, 2013  
 VENUES: Canal City Hakata, United Cinemas Canal City 13 and the Canal City Theater and others  
 EXHIBITION OF: 51 films from 23 nations and regions  
 ATTENDANCE: Focus on Asia FIFF 2013 25,693  
 Sponsored Events 8,128  
 Total 33,821

23 回目のこの年は、恒例のアジアの新作・話題作のほかに、二つの特集上映「イ・チャンドン全作上映」「1Q64～過去はいつも新しい～」を実施。協賛企画として「香港映画大特集」、「世界のCM フェスティバル特別編」、「テクネ 映像の教室展」、「バリバリショートフィルム上映」、「福岡ワンミニット・フィルムコンペティション 公開審査会」などがあり、充実したプログラムとなった。

この年、会場をキャナルシティ博多へと移し、オープニングで初の水上レッドカーペットを実施。特設ステージ上に、篠田正浩監督をはじめアジアの監督や俳優など多くのゲストが登場した。

オープニング上映とレセプションは香港経済貿易代表部の協力により「香港ナイト」としても開催。東アジア映画フェスティバルと連携した香港映画大特集では、香港映画6本を上映した。香港映画『狂舞派』が福岡観客賞に選ばれ、来福したスタッフ、キャストとともに監督は喜びを分かち合った。

名監督特集は、ヴェネツィアやカンヌで受賞するなど、国際的に高く評価されている韓国のイ・チャンドン監督を特集し、全5作品を上映した。

特集「1Q64～過去はいつも新しい～」では、高度経済成長の真ただ中の日本を特集。日本人の海外観光渡航も制限つきで自由化され、OECDにも加盟。明日を信じ、未来が輝いていた、そんな奇跡の年1964年の傑作日本映画7本を上映。この時代を代表する名匠篠田正浩監督を迎えスペシャルトークを開催した。

また、同年の福岡アジア文化賞で芸術・文化賞を受賞したタイのアピチャッポン・ウィーラセタクン監督を迎えて、インドネシアのリリ・リザ監督、プロデューサーのミラ・レスマナ氏らと共に記念シンポジウム「映画のミライ～アジア映画の新潮流から読み解く」を開催した。

本映画祭初の試みとして、映画祭を若手監督の発表の場とするため、アジア・日本の若手監督の1分前後の超短編を、本編映画の前に上映した。また会期中、福岡フィルムコミッションの主催による「福岡ワンミニット・フィルムコンペティション」の公開審査会を行い、受賞作品が発表された。

過去最多の作品数となったこの年は、来場者数も過去最多を記録。新しい会場で盛り上がりを見せた。



〈福岡観客賞受賞作品〉狂舞派  
 WINNER OF THE FUKUOKA AUDIENCE AWARD : The Way We Dance



沈黙の夜 / Night of Silence



サイの季節 / Rhino Season



〈オープニング上映〉狂舞派(2013年 香港)  
 OPENING FILM: The Way We Dance (2013/Hong Kong)

For the 23rd edition of our Film Festival in 2013, we presented two feature programs, namely "The Focus on Asia Great Film Directors Series: Lee Chang Dong" and "1Q64-The Past is Always New and Fresh", in addition to exhibiting our official lineup of films consisting of new and most talked about motion pictures from Asia. Our sponsored events included "Hong Kong Movies", "Night of the Ad-Eaters-Focus on Asia Special Edition", "Exhibition: TECHNE: The Visual Workshop", "Very, Very Short Films" and the "Fukuoka One Minute Film Competition" among others, making way for a fulfilling and rich comprehensive program.

Having moved our venues to Canal City Hakata, we held our first ever Red-Carpet Opening Ceremony on a stage above water. Many Asian film directors, actors, actresses and guests, including Japanese film director Masahiro Shinoda, appeared on the specially installed red-carpet stage.

With the cooperation of The Hong Kong Economic and Trade Office (Tokyo), the Opening Screening and Reception were held under the name of "Hong Kong Night." Our program "Hong Kong Movies" collaborated with the East Asian Film Festival 2013 to exhibit 6 films from Hong Kong. The Hong Kong film, *The Way We Dance*, took the Fukuoka Audience Award for 2013 and the film director celebrated the occasion with members of his staff and cast.

Our "Great Film Directors Series" featured the internationally acclaimed Korean film director Lee Chang Dong, an award-winner at both Venice and Cannes. Our feature program exhibited 5 of his films.

In our other feature program "1Q64-The Past is Always New and Fresh", we presented the image of Japan in 1964, a year when the country was in the midst of its era of rapid economic growth, when regulations for international travel were eased subject to restrictions and when the nation joined the Organization for Economic Cooperation and Development (OECD). It was a time when people believed in tomorrow and when the future seemed bright. To depict this miraculous year, we screened 7 Japanese film masterpieces made in 1964. As a Japanese film director representing this era, we invited film director Masahiro Shinoda who participated in a special talk event.

The commemorative symposium "Reading the Future of Cinema from the New Tide of Asian Films" was held inviting Thai film director Apichatpong Weerasethakul, recipient of the Arts & Culture Prize of the Fukuoka Prize in 2013, and Indonesian film director Riri Riza as well as Indonesian film producer Mira Lesmana.

As a first for our Film Festival, very short films of a minute in duration directed by young Asian and Japanese film directors were shown prior to the screening of our featured films, to provide young filmmakers with an opportunity to present their film work.

Organized by the Fukuoka Film Commission, the "Fukuoka One-Minute Film Competition" was held and award-winners announced, during our Film Festival.

In 2013, we set a Film Festival record for the number of films shown. We also set a record for the number of people who came to see our films. There was much excitement seen at our new venue.

## PROGRAM FOR 2013

※日本語の[ ]内は、劇場公開題 ※作品名の後に★の付いている作品は福岡市総合図書館所蔵  
 ★ Part of the Fukuoka City Public Library Film Archive Collection  
 掲載順序: 題名 Title / 監督 Director / 製作年 / 製作国 Country of Production / カラー / 分数

上映作品				
沈黙の夜★	Night of Silence	レイス・チェリッキ	Reis Çelik	2012 /トルコ Turkey / Color / 91min.
サイの季節★	Rhino Season	バフマン・ゴバディ	Bahman Ghobadi	2012 /イラク・トルコ Iraq, Turkey / Color / 91min.
バルウイズ★	Parviz	マジド・バルゼガル	Majid Barzegar	2012 /イラン Iran / Color / 107min.
悲しみを聴く石	The Patience Stone	アティグ・ラヒミ	Atiq Rahimi	2012 /フランス・アフガニスタン France, Afghanistan / Color / 102min.
ゲーマー★	Gaamer	オレグ・センツォフ	Oleg Sentsov	2011 /ウクライナ Ukraine / Color / 92min.
血の抗争	Gangs of Wasseypur	アヌラグ・カシャブ	Anurag Kashyap	2012 /インド India / Color / 320min.
聖者の谷★	Valley of Saints	ムーサー・サイド	Musa Syeed	2012 /インド・アメリカ India, USA / Color / 82min.
シャンハイ	Shanghai	ディバール・バナルジー	Dibakar Banerjee	2012 /インド India / Color / 110min.
Pee Mak (原題)[愛しのゴースト]	Pee Mak	バンジョン・ピサンタナクーン	Banjong Pisanthanakun	2013 /タイ Thailand / Color / 113min.
シンガポール・グラフィティ★	That Girl in Pinapore	ツァイ・ユイウェイ (蔡於位)	Chai Yee Wei	2013 /シンガポール Singapore / Color / 115min.
スター誕生★	Already Famous	ミシェル・チョン (庄米雷)	Michelle Chong	2011 /シンガポール Singapore / Color / 113min.
聖なる踊子★	The Dancer	イファ・イスファンジャ	Ifa Isfansyah	2010 /インドネシア・フランス Indonesia, France / Color / 112min.
タクシードライバー日誌	Something in the Way	テディ・スリアアトマジャ	Teddy Soeriaatmadja	2013 /インドネシア Indonesia / Color / 89min.
ティモール島アタンブア 39℃★	Atambua 39° Celsius	リリ・リザ	Riri Riza	2012 /インドネシア Indonesia / Color / 90min.
果てしなき鎖★	Shackled	ローレンス・ファハルド	Lawrence Fajardo	2012 /フィリピン Philippines / Color / 92min.
夢にかける女★	A Fallible Girl	コンラッド・クラーク	Conrad Clark	2012 /イギリス・中国 UK, China / Color / 104min.
狂舞派	The Way We Dance	アダム・ウオン (黃修平)	Adam Wong	2013 /香港 Hong Kong / Color / 110min.
少し恋して、ちょっと愛して	Together	シュイ・チャオレン (許肇任)	Hsu Chao Jen	2012 /台湾 Taiwan / Color / 114min.
ウィル・ユー・スティル・ラブ・ミー・トゥモロー?	Arwin Chen	アーウィン・チェン (陳駿霖)	Arvin Chen	2012 /台湾 Taiwan / Color / 104min.
Will You Still Love Me Tomorrow?				
結界の男	Man on the Edge	チョ・ジンギョ (조진규)	Jo Jin Kyu	2012 /韓国 Korea / Color / 127min.
未熟な犯罪者	Juvenile Offender	カン・イグァン (강이관)	Kang Yi Kwan	2012 /韓国 Korea / Color / 107min.
No. 10 ブルース / さばサイゴン		長田紀生	Osada Norio	2012 /日本・ベトナム Japan, Vietnam / Color / 99min.
Number 10 Blues / Goodbye, Saigon				

## アジアフォーカス名監督特集 イ・チャンドン全作品上映 The Focus on Asia Great Film Directors Series: Lee Chang Dong

グリーン・フィッシュ	Green Fish	イ・チャンドン (이창동 / 李滄東)	Lee Chang Dong	1997 /韓国 Korea / Color / 105min.
ペパーミント・キャンディー	Peppermint Candy	イ・チャンドン (이창동 / 李滄東)	Lee Chang Dong	1999 /韓国 Korea / Color / 129min.
オアシス	Oasis	イ・チャンドン (이창동 / 李滄東)	Lee Chang Dong	2002 /韓国 Korea / Color / 132min.
シークレット・サンシャイン	Secret Sunshine	イ・チャンドン (이창동 / 李滄東)	Lee Chang Dong	2007 /韓国 Korea / Color / 142min.
ボエトリー アグネスの詩	Poetry	イ・チャンドン (이창동 / 李滄東)	Lee Chang Dong	2010 /韓国 Korea / Color / 139min.

## 1Q64 ～過去はいつも新しい～ Feature Program: 1Q64 ~The Past is Always New and Fresh~

暗殺	Assassination/The Assassin	篠田正浩	Shinoda Masahiro	1964 /日本 Japan / BW / 103min.
乾いた花	Pale Flower	篠田正浩	Shinoda Masahiro	1964 /日本 Japan / BW / 96min.
君も出世ができる	You, Too, Can Make Good	須川栄三	Sugawa Eizou	1964 /日本 Japan / Color / 100min.
ああ爆弾	Oh! My Bomb!	岡本喜八	Okamoto Kihachi	1964 /日本 Japan / BW / 95min.
日本脱出	Escape from Japan	吉田喜重	Yoshida Kiju	1964 /日本 Japan / BW / 95min.
月曜日のユカ	Only On Mondays	中平康	Nakahira Ko	1964 /日本 Japan / BW / 93min.
東京オリンピック	Tokyo Olympiad	市川崑	Ichikawa Kon	1965 /日本 Japan / Color / 170min.

## 香港映画大特集 The Grand Hong Kong Film Collection

奪命金	Life Without Principle	ジョニー・トー (杜琪峰)	Johnnie To	2011 /香港 Hong Kong / Color / 107min.
-----	------------------------	---------------	------------	--------------------------------------

- アジアフォーカスプレイベント ディーバ・メータ監督エレメント3部作 一挙上映(8月25日/福岡市総合図書館映像ホール・シネラ)
- 篠田正浩監督スペシャルトーク(9月18日)
- 新作日本映画特別上映(9月14日)
- バリバリショートフィルム上映
- 福岡ワンミニット・フィルムコンペティション 公開審査会(9月22日)
- 第7回中国・西寧FIRST青年映画祭 受賞作品上映(9月19日)
- エンジョイ・アジアナムービー(9月16日・21日)
- 福岡アジア文化賞受賞記念上映&シンポジウム「映画のミライ～アジア映画の新潮流から読み解く」(アピチャッポン・ウィーラセタクン監督)(9月16日)
- 福岡観客賞授賞式&上映会(9月18日/キャナルシティ劇場)
- バリアフリー上映会(9月19日/キャナルシティ劇場)
- 共催事業:テクネ 映像の教室展(8月31日～9月29日/キャナルシティ博多ビジネスセンタービルB1F)
- 共催事業:世界のCMフェスティバル～福岡国際映画祭特別編～(9月23日/キャナルシティ劇場)
- 協賛企画:日活映画の100年(9月4日～29日/福岡市総合図書館映像ホール・シネラ)
- 協賛企画:福岡インディペンデント映画祭2013(8月30日～9月1日・9月5日～10日/福岡アジア美術館あじびホール、中洲大洋劇場他)
- 協賛企画:台湾映画祭2013(9月12日～17日/福岡アジア美術館あじびホール)
- 協賛企画:東アジア映画フェスタ2013(9月19日～24日/福岡アジア美術館あじびホール) 香港映画大特集共催
- 協賛企画:アジア映画鑑賞会中学生招待事業(9月17日/キャナルシティ劇場)
- 協賛企画:第5回福大生による東アジア映画字幕制作・成果発表会(9月21日/エルガララ 多目的ホール)



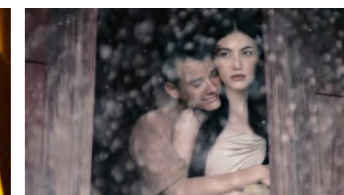
悲しみを聴く石 / The Patience Stone



ゲーマー / Gaamer



血の抗争 / Gangs of Wasseypur



Pee Mak (原題)[愛しのゴースト] / Pee Mak



# 2014



**期 間** 9月12日(金)～21日(日)  
**会 場** キャナルシティ博多、  
 ユナイテッド・シネマ キャナルシティ13、  
 福岡市総合図書館映像ホール・シネラ  
**内 容** 18か国・地域 39作品  
**入場者数** アジアフォーカス・福岡国際映画祭2014 23,936人  
 協賛企画など 6,888人  
 合計 30,824人

HELD: 12th - 21st September, 2014  
 VENUES: Canal City Hakata, United Cinemas Canal City 13,  
 Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là  
 EXHIBITION OF: 39 films from 18 countries and regions  
 ATTENDANCE: Focus on Asia FIFF 2014 23,936  
 Sponsored Events 6,888  
 Total 30,824

24 回目を迎えたこの年、粒ぞろいの公式招待作 15 本のほかに、特集「台湾映画大特集～台湾電影ルネッサンス 2014～」を台北駐日経済文化代表処・台北文化センターの協力のもと、台湾映画祭との共催で実施した。オープニングは中洲ジャズのジャズライブや、開催中の第 5 回福岡アジア美術トリエンナーレ 2014 のゲストがバックパネルのデザインを手がけるなど、華やかなステージとなった。

オープニング上映は、台湾映画『ロマンス狂想曲』。監督、主演俳優の挨拶もあり、客席から大きな歓声が沸いた。その他の特別企画として、台湾からのゲストによる記念シンポジウム、「国立 台北故宫博物院」特別展と連携し同院ゆかりの作品を上映。特別試写会では、台湾で大ヒットした『KANO～1931 海の向こうの甲子園～』を監督と主演俳優を迎えて上映した。

日本映画特集は、浮世絵を題材とした「しゃらくせえ絵師たち ～浮世と絵と映画～」を福岡市総合図書館映像ホール・シネラで開催し、特集 7 作品のうち 2 本の監督である篠田正浩氏によるトークイベントを実施した。

福岡観客賞には、おなじみリリ・リザ監督『ジャングル・スクール』が選ばれた。第二席の熊本市賞には、第 18 回ファンタジア国際映画祭で男役の大島美幸さんが最優秀女優賞を受賞した『福福荘の福ちゃん』が輝いた。

初の試みとして、商談会「ネオンネマップ福岡」を開催。韓国の製作会社によるプレゼンテーションを中心に、国内外の製作会社、配給会社が商談・情報交換を行った。韓国他から 5 社、日本配給会社 12 社、映画祭ゲスト多数が参加した。

昨年に続き 2 回目となる「福岡ワンミニット・フィルムコンペティション」は、「世界へ伝えたい福岡の魅力」のテーマで公募した作品のなかから、石井岳龍監督など審査員による公開審査を行い、選考を通過した 10 作品を上映した。

開催中の福岡アジア美術トリエンナーレ出品作から、ブータンのショートフィルム 4 本を上映した。また、トリエンナーレ CM 映像を幕間に上映、チケットの相互割引など連携を図った。

福岡の企業「しくみデザイン」が開発したインタラクティブコンテンツを展示した「しくみデザイン体験広場」など、参加型のワークショップを開催した。



福岡観客賞受賞作品) ジャングル・スクール  
WINNER OF THE FUKUOKA AUDIENCE AWARD : The Jungle School



ブラインド・マッサージ/Blind Massage



山猪温泉/The Boar King



〈オープニング上映〉ロマンス狂想曲(2013年 台湾)  
OPENING FILM: Apolitical Romance (2013/Taiwan)

For the 24th Edition of the Film Festival in 2014, we screened our official selection of 15 uniformly excellent films in addition to holding "Films from Taiwan - Taiwan Film Renaissance 2014", a special feature co-organized by the Taiwan Film Festival with the cooperation of the Taipei Economic and Cultural Representative Office and the Taipei Cultural Center.

Our Opening Ceremony in 2014 featured "Nakasu Jazz", a live jazz event. A spectacular stage was set with a back stage panel designed by guests invited to the 5th Fukuoka Asian Art Triennale 2014, being held at the same time as our Film Festival.

Our Opening Film was Apolitical Romance, a film from Taiwan. Loud cheers could be heard when the starring performers from the film were introduced. In other special events, we held a commemorative symposium with our guests from Taiwan, collaborated with the "Treasure Masterpieces from the National Palace Museum Taipei" special exhibit to screen a film associated with the said museum, and held a special screening of KANO, a blockbuster hit film in Taiwan, with its film director, starring actor and actress.

We held our Japanese special feature "Sharaku and Other Daring Ukiyoe Artists" at the Fukuoka City Public Library. We also held a talk event with Masahiro Shinoda who directed 2 of the 7 films featured in the special feature. The Fukuoka Audience Award in 2014 went to The Jungle School directed by Riri Riza, a filmmaker well-known to our Film Festival. The Kumamoto City Award, the runner-up prize, went to Fuku-Chan of FukuFuku Flats, a film that brought Miyuki Oshima, who played a man's role, the Best Actress Award from the 18th Fantasia International Film Festival.

The Film Festival held "Neo Cinemap Fukuoka", its first attempt at establishing a film market. Presentations were made by Korean production firms around which Japanese and foreign production companies and distributors negotiated and exchanged information. The event drew the participation of 5 foreign companies including firms from Korea, 12 Japanese distributors and many guests of the Film Festival.

Continuing from the previous year in 2013, we held the 2nd "Fukuoka One Minute Film Competition." Out of entries submitted under the theme of "Conveying the Charm of Fukuoka to the World", 10 films were exhibited after being selected by a jury which included Japanese film director Gakuryu Ishii. We showed 4 short films from Bhutan submitted to the Fukuoka Asian Art Triennale. A PR commercial of the Triennale was shown at our Opening Event, and mutual ticket discounts were made available.

Participation oriented workshops were held including the "Exhibition of Shikumi Design in Canal City" displaying interactive contents developed by Shikumi Design, a Fukuoka company.

## PROGRAM FOR 2014

※作品名の後に★の付いている作品は福岡市総合図書館所蔵  
 ★ Part of the Fukuoka City Public Library Film Archive Collection  
 掲載順序：題名 Title / 監督 Director / 製作年 / 製作国 Country of Production / カラー / 分数

上映作品				
私は彼ではない★ I'm Not Him	タイファン・ビルセルムオウル Tayfun Pirselimoglu	2013 /トルコ・ギリシャ・フランス Turkey, Greece, France / カラー / 129min.		
兄弟 Brother	テオナ・ムグヴデラゼ Teona Mghveladze ティエリ・グルナド Thierry Grenade	2014 /フランス・ジョージア France, Georgia / カラー / 98min.		
予兆の森で Fish and Cat	シャーラム・モクリ Shahram Mokri	2013 /イラン Iran / カラー / 141min.		
絵の中の池★ The Painting Pool	マズィヤール・ミーラー Maziar Miri	2013 /イラン Iran / カラー / 96min.		
ひとり Little Brother	セリック・アブリモフ Serik Aprymov	2013 /カザフスタン Kazakhstan / カラー / 94min.		
シッダルタ Siddharth	リチャー・メーヘター Richie Mehta	2013 /インド・カナダ India, Canada / カラー / 96min.		
タイムライン Timeline	ノンズィー・ニミブット Nonzee Nimibutr	2014 /タイ Thailand / カラー / 135min.		
ジャングル・スクール★ The Jungle School	リリ・リザ Riri Riza	2013 /インドネシア Indonesia / カラー / 90min.		
サビ Possession	ブリランテ・メンドーサ Brillante Ma. Mendoza	2013 /フィリピン Philippines / カラー / 102min.		
ブラインド・マッサージ Blind Massage	ロウ・イエ(婁燁) Lou Ye	2014 /中国・フランス China, France / カラー / 114min.		
ロマンス狂想曲★ Apolitical Romance	シエ・チュンイー(謝駿毅) Hsieh Chun Yi	2013 /台湾 Taiwan / カラー / 90min.		
山猪温泉★ The Boar King	クオ・チュンティ(郭珍弟) Kuo Chen Ti	2014 /台湾 Taiwan / カラー & BW / 102min.		
慶州 Gyeongju	チャンリュル(張律/장률) Zhang Lu	2014 /韓国 Korea / カラー / 145min.		
神の眼の元に God's Eye View	イ・ジャンホ(이정호/李長鎬) Lee Jang Ho	2013 /韓国・カンボジア Korea, Cambodia / カラー / 90min.		
福福荘の福ちゃん Fuku-chan of FukuFuku Flats	藤田容介 Fujita Yousuke	2014 /日本 Japan / カラー / 111min.		

### 日本映画特集「しゃらくせえ絵師たち ～浮世と絵と映画～」 Special Feature: Sharaku and Other Daring Ukiyoe Artists

歌麿をめぐる五人の女 Utamaro and His Five Women	溝口健二 Mizoguchi Kenji	1946 /日本 Japan / BW / 95min.
地獄変 Portrait of Hell	豊田四郎 Toyoda Shiro	1969 /日本 Japan / カラー / 95min.
無頼漢 The Scandalous Adventures of Buraikan	篠田正浩 Shinoda Masahiro	1970 /日本 Japan / カラー / 103min.
歌麿 夢と知りせば Utamaro's World	実相寺昭雄 Jissoji Akio	1977 /日本 Japan / カラー / 140min.
北斎漫画 Edo Porn	新藤兼人 Shindo Kaneto	1981 /日本 Japan / カラー / 119min.
夢二 Yumeji	鈴木清順 Suzuki Seijun	1991 /日本 Japan / カラー / 128min.
写楽 Sharaku	篠田正浩 Shinoda Masahiro	1995 /日本 Japan / カラー / 138min.

- プレイベント上映会(8月30日/福岡市総合図書館映像ホール・シネラ)
- 台湾映画祭2014 台湾映画大特集～台湾電影ルネッサンス2014～(9月13日～20日)
- 台湾映画大特集記念シンポジウム「美味しい台湾映画の作り方」(9月16日)
- 第5回福岡アジア美術トリエンナーレ2014との連携(9月12日～23日)
- 第5回福岡アジア美術トリエンナーレ(FT5)ブータン映画特集(9月14日)
- クリエイティブイベント「しくみデザイン体験広場」(9月12日～23日)
- 「ネオ・シネマップ福岡」(9月16日～17日)
- 福岡観客賞授賞式&特別上映(9月17日)
- 特別試写会「ふしぎな岬の物語」(9月18日)
- バリアフリー上映会(9月20日・21日/ふくふくホール・福岡市市民福祉プラザ他)
- 共催企画:中国・西寧FIRST青年映画祭2014(9月20日/福岡アジア美術館あじびホール)
- 協賛企画:福岡ワンミニット・フィルムコンペティション2014(9月15日)
- 協賛企画:福岡フィルムコミッション支援作品プレミア上映(9月17日)
- 協賛企画:福岡インディペンデント映画祭2014(8月7日～12日,9月13日～20日/福岡アジア美術館あじびホール他)
- 協賛企画:アジアフォーカス・アーカイヴズ(9月3日～27日/福岡市総合図書館映像ホール・シネラ)
- 協賛企画:アジア映画鑑賞会中学生招待事業(9月16日/都久志会館)
- 協賛企画:東アジア映画フェスティバル2014(9月18日・19日)
- 協賛企画:第6回福大生による東アジア映画字幕制作・成果発表(9月27日/エルガーホール 多目的ホール)
- 協賛企画:シティ情報Fukuoka presents 予告編イッキ見無料上映会(9月19日・20日)
- アジアフォーカス・福岡国際映画祭2014 交流パーティ(9月14日/サラマンジェ)



私は彼ではない/I'm Not Him



兄弟/Brother



予兆の森で/Fish and Cat



絵の中の池/The Painting Pool



神の眼の元に/God's Eye View



シッダルタ/Siddharth



タイムライン/Timeline



ひとり/Little Brother



サビ/Possession



慶州/Gyeongju

# 2015



**期 間** 9月18日(金)~25日(金)  
**会 場** キャナルシティ博多、  
 ユナイテッド・シネマ キャナルシティ13、  
 ぼんプラザホール  
**内 容** 22か国・地域 45作品  
**入場者数** アジアフォーカス・福岡国際映画祭2015 31,005人  
 協賛企画など 8,041人  
 合計 39,046人

HELD: 18th - 25th September, 2015  
 VENUES: Canal City Hakata,  
 United Cinemas Canal City 13, Pon Plaza Hall  
 EXHIBITION OF: 45 films from 22 countries and regions  
 ATTENDANCE: Focus on Asia FIFF 2015 31,005  
 Sponsored Events 8,041  
 Total 39,046

25周年を迎えたこの年、国際交流基金アジアセンターとの共催により、東南アジア諸国の映画製作に焦点を当てた特集がスタートする。初年度は「インドネシア大特集「マジック☆インドネシア」と題して、インドネシア映画8本の上映のほか、シンポジウム、ダンスパフォーマンス、ライブ演奏、留学生による「インドネシアカルチャーDAY」など多彩なイベントで映画祭を彩った。オープニング上映は、インドネシア映画のアクション大作『黄金杖秘聞』。また、今やインドネシア映画界の中心的存在であるミラ・レスマナとリリ・リザが、若き日に、女性監督ナン・T・アハナス、リザル・マントファニらとともに製作したインドネシア・ニューシネマの伝説的作品『クルドサク』を日本初上映。インドネシア映画特集上映では、ほかにガリン・ヌグロホやエドウィンなどインドネシアを代表する監督の作品や、若手の新作など6作品を上映。ほぼすべての公式作品のゲストを招待し、舞台挨拶や上映後のQ&Aを実施した。

また、「東南アジアの新世代監督〜ジェネレーションX」と題して、東南アジアの新世代監督を招き、福岡出身の石井岳龍監督とともに東南アジアのリアルな映画事情についてシンポジウムを開催した。

福岡観客賞には、実話を基にした香港映画『Little Big Master (原題)』(劇場公開時題「小さな国の大きな奇跡」)が選ばれた。第二席の熊本市賞は観客動員数トップの『山嶺の女王 クルマンジャン』が受賞した。

また、前年開催したフィルム・マーケット「ネオシネマップ福岡」を、規模・地域を拡大し、改めて第1回としてスタート。16か国59社67名が参加し、91作品が出品され、福岡商工会議所の大会議室で、2日間にわたる活発な商談が行われた。

3年目となる福岡ワンミニット・フィルムコンペティションも引き続き実施され、この年初めの試みとなるFUKUOKA ANIMATION SHOWCASEと併せて、地元福岡の映像クリエイターを応援する試みを充実した。

また、公式招待作品で上映された『インビジブル』は、2012年の『アモク』出品以降、福岡と親交を深めてきたローレンス・ファハルド監督が、福岡フィルムコミッションの協力を得て、地元の映像製作者と福岡ロケを実現した作品である。



〈福岡観客賞受賞作品〉Little Big Master (原題) [小さな国の大きな奇跡] WINNER OF THE FUKUOKA AUDIENCE AWARD: Little Big Master



山嶺の女王 クルマンジャン / Kurmanjan Datka Queen of the Mountains



未熟なざくろ / Unripe Pomegranates



〈オープニング上映〉黄金杖秘聞(2014年 インドネシア)  
 OPENING FILM: The Golden Cane Warrior (2014/Indonesia)

Starting in 2015, which marked our 25th Anniversary, the Film Festival began holding special features focusing on films produced in Southeast Asia, under a co-organizing effort with the Japan Foundation Asia Center. On the first fiscal year of this arrangement in 2015, we presented "Magic Indonesia", a big special feature where 8 Indonesian films were screened. In addition, we topped the Film Festival with a myriad of events such as symposiums, dance performances, live acts and "Indonesia Culture Day", organized by foreign students studying in Japan.

We screened *The Golden Cane Warrior*, a spectacular, action packed Indonesian film as our Opening Film. We also screened the Japanese Premier to *Kuldesak*, a classic film in the genre of Indonesian New Cinema jointly produced by four filmmakers in their younger days; Mira Lesmana and Riri Riza, now regarded as centerpiece players in the Indonesian film industry, Indonesian female film director Nan T. Achinas and Rizal Mantovani. For our Indonesian special feature, we screened 6 other films, which included motion pictures directed by major Indonesian filmmakers such as Garin Nugroho and Edwin as well as new releases of younger Indonesian talent. We invited guests from practically all motion pictures in our official selection of invited films, who participated in stage greetings and after screening Q&A sessions.

We held the symposium, "Southeast Asia's New Film Directors Living in Generation X.", where we invited guests from Southeast Asia's new generation of film directors to discuss the real issues surrounding Southeast Asian films with Gakuryu Ishii, a film director from Fukuoka.

In 2015, the Fukuoka Audience Award went to *Little Big Master*, a Hong Kong film based on a true story, while *Kurmanjan Datka Queen of the Mountains* captured the Kumamoto City Award, the runner-up prize.

Expanding scale and territory after its pre-opening in 2014, our film market "Neo Cinemap Fukuoka", officially launched its first season in 2015. 91 titles were submitted as 67 individuals from 59 companies representing 16 countries actively engaged in negotiations for 2 days at the main conference room of the Fukuoka Chamber of Commerce.

The "Fukuoka One Minute Film Competition" was held for the 3rd time in 2015. This event, together with the "FUKUOKA ANIMATION SHOWCASE", a first for our Film Festival, enriched our efforts to encourage and assist local visual creators in Fukuoka.

*Invisible*, a film officially invited to and screened at our Film Festival in 2015 and a motion picture directed by Lawrence Fajardo, who deepened his friendship with Fukuoka after the exhibition of his earlier film *Amok* at our Film Festival in 2012, was shot in part in Fukuoka with the assistance of local filmmakers, coordinated through the cooperation of the Fukuoka Film Commission.

## PROGRAM FOR 2015

※日本語の[ ]内は、劇場公開題 ※作品名の後に★の付いている作品は福岡市総合図書館所蔵  
 ★ Part of the Fukuoka City Public Library Film Archive Collection  
 掲載順序: 題名 Title / 監督 Director / 製作年 / 製作国 Country of Production / カラー / 分數

上映作品				
望郷のうた <i>Song of My Mother</i>	エロル・ミンタシュ Erol Mintas	2014 / トルコ・フランス・ドイツ Turkey, France, Germany / Color / 103min.		
未熟なざくろ★ <i>Unripe Pomegranates</i>	マジドレザ・モスタファウィ Majid-Reza Mostafavi	2014 / イラン Iran / Color / 83min.		
山嶺の女王 クルマンジャン★ <i>Kurmanjan Datka Queen of the Mountains</i>	サディック・シェル・ニヤーズ Sadyk Sher-Niyaz	2014 / キルギスタン Kyrgyzstan / Color / 136min.		
裁き <i>Court</i>	チャイタニヤ・タムハネー Chaitanya Tamhane	2014 / インド India / Color / 115min.		
蒼ざめた時刻 <i>The Blue Hour</i>	アヌチャー・ブナヤワッタナ Anucha Boonyawatana	2015 / タイ Thailand / Color / 98min.		
黄金杖秘聞 <i>The Golden Cane Warrior</i>	イファ・イスファンシヤ Ifa Isfansyah	2014 / インドネシア Indonesia / Color / 110min.		
クルドサク★ <i>Kuldesak</i>	リリ・リザ Riri Riza ミラ・レスマナ Mira Lesmana ナン T. アハナス Nan T. Achinas リザル・マントファニ Rizal Mantovani	1998 / インドネシア Indonesia / Color / 99min.		
超人 X. <i>Super X.</i>	グエン・クワン・ズン Nguyen Quang Dung	2014 / ベトナム Vietnam / Color / 80min.		
インビジブル★ <i>Invisible</i>	ローレンス・ファハルド Lawrence Fajardo	2015 / フィリピン・日本 Philippines, Japan / Color / 134min.		
赤い季節の忘却 <i>Red Amnesia</i>	ワン・シャオシュアイ (王小帥) Wang Xiaoshuai	2014 / 中国 China / Color / 115min.		
Little Big Master (原題) [小さな国の大きな奇跡] <i>Little Big Master</i>	エイドリアン・クワン (關信輝) Adrian Kwan	2015 / 香港・中国 Hong Kong, China / Color / 112min.		
その夏に抱かれて (Sex) <i>Appeal</i>	ワン・ウェイミン (王維明) Wang Weiming	2014 / 台湾 Taiwan / Color / 108min.		
生きる <i>Alive</i>	パク・ジョンボム (박정범) Park Jungbum	2014 / 韓国 Korea / Color / 174min.		
ダークホース <i>The Dark Horse</i>	ジェームス・ネイピア・ロバートソン James Napier Robertson	2014 / ニュージーランド New Zealand / Color / 124min.		
ミンヨン倍音の法則 <i>Harmonics Minyoung</i>	佐々木昭一郎 Sasaki Shoichiro	2014 / 日本 Japan / Color / 140min.		

### インドネシア大特集「マジック☆インドネシア」 Special Feature: Magic☆Indonesia

シエリナの大冒険★ <i>Sherina's Adventure</i>	リリ・リザ Riri Riza	2000 / インドネシア Indonesia / Color / 112min.
オペラジャワ <i>Opera Jawa</i>	ガリン・ヌグロホ Garin Nugroho	2006 / インドネシア Indonesia / Color / 115min.
動物園からのポストカード <i>Postcards From the Zoo</i>	エドウィン Edwin	2012 / インドネシア・ドイツ・香港 Indonesia, Germany, Hong Kong / Color / 95min.
サガルマータ <i>Sagarmatha</i>	エミル・ヘラディ Emil Heradi	2013 / インドネシア Indonesia / Color / 98min.
モルッカの光 <i>We Are Moluccans</i>	アング・ドウィマス・サソングコ Angga Dwimas Sasongko	2014 / インドネシア Indonesia / Color / 151min.
月までアナザー・トリップ <i>Another Trip to the Moon</i>	イスマイル・バスベス Ismail Basbeth	2015 / インドネシア Indonesia / Color / 80min.

### 日本映画特集「幻想の南洋」 Japanese South Sea Fantasy

モスラ <i>Mothra</i>	本多猪四郎 Honda Ishiro	1961 / 日本 Japan / Color / 106min.
マタンゴ <i>Matango</i>	本多猪四郎 Honda Ishiro	1963 / 日本 Japan / Color / 89min.
ザ・スパイダースのバリ島珍道中 <i>The Spiders -The Road to Bali</i>	西河克己 Nishikawa Katsumi	1968 / 日本 Japan / Color / 86min.
女街 ZEGEN <i>Zegen</i>	今村昌平 Imamura Shohei	1987 / 日本 Japan / Color / 124min.

### ドキュメンタリー特集「アジア・リミックス」 Documentary Special Feature: An Asian Remix

Don't Think I've Forgotten: Cambodia's Lost Rock and Roll John Pirozzi	2014 / カンボジア・アメリカ・フランス Cambodia, USA, France / Color / 107min.	
光と陰の物語:台湾新電影 <i>Flowers of Taipei - Taiwan New Cinema</i>	シエ・チンリン (謝慶鈴) Hsieh Chinlin	2014 / 台湾・イタリア Taiwan, Italy / Color / 109min.
Remake, Remix, Rip-Off	Cem Kaya	2014 / ドイツ・トルコ Germany, Turkey / Color / 96min.
Southeast Asian Cinema-When the Rooster Crows	Leonardo Cinieri Lombroso	2014 / イタリア・シンガポール Italy, Singapore / Color / 88min.

### 特別上映 Special Screening

ソレダケ / that's it <i>that's it</i>	石井岳龍 Ishii Gakuryu	2015 / 日本 Japan / Color / 110min.
-----------------------------------	--------------------	-----------------------------------

- イベント:あなたが選ぶアジアフォーカス ザ・ベスト(8月30日/福岡市総合図書館映像ホール)
- インドネシア大特集「マジック☆インドネシア」(9月18日~20日・23日/キャナルシティ博多サンプラザステージ他)
- インドネシア大特集シンポジウム(9月19日・21日・22日/ぼんプラザホール)  
 「インドネシア・ニューシネマの夜明け[クルドサク]をめぐって」  
 [Lab Laba Labaより〜フィルムの修復と保存のために]、「インドネシアの若手監督に訊く」
- インドネシア大特集「パフォーマンスステージ」(JeckoSDANCE/IKKUBARU)
- シンポジウム・上映会「東南アジアの新世代監督〜ジェネレーションX」(9月20日/ぼんプラザホール)
- 福岡ワンミニット・フィルムコンペティション(9月21日)
- FUKUOKA ANIMATION SHOWCASE(9月21日)
- 福岡観客賞授賞式&特別上映(9月22日)
- 熊本市特別協力上映(9月22日)
- 福岡フィルムコミッション支援作品上映(9月23日)
- アジア映画・映像コンテンツ商談会「ネオ・シネマップ福岡」(9月21日~22日/福岡商工会議所大会議室)
- バリアフリー上映会(9月26日/KBCシネマ)
- 特別招待試写会(9月24日)
- イベント:リリ・リザ監督とインドネシア映画特集(8月12日~28日/福岡市総合図書館映像ホール)
- 協賛企画:日本映画名作選(9月2日~27日/福岡市総合図書館映像ホール)
- 協賛企画:福岡インディペンデント映画祭2015  
 (8月27日~9月1日、9月3日~6日、9月22日、23日/福岡アジア美術館あじびホール他)
- 協賛企画:アジア映画鑑賞会中学生招待事業(9月14日/都久志会館)
- 協賛企画:台湾映画祭2015(9月17日~22日/福岡アジア美術館あじびホール)
- 協賛企画:福岡アジアフィルムフェスティバル2015(9月23日~29日/福岡アジア美術館あじびホール)
- 協賛企画:第7回福大生による東アジア映画字幕制作・成果発表(9月26日/エルガーホール多目的ホール)
- 中国・西寧FIRST青年映画祭2015年受賞作品上映[聞に潜む](9月20日/ぼんプラザホール)
- 予告編イッキ見上映会(9月25日)
- 市民交流パーティ(主催/シティ情報Fukuoka 9月20日/ラテラス)

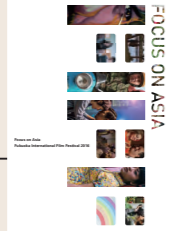


裁き / Court



蒼ざめた時刻 / The Blue Hour

# 2016



**期 間** 9月15日(木)～25日(金)  
**会 場** キャナルシティ博多、  
 ユナイテッド・シネマ キャナルシティ13、  
 ぼんプラザホール  
**内 容** 23か国・地域 55作品  
**入場者数** アジアフォーカス・福岡国際映画祭2016 21,861人  
 協賛企画など 18,425人  
 合計 40,286人

HELD: 15th - 25th September, 2016  
 VENUES: Canal City Hakata, United Cinemas Canal City 13, Pon Plaza Hall  
 EXHIBITION OF: 55 films from 23 countries and regions  
 ATTENDANCE: Focus on Asia FIFF 2016 21,861  
 Sponsored Events 18,425  
 Total 40,286

この年のオープニングは、中洲清流公園で実施し、野外にレッドカーペットを敷設した。小雨の中、観客はインドネシア映画『再会の時～ビューティフル・デイズ2～』を屋外で楽しんだ。

今を生きることを鋭く描く「アジアの新作・話題作」上映に加えて、昨年に引き続き国際交流基金アジアセンターとの共催による、東南アジア映画の特集を実施した。ベトナム特集となったこの年は「ベトナム進化系～ベトナム映画に何が起きているのか?」として、商業都市ホーチミン、文化都市ハノイの特色を示す作品や、海外生まれ/育ちのベトナム人監督による作品など、短編を含む全9本を上映した。シンポジウムでは、この20年で国家主導から民間へとシフトしたベトナム映画界の変貌や、最近の動向を監督たちに聞いた。

また、公式作品の3監督を迎えて、景観や文化が急速に変化しつつある東南アジアの映画をめぐるシンポジウム「変わりゆく景観とアート：東南アジア映画の挑戦」を開催した。

前年の FUKUOKA ANIMATION SHOWCASE を発展させ、「福岡パノラマ」と銘打って、オール福岡口制作の作品やアニメ・短編などを特集上映。地元クリエイターへの支援を充実させた。

また、前年より本格始動した映画マーケット「ネオシネマップ福岡」では、共同制作企画も視野に入れた交流の場を提供した。企画ピッチを実施し、九州地区のフィルムコミッションも参加。12か国 57社が参加し、126作品が出品され、2日間にわたり活発な商談が行われた。

加えて、ファン・ダン・ジー監督(ベトナム)をメイン講師に迎え、若手映画/映像制作者向けのワークショップ「福岡フィルムフォーラム」を実施。日本国内、東南アジアから短編映画を事前に提出してもらい、当日は講師や参加者によるディスカッションを行った。リリ・リザ監督(インドネシア)、ロイストン・タン監督(シンガポール)、深田晃司監督(日本)も講師として助言をした。

また、インドの作曲家 A.R. ラフマーン氏の福岡アジア文化賞大賞受賞を記念し、同氏が音楽を担当したマジド・マジディ監督の『預言者ムハンマド』を特別上映した。

この年4月に熊本・大分を襲った熊本地震への復興支援として、「くまもと映画プロジェクト」で手掛けられた中編映画『うつくしいひと』を特別上映。行定勲監督をゲストに、トークイベントおよび Q & A を実施した。



〈福岡観客賞受賞作品〉ハラル・ラブ  
 WINNER OF THE FUKUOKA AUDIENCE AWARD : Halal Love (and Sex)



風は記憶 / Memories of the Wind



国のない国旗 / A Flag Without a Country



〈オープニング上映〉再会の時～ビューティフル・デイズ2～  
 (2016年 インドネシア)

OPENING FILM: *What's With Love 2* (2016/Indonesia)

The Film Festival held its Opening Ceremony in 2016 at Seiryu Park in Fukuoka City, where a special red-carpet stage was constructed. In light rain, the audience enjoyed the outdoor screening of *What's With Love 2*, our Opening Film from Indonesia.

Motion pictures which drew sharply on the concept of getting by in our present day of age were screened under our "New and Much Talked About Films from Asia" program. As a continuing project from the previous year in 2015, we put together another special feature on Southeast Asian films with the Japan Foundation Asia Center as our co-organizer, this time on Vietnamese films. Under the special feature "Vietnamese Evolution-What is Happening to Vietnamese Films?", a total of 9 motion pictures, including a short film, were screened. These included films characterizing Ho Chi Minh City as a commercial metropolis and Hanoi as a city of culture. Films directed by Vietnamese filmmakers born and raised abroad, were also shown. In our symposium, we asked Vietnamese film directors about changes in the Vietnamese film industry over the last 20 years, about the shift from state films to films made by the private sector, and about recent film trends.

Welcoming 3 film directors from our official list of films we invited, we held "What's Up with Southeast Asian Films?: The Changing Faces of Art and Landscape", a symposium on films from Southeast Asia, a region where landscape and culture are rapidly undergoing change.

We enriched our efforts to encourage and assist local visual creators by adding growth to our "FUKUOKA ANIMATION SHOWCASE" program, which we held the previous year in 2015. Renaming the program "Fukuoka Panorama", films totally shot in Fukuoka, works of animation as well as short films were featured and screened.

Additionally, our film market "Neo Cinema Fukuoka", which was launched on a full-scale the year before in 2015, now brought into perspective the notion of providing a meeting ground of interchange even for projects involving co-production. Project pitching sessions were held. We also had the participation of other film commissions from the Kyushu region. Active negotiations were held for two days on 126 films by 57 firms representing 12 nations.

We also held the "Fukuoka Film Forum", a workshop for young filmmakers and visual creators, with Vietnamese film director Phan Dang Di as chief lecturer. Short films were submitted in advance from Japan and Southeast Asia, and a discussion session was held between the lecturer and the participants on the day of the event. Film directors Riri Riza from Indonesia, Royston Tan from Singapore and Koji Fukada from Japan gave advice as lecturers.

In 2016, A.R. Rahman, a music composer from India, was presented with the Grand Prize of the Fukuoka Prize. In commemoration, we held a special screening of *Muhammad, the Messenger of God*, a film directed by Majid Majidi with A.R. Rahman in charge of the music.

As a special exhibition to assist in the recovery effort from the Kumamoto Earthquake, which hit the Kumamoto and Oita regions in April 2016, we screened *Utsukushii Hito*, a medium length film made by the "Kumamoto Film Project". Isao Yukisada, the film director, was invited as a guest and took part in a talk event and a Q&A session.

## PROGRAM FOR 2016

※日本語の[ ]内は、劇場公開題 ※作品名の後に★の付いている作品は福岡市総合図書館所蔵  
 ★ Part of the Fukuoka City Public Library Film Archive Collection  
 掲載順序: 題名 Title / 監督 Director / 製作年 / 製作国 Country of Production / カラー / 分數

上映作品						
風は記憶	<i>Memories of the Wind</i>	オズジャン・アルベル	Özcan Alper	2015 /トルコ・フランス・ドイツ・ジョージア Turkey, France, Germany, Georgia / Color / 126min.		
ハラル・ラブ	<i>Halal Love (and Sex)</i>	アサド・フラドカー	Assad Fouladkar	2015 /ドイツ・レバノン Germany, Lebanon / Color / 94min.		
国のない国旗★	<i>A Flag Without a Country</i>	バフマン・ゴバディ	Bahman Ghobadi	2015 /イラク Iraq / Color / 92min.		
ラジオ・ドリーム	<i>Radio Dreams</i>	ババック・ジャリ	Babak Jalali	2016 /アメリカ・イラン USA, Iran / Color / 93min.		
くるみの木	<i>Walnut Tree</i>	エルラン・ヌルムハンベトフ	Yerlan Nurmukhambetov	2015 /カザフスタン Kazakhstan / Color / 81min.		
彷徨のゆくえ	<i>Fourth Direction</i>	グルヴィンダル・シング	Gurvinder Singh	2015 /インド・フランス India, France / Color / 115min.		
再会の時～ビューティフル・デイズ2～★	<i>What's With Love 2</i>	リリ・リザ	Riri Riza	2016 /インドネシア Indonesia / Color / 124min.		
プラハからの手紙	<i>Letters from Prague</i>	アンガ・ドウィマス・サソソコ	Angga Dwimas Sasongko	2016 /インドネシア・チェコ Indonesia, Czech / Color / 98min.		
ポリス・エゴ	<i>Polis Evo</i>	ガズ・アブ・バカル	Ghaz Abu Bakar	2015 /マレーシア Malaysia / Color / 122min.		
セブンレターズ★	<i>7 Letters</i>	エリック・クー	Eric Khoo	ジャック・ネオ	Jack Neo	2015 /シンガポール・マレーシア Singapore, Malaysia / Color / 116min.
		K. ラジャゴパル	K Rajagopal	ロイストン・タン	Royston Tan	
		タン・ピンピン	Tan Pin Pin	ブー・ユンファン	Boo Jun Feng	
		ケルビン・トン (唐永健)	Kelvin Tong			
クエン ～さらば、ベルリンの壁よ～	<i>Farewell, Berlin Wall</i>	グエン・ファン・クアン・ビン	Nguyen Phan Quang Binh	2015 /ベトナム Vietnam / Color / 98min.		
ぼくは詩の王様と暮らした	<i>My Life with a King</i>	カルロ・エンシーソ・カトゥ	Carlo Enciso Catu	2015 /フィリピン Philippines / Color / 89min.		
凱里ブルース	<i>Kaili Blues</i>	ビーガン (半職)	Bi Gan	2015 /中国 China / Color / 110min.		
あの時に思いを	<i>The Moment</i>	ウォン・クオツァイ (黃國輝)	Wong Kwok Fai	2016 /香港 Hong Kong / Color / 88min.		
この街に心揺れて	<i>When Miracle Meets Maths</i>	リン・ジュンヤン (林君陽)	Lin Chun Yang	2015 /台湾 Taiwan / Color / 97min.		
大芝居	<i>The Great Actor</i>	ソク・ミン	Seok Min Woo	2016 /韓国 Korea / Color / 108min.		
なりゆきな魂、	<i>Random Lives</i>	瀬々敬久	Zeze Takahisa	2016 /日本 Japan / Color / 107min.		

### ベトナム大特集「ベトナム進化系～ベトナム映画に何が起きているのか?」 Special Feature: Vietnamese Films "Vietnamese Evolution"

スキヤンダル	<i>Scandal</i>	ヴィクター・ヴー	Victor Vu	2012 /ベトナム Vietnam / Color / 103min.
緑の野に黄色い花 [草原に黄色い花を見つける]	<i>Yellow Flowers on the Green Grass</i>	ヴィクター・ヴー	Victor Vu	2015 /ベトナム Vietnam / Color / 103min.
やさしいあなた	<i>Gentle</i>	レ・ヴァン・キエト	Le Van Kiet	2014 /ベトナム Vietnam / Color / 98min.
美脚の猿たち	<i>Long Legged Girls</i>	ヴー・ゴク・ダン	Vu Ngoc Dang	2004 /ベトナム Vietnam / Color / 96min.
ロスト・ドラゴン	<i>The Lost Dragon</i>	ゴー・クワン	Ngo Cuong	2015 /ベトナム Vietnam / Color / 100min.
漂うがごとく	<i>Adrift</i>	ブイ・タク・チュエン	Bui Thac Chuyen	2009 /ベトナム Vietnam / Color / 106min.
どこでもないところへ飛ばしたい	<i>Flapping in the Middle of Nowhere</i>	グエン・ホアン・ディエップ	Nguyen Hoang Diep	2014 /ベトナム Vietnam / Color / 103min.

### 日本映画特集「つかこうへいVS映画～そこに映画があった～」 Special Feature on Japanese Films: Tsuka Kohei VS Movies

蒲田行進曲	<i>Fall Guy</i>	深作欣二	Fukasaku Kinji	1982 /日本 Japan / Color / 109min.
熱海殺人事件	<i>The Atami Murder Case</i>	高橋和男	Takahashi Kazuo	1986 /日本 Japan / Color / 117min.
寝盗られ宗介	<i>Netorare Sosome</i>	若松孝二	Wakamatsu Koji	1992 /日本 Japan / Color / 106min.
雪之丞変化	<i>Yukinojo (An Actor's Revenge)</i>	市川崑	Ichikawa Kon	1963 /日本 Japan / Color / 113min.

### ドキュメンタリー映画特集「アジア・リミックス」 Documentary Special Feature: An Asian Remix

Original Copy	Florian Heinzen-Ziob, Georg Heinzen	2015 /ドイツ・インド Germany, India / Color / 92min.	
Live from UB★	ローレン・クナップ	Lauren Knapp	2015 /モンゴル・アメリカ Mongolia, USA / Color / 83min.
The Obs: A Singapore Story★	ヨー・シュウホア (楊修華)	Yeo Siew Hua	2015 /シンガポール Singapore / Color / 97min.
レ・バ・ダン★	ダン・ニャット・ミン	Dang Nhat Minh	2015 /ベトナム Vietnam / Color / 22min.

### 特別上映 Special Screening

ビューティフル・デイズ★	<i>What's With Love?</i>	ルディ・ソエジャルウォ	Rudi Soedjarwo	2002 /インドネシア Indonesia / Color / 112min.
国境に生きる ～難民キャンプの小さな監督たち～★	<i>Life on the Border [国のない国旗と同時上映]</i>	バフマン・ゴバディ (プロデューサー)	Bahman Ghobadi (Producer)	2015 /イラク Iraq / Color / 73min.
預言者ムハンマド	<i>Muhammad, the Messenger of God</i>	マド・マジディ	Majid Majidi	2015 /イラン Iran / Color / 158min.

- シンポジウム「変わりゆく景観とアート：東南アジア映画の挑戦」(9月17日)
- シンポジウム「ベトナム映画に何が起きているのか?」(9月19日)
- ベトナムカルチャーDAY(9月18日/キャナルシティ博多 B1Fスターコート特設会場)
- 特別上映(9月17日/ぼんプラザホール)
- 福岡フィルムコミッション支援作品特別上映(9月22日・25日)
- バリアフリー上映会(9月22日)
- 福岡アジア文化賞受賞記念特別上映(9月17日・21日)
- 福岡観客賞授賞式&特別上映「潮に立つ」(9月20日)
- 熊本地震復興支援特別上映(9月25日)
- 日本映画特別試写会(9月22日)
- ドキュメンタリー-特別上映「抗い 記録作家 林えいだい」(9月16日)
- クリエイティブ関連産業振興事業「福岡パノラマ」(9月24日)
- アジアントレーラーナイト(9月16日)
- ショートナイト(9月17日～19日)
- アジア映画・映像コンテンツ商談会「ネオ・シネマップ福岡」(9月20日～21日)
- 関連企画:日本映画名作選(9月1日～20日/福岡市総合図書館映像ホール)
- 関連企画:福岡インディペンデント映画祭2016(8月25日～9月4日/福岡アジア美術館あじびホール他)
- 関連企画:台湾映画祭2016(9月15日～20日/福岡アジア美術館あじびホール)
- 関連企画:アジア映画鑑賞会中学生招待事業(9月21日/都久志会館)
- 関連企画:福岡アジアフィルムフェスティバル2016(9月22日～27日/福岡アジア美術館あじびホール)
- 関連企画:第8回福大生による東アジア映画字幕制作・成果発表(9月24日/エルガーホール多目的ホール)
- 関連企画:「心の旅、ベトナム-日本の美術コレクター 寄託作品より」(9月8日～12月25日/福岡アジア美術館アジアギャラリー)



ラジオ・ドリーム / Radio Dreams

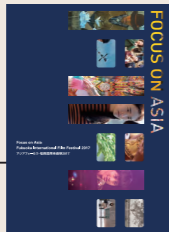


くるみの木 / Walnut Tree



彷徨のゆくえ / Fourth Direction

# 2017



**期 間** 9月15日(金)～24日(日)  
**会 場** キャナルシティ博多、  
 ユナイテッド・シネマ キャナルシティ13、  
 ぼんプラザホール  
**内 容** 22か国・地域 63作品  
**入場者数** アジアフォーカス・福岡国際映画祭2017 20,485人  
 協賛企画など 15,068人  
 合計 35,553人

HELD: 15th - 24th September, 2017  
 VENUES: Canal City Hakata, United Cinemas Canal City 13, Pon Plaza Hall  
 EXHIBITION OF: 63 films from 22 countries and regions  
 ATTENDANCE: Focus on Asia FIFF 2017 20,485  
 Sponsored Events 15,068  
 Total 35,553

リニューアルしたキャナルシティ博多(サンプラザステージ)でオープニングを開催。総勢約40名のゲストが華やかに登場した。また、2003年にアジア文化賞受賞のディック・リー氏(シンガポール)や、東南アジアと日本の若手映像作家が地元玄界島で撮影した『ナギョンとキヌカワ』のゲストも登壇した。

オープニング上映は、リー氏の自伝映画『ワンダーボーイ・ストーリー』(2017年)の自国外初上映となった。

国際交流基金アジアセンターとの共催によるこの年の東南アジア映画特集は、日タイ修好130年を記念し、タイ映画大特集「映画(エ)の美味(ビ)でタイを釣る」を開催した。合計8本のタイ映画上映のほか、ショート・シンポジウム「タイ映画は幕の内弁当」と題し、多様なタイ映画の魅力を7つの異なるテーマで論じた。

日本映画は、大林宣彦監督の最新作『花筐／HANAGATAMI』の福岡での上映にちなんで、大林監督の過去3作品を35mmで特集上映。他にドキュメンタリー特集『アジア・リミックス』。アジアの知られざる姿を紹介するこの特集は、アジアの社会や歴史そのものを正面から追及した秀作が揃った。

福岡観客賞は、16か国・地域で大ヒット作となったタイの『頭脳ゲーム』(劇場公開時題『バッド・ジーニアス 危険な天才たち』)が受賞。第二席の熊本市賞にはイランの『バイオリン弾き』が選ばれた。

また、熊本地震復興支援として行定勲監督の『うつくしいひととサバ?』をチャリティー上映。福岡フィルムコミッションの海外支援作品『毒。誠』(香港)を、観客賞授賞式後に上映した。

クリエイティブ関連産業振興事業として、昨年に続き「福岡パノラマ」を実施。「福岡フィルムフォーラム」2年目の成果である短編映画『ナギョンとキヌカワ』も上映した。

福岡在住のアーキビスト、エイドリアン・ウッド氏の協力、映画の保存と修復をテーマにワークショップ「Restoration Asia」を福岡で初開催。多くのアーキビストが来福し、福岡市総合図書館での「フィルムアーカイヴ バックヤードツアー」、タイ初の35mmカラー長編『サンティとウィーナー』(1954年)修復版のスクリーン上映、デジタル修復に関するシンポジウムなどを開催した。

順調に3回目を迎えたアジア映画・映像コンテンツ商談会「ネオシネマップ福岡」は、親密な商談ができる場として定着し、14か国・60社・91名の映画・映像関係者が参加し、商談・企画ピッチ、情報交換を活発に行った。



〈福岡観客賞受賞作品〉頭脳ゲーム  
 WINNER OF THE FUKUOKA AUDIENCE AWARD : Bad Genius



バイオリン弾き/Violinist



FAN/Fan



## 〈オープニング上映〉ワンダーボーイ・ストーリー (2017年 シンガポール)

OPENING FILM: *Wonder Boy* (2017/Singapore)

The Opening Ceremony in 2017 was held at the newly renovated Sun Plaza Stage of Canal City Hakata. Approximately 40 guests in all, gloriously took to the stage. Dick Lee from Singapore, a recipient of the Fukuoka Prize in 2003, as well as guests from *Nakyung and Kinukawa*, a film shot in local Genkaijima Island by young Southeast Asian and Japanese filmmakers, also took to the stage.

Our Opening Film was *Wonder Boy* (2017), an autobiographical motion picture of Dick Lee, shown for the first time outside its country of origin.

In 2017 we presented "Thai Films-A Diversity in Charm" as our special feature on Southeast Asian films with the Japan Foundation Asia Center as our co-organizer, in commemoration of 130 years of relations between Japan and Thailand. Besides showing a total of 8 Thai films for our special feature, we also held a short symposium entitled "A Taste of Thai Films: Rich in Variety, Diversity and Charm", addressing the diverse charm of Thai films under 7 different themes.

In association with the Fukuoka screening of *HANAGATAMI*, the latest film from film director Nobuhiko Obayashi in 2017, we held a special exhibition showing 3 of his previous motion pictures in 35mm. We also held our documentary special feature "An Asian Remix" introducing faces of Asia unfamiliar to many. Excellent films were screened, each making an up-front examination of Asian society and history.

The Fukuoka Audience Award in 2017 went to *Bad Genius*, a Thai film which enjoyed great success in 16 countries and regions. The Kumamoto City Award, the runner-up prize, went to the Iranian film, *Violinist*.

We also held a Special Charity Exhibition for the Kumamoto Earthquake Recovery Assistance Effort by screening *Ça va?*, a film directed by Yukisada Isao. After our Fukuoka Audience Award Ceremony, we screened *Dealer/Healer*, a foreign film from Hong Kong, which received the support of the Fukuoka Film Commission.

Continuing from the previous year, we held "Fukuoka Panorama" as a project to promote creative related industries. We also screened the short film *Nakyung and Kinukawa*, completed under our "Fukuoka Film Forum" program in its 2nd year (2017).

With the cooperation of Adrian Wood, a film archivist living in Fukuoka, we were able to hold "Restoration Asia", a continuing workshop on film preservation and restoration, for the first time in Fukuoka. The event to which many film archivists participated featured a "behind-the-scene tour of a film archive" at the Fukuoka City Public Library, a screening of a restored version of *Santi-Vina*, Thailand's first 35mm color feature film, and a symposium on digital restoration.

By its 3rd year in 2017, "Neo Cinemap Fukuoka", our film market for Asian films and video content, had established itself as a place to hold intimate business negotiations. In 2017, "Neo Cinemap Fukuoka" saw 91 participants from 60 firms representing 14 nations and regions actively negotiate, pitch projects and exchange ideas.

## PROGRAM FOR 2017

※日本語の[ ]内は、劇場公開題 ※作品名の後に★の付いている作品は福岡市総合図書館所蔵  
 ★ Part of the Fukuoka City Public Library Film Archive Collection  
 掲載順序: 題名 Title / 監督 Director / 製作年 / 製作国 Country of Production / カラー / 分數

上映作品				
バイオリン弾き★	Violinist	モハマド=アリ・タレビ	Mohammad Ali Talebi	2016 / イラン Iran / Color / 76min.
FAN	Fan	マニーシュ・シャルマー	Maneesh Sharma	2016 / インド India / Color / 139min.
蜜を与える女(ひと)	Honeygiver Among the Dogs	デチェン・ロデル	Dechen Roder	2016 / ブータン Bhutan / Color / 136min.
ベンとジョディ〜珈琲哲学 第二章〜	Ben & Jody	アング・ドウィマス・サンゴ	Angga Dwimas Sasongko	2017 / インドネシア Indonesia / Color / 117min.
頭脳ゲーム [バッド・ジーニアス 危険な天才たち]				
Bad Genius		ナタウト・プーンピリヤ	Nattawut Poonpiriya	2017 / タイ Thailand / Color / 130min.
はぐれ道 (JAGAT 世界の残酷)★	Brutal	サンジェイ・クマール・ベルマル	Shanjhey Kumar Perumal	2015 / マレーシア Malaysia / Color / 76min.
ダイヤモンド・アイランド	Diamond Island	デイヴィ・シュ	Davy Chou	2016 / フランス・カンボジア・ドイツ・カタール France, Cambodia, Germany, Qatar / Color / 104min.
ワンダーボーイ・ストーリー★				
Wonder Boy		ディック・リー	Dick Lee	2017 / シンガポール Singapore / Color / 96min.
		ダニエル・ヤム	Daniel Yam	
ベトナムを懐(おも)う	Hello Vietnam	グエン・クワン・ズン	Nguyen Quang Dung	2017 / ベトナム Vietnam / Color / 88min.
フーリッシュ・バード	The Foolish Bird	ホアン・ジー (黄驥)	Huang Ji	2017 / 中国 China / Color / 118min.
		大塚竜治	Otsuka Ryuji	
ゴッドスピード	Godspeed	チョン・モンホン (鍾孟宏)	Chung Mong Hong	2016 / 台湾 Taiwan / Color / 112min.
健忘村	The Village of No Return	チェン・ユエション (陳玉勳)	Chen Yu Hsun	2017 / 台湾・中国 Taiwan, China / Color / 116min.
春の夢	A Quiet Dream	チャン・リュル (張律/苴魯)	Zhang Lu	2016 / 韓国 Korea / BW & Color / 101min.
花筐 / HANAGATAMI	Hanagatami	大林宣彦	Obayashi Nobuhiko	2017 / 日本 Japan / Color / 169min.
アジア三面鏡 2016: リフレクションズ		ブリランテ・メンドーサ	Brillante Ma Mendoza	2016 / 日本 Japan / Color / 118min.
Asian Three-Fold Mirror 2016: Reflections		行定勲	Yukisada Isao	
		ソト・クワリーカー	Sotho Kulikar	

### タイ映画大特集「映画(エ)の美味(ビ)でタイを釣る」 Special Feature: Thai Films - A Diversity of Charm

いつか暗くなるときに(暗くなるまでには)★	By the Time It Gets Dark	アノチャ・スウィチャーゴーンポン	Anocha Suwachakornpong	2016 / タイ・フランス・カタール・オランダ Thailand, France, Qatar, Netherland / Color / 105min.
明日への戴冠	The Crown	エカチャイ・スィウィチャイ	Akechai Srivichai	2016 / タイ Thailand / Color / 103min.
ガス・ステーション	A Gas Station	タンワリン・スカピシット	Tanwarin Sukkhapsit	2016 / タイ Thailand / Color / 110min.
マリー・イズ・ハッピー	Mary is Happy, Mary is Happy	ナワボン・タムロンタナリット	Nawapol Thamrongrattanarit	2013 / タイ Thailand / Color / 127min.
噂の男	The Master	ナワボン・タムロンタナリット	Nawapol Thamrongrattanarit	2014 / タイ Thailand / Color / 80min.
見えざる者	The Unseeable	ウィシット・サーサナティアン	Wisit Sasanatieng	2006 / タイ Thailand / Color / 97min.
サンティとウィーナー (デジタル修復版)	Santi - Vina	タウィー・ナ・バーンチャン	Thavi Na Bangchang	1954 / タイ Thailand / Color / 117min.

### 日本映画特集新作『花筐／HANAGATAMI』のための大林宣彦監督作品集 Special Feature: Obayashi Nobuhiko and His Films

HOUSE / ハウス	HOUSE	大林宣彦	Obayashi Nobuhiko	1977 / 日本 Japan / Color / 88min.
異人たちの夏	The Discarnates	大林宣彦	Obayashi Nobuhiko	1988 / 日本 Japan / Color / 108min.
青春デンデケデケデケ	The Rocking Horsemen	大林宣彦	Obayashi Nobuhiko	1992 / 日本 Japan / Color / 135min.

### ドキュメンタリー特集上映「アジア・リミックス」 Documentary Special Feature: An Asian Remix

ビルマ・ストーリーブック★	Burma Storybook	ペテル・ロム	Petr Lom	2017 / オランダ・ミャンマー・ノルウェー Netherland, Myanmar, Norway / Color / 81min.
父の選択★	My Father's Choice	ユエン・ヤンティン	Yuen Yan Ting	2017 / オランダ・中国 Netherland, China / Color / 80min.
子どもたちは死を恐れないが、お化けは怖がる★	Children Are Not Afraid of Death, Children Are Afraid of Ghosts	ロン・グアン・ロン (榮光榮)	Rong Guang Rong	2016 / 中国 China / Color / 85min.

- シンポジウム「バク・ジョンボムとユン・ジョンピンが語るチャン・リュルの世界」(9月16日/ぼんプラザホール)
- シンポジウム「タイ映画は幕の内弁当」(9月17日～19日・21日・23日・24日)
- タイパネル展示
- 特別上映:熊本地震復興支援特別上映「うつくしいひととサバ?」(9月23日)
- 特別上映:日中映画特別上映(9月23日)
- バリアフリー上映会(9月18日、23日)
- 福岡フィルムコミッション支援作品上映「毒。誠」(9月19日)
- クリエイティブ関連産業振興事業「福岡パノラマ」(9月18日・22日・24日)
- 若手制作者ワークショップ「Fukuoka Film Forum」
- 成果作品「ナギョンとキヌカワ」(Nakyung and Kinukawa)上映&講評(9月18日)
- 福岡観客賞授賞式&特別上映(9月20日)
- クロージング上映「巫女っちゃん」(9月24日)
- 映画の修復・保存テクニカル・シンポジウム「Restoration Asia IV」(9月23日、24日)
- アジア映画・映像コンテンツ商談会「ネオ・シネマップ福岡」(9月20日・21日)
- 関連企画:タイ映画特集(8月16日～27日/福岡市総合図書館映像ホール・シネラ)
- 関連企画:日本映画名作選(9月2日～9月23日/福岡市総合図書館映像ホール・シネラ)
- 関連企画:福岡インディペンデント映画祭2017(9月7日～10日/福岡アジア美術館あじびホール)
- 関連企画:台湾映画祭2017(9月14日～19日/福岡アジア美術館あじびホール)
- 関連企画:福岡アジアフィルムフェスティバル2017(9月21日～26日/福岡アジア美術館あじびホール)
- 関連企画:ショートショートフィルムフェスティバル2017(9月17日～18日/川端商店街他)
- 関連企画:第9回福大生による東アジア映画字幕制作・成果発表(9月23日/エルガーラホール 多目的ホール)
- アジア映画鑑賞会 中学生招待事業(9月27日/黒崎びびしんホール)



はぐれ道 / Brutal



フーリッシュ・バード / The Foolish Bird



春の夢 / A Quiet Dream

# 2018



**期 間** 9月14日(金)～23日(日)  
**会 場** キャナルシティ博多、  
 ユナイテッド・シネマ キャナルシティ13  
**内 容** 23か国・地域 56作品  
**入場者数** アジアフォーカス・福岡国際映画祭2018 20,369人  
 協賛企画など 14,088人  
 合計 34,457人

HELD: 14th - 23rd September, 2018  
 VENUES: Canal City Hakata, United Cinemas Canal City 13  
 EXHIBITION OF: 56 films from 23 countries and regions  
 ATTENDANCE: Focus on Asia FIFF 2018 20,369  
 Sponsored Events 14,088  
 Total 34,457

選定にあたっては、多様な文化を紹介するために一国一作品を基本としてきたが、この年から作品本位で選定することにした。背景には、良質なアジア映画の減少傾向がある。その結果、タイ、マレーシア、台湾から2本ずつ公式招待することとなった。アジア各国の映画製作が減少することへの懸念は、シンポジウムのテーマとなった。

国際交流基金アジアセンターとの共催が4年目となったこの年、映画100周年を迎えるフィリピン特集を実施し、質の高いインディーズ映画を輩出する映画大国の全体像に迫った。特集テーマを「聖なるカオスに魅せられて」とし、日本初公開作品5本を上映。FDCCP(フィリピン映画開発協議会)の協力・主催で、フィリピン島嶼部で作られた短編集の上映とシンポジウム「フィリピン映画のオルタナティブ映画・フィリピンの諸島の映画」の実施、資料パネル設置などを行った。

オープニングは日本育ちのシェリーン・セノ監督『なあばす・とらんすれいしょん』。プロデューサーを兼ねる夫ジョン・トーレス氏とお子さん同伴の舞台挨拶は、和やかな雰囲気で行われた。

日本映画特集は「壊れものとしての家族」として、家族が崩壊するあやうさを凝視する5作品を上映した。

ゲスト監督や映画関係者によるシンポジウム「これからの国際共同制作」、「これからの小規模映画祭」では、実りの多い意見交換が行われた。また昨年に続き、修復と保存に関するシンポジウム「レストレーション・アジアVI」を実施した。

福岡観客賞には香港のフォン・チーチアン監督の『大楽師』選ばれた。次席の熊本市賞はマレーシアの『光(ひかり)』が受賞した。

次世代を担うクリエイターを支援する「福岡パノラマ」も3年目となり、多くの観客で賑わった。

特筆すべきは、この年の3月下旬から4月初旬にかけて、福岡市大名を中心に映画『福岡』が撮影されたこと。2007年の初参加以来、何度も来福して街にほれ込んだ常連チャン・リュル監督が、満を持して取り組んだ、ほぼ全編福岡が舞台の新作である。この年はそのメイキング映像を上映した。

4年目を迎えたアジア映画・映像コンテンツ商談会「ネオシネマップ福岡」では、10か国62社110名が参加し、活発な交流が行われた。



〈福岡観客賞受賞作品〉大楽師  
 WINNER OF THE FUKUOKA AUDIENCE AWARD:  
 Concerto of the Bully



ぶれない男 / A Man of Integrity



父への電話 / A Call to Father



〈オープニング上映〉なあばす・とらんすれいしょん  
 (2017年 フィリピン)

OPENING FILM: Nervous Translation (2017/Philippines)

In order to introduce a diversity of culture, our Film Festival fundamentally selected one film per country. However, starting in 2018, our standard for film selection will be based on the motion pictures, themselves. Behind such a decision was a trend of fewer Asian films of quality being made. As a result, we ended up inviting 2 films each from Thailand, Malaysia, and Taiwan. The concern over the declining number of films being produced in Asian countries became a symposium theme.

In 2018, the 4th year the Japan Foundation Asia Center teamed up with the Film Festival as its co-organizer, a special feature was presented on films from the Philippines, to gain a perspective on a motion picture powerhouse of a nation known for its quality of independent films, and a country about to mark a century of filmmaking. Under the theme "Drawn and Fascinated by the Sacred Chaos", the special feature screened 5 films which were shown in Japan for the very first time. Hosted by and with the cooperation of the Film Development Council of the Philippines (FDCCP), short films made in the Philippine archipelago were screened and a symposium held under the heading of "Philippines' Alternative and Archipelagic Cinema". Additionally, information panels on the Philippines were set up to hold the "Philippine Panel Exhibition".

Our Opening Film in 2018 was Nervous Translation directed by Shireen Seno, a Filipino film director raised in Japan. Her producer husband, John Torres, and their child, accompanied the film director to her stage introduction which was held in a friendly manner.

Our Special Feature on Japanese Films entitled, "Looking at the 'Family' as Fragile and Breakable", screened 5 films which depicted the danger which lies in the breakdown of the family.

Our symposiums "International Co-Production without Losing Identity" and "Regionally Based International Film Festivals", featuring guest film directors and film industry related individuals, drew much exchange in opinion.

Continuing from the previous year in 2017, we held "Restoration Asia VI", a symposium on film preservation and restoration.

The Fukuoka Audience Award for 2018 went to Concerto of the Bully, a Hong Kong film directed by Fung Chih Chiang. The Kumamoto City Award, the runner-up prize, went to Guang, a Malaysian film.

"Fukuoka Panorama", our program in its 3rd year of encouraging and assisting visual creators shouldering the next generation, was energized with a big audience.

Worthy of special mention is the fact that the film Fukuoka was shot mostly in the Daimyo section of the City of Fukuoka from the end of March to the beginning of April in 2018. This was the long-awaited film, shot almost totally in Fukuoka, from film director Zhang Lu, a man who fell in love with our city after numerous visits since receiving his first invitation to our Film Festival in 2007. In 2018, our Film Festival screened footage of the making of his film, Fukuoka.

In its 4th year, "Neo Cinemap Fukuoka", our film market for Asian films and video content, had the participation of 110 individuals from 62 firms representing 10 countries who actively negotiated and exchanged ideas.

## PROGRAM FOR 2018

※作品名の後に★の付いている作品は福岡市総合図書館所蔵  
 ★ Part of the Fukuoka City Public Library Film Archive Collection  
 掲載順序: 題名 Title / 監督 Director / 製作年 / 製作国 Country of Production / カラー / 分数

上映作品				
ぶれない男	A Man of Integrity	モハド・ラスロフ	Mohammad Rasoulof	2017 / イラン Iran / Color / 117min.
父への電話★	A Call to Father	セリック・アプリモフ	Seric Aprymov	2017 / カザフスタン Kazakhstan / Color / 104min.
腕輪を売る男	Balekempa	イーレー・ガウダ	Ere Gowda	2018 / インド India / Color / 103min.
バスは夜を走る★	Night Bus	エミル・ヘラディ	Emil Heradi	2016 / インドネシア Indonesia / Color / 131min.
ダイ・トゥモロー	Die Tomorrow	ナワボン・タムロンラタナリット	Nawapol Tamrongrattanarit	2017 / タイ Thailand / Color / 75min.
別れの花	Malila: The Farewell Flower	アヌチャー・ブンヤワッタナ	Anucha Boonyawatana	2017 / タイ Thailand / Color / 95min.
十字路	Crossroads	ナム・ロン	Nam Ron	2017 / マレーシア Malaysia / Color / 81min.
光(ひかり)★	Guang	クイック・シオチュアン	Quek Shio Chuan	2018 / マレーシア Malaysia / Color / 88min.
仕立て屋	サイゴンを生きる [サイゴン・クチュール]	ケイ・グエン	Kay Nguyen	2017 / ベトナム Vietnam / Color / 100min.
The Tailor		チャン・ビュー・ロック	Tran Buu Loc	
なあばす・とらんすれいしょん	Nervous Translation	シェリーン・セノ	Shireen Seno	2017 / フィリピン Philippines / Color / 90min.
冥王星の時	The Pluto Moment	チャン・ミン (章明)	Zhang Ming	2018 / 中国 China / Color / 110min.
大楽師	Concerto of the Bully	フォン・チーチアン (馮志強)	Fung Chi Chiang	2017 / 香港 Hong Kong / Color / 95min.
大仏+	The Great Buddha +	ホアン・シンヤオ (黃信堯)	Huang Hsin Yao	2017 / 台湾 Taiwan / Color & BW / 104min.
小美	Xiao Mei	ホアン・ロンシエン (黃榮昇)	Maren Hwang	2018 / 台湾 Taiwan / Color / 96min.
僕の帰る場所★	Passage of Life	藤元明緒	Fujimoto Akio	2017 / 日本・ミャンマー Japan, Myanmar / Color / 98min.

フィリピン映画特集「聖なるカオスに魅せられて」 Films from the Philippines "Drawn to and Fascinated by the Sacred Chaos"				
バガヘ★	The Baggage	ジグ・ドゥライ	Zig Dulay	2017 / フィリピン Philippines / Color / 91min.
影の内側★	Smaller and Smaller Circles	ラヤ・マーティン	Raya Martin	2017 / フィリピン Philippines / Color / 111min.
嘆きの河の女たち	Women of the Weeping River	シェロン・ダヨック	Sheron Dayoc	2016 / フィリピン Philippines / Color / 95min.
水の中のほくら (デジタルレストア・リマスター版)★		イシュマエル・ベルナル	Ishmael Bernal	1976 / フィリピン Philippines / Color / 120min.
A Speck in the Water				

日本映画特集「壊れものとしての家族」 Special Feature on Japanese Films: Looking at the "Family" as Fragile and Breakable				
幻の光	Maborosi	是枝裕和	Koreeda Hirokazu	1995 / 日本 Japan / Color / 110min.
お引越し	Moving	相米慎二	Somai Shinji	1993 / 日本 Japan / Color / 124min.
トニー滝谷	Tony Takitani	市川準	Ichikawa Jun	2005 / 日本 Japan / Color / 75min.
HANA-BI	HANA-BI	北野武	Kitano Takeshi	1997 / 日本 Japan / Color / 103min.
ぐるりのこと	All Around Us	橋口亮輔	Hashiguchi Ryosuke	2008 / 日本 Japan / Color / 140min.

- フィリピン短編映画オムニバス「Films from the Philippine Archipelago」(FDCCP提供)
- フィリピンパネル展示
- 特別上映:熊本地震復興支援特別上映「いっちょんすかん」(9月15日)
- 特別上映:バリアフリー上映会(9月23日)
- シンポジウム「これからの国際共同制作」、「これからの小規模国際映画祭」、「レストレーション・アジアVI」(9月15日・18日・19日)
- 福岡フィルムコミッション支援作品「形のない骨」、映画「福岡」メイキング映像上映(9月16日、18日)
- クリエイティブ関連産業振興事業「福岡パノラマ」(9月18日・19日)
- 福岡観客賞授賞式&特別上映(9月18日)
- アジア映画・映像コンテンツ商談会「ネオシネマップ福岡」(9月18日～19日)
- FDCCP主催特別企画「スポットライト フィリピン映画100年記念トーク フィリピンのオルタナティブ映画・フィリピン諸島の映画」(9月16日)
- 関連事業:総合図書館ポスター展示
- 関連事業:アジア映画鑑賞会 中学生招待事業(9月26日/イオンシネマ戸畑)
- 特別招待試写会「食べる女」(9月18日)
- プレイバント:アジア・シネマ・バラダイス(8月16日～27日/福岡市総合図書館映像ホール・シネラ)
- 関連企画:日本映画名作選(9月5日～9月24日/福岡市総合図書館映像ホール・シネラ)
- 関連企画:福岡インディペンデント映画祭2018(9月6日～11日、10月4日～7日/福岡アジア美術館あじびホール)
- 関連企画:台湾映画祭2018(9月13日～18日/福岡アジア美術館あじびホール)
- 関連企画:福岡アジアフィルムフェスティバル2018(9月20日～25日/福岡アジア美術館あじびホール)
- 関連企画:Global Student Film Awards 2018(9月21日～23日/福岡市西市民センター他)
- 関連企画:Short Shorts Film Festival & Asia 2018 in FUKUOKA(9月13日～17日他/Cafeteria Iniesta他)
- 関連企画:第10回福大生による東アジア映画字幕制作・成果発表(9月29日/エルガーホール 多目的ホール)



腕輪を売る男 / Balekempa



バスは夜を走る / Night Bus



ダイ・トゥモロー / Die Tomorrow



別れの花 / Malila: The Farewell Flower



十字路 / Crossroads



光(ひかり) / Guang



仕立て屋 サイゴンを生きる / The Tailor



冥王星の時 / The Pluto Moment



大仏+ / The Great Buddha +



僕の帰る場所 / Passage of Life

# 2019



**期 間** 9月13日(金)～19日(木)  
**会 場** キャナルシティ博多、  
 ユナイテッド・シネマ キャナルシティ13  
**内 容** 20か国・地域 61作品  
**入場者数** アジアフォーカス・福岡国際映画祭2019 22,584人  
 協賛企画など 8,899人  
 合計 31,483人

HELD: 13th - 19th September, 2019  
 VENUES: Canal City Hakata, United Cinemas Canal City 13  
 EXHIBITION OF: 61 films from 20 countries and regions  
 ATTENDANCE: Focus on Asia FIFF 2019 22,584  
 Sponsored Events 8,899  
 Total 31,483

様々なスタイルの映画を選定するようにしているが、この年は、世界的な行き詰まりを反映してか、後味の苦い作品が目立った。そうした中で、独自の文化圏を持つ「リージョナル」な場と、鋭いセンスの映画表現とが結びついた秀作が揃った。

国際交流基金アジアセンターとの共催で東南アジアを紹介してきた特集では、特定の国ではなく、「リージョナルであること」と題し、大小さまざまな独自の文化圏を持つアジアの、その独自性を表す作品を紹介した。特集に関連して開催されたシンポジウムでは、「アジアの新しい波って、どうよ?」、「やっぱ、リージョナル」と題し、独自の文化圏から発する映画作り、また各国の新たな映画の動きについて各監督に聞いた。福岡というリージョナルな場で未来の映画祭の方向性を模索し指し示す一歩となった。

オープニング上映を飾った『福岡』は前年にほぼ福岡ロケで撮影された作品で、監督の持つポエジーと福岡という土地が一体化した見事な作品である。映画祭、フィルムコミッション、ボランティアの方々ほか、福岡市が全面的にバックアップした作品で、チャン・リュル監督と10年に渡り温めてきた絆が結実した形となった。これに関連して、映画『福岡』の制作秘話を語るシンポジウム「チャン・リュル監督と映画『福岡』の@レシビ大公開」を開催した。

日本映画特集は、戦後の日本において驚くほどモダンなアプローチと時代に対する批評センスの鋭さを感じられる蔵原惟繕監督の3作品を上映した。

福岡観客賞にはインドの『シヴァランジャニとふたりの女』が選ばれた。次席の熊本市賞は、フィリピンの『アルファ 殺しの権利』が受賞した。

次世代を担うクリエイターを支援する「福岡パノラマ」も4年目となり盛り上がりを見せた。

また、新たな試みとして、映画制作者向けのマスター・クラスを実施。フィリピン映画界の巨匠ブリランテ・メンドーサ監督を講師に迎え、監督の映画制作の技法や哲学を知る貴重な機会となった。

5年目を迎えアジアの映画人の間に浸透した「ネオシネマップ福岡」では、例年どおり活発な交流が行われたほか、企画ピッチに、シンガポールのMoca Chai Laboratoriesの協力によるMoca Chai Award および、ブリランテ・メンドーサ監督選出によるEncourage Young Talent Awardを設置。エントリー作品は貴重な講評を受けた。



〈福岡観客賞受賞作品〉シヴァランジャニとふたりの女  
 WINNER OF THE FUKUOKA AUDIENCE AWARD:  
 Sivaranjani and Two Other Women



恋の街、テヘラン / Tehran: City of Love



フンバ・ドリーム / Humba Dreams



〈オープニング上映〉福岡(2019年 韓国)  
 OPENING FILM: Fukuoka (2019/Korea)

We at the Film Festival try and select films which have diversity in style. Perhaps this reflected the world in an impasse but films in 2019 stood out as having a bitter aftertaste. Nevertheless, we were able to select excellent films where "regional" locations with unique cultural areas are joined together with a keen sense of cinematic expression.

In 2019, our special feature with the Japan Foundation Asia Center as our co-organizer, did not focus on a specific country. Instead, we named the special feature "To Be Regional" and introduced Asian films exhibiting the distinctive nature of Asia with a unique diversity of small to big cultural areas. In our special feature related symposiums "New Waves in Asia-Are They Doing Well?" and "Not Global but Regional!", we asked each film director guest about how to send films from such unique cultural areas to the outside world. We also inquired about new cinematic movements in their country. Through these symposiums, a first step was taken in Fukuoka, a "regional" location as such, to search for and designate a direction to hold film festivals of the future.

Fukuoka, our Opening Film in 2019 was a motion picture shot almost entirely in Fukuoka during its film location in 2018. It is a superb film which integrates the poetry of the film director with a place called Fukuoka. The film received the all-out support of the Film Festival, the Fukuoka Film Commission, volunteers as well as the City of Fukuoka. The decade-long warm bond of friendship between Zhang Lu, the film director, and our Film Festival, finally bore fruit with this motion picture. In this context, we held the symposium "Film Director Zhang Lu: The Secret Recipe for Making 'Fukuoka'", where secret episodes on the production of the film were discussed.

For our special feature on Japanese films in 2019, we screened 3 films directed by Koreyoshi Kurahata, who demonstrated an astonishingly modern approach to filmmaking in post-war Japan and who depicted a sharp sense of critique of the period.

The Fukuoka Audience Award in 2019 went to the Indian film, *Sivaranjani and Two Other Women*. The Kumamoto City Award, the runner-up prize, went to the Filipino film, *Alpha, The Right To Kill*.

In its 4th year, "Fukuoka Panorama", our program supporting visual artists shouldering the next generation, gathered an air of momentum.

As a first for the Film Festival, "A Master Class in Filmmaking" for filmmakers was held. This was a precious opportunity for filmmakers to learn filmmaking techniques and philosophy, from Filipino film maestro Brillante Ma. Mendoza, who taught the class.

It was the 5th year of "Neo Cinemap Fukuoka", our film market for Asian films and video content. In addition to active negotiations as in previous years, project pitching sessions were held. Furthermore, the Moca Chai Award was established through the cooperation of Moca Chai Laboratories of Singapore. Also, film director Brillante Ma Mendoza selected winners to the newly established Encourage Young Talent Award. Entry level submissions received precious critique on their films.

## PROGRAM FOR 2019

※作品名の後に★の付いている作品は福岡市総合図書館所蔵  
 ★ Part of the Fukuoka City Public Library Film Archive Collection  
 掲載順序: 題名 Title / 監督 Director / 製作年 / 製作国 Country of Production / カラー / 分数

上映作品				
恋の街、テヘラン	Tehran: City of Love	アリ・ジャベルアンサリ	Ali Jaberansari	2019 / イラン・イギリス・オランダ Iran, UK, Netherland / Color / 103min.
ナイト・ゴッド★	Night God	アディルハン・イェルジャンフ	Adilkhan Yerzhanov	2018 / カザフスタン Kazakhstan / Color / 113min.
シヴァランジャニとふたりの女★	Sivaranjani and Two Other Women	ヴァサント・S・サーイ	Vasant S. Sai	2018 / インド India / Color / 123min.
デモンズ★	Demons	ダニエル・フイ	Daniel Hui	2018 / シンガポール Singapore / Color / 84min.
夜明けを待ちながら	Ten Seconds Before Sunrise	テディ・スリアアトマジャ	Teddy Soeriaatmadja	2018 / インドネシア Indonesia / Color / 83min.
マンタレイ★	Manta Ray	ブッティポン・アロンペン	Phuttipong Aroonpheng	2018 / タイ・フランス・中国 Thailand, France, China / Color / 105min.
アルファ 殺しの権利	Alpha, The Right To Kill	ブリランテ・メンドーサ	Brillante Ma. Mendoza	2018 / フィリピン Philippines / Color / 94min.
それぞれの道のり	Lakbayan (Journey)	ラヴ・ディアス	Lav Diaz	2018 / フィリピン Philippines / Color / 117min.
		ブリランテ・メンドーサ	Brillante Ma. Mendoza	
		キドラット・タヒミック	Kidlat Tahimik	
マルカド、月を喰らうもの★	Markado: The Moon Devourer	ジョー・バクス	Joe Bacus	2018 / フィリピン Philippines / Color / 90min.
獲せられた羊	Jinpa	ペマツェテン (万瑪才旦)	Pema Tsenden	2018 / 中国 China / Color / 87min.
自由行	A Family Tour	イン・リャン (应亮)	Ying Liang	2018 / 台湾・香港・シンガポール・マレーシア Taiwan, Hong Kong, Singapore, Malaysia / Color / 108min.
福岡	Fukuoka	チャン・リュル (張律 / 瑩)	Zhang Lu	2019 / 韓国 Korea / Color / 86min.

東南アジア・リージョナル特集 Special Feature: Going Regional in Southeast Asia				
フンバ・ドリーム	Humba Dreams	リリ・リザ	Riri Riza	2019 / インドネシア Indonesia / Color / 75min.
誰かの妻★	Other Man's Wife	ディルマワン・ハッタ	Dirmawan Hatta	2018 / インドネシア Indonesia / Color / 97min.
カンペーン★	The Wall	ブンソン・ナークプー	Boonsong Nakphoo	2018 / タイ Thailand / Color / 92min.

チャンリュル監督特集「越境するポエジー」 Special Feature on Zhang Lu: Poetry Transcending Borders				
群鳥: 鷺鳥を詠う	Ode to the Goose	チャン・リュル (張律 / 瑩)	Zhang Lu	2018 / 韓国 Korea / Color / 121min.
風と砂の女★	Desert Dream	チャン・リュル (張律 / 瑩)	Zhang Lu	2006 / モンゴル・韓国・フランス Mongolia, Korea, France / Color / 125min.
豆満江★	Dooman River	チャン・リュル (張律 / 瑩)	Zhang Lu	2010 / 中国・韓国・フランス China, Korea, France / Color / 92min.

日本映画特集「モダニズムへの愛と憎しみと監督・蔵原 惟繕 Film Director Kurahara Koreyoshi: Being Cinematic and Maybe Too Cinematic				
憎いあしちくしょう	I Hate But Love	蔵原惟繕	Kurahara Koreyoshi	1962 / 日本 Japan / Color / 105min.
黒い太陽	Black Sun	蔵原惟繕	Kurahara Koreyoshi	1964 / 日本 Japan / BW / 95min.
夜明けのうた	The Song of Awakening	蔵原惟繕	Kurahara Koreyoshi	1965 / 日本 Japan / BW / 93min.

- 特別企画: ブリランテ・メンドーサ監督マスタークラス(9月17日/西鉄イン)
- 福岡観客賞授賞式&特別上映(9月17日)
- 日本・イラン外交関係樹立90周年記念上映『セールスマン』(9月17日)
- 福岡・イボ姉妹都市締結30周年・ヤスミン監督没後10周年記念上映『細い目』(9月19日)
- ラグビーワールドカップ2019™ 日本大会記念上映(9月15日)
- バリアフリー上映『めんたいびりり』(9月16日)
- シンポジウム: 『チャン・リュル監督と映画『福岡』の@レシビ大公開』(9月15日)
- シンポジウム: 『アジアの新しい波って、どうよ?』(9月16日)
- シンポジウム: 『やっぱ、リージョナル』(9月17日)
- 福岡フィルムコミッション支援作品上映『電気海月のインシデント』(9月17日)
- クリエイティブ関連産業振興事業『福岡パノラマ』(9月14日・18日)
- アジア映画・映像コンテンツ商談会『ネオシネマップ福岡』(9月17日・18日)
- 映画祭プレイベント(8月30日/福岡アジア美術館あじびホール)
- 関連企画: 日本映画名作選(9月4日~23日/福岡市総合図書館映像ホール・シネラ)
- 関連企画: アジア・シネマ・バラダイス(6月5日~16日/福岡市総合図書館映像ホール・シネラ)
- 関連企画: アジア文化賞30周年記念及びランドルフ・ダビッド氏大賞受賞記念上映
- 関連企画: インドネシア映画特集(7月6日・7日/福岡市総合図書館映像ホール・シネラ)
- 関連企画: 福岡インディペンデント映画祭2019(8月30日~9月1日/福岡市科学館 サイエンスホール)
- 関連企画: 台湾映画祭2019(9月12日~17日/福岡アジア美術館あじびホール)
- 関連企画: 福岡アジアフィルムフェスティバル2019(9月19日~24日/福岡アジア美術館あじびホール)
- 関連企画: 第11回福大生による東アジア映画字幕制作・成果発表(9月28日/エルガーホール 多目的ホール)



群鳥: 鷺鳥を詠う / Ode to the Goose



それぞれの道のり / Lakbayan (Journey)



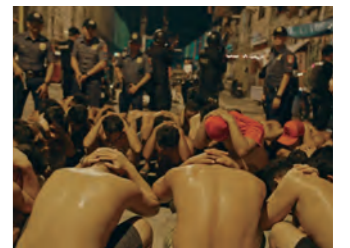
デモンズ / Demons



夜明けを待ちながら / Ten Seconds Before Sunrise

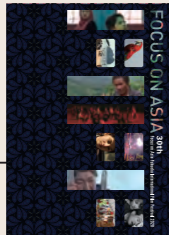


マンタレイ / Manta Ray



アルファ 殺しの権利 / Alpha, The Right To Kill

# 2020



**期 間** 9月20日(日)~24日(木)  
**会 場** キャナルシティ博多、  
 ユナイテッド・シネマ キャナルシティ13、  
 マリンメッセ福岡第2駐車場  
**内 容** 22か国・地域59作品  
**入場者数** アジアフォーカス・福岡国際映画祭2020 8,487人  
 関連事業 3,841人  
 合計 12,328人

HELD: 20th - 24th September, 2020  
 VENUES: Canal City Hakata, United Cinemas Canal City 13,  
 Marin Messe Fukuoka 2nd Parking Lot  
 EXHIBITION OF: 59 films from 22 countries and regions  
 ATTENDANCE: Focus on Asia FIFF 2020 8,487  
 Sponsored Events 3,841  
 Total 12,328

1991年に始まったアジアフォーカス・福岡国際映画祭は、今年30回目の記念すべき節目を迎えたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催自体も危ぶまれた。幸い開催にはこぎつけたものの、開催内容の変更を余儀なくされた。ゲスト招聘が困難であったため、レッドカーペットやQ & A、サイン会といった観客との交流イベント、映画に関する様々なテーマを考察するシンポジウムなどの実施を見送り、上映プログラムのみの実施となった。また、安全・安心に映画を鑑賞するため、マスクの着用及び手指消毒、座席の間引きといった、感染症対策を行ったうえでの開催となった。

オープニングは2018年福岡市内でオールロケを行い、2019年本映画祭で日本初上映したチャン・リュル監督『福岡』の再上映。ただし、今年の映画祭では、チャン・リュル監督が「実はこちらが本命」と語るモノクロバージョンを上映するとともに、チャン・リュル監督から観客に向けたメッセージ動画を上映した。

アジアの監督特集上映は、福岡が全国に先駆けて紹介してきたタイのアノーチャ・スウィチャーゴーンボン監督特集を実施。「モダニズムのむこうの永遠」と題し、タイ・アート映画界を牽引する知的俊英の全貌を、長編全3本、最新作を含めた短編集の、計4本で紹介した。映画祭直前に産まれたお子さんとともに撮影した、監督からのビデオメッセージが流れると、会場が温かい雰囲気にも包まれた。

コロナ禍における新たな試みとして、車に乗ったまま映画鑑賞ができるドライブインシアターを実施。家族で楽しめるよう福岡を本拠地とするゲーム企業が製作したアニメーション映画『二ノ国』を上映した。

これまで実施していた舞台挨拶の代わりに、公式招待作品の監督から寄せられたビデオメッセージを本編上映前に流すとともに、本映画祭にゆかりのある監督たちから「コロナ禍のアジア映画」をテーマにビデオメッセージを作成してもらい、映画祭YouTubeにて公開するなどの取り組みを行った。



〈福岡観客賞受賞作品〉犯罪現場  
 WINNER OF THE FUKUOKA AUDIENCE AWARD :  
 A Witness Out of the Blue



三人姉妹の物語 / A Tale of Three Sisters



マリyam / Mariam



〈オープニング上映〉福岡 モノクロ版(2019年 韓国)  
 OPENING FILM: Fukuoka (2019/Korea) Black and White version

The Focus on Asia Fukuoka International Film Festival which began in 1991 marked its memorable 30th Anniversary in 2020. However, because of the effects of Covid-19, holding our Film Festival, itself, was in question. Fortunately, we were able to hold our Film Festival. Yet we were forced to make changes in how our Film Festival would be held. Because it was difficult to invite guests, we had to pass up on exchange events with the audience such as our red-carpet ceremony, Q&A, and autograph sessions as well as our symposiums which examine various cinematic themes. As a result, we could only screen our films. In order to bring safety and security to film appreciation at our venues, preventive measures against the spread of Covid-19 were taken such as requiring the audience to wear masks, disinfect their hands and observe seat distancing.

Our Opening Film in 2020 was a re-screening of the film *Fukuoka*, shot totally on location in Fukuoka under the direction of Zhang Lu in 2018 and shown for the first time in Japan a year later at our Film Festival. In 2020, however, we screened a black and white version of the film which film director Zhang Lu said he preferred. We also showed a video the film director made for our audience.

For our special feature focusing on an Asian film director, we screened a program on Anocha Suwichakornpong from Thailand, who was first introduced to Japan by our Film Festival. Under the title of "Eternity on the Other Side of Modernism", the special feature presented a full picture of Anocha Suwichakornpong's intellectual excellence, which is the driving force behind Thai Art Cinema. We screened a total of 4 of her films; 3 feature films including her latest and a collection of short films. An air of warmth engulfed the theater as we played a video message from the film director, who appeared together with her baby she gave birth to just prior to the start of our Film Festival.

As a first for the Film Festival amid the Covid-19 pandemic, a "Drive-in Theater" exhibition was held where people could watch a film inside their cars. For the enjoyment of the entire family, there was a drive-in theater screening of *Ninokuni*, an animated film produced by the gaming industry that calls Fukuoka its home.

Ordinarily, invited film directors and cast members would participate in greeting sessions from the stage prior to the screening of their films. As we could not invite any guests, we showed our audience video messages sent by the film directors of our official selection of invited films, just prior to the screening of their films. We also asked films directors who were associated with our Film Festival in the past to create video messages addressing the theme of "Asian Films in a Pot of Covid-19", which we then uploaded onto You Tube.

## PROGRAM FOR 2020

※作品名の後に★の付いている作品は福岡市総合図書館所蔵  
 ★ Part of the Fukuoka City Public Library Film Archive Collection  
 掲載順序: 題名 Title / 監督 Director / 製作年 / 製作国 Country of Production / カラー / 分数

上映作品				
三人姉妹の物語 / A Tale of Three Sisters	エミン・アルベル / Emin Alper		2019 / トルコ・ドイツ・オランダ・ギリシャ Turkey, Germany, Netherland, Greece	Color / 107min.
マリyam★ / Mariam	シャリバ・ウラズバエヴァ / Sharipa Urzabayeva		2019 / カザフスタン Kazakhstan	Color / 76min.
ジャリカトゥウ / Jallikattu	リジョー・ジョーズ・ペリシエリ / Lijo Jose Pellissery		2019 / インド India	Color / 91min.
土曜の午後に★ / Saturday Afternoon	モストファ・サルワル・ファルキ / Mostofa Sarwar Farooki		2019 / バングラデシュ・ドイツ Bangladesh, Germany	Color / 86min.
昨夜、あなたが微笑んでいた★ / Last Night I Saw You Smiling	ニアン・カヴィッチ / Neang Kavich		2019 / カンボジア・フランス Cambodia, France	Color / 81min.
樹上の家★ / The Tree House	チュン・ミン・クイ / Truong Minh Quy		2019 / ベトナム・シンガポール・独・仏・中国 Vietnam, Singapore, Germany, France, China	Color / 84min.
明日から幸せな人になろう / From Tomorrow On, I Will	イヴァン・マルコヴィッチ / Ivan Marković		2019 / ドイツ・中国・セルビア Germany, China, Serbia	Color / 57min.
犯罪現場 / A Witness Out of the Blue	フォン・チーチアン (馮志強) / Fung Chih Chiang		2019 / 香港 Hong Kong	Color / 104min.

### アノーチャ・スウィチャーゴーンボン監督特集 A Special Feature on Film Director Anocha Suwichakornpong

クラビ、2562 / Krabi, 2562	ベン・リヴァース / Ben Rivers	アノーチャ・スウィチャーゴーンボン / Anocha Suwichakornpong	2019 / イギリス・タイ UK, Thailand	Color / 93min.
暗くなるまでには★ / By the Time It Gets Dark	アノーチャ・スウィチャーゴーンボン / Anocha Suwichakornpong	アノーチャ・スウィチャーゴーンボン / Anocha Suwichakornpong	2016 / タイ・フランス・カタール・オランダ Thailand, France, Qatar, Netherland	Color / 105min.
ありふれた話★ / Mundane History	アノーチャ・スウィチャーゴーンボン / Anocha Suwichakornpong	アノーチャ・スウィチャーゴーンボン / Anocha Suwichakornpong	2009 / タイ Thailand	Color / 82min.

### アノーチャ・ショート・フィルム傑作選 Anocha Suwichakornpong Shorts

グレイスランド / Graceland	アノーチャ・スウィチャーゴーンボン / Anocha Suwichakornpong	アノーチャ・スウィチャーゴーンボン / Anocha Suwichakornpong	2009 / タイ Thailand	Color / 17min.
Black Mirror	アノーチャ・スウィチャーゴーンボン / Anocha Suwichakornpong	アノーチャ・スウィチャーゴーンボン / Anocha Suwichakornpong	2008 / タイ Thailand	Color & BW / 3min.
Jai	アノーチャ・スウィチャーゴーンボン / Anocha Suwichakornpong	アノーチャ・スウィチャーゴーンボン / Anocha Suwichakornpong	2008 / タイ Thailand	Color / 14min.
Overseas	アノーチャ・スウィチャーゴーンボン / Anocha Suwichakornpong	ウィチャノン・ソムムジャー / Wichanon Somumjarn	2012 / タイ Thailand	Color / 16min.
Nightfall	アノーチャ・スウィチャーゴーンボン / Anocha Suwichakornpong	アノーチャ・スウィチャーゴーンボン / Anocha Suwichakornpong	2016 / タイ Thailand	Color / 16min.
The Ambassadors	アノーチャ・スウィチャーゴーンボン / Anocha Suwichakornpong	アノーチャ・スウィチャーゴーンボン / Anocha Suwichakornpong	2018 / タイ Thailand	BW / 9min.
The Line	アノーチャ・スウィチャーゴーンボン / Anocha Suwichakornpong	アノーチャ・スウィチャーゴーンボン / Anocha Suwichakornpong	2020 / タイ Thailand	Color / 17min.

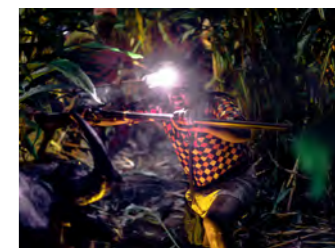
### 日本映画特集 芦川いづみ特集 Special Feature: Japanese Films "Ashikawa Izumi, the Other Heroin"

乳母車 / A Baby Carriage	田坂具隆 / Tasaka Tomotaka	田坂具隆 / Tasaka Tomotaka	1956 / 日本 Japan	BW / 110min.
あじさいの歌 / Blossoms of Love	滝沢英輔 / Takizawa Eisuke	滝沢英輔 / Takizawa Eisuke	1960 / 日本 Japan	Color / 106min.
あした晴れるか / Wait for Tomorrow	中平康 / Nakahira Ko	中平康 / Nakahira Ko	1960 / 日本 Japan	Color / 91min.
結婚相談 / The Passionate Spinster	中平康 / Nakahira Ko	中平康 / Nakahira Ko	1965 / 日本 Japan	BW / 105min.

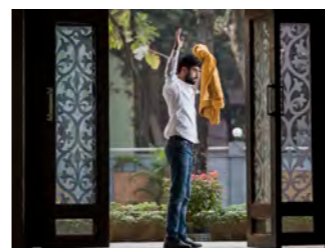
### オープニング上映 Opening Screening

福岡 モノクロ版 / Fukuoka BW version	チャン・リュル (張律/장률) / Zhang Lu	チャン・リュル (張律/장률) / Zhang Lu	2019 / 韓国 Korea	BW & Color / 86min.
-------------------------------	----------------------------	----------------------------	-----------------	---------------------

- クリエイティブ関連産業振興事業「福岡パノラマ」(9月21日・23日)
- 特別上映:福岡アジア文化賞受賞監督作品「世紀の光」(9月21日)
- 特別上映:福岡フィルムコミッション支援作品「新卒ポモドロー」(9月22日)
- 福岡インディペンデント映画祭 特別上映(9月21日)
- 特別招待イベント ドライブインシアター「二ノ国」(9月21日/マリンメッセ第2駐車場)
- 関連企画:イラン映画特集(6月17日~7月26日/福岡市総合図書館映像ホール)
- 関連企画:インド映画特集(8月1日~9月8日、9月10日~27日/福岡市総合図書館映像ホール・シネラ)
- 関連企画:福岡インディペンデント映画祭2020(11月19日~23日/福岡市科学館 サイエンスホール他)
- 関連企画:台湾映画祭2020(10月8日~11日/福岡アジア美術館あじびホール)
- 関連企画:福岡アジアフィルムフェスティバル2020(9月17日~22日/福岡アジア美術館あじびホール)
- Youtube動画公開「コロナ禍のアジア映画」アジア映画監督メッセージ集
- 福岡フィルムコミッションロケ地クイズに挑戦!



ジャリカトゥウ / Jallikattu



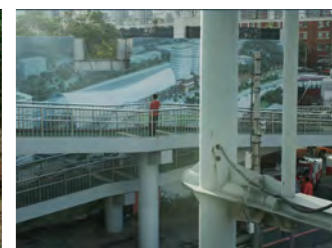
土曜の午後に / Saturday Afternoon



昨夜、あなたが微笑んでいた / Last Night I Saw You Smiling



樹上の家 / The Tree House



明日から幸せな人になろう / From Tomorrow On, I Will









***Circus Tent, The*** サークス G. Aravindan G. アラヴィンダン インド 17

***City of Glass*** 玻璃の城 Cheung Yuen Ting メイベル・チャン（張婉婷）香港 33

***City, The*** 大都会 H. D. Premaratne H. D. プレーマラトゥナ スリランカ 23

***Claypot Curry Killers*** 趙夫人の地獄鍋 James Lee ジェームス・リー（李添興）マレーシア 57

***Clouds of May*** 五月の雲 Nuri Bilge Ceylan スリ・ビルゲ・ジェイラン トルコ 37

***Collective Flat*** アパートメント Viet Linh ヴィエト・リン ベトナム 33

***Color of Paradise*** カラー・オブ・パラダイス [太陽は、ほくの瞳] Majid Majidi マジド・マジディ イラン 33,55

***Compensation, The*** 告白 Bennett Rathnayake ベナットウ・ラトゥナーヤカ スリランカ 39

***Concerto of the Bully*** 大楽師 Fung Chi Chiang フォン・チーチアン（馮志強）香港 71

***Contact, The*** ザ・コンタクト Chang Yoon Hyun チャン・ユンヒョン（장윤현/張允炫）韓国 31

***Court*** 裁き Chaitanya Tamhane チャイタニヤ・タームハネー インド 65

***Cracked Eggs & Noodles*** ネギをサクサク、卵をボン Oh Sang Hun オ・サンフン（오상훈）韓国 45

***Crazy Racer*** 爆走自転車 Ning Hao ニン・ハオ（寧浩）中国 53

***Creation*** 神の与えしもの T. Hariharan T. ハリハラン インド 21

***Crossfire*** クロスファイアー Rituparno Ghosh リトゥガルノ・ゴーシュ インド 31

***Crossing The Dust*** 砂塵を越えて Shawkat A. Korki シャウキット A. コルキ イラク クルディスタン 49

***Crossroads*** 十字路 Nam Ron ナム・ロン マレーシア 71

***Crown, The*** 明日への戴冠 Akechai Srivichai エカチャイ・スイーウイチャイ タイ 69

***Crying Wind, The*** 風音 (ふうおん) Higashi Yoichi 東陽一 日本 43

***Cup, The*** The Cup [ザ・カップ、夢のアンテナ] Khyentse Norbu ケンツェ・ノルブ ブータン 35

***Cyclist, The*** サイクリスト Mohsen Makhmalbaf モフセン・マフマルバフ イラン 17

## D

***Dancer, The*** 聖なる踊子 Ifa Isfansyah イファ・イスファンシヤ インドネシア 61

***Dancing Bells*** ダンシング・ベル Deepak Kumaran Menon ティーバク・クマラーン・メーナン マレーシア 49

***Dancing in the Dust*** 砂塵にさまよう Asghar Farhadi アスガー・ファルハディ イラン 59

***Dancing Queen*** ダンシング・クイーン Lee Seok Hoon イ・ソクン（이석훈）韓国 59

***Dark Horse, The*** ダークホース James Napier Robertson ジェームス・ネイピア・ロバートソン ニュージーランド 65

***Dark Night of the Soul*** 心の闇 Prasanna Vithanage プラサンナ・ヴィターナゲー スリランカ 27

***Daughter from Yan'an*** 延安の娘 Ikeya Kaoru 池谷薫 日本 41

***Daytime Drinking*** 酒を呑むなら Noh Young Seok ノ・ヨンソク（노영석）韓国 53

***Dear Dakanda*** 親友 Khomkrit Treewimol コムグリット・ドゥリーウィモン タイ 47

***Demons*** デモンス Daniel Hui ダニエル・フイ シンガポール 73

***Desert Dream*** 風と砂の女 Zhang Lu チャン・リュル（張律/장률）モンゴル・韓国 49,73

***Devils on the Doorstep*** 鬼子来了 [鬼が来た] Jiang Wen チアン・ウェン（姜文）中国 37

***Diamond Island*** ダイアモンド・アイランド Davy Chou テイヴィ・シュー カンボジア 69

***Die Tomorrow*** ダイ・トゥモロー Nawapol Thamrongrattanarit ナワポン・タムロンラタナリット タイ 71

***Dipu Number Two*** 転校生タイプー Morshedul Islam モルシエドウル・イスラム バングラデシュ 31

***Discarnates, The*** 異人たちとの夏 Obayashi Nobuhiko 大林宣彦 日本 69

***Dispossessed, The*** 追われた人々 G. Aravindan G. アラヴィンダン インド 17

***Dollhouse*** 人形の家 Morshedul Islam モルシエドウル・イスラム バングラデシュ 47

***Don*** ドン Farhan Akhtar ファルハーン・アクタル インド 49

***Don' t Burn*** きのう、平和の夢を見た Dang Nhat Minh ダン・ニャット・ミン ベトナム 53,55

***Don't Cry*** 歌って Amir Karakulov アミール・カラクーロフ カザフスタン 41

***Don't Look Back*** ドント・ルック・バック Kim Young Nam キム・ヨンナム（김영남）韓国 47

***Don't Think I've Forgotten: Cambodia's Lost Rock and Roll*** John Pirozzi カンボジア・アメリカ 65

***Dooman River*** 豆満江 (とまんこう) Zhang Lu チャン・リュル（張律/장률）中国 55,73

***Down Stream*** 川の流れのように Kyi Soe Tun チー・ソウ・トン ミャンマー 23

***Down the Drain*** 裸足のピクニック Yaguchi Shinobu 矢口史靖 日本 21

***Dreamer, The*** 夢追いかけて Riri Riza リリ・リザ インドネシア 55

***Dreamy Visions*** 夢と現実の日々 Waha Alraheb ワーハ・アル=ラーヒブ シリア 45

***Dubai*** ドバイの恋 Rory B. Quintos ロリー・B・キントス フィリピン 47

***Dukhai*** 苦難の大地 Morshedul Islam モルシエドウル・イスラム バングラデシュ 29

***Duo, The*** ザ・デュオ Maniratnam マニラトナム インド 31

## E

***Earth*** 1947年・大地 Deepa Mehta ティーバ・メータ インド、カナダ 49

***Eat Drink Man Woman*** 飲食男女 [恋人たちの食卓] Lee Ang リー・アン（李安）台湾 23,51

***Echoes from the Miike Mine*** 三池～終わらない炭鉱 (やま) の物語 Kumagai Hiroko 熊谷博子 日本 45

***Edo Porn*** 北斎漫画 Shindo Kaneto 新藤兼人 日本 63

***Egg*** 卵 Semih Kaplanoglu セミヒ・カブランオウル トルコ 51

***Eighteen*** EIGHTEEN ~旋風~ Jang Kun Jae チャン・ゴンジェ（장건재）韓国 55

***EIN*** エイン Maung Thein Dan モンティンダン 日本 47

***Elbowroom*** 手のとどく限り Ham Kyoung Rock ハム・ギョンノク（함경록）韓国 55

***Eldest Daughter, The*** 長女 Sumitra Peries スミトラ・ペーリス スリランカ 23

***Elegy for a Mother*** 母 Lester James Peries レスター・ジェームス・ペーリス スリランカ 47

***Enrai*** 遠雷 Negishi Kichitaro 根岸吉太郎 日本 59

***Escape from Japan*** 日本脱出 Yoshida Kiju 吉田喜重 日本 61

## F

***Fable of the Fish*** さかなの寓話 Adolfo Borinaga Alix Jr. アドルフォ・ボリナガ・アリックス Jr. フィリピン 59

***Face in the Millions*** 民衆の中の顔 Zakir Hossain Raju ザキル・ホセイン・ラジュ バングラデシュ 19

***Faces of a Fig Tree*** 無花果の顔 Momoi Kaori 桃井かおり 日本 55

***Fall Guy*** 蒲田行進曲 Fukasaku Kinji 深作欣二 日本 67

***Fallible Girl, A*** 夢にかける女 Conrad Clark コンラッド・クラーク イギリス、中国 61

***Family Tour, A*** 自由行 Ying Liang イン・リャン（应亮）台湾 73

***Fan*** FAN Maneesh Sharma マネーシュ・シャルマー インド 69

***Fang, The*** 牙 Bayanzagane Baatar バヤンツァガーネ・バートル モンゴル 21

***Farewell, Berlin Wall*** クエン ~さらば、ベルリンの壁よ~ Nguyen Phan Quang Binh グエン・ファン・クワン・ビン ベトナム 67

***Farewell, Gulsary!*** さよならグルサルー Ardak Amirkulov アルダク・アミルクロフ カザフスタン 53

***Fate of a Songstress in Thang Long, The*** タンロンの歌姫 Dao Ba Son ダオ・バー・ソン ベトナム 57

***Father, The*** 父 Majid Majidi マジド・マジディ イラン 27,55

***Ferocious Saint Lord of Gobi*** ゴビの聖者 I. Nyamgavaa I. ニヤムガワー モンゴル 31,35

***Festival*** 祝祭 Im Kwon Taek イム・グォンテク（임권택/林権澤）韓国 27

***Fire*** 炎 Deepa Mehta ティーバ・メータ インド、カナダ 49

***Fire Fighters*** 太陽のジャングル Somaratne Dissanayake ソーマラトゥネ・ティサーナーヤカ スリランカ 43

***Fireworks Wednesday*** 火祭り Asghar Farhadi アスガー・ファルハディ イラン 59

***Fish and Cat*** 予兆の森で Shahram Mokri シャーラム・モクリ イラン 63

***Fishing Luck*** 飛び魚を待ちながら Tseng Wen Chen ツェン・ウエンチェン（曾文珍）台湾 47

***Flag Without a Country, A*** 国のない国旗 Bahman Ghobadi バフマン・ゴバディ イラク 67

***Flapping in the Middle of Nowhere*** どこでもないところで羽ばたいて Nguyen Hoang Diep グエン・ホアン・ティエップ ベトナム 67

***Fleeing by Night*** 夜に逃れて Hsu Li Kong, Yin Chi シュー・リーコン（徐立功）、イン・チー（尹祺）台湾 37

***Flight, The*** 飛びたち Santwana Bardoloi ハントーナ・ボルドロイ インド 29

***Flor Contemplation Story, The*** フロール事件 Joel Lamangan ジョエル・ラマンガン フィリピン 27

***Flower in the Pocket*** ポケットの花 Liew Seng Tat リュウ・センタツク（劉城達）マレーシア 51

***Flowers of Taipei - Taiwan New Cinema*** 光と陰の物語：台湾新電影 Hsieh Chinlin シエ・チンリン（謝慶鈴）台湾・イタリア 65

***Flowers of the Sky*** 夢の花びら Prasanna Vithanage プラサンナ・ヴィターナゲー スリランカ 53

***Flying Dragon, Dancing Phoenix*** 天龍一座がゆく Wang Yulin ワン・ユイリン（王育麟）台湾 59

***Foolish Bird, The*** フーリッシュ・バード Huang Ji, Otsuka Ryuji ホアン・ジー（黃駿）、大塚竜治 中国 69

***Forbidden Door, The*** 禁断の扉 Joko Anwar ジョコ・アンワル インドネシア 55

***Fortress*** まほろしの砦 Shamil Najafzada シャーミル・ナジャフザデ アゼルバイジャン 55

***Fourth Direction*** 彷徨のゆくえ Gurvinder Singh グルヴィンダル・シング インド 67

***From Seoul to Varanasi*** バラナシへ Joen Kyu Hwan チョン・キュファン（전규환）韓国 59

***From Tomorrow On, I Will*** 明日から幸せな人になろう Ivan Marković, Wu Linfeng イヴァン・マルコヴィッチ、ウー・リンフォン 中国・セルビア 75

***Fuckin' Runaway*** 逃亡くそたわけー21才の夏 Motohashi Keita 本橋圭太 日本 49

***Fuku-chan of FukuFuku Flats*** 福福荘の福ちゃん Fujita Yousuke 藤田容介 日本 63

***Fukuoka*** 福岡 Zhang Lu チャン・リュル（張律/장률）韓国 73,75

***Fun, Bar, Karaoke*** ファン・バー・カラオケ Pen-Ek Ratanaruang ペンエーク・ラタナルアン タイ 29

***Fusa*** その木戸を通して Ichikawa Kon 市川崑 日本 23

***Future Lasts Forever*** 未来へつづく声 Özcan Alper オズジャン・アルベル トルコ 59

## G

***Gaamer*** ゲーマー Oleg Sentsov オレグ・センツォフ ウクライナ 61

***Gangs of Wasseypur*** 血の抗争 Anurag Kashyap アヌラーグ・カシャブ インド 61

***Garden, The*** 散歩の園 Sumitra Peries スミトラ・ペーリス スリランカ 43

***Gas Station, A*** ガス・ステーション Tanwarin Sukkhapisit タンワリン・スカピシット タイ 69

***Gentle*** やさしいあなた Le Van Kiet レ・ヴァン・キエト ベトナム 67

***Gesher*** ゲンセル〜ざりざり日記 Vahid Vakilifar ヴヒド・ワキリファー イラン 57

***Gie*** GIE Riri Riza リリ・リザ インドネシア 47

***Gift*** 贈り物 Lee In Eui イ・イニ（이인익）韓国 49

***Gilaneh*** 母ギーラーネ Rakhshan Bani-Etemad, Mohsen Abdolvahab ラクシャン・バニエテマド、モフセン・アブドルヴァッハーブ イラン 45

***Gilsodom*** キルソドム Im Kwon Taek イム・グォンテク（임권택/林権澤）韓国 17,35

***Girl in the Sneakers, The*** スニーカーの少女 Rassul Sadr-Ameli ラスール・サドレアメリ イラン 35

***Girl on the River, The*** 河の女 Dang Nhat Minh ダン・ニャット・ミン ベトナム 19

***Go Go 70s*** GO GO 70s Choi Ho チェ・ホ（최호）韓国 53

***God Man Dog*** 神も人も犬も Chen Singing チェン・シンイー（陳芯宜）台湾 51

***God's Eye View*** 神の眼の元に Lee Jang Ho イ・ジャンホ（이장호/李長鎬）韓国 63

***Godspeed*** ゴッドスピード Chung Mong Hong チョン・モンホン（鍾孟宏）台湾 69

***Golden Cane Warrior, The*** 黄金杖秘聞 Ifa Isfansyah イファ・イスファンシヤ インドネシア 65

***Golden Key, The*** 朝よ 来ないで Le Hoang レ・ホアン ベトナム 37

***Golden Sita*** 黄金のシーター G. Aravindan G. アラヴィンダン インド 17

***Gone Shopping*** ゴーン・ショッピング! Wee Li Lin ウィー・リー・リン シンガポール 53

***Gone, Gone, Forever Gone*** 祈り Ho Quang Minh ホー・クワン・ミン スイス、ベトナム 27

***Goodbye Tomorrow*** グッバイ・トゥモロー Reis Çelik レイス・チェリツキ トルコ 33

***Goodbye, Life*** おやすみなさい、兵士たち Ensieh Shah-Hosseini エンスイエ・シャー・ホセイニー イラン 47

***Graceland*** グレイスランド Anocha Suwichakornpong アーチャ・スウィチャーゴーンポン タイ 49,75

***Gravel Road, The*** 砂利の道 Deepak Kumaran Menon ティーバク・クマラーン・メーナン マレーシア 45

***Great Actor, The*** 大芝居 Seok Min Woo ソク・ミン（석민우）韓国 67

***Great Buddha +, The*** 大仏+ Huang Hsin Yao ホアン・シンヤオ（黃信堯）台湾 71
***Green Fish*** グリーン・フィッシュ Lee Chang Dong イ・チャンドン（이창동／李滄東）韓国 61
***Guang*** 光 (ひかり) Quek Shio Chuan クイック・シオチュアン マレーシア 71
***Guava House*** グアバの季節 Dang Nhat Minh ダン・ニャット・ミン ベトナム 39
***Gyeongju*** 慶州 Zhang Lu チャンリュル（張律／장률）韓国 63

## H

***Ha Ha Shanghai*** Ha Ha 上海 Christine Choy クリスティン・チョイ（崔明慧）香港 37
***Hai Nguyet*** 歲月 My Ha ミー・ハー ベトナム 33
***Halal Love (and Sex)*** ハラル・ラブ Assad Fouladkar アサド・フラッドカー レバノ 67
***HANA-BI*** HANA-BI Kitano Takeshi 北野武 日本 71
***Hanagatami*** 花菱／HANAGATAMI Obayashi Nobuhiko 大林宣彦 日本 69
***Hanoi 12 Days and Nights*** ハノイの12日間 Bui Dinh Hac ブイ・ティン・ハック ベトナム 41
***Hanoi, Winter 1946*** ハノイ、1946年冬 Dang Nhat Minh ダン・ニャット・ミン ベトナム 31
***Happiness of Kati, The*** カティの幸せ Genwaii Thongdenok ジェーンワイ・トンティーンノーク タイ 53
***Harmonica*** ハーモニカ Amir Naderi アミル・ナデリ イラン 25
***Harmonics Minyoung*** ミンヨン倍音の法則 Sasaki Shoichiro 佐々木昭一郎 日本 65
***Harmonium*** 淵に立つ Fukada Koji 深田晃司 日本 67
***Haruka, Nostalgie*** はるか、ノスタルジイ Obayashi Nobuhiko 大林宣彦 日本 19
***He Ain't Heavy, He's My Father*** 月夜の願い Peter Chan, Chee Lee ピーター・チャン（陳可辛）、チー・リー（李志毅）香港 25
***Heaven's Net*** 天の網 Phi Tien Son フィー・ティエン・ソン ベトナム 41
***Hejar*** 少女ヘジャル Handan Ipekçi ハンダン・イペクチ トルコ 41
***Hello Vietnam*** ベトナムを懐（おも）う Nguyen Quang Dung グエン・クワン・ズン ベトナム 69
***Hello, Stranger*** 見知らぬ国で Kim Dong Hyun キム・ドンヒョン（김동현）韓国 51
***Heroic Pages from the History of the Haruha River Region, The*** ハルハ河の英雄的な真一ノモンハン事件ー Tudevín Chimid（解説者）トゥデビーン・チミッド モンゴル 19

***Hiroshima 28*** 広島廿八 Lung Kong ルン・コン（龍剛）香港 29
***Hole in the Sky*** 空の穴 Kumakiri Kazuyoshi 熊切和嘉 日本 37
***Honeygiver Among the Dogs*** 蜜を与える女（ひと） Dechen Roder デチエン・ロデル ブータン 69
***Hoor on Fire*** 戦火の中へ Azizollah Hamidnezhad アズイゾラー・ハミドネジャド イラン 25
***Hope beyond the Crimson Skies*** あかね色の空を見たよ Nakayama Setsuo 中山節夫 日本 35
***Hospitalité*** 接待 Fukada Koji 深田晃司 日本 57
***Hot Roof, A*** 灼熱の屋上 Lee Min Yong イ・ミニョン（이민용／李珉鎔）韓国 29
***HOUSE*** HOUSE／ハウス Obayashi Nobuhiko 大林宣彦 日本 69
***House of Memories*** パロミタ Aparna Sen アパルナ・セン インド 37
***How I Long for October*** 十月になれば Dang Nhat Minh ダン・ニャット・ミン ベトナム 17, 35
***Human Comedy, The*** 人間喜劇 Hung Hung ホンホン（鴻鴻）台湾 41
***Humba Dreams*** ファンバ・ドリーム Riri Riza リリ・リザ インドネシア 73
***Hush!*** ハッシュ! Hashiguchi Ryosuke 橋口亮輔 日本 37

## I

***I Did Not Kill Gandhi*** 私はガンディーを殺していない Jahnú Barua ジャヌ・バルア インド 47, 55
***I Hate But Love*** 憎いあんちくしょう Kurahara Koreyoshi 蔵原惟繕 日本 73
***I Want to Dance*** あたしが踊る! Hu Shu フーシュー(胡庶) 中国 49
***If You Were Me*** もし、あなたなら 韓国 41

***Crossing*** 大陸横断 Yeo Kyun Dong ヨ・ギユンドン（여균동）
***The Man with an Affair*** その男、事情あり Jeong Jae Eun チョン・ジェウン（정재은）
***The Weight of Her*** 彼女の重さ Yim Soon Rye イム・スルレ（임순례）
***Face Value*** 顔の価値 Park Kwang Su パク・クワンス（박광수）
***Tongue Tie*** 神秘的な英語の国 Park Jin Pyo パク・ジンピョ（박진표）
***Never Ending Peace and Love*** 平和と愛は終わらない Park Chan Wuk パク・チャヌク（박찬욱）

***I'm Not Him*** 私は彼ではない Tayfun Pirselimoglu タイフン・ピルセリムオウル トルコ 63
***I'm Taraneh, 15*** 私は15歳 Rassul Sadr-Ameli ラスール・サドレアメリ イラン 39
***Immigrants, The*** 希望の行方 Sai Paranjpye サイー・バラーンジペー インド 17
***In April The Following Year, There Was a Fire*** 4月の終わりに霧雨が降る Wichanon Somumjarn ウィチャノン・ソムウムジャーン タイ 59
***In Love We Trust*** 愛を信ず Wang Xiaoshuai ワン・シャオシュアイ（王小帥）中国 51
***In the Forest…Again*** 再び森で… Goutam Ghose ゴータム・ゴージュ インド 43
***In the Heat of the Sun*** 太陽の少年 Jiang Wen チアン・ウェン（姜文）中国 29
***In the Name of God*** 神に誓って Shoab Mansoor ショエーブ・マンスール パキスタン 51, 55
***In the Navel of the Sea*** 海に抱かれて Marilou Diaz-Abaya マリルー・ティアス=アバヤ フィリピン 31, 37
***In Your Absence*** あなたがいない時 O. Bat-ulzii O・バトウルズィー モンゴル 47
***Initiation, The*** めざめ Arun Kaul アルン・コウル インド 19
***International, The*** インターナショナル Sirri Sureyya Önder, Muharrem Gülmez スツル・スレイヤ・オンデル、ムハツレム・ギュルメズ トルコ 51
***Invisible*** インビジブル Lawrence Fajardo ローレンス・ファハルド フィリピン 65
***Iri*** イリ Zhang Lu チャン・リュル（張律／장률）韓国 53
***Island, The*** 島 Girish Kasaravalli ギリーシャ・カーサラヴァツリ インド 39
***It's A Great, Great World*** すばらしき大世界 Kelvin Tong ケルビン・トン（唐永健）シンガポール 57

## J

***Jai*** Anocha Suwichakornpong アノーチャ・スウィチャーゴーンボン タイ 75
***Jallikattu*** ジャツリカトゥ Lijo Jose Pellissery リジヨー・ジョーズ・ペツリシエーリ インド 75
***Japanese Story*** ジャパニーズ・ストーリー Sue Brooks シュー・ブルックス オーストラリア 43
***Japanese Wife, The*** 妻は、はるか日本に Aparna Sen アパルナ・セン インド 57
***Jinpa*** 轢き殺された羊 Pema Tseden ペマツェテン（万玛才旦）中国 73
***Jose Rizal*** ホセ・リサール Marilou Diaz-Abaya マリルー・ティアス=アバヤ フィリピン 33, 37
***Journey, The*** 旅路 Sivan シヴアン インド 33
***July 32nd*** 7月32日 Jin Seung Hyun チン・スンヒョン（진승현）韓国 51
***July Rhapsody*** 男人四十 Ann Hui アン・ホイ（許鞍華）香港 39
***Jump! Boys*** ジャンプ! ボーイズ Lin Yu Hsien リン・ユウシェン（林育賢）台湾 45
***Jungle School, The*** ジャングル・スクール Riri Riza リリ・リザ インドネシア 63
***Juvenile Offender*** 未熟な犯罪者 Kang Yi Kwan カン・イグァン（강이관）韓国 61

## K

***Kae Byok*** 開闢 (かいびやく) Im Kwon Taek イム・グォンテク（임권택／林権澤）韓国 21
***Kahaani*** カハーニー/物語 [女神は二度微笑む] Sujoy Ghosh スジョイ・ゴージュ インド 59
***Kailf Blues*** 凱里ブルース Bi Gan ビー・ガン（毕赣）中国 67
***Kamome Diner*** かもめ食堂 Oigigami Naoko 荻上直子 日本 57
***Kerala Varma Pazhassi Raja*** ケーララの獅子 Hariharan ハリハラン インド 55
***Kilometre Zero*** キロメートル・ゼロ Hiner Saleem ヒネル・サリーム イラク 47
***King of Rubbish-Dump*** ゴミの山の大将 Do Minh Tuan ドー・ミン・トゥアン ベトナム 41
***Kirishima 1945*** 美しい夏キリシマ Kuroki Kazuo 黒木和雄 日本 39
***Kohei's Race*** 福本耕平かく走りき Kubota Suguru 久保田傑 日本 19
***Koiwa Go-Shichi-Go!*** 恋は五・七・五! Oigigami Naoko 荻上直子 日本 57
***Korean I met in Japan, A*** はい毎度! Hwang Byeng Gug ファン・ビョングク（황병국）日本 47
***KOUME, the Legendary Singer*** 小梅姐さん Yamamoto Hiko 山本睦古 日本 49
***Krabi, 2562*** クラビ、2562 Ben Rivers, Anocha Suwhchakornpong ベン・リヴァース、アノーチャ・スウィチャーゴーンボン イギリス・タイ 75
***Kuei-Mei, A Woman*** ある女の一生 Chang Yi チャン・イ（張毅）台湾 29
***Kuhaku*** 空白～述懐・ハンセン病報道～ Inoue Keiko 井上佳子 日本 43
***Kuldesak*** クルドサック Riri Riza, Mira Lesmana, Nan T. Achnas, Rizal Mantovani リリ・リザ、ミラ・レスmana、ナン T. アハナス、リザル・マントファニ インドネシア 65

***Kurmanjan Datka Queen of the Mountains*** 山嶺の女王 クルマンジャン Sadyk Sher-Niyaz サディック・シエル・ニヤーズ キルギスタン 65

## L

***La Visa Loca*** ビザさえあれば Mark Meily マーク・メイリー フィリピン 47
***Lakbayan (Journey)*** それぞれの道のり フィリピン 73
***Hugaw (Dirt)*** Lav Diaz ラヴ・ティアス、
***Desfocado (Defocused)*** Brillante Ma. Mendoza プリランテ・メンドーサ
***Lakaran Ni Kabunyan (Kabunyan's Journey)*** Kidlat Tahimik キドラット・タヒミック
***Lalon*** ラロン Tanvir Mokammel タンビール・モカンメル バングラデシュ 43
***Lament of the Sand River*** 沙河悲歌 (しゃーはーえれじー) Chang Chi Yung チャン・チイヨン（張志勇）台湾 35
***Land of Equestrian People, vol.3: Koguryo, The*** 騎馬民族国家・第3編「高句麗」 Pak Kil Su, Song Chi Guk パク・キルス（박길수／朴吉洙）、ソン・チグク（成到國）北朝鮮 17

***Last Dance, The*** 最後の舞 Shaji N. Karun シャー・ジ・N. カルン インド 35
***Last Malay Women, The*** ラスト・マレー・ウーマン Erma Fatima エルマ・ファティマ マレーシア 33
***Last Night I Saw You Smiling*** 昨夜、あなたが微笑んでいた Neang Kavich ニアン・カヴィッツ カンボジア 75
***Last Note, A*** 午後の遺言状 Shindo Kaneto 新藤兼人 日本 25
***Last Present*** ラスト・プレゼント Oh Ki Hwan オ・ギファン（오기환）韓国 39
***Last Princess of Manchuria, The (Kawashima Yoshiko)*** 川島芳子 Fong Ling Ching (Eddie Fong) エディ・フォン（方令正）香港 17
***Last Queen of the Earth, The*** 地の果てまでも Mohammad Reza Arab モハマド・レザ・アラブ イラン 49
***Le Ba Dang - from Bich La to Paris*** レ・バ・ダン Dang Nhat Minh ダン・ニャット・ミン ベトナム 67
***Lee's Adventure*** 時空の扉 Frant Gwo, Li Yang クオ・ファン（郭帆）、リー・ヤン（李阳）中国 59
***Left Handed*** 扉のむこう Laurence Thrush ローレンス・スラッシュ 日本 53
***Legend is Alive, The*** 伝説の男 Luu Huynh Luu リュー・フイン・リュー ベトナム 53
***Leily is with Me*** 夢がほんとに Kamal Tabrizi キャマル・タブリジ イラン 27
***Let There Be Light*** ここに光を Reis Çelik レイス・チェリツキ トルコ 31
***Let's not Cry!*** 泣かないで Min Byung Hoon ミン・ビョンフン（민병훈）韓国 41
***Let's Sumo!*** 相撲ら! Afdlin Shauki アフドリン・シャウキ マレーシア 49
***Letters from Prague*** プラハからの手紙 Angga Dwimas Sasongko アンガ・ドウイマス・サソソコ インドネシア 67
***Li Lianying, The Imperial Eunuch*** 李蓮英～清朝最後の宦官 Tian Zhuang Zhuang ティエン・チュアンチュアン（田壮壮）中国 17
***Lieutenant Adnan*** アドナン中尉 Aziz M. Osman アズイス・M・オスマン マレーシア 37
***Life*** 少女ジャーノ Jano Rosebani ジャノ・ロジェビアーニー イラク 45
***Life on the Border*** 国境に生きる ～難民キャンプの小さな監督たち～ Bahman Ghobadi (Producer) バフマン・ゴバディ（プロデューサー）イラク 67

***Life Show*** ションヤンの酒家（みせ）Huo Jianqi フォ・ジェンチイ（霍建起）中国 41
***Life Without Principle*** 奪命金 Johnnie To ジョニー・トー（杜琪峰）香港 61
***Light in Dream*** 夢の中のランブ Do Minh Tuan ドー・ミン・トゥアン ベトナム 19
***Line, The*** Anocha Suwichakornpong アノーチャ・スウィチャーゴーンボン タイ 75
***Line of Destiny, The*** 運命線 Lester James Peries レスター・ジェームス・ピーリス スリランカ 23, 35

***Little Big Master*** Little Big Master (原題) [小さな嵐の大きな奇跡] Adrian Kwan エイドリアン・クワン (關信輝) 香港 65

***Little Brother*** ひとり Serik Aprymov セリック・アプリモフ カザフスタン 63

***Little Cheung*** リトル・チュン Fruit Chan フルーツ・チャン (陳果) 香港 35

***Little Comedian, The*** 恋するリトル・コメディアン Vithaya Thonguyong, Mez Tharatorn ウィットヤヤー・トーンユーヨン、メート・タラトーン タイ 57

***Little Girl of Hanoi, The*** ハノイの少女 Hai Ninh ハーイ・ニン ベトナム 19

***Little Man, The*** ほくは一人前 Ebrahim Forouzesht エブラヒム・フルゼシュ イラン 31

***Little Zizou*** 僕はジダン Soonii Taraporevala スーニー・タラーブルワラー インド 57

***Live at Peace*** 安居 [榕樹の丘へ] Hu Bing Liu フー・ビンリウ (胡炳樞) 中国 31

***Live Forever*** 熊笹の遺言 Imada Satoshi 今田哲史 日本 43

***Live from UB*** Lauren Knapp ローレン・クナップ モンゴル・アメリカ 67

***Living in Fear*** 癒やされた地 Bui Thac Chuyen ブイ・タク・チュエン ベトナム 47

***Lizard, The*** ザ・リザード Kamal Tabrizi カマル・タブリーズイー イラン 43

***Lola*** はあさん Brillante Ma, Mendoza プリランテ・メンドーサ フィリピン 55

***Lonely Tunes of Tehran*** テヘランの孤独 Saman Salour サマン・サルール イラン 53

***Long Journey, The*** 遙かな旅 [サイゴンからの旅人] Le Hoang レ・ホアン ベトナム 29

***Long Legged Girls*** 美脚の娘たち Vu Ngoc Dang ヴー・ゴク・ダン ベトナム 67

***Lost Dragon, The*** ロスト・ドラゴン Ngo Cuong ゴー・クワン ベトナム 67

***Love is God*** 愛は至高のもの Sunder C. スンダル C. インド 43

***Love is Oh Yeah*** おせっかいはNO、愛はOK Kim Yoo Jin キム・ユジン (김유진/金裕珍) 韓国 23

***Love of Siam*** サイアム・スクエア [ユウの歌] Chookiat Sakveerakul チューキアット・サククウィーラクン タイ 51

***Love Tomato*** 恋するトマト Nanbu Hideo 南部英夫 日本 59

***Lovers' Concerto*** Lovers' Concerto [永遠の片思い] Lee Han イ・ハン (이한) 韓国 41

***Love-Stricken, The*** 魅惑 Ali Hatami アリ・ハタミ イラン 33

***Loving Someone*** あなたに夢中で Jose Javier Reyes ホセ・ハヴィール・レイエス フィリピン 27

***Luck Trier*** 幸福になりたい Tu Huy トウ・フイ ベトナム 19

## M

***Maborosi*** 幻の光 Koreeda Hirokazu 是枝裕和 日本 71

***Machan*** マチャン/大脱走 Uberto Pasolini ウベルト・パソリーニ スリランカ 53

***Mad Detective*** マッド探偵 (テイテクティブ) Johnnie To, Wai Ka Fai ジョニー・トー (杜琪峰) ワイ・カーファイ (韋家輝) 香港 51

***Madonna and Child*** マドンナ・アンド・チャイルド Marilou Diaz-Abaya マリルー・ティアス=アバヤ フィリピン 27, 35, 37

***Magnifico*** マグニフィコ Maryo J. de los Reyes マーリョ・J・テ・ロス・レイエス フィリピン 41

***Majority*** マジョリティ Seren Yüce セレン・ユジェ トルコ 57

***Malila: The Farewell Flower*** 別れの花 Anucha Boonyawatana アヌチャー・ブンヤワツタナ タイ 71

***Mama's Guest*** ママのお客 Dariush Mehrjui ダリウシュ・メールジュー イラン 43

***Mameshiba*** 幼獣メシバ Kamei Toru 亀井亨 日本 53

***Man of Integrity, A*** ぶれない男 Mohammad Rasoulof モハマド・ラスロフ イラン 71

***Man on the Edge*** 結界の男 Jo Jin Kyu チョ・ジンギュ (조진규) 韓国 61

***Manasarovar*** マナサロワールの愛 Anup Kurian アヌープ・クリアン インド 45

***Manila Skies*** マニラ・スカイ Raymond Red レイモンド・レッド フィリピン 55

***Manila: In the Claws of Light*** マニラ・光る爪 Lino Brocka リノ・ブロッカ フィリピン 19

***Mansion by the Lake*** 湖畔の邸宅 Lester James Peries レスター・ジェームス・ペーリス スリランカ 39

***Manta Ray*** マンタレイ Phuttiiphong Aroonpheng フッティボン・アロンペン タイ 73

***Mapado*** 麻婆島 (マパド) Choo Chang Min チュ・チャンミン (추창민) 韓国 45

***March of Happiness*** 天馬茶房 Lin Cheng Sheng リン・チェンシェン (林正盛) 台湾 35

***Mariam*** マリアム Sharipa Urazbayeva シャリパ・ウラズバエヴァ カザフスタン 75

***Markado: The Moon Devourer*** マルカド、月を喰らうもの Joe Bacus ジョー・バクス フィリピン 73

***Mary is Happy, Mary is Happy*** マリー・イズ・ハッピー Nawapol Thamrongrattanarit ナワポン・タムロンラタナリット タイ 69

***Mask of Desire*** 欲望の仮面 Tsering Rhitar Sherpa ツェリン・リタル・シェルパ ネパール 35

***Master, The*** 噂の男 Nawapol Thamrongrattanarit ナワポン・タムロンラタナリット タイ 69

***Matango*** マタンゴ Honda Ishiro 本多猪四郎 日本 65

***Maybe Some Other Time*** また逢えるなら Bahram Beizai バハラム・ベイザイ イラン 29

***Mayonnaise*** マヨネーズ Yoon In Ho ユン・イノ (윤인호) 韓国 33

***Megane*** めがね Oigami Naoko 荻上直子 日本 57

***Mekhong Full Moon Party*** メコン・フルムーン・パーティー Jira Malikul チラ・マリクン タイ 41

***Melody*** メロディ Sai Paranjpye サイー・パラーンジペー インド 31

***Memories in the Mist*** 霧の中の記憶 Buddhadeb Dasgupta ブッダデーブ・ダスグプタ インド 47

***Memories of the Wind*** 風は記憶 Özcan Alper オズジャン・アルベル トルコ 67

***Men's Dance*** 男が踊るとき Yusup Razykov ユスフ・ラジコフ ウズベキスタン 45

***Mercedes, Mon Amour*** メルセデス、わが愛 Bay Okan ベイ・オカン トルコ 23

***Mheejou*** ミージュー Sukanya Vongsthatpat スカンヤー・ウォンサターハット タイ 49

***Milagros*** ミラグロス Marilou Diaz-Abaya マリルー・ティアス=アバヤ フィリピン 29, 37

***Mirage*** 押繪と旅する男 Kawashima Toru 川島透 日本 21

***Mirage above the Gobi Desert*** ゴビの蜃気楼 R. Dorjpalam R. ドルジパラム モンゴル 21

***Moment, The*** あの時に思いを Wong Kwok Fai ウォン・クオツファイ (黃國輝) 香港 67

***Monologue*** モノローグ Adoor Gopalakrishnan アドゥール・ゴーパーラクリシュナン インド 31

***Moonhunter, The*** ムーンハンター Bhandit Rittakol バンディット・リッタコン タイ 39

***Mother Alone*** マザー・アローン Sumitra Peries スミトラ・ペーリス スリランカ 31

***Mothra*** モスラ Honda Ishiro 本多猪四郎 日本 65

***Mourning Forest, The*** 殯の森 Kawase Naomi 河瀬直美 日本 55

***Mouth Organ*** 少年とハーモニカ A. K. Bir A. K. ビール インド 41

***Moving*** お引越し Somai Shinji 相米慎二 日本 71

***Mr. and Mrs. Iyer*** Mr. & Mrs. アイヤル Aparna Sen アパルナ・セン インド 41

***Mr. Housewife*** ミスター主婦クイズ王 Yoo Sun Dong ユ・ソンドン (유선동) 韓国 47

***Mr. Tree*** ミスター・ツリー Han Jie ハン・ジェ (韓杰) 中国 59

***Muen and Rid*** ムアンとリット Cherd Songsri チャード・ソンスイー タイ 23

***Muhammad, the Messenger of God*** 預言者ムハンマド Majid Majidi マジド・マジティ イラン 67

***Mundane History*** ありふれた話 Anocha Suwichakornpong アノーチャ・スウィチャーゴーンポン タイ 55, 75

***My American Grandson*** 上海假期 Ann Hui アン・ホイ (許鞍華) 香港 19

***My Bittersweet Taiwan*** 台湾往事 Zheng Dongtian ジョーン・ドオンティエン (鄭洞天) 中国 43

***My Father's Choice*** 父の選択 Yuen Yan Ting ユエン・ヤンティン オランダ、中国 69

***My Friend Rashed*** わが友ラシエド Morshedul Islam モルシエドウル・イスラム バングラデシュ 59

***My Life with a King*** ほくは詩の王様と暮らした Carlo Enciso Catu カルロ・エンシーソ・カトゥ フィリピン 67

***My Mother is a Belly Dancer*** マイ・マザー・イズ・ア・ベリーダンサー Lee Kung Lok リー・コンロツ (李公樂) 香港 49

***My Native Land*** 原郷人 Lee Hsing リー・シン (李行) 台湾 29

***My Own*** 私自身のもの Shaji N. Karun シャー・ジ・N. カルン インド 25, 35

***My Sky, My Home*** 青空がほくの家 Slamet Rahardjo Djarot スラメット・ラハルジョ・ジャロット インドネシア 17

***My Tehran for Sale*** 私のテヘラン Granaz Moussavi グラナース・ムサウィー イラン 55

***My Wedding Campaign*** ウェディング・キャンペーン Hwang Byeng Gug ファン・ビョングク (황병국) 韓国 47

***My wife is Filipina*** 妻はフィリピーナ Terada Yasunori 寺田靖範 日本 23

***Mystery of the Cube, The*** ミステリー・オブ・ザ・キューブ Jonathan You ジョナサン・ユー (유상욱) 韓国 33

***Myungja-Akiko-Sonya*** ミョンジャ・明子・ソニーヤ Lee Jang Ho イ・ジャンホ (이장호/李長鎬) 韓国 19

## N

***Nabbie' s Love*** ナビイの恋 Nakae Yuji 中江裕司 日本 55

***Nader and Simin, A Separation [A Separation]*** ナテルとシミン [別離] Asghar Farhadi アスガー・ファルハティ イラン 57, 59

***Nakyung and Kinukawa*** ナギョンとキヌカワ Horie Takahiro 堀江貴大 日本 69

***Need, The*** 選択 Alireza Davudnezhad アリ=レザ・ダヴドネジャード イラン 21

***Nekonade*** ネコナデ Oomori Mika 大森美香 日本 51

***Nervous Translation*** なあばす・とらんすれいしよん Shireen Seno シェリーン・セノ フィリピン 71

***Netorare Sosuke*** 寝盗られ宗介 Wakamatsu Koji 若松孝二 日本 67

***New Moon*** 光、新たに Marilou Diaz-Abaya マリルー・ティアス=アバヤ フィリピン 39

***New Thick Wall*** 新・あつい壁 Nakayama Setsuo 中山節夫 日本 49

***Night Bus*** バスは夜を走る Emil Heradi エミル・ヘラティ インドネシア 71

***Night God*** ナイト・ゴッド Adilkhan Yerzhanov アティルハン・イェルジャンフ カザフスタン 73

***Night of Silence*** 沈黙の夜 Reis Çelik レイス・チェリツキ トルコ 61

***Nightfall*** Anocha Suwichakornpong, Tulapop Saenjaroen アノーチャ・スウィチャーゴーンポン、トゥラポップ・セーンジャルーン タイ 75

***No Puedo Vivir Sin Ti*** あなたなしでは生きていけない Leon Dai Li Ren レオン・ダイ (戴立忍) 台湾 53

***Number 10 Blues/ Goodbye, Saigon*** No. 10 ブルース/さらばサイゴン Osada Norio 長田紀生 日本、ベトナム 61

## O

***Oasis*** オアシス Lee Chang Dong イ・チャンドン (이창동/李滄東) 韓国 41, 61

***Octave*** 心の調べ Shaji N. Karun シャー・ジ・N. カルン インド 39

***October Sonata*** 10月のソナタ Somkiat Vithuranich ソムキアット・ウイットウラニット タイ 55

***Ode to the Goose*** 群山：鷺鳥を咏う Zhang Lu チャン・リュル (張律/장률) 韓国 73

***Of the Flesh*** カルナル〜愛の不条理 Marilou Diaz-Abaya マリルー・ティアス=アバヤ フィリピン 37

***Oh! My Bomb!*** ああ爆弾 Okamoto Kihachi 岡本喜八 日本 61

***Oil Children*** 石油地帯の子たち Ebrahim Forouzesht エブラヒム・フルゼシュ イラン 37

***Oilmaker's Family*** 香魂女 Xie Fei シェ・フェイ (謝飛) 中国 21

***Old Barber, The*** 胡同 (フートン) の理髪師 Hasi Chaolu ハスチャロー (哈斯朝魯) 中国 47

***Olympic in Camp*** 僕らのオリンピック Majid Majidi マジド・マジティ イラン 41, 55

***Om Shanti Om*** オーム・シャンティ・オーム Farah Khan ファラー・カーン インド 51

***On the Beat*** スケッチ・オブ・Peking Ning Ying ニン・イン (寧瀛) 中国 27

***Once and for All*** これを最後に Sirus Alvand シルス・アルバンド イラン 25

***Once upon a Time*** ある時一度 Bhandit Rittakol バンディット・リッタコン タイ 25

***One Day to Be Passing by*** 過ぎ去る一日 Kim Yang Hee キム・ヤンヒ (김양희) 韓国 49

***One Night Husband*** ワン・ナイト・ハズバンド Pimpaka Towira ピムパカー・トーウイラ タイ 41

***Only On Mondays*** 月曜日のユカ Nakahira Ko 中平康 日本 61

***Opera Jawa*** オペラジャワ Garin Nugroho ガリン・ヌグロホ インドネシア 65

***Orator*** 演説者 Yusup Razykov ユスフ・ラジコフ ウズベキスタン 39

***Ordinary Heroes*** 千言萬語 Ann Hui アン・ホイ (許鞍華) 香港 37

***Ordinary People*** 普通の人々 Lee Yu Rim イ・ユリム (이유림) 韓国 49

***Original Copy*** Florian Heinzen-Ziob, Georg Heinzen ドイツ・インド 67

***Oseam*** ステファとグレチエン Park Chul Soo パク・チョルス (박철수/朴哲洙) 韓国 17

***Other Man's Wife*** 誰かの妻 Dirmawan Hatta テイルマワン・ハッタ インドネシア 73

***Our Twisted Hero*** われらの歪んだ英雄 Park Chong Won パク・チョンウォン (박종원) 韓国 21

***Out of Coverage*** サービス圏外 Abdullatif Abdulhamid アブドルラティフ・アブドルハミド シリア 51

**Overseas**
Anocha Suwichakornpong, Wichanon Somumjam
アノーチャ・スウィチャーゴーンポン、ウィチャノン・ソムウムジャーン
タイ
75

**Oyster Girl**
海辺の女たち
Lee Chia, Lee Hsing
リー・チャ（李羸）、リー・シン（李行）
台湾
29

## P

**Painting Pool, The**
絵の中の池
Maziar Miri
マズイヤール・ミーリー
イラン
63

**Pale Flower**
乾いた花
Shinoda Masahiro
篠田正浩
日本
61

**Parviz**
バルウィズ
Majid Barzegar
マジド・バルゼガル
イラン
61

**Passage of Life**
僕の帰る場所
Fujimoto Akio
藤元明緒
日本
71

**Passionate Spinster, The**
結婚相談
Nakahira Ko
中平康
日本
75

**Path of the Brave**
勇者の道
Yuthana Mukdasanit
ユッタナー・ムクダーサニット
タイ
19

**Pathos**
悲哀
Jayaraaj
ジャヤラージ
インド
35

**Patience Stone, The**
悲しみを聴く石
Atiq Rahimi
アティグ・ラヒミ
アフガニスタン
61

**Peck on the Cheek, A**
頬にキス
Maniratnam
マニラトナム
インド
43

**Pee Mak**
*Pee Mak* (*原題*)『愛しのゴースト』
Banjong Pisanthanakun
バンジョン・ピサンタナクーン
タイ
61

**Peppermint Candy**
ペパーミント・キャンディー
Lee Chang Dong
イ・チャンドン（이창동／李滄東）
韓国
35, 61

**Perpetual Motion**
無窮動
Ning Ying
ニン・イン（寧瀛）
中国
47

**Piano in a Factory, The**
鋼のピアノ
Zhang Meng
チャン・メン（張猛）
中国
57

**Pickpocket**
スリ
Linton Semage
リンタン・セーマゲー
スリランカ
39

**Piggy Tail, A**
娃娃(ワウ)と子豚
Ko I Cheng
コ・イーチョン（柯一正）
台湾
19

**Pilgrimage**
私への旅
Vasantha Obeyesekere
ワサンタ・オベーセーカラ
スリランカ
39

**Pinoy Sunday**
パイ・サンデー
Ho Wi Ding
ホー・ウィー・ティン（何蔚庭）
台湾・フィリピン
57

**Play of God, The**
神の戯れ
Jayaraaj
ジャヤラージ
インド
31

**Pluto Moment, The**
冥王星の時
Zhang Ming
チャン・ミン（章明）
中国
71

**Poetry**
ポエトリー
アグネスの詩
Lee Chang Dong
イ・チャンドン（이창동／李滄東）
韓国
61

**Polis Evo**
ポリス・エボ
Ghaz Abu Bakar
ガス・アブ・バカル
マレーシア
67

**Pomegranates and Myrrh**
ザクロとミルラ
Najwa Najjar
ナジュワ・ナッジャール
パレスチナ
53

**Portrait of Hell**
地獄変
Toyoda Shiro
豊田四郎
日本
63

**Possession**
サビ
Brillante Ma. Mendoza
ブリランテ・メンドーサ
フィリピン
63

**Postcards From the Zoo**
動物園からのポストカード
Edwin
エドウィン
インドネシア
65

**Pure Coolness**
盗まれた花嫁
Ernest Abdyjaparov
エルネスト・アブティジャパロフ
キルギスタン
51

**Pushing Hands**
推手
Lee Ang
リー・アン（李安）
台湾
25, 51

## Q

**Quiet Dream, A**
春の夢
Zhang Lu
チャン・リュル（張律／장률）
韓国
69

**Quiet Town, The**
静か過ぎる町
Le Duc Tien
レー・ドゥック・ティエン
ベトナム
19

## R

**Radio Dreams**
ラジオ・ドリーム
Babak Jalali
ババック・ジャリリ
アメリカ・イラン
67

**Rage**
バイオレンス
Chito S. Roño
チト・S・ローニョ
フィリピン
27

**Raging Years**
下流人生
Im Kwon Taek
イム・グォンテク（임권택／林権澤）
韓国
43

**Rainbow Troops, The**
虹の兵士たち
Riri Riza
リリ・リザ
インドネシア
53

**Random Lives**
なりゆきな魂、
Zese Takahisa
瀬々敬久
日本
67

**Raw Mango, The**
青いマンゴー
Amol Palekar
アモール・パーレーカル
インド
35

**Red Amnesia**
赤い季節の忘却
Wang Xiaoshuai
ワン・シャオシュアイ（王小帥）
中国
65

**Red Eagle, The**
レッド・イーグル
Wisit Sasanatieng
ウィシット・サーサナティアン
タイ
57

**Red Firecracker, Green Firecracker**
哀戀花火
He Ping
ハー・ピン（何平）
中国
23

**Red Lotus, The**
レッド・ロータス
Som-ok Southiphone
ソムオック・スツティボン
ラオス
23

**Red Persimmon**
赤い柿
Wang Tong
ワン・トン（王童）
台湾
29

**Redeem Her Honor**
貴女のためにたたかう
Marilou Diaz-Abaya
マリルー・ティアス=アバヤ
フィリピン
25, 37

**Reef Hunters**
ムロアミ
Marilou Diaz-Abaya
マリルー・ティアス=アバヤ
フィリピン
35, 37

**Refugee**
難民キャンプ
Reis Çelik
レイス・チェリッキ
トルコ
53

**Remake, Remix, Rip-Off**
Cem Kaya
トルコ・ドイツ
65

**Retired General, The**
退役將軍
Nguyen Khac Loi
グエン・カック・ロイ
ベトナム
19

**Return Ticket**
遠い帰郷
Teng Yung Shing
トン・ヨンシン（鄧勇星）
中国
57

**Return, The**
帰還
Dang Nhat Minh
ダン・ニャット・ミン
ベトナム
23

**Rhino Season**
サイの季節
Bahman Ghobadi
バフマン・ゴバティ
イラク
61

**Ride on the Rainbow**
虹に乗って
Jahnu Barua
ジャヌ・バルア
インド
39

**Road in the Air, The**
自転車で行こう
Isaac Li
イサク・リイ（李志奮）
台湾
49

**Road Under the Heavens, The**
天空の路
Kamara Kamalova
カマラ・カマロワ
ウズベキスタン
49

**Rocking Horsemen, The**
青春デンテケデケデケ
Obayashi Nobuhiko
大林宣彦
日本
69

**Romance of the Three Kingdoms Part1：The Dawn of Heroes**
三国志・第一部「英雄たちの夜明け」
Katsumata Tomoharu
勝間田具治
日本
17

**Roro Mendut**
囚われの美女口口・ムンドゥット
Ami Priyono
アミ・プリヨノ
インドネシア
17

**Running Antelope**
さまよう雄鹿
I. Nyamgawaa
N. Nyamdawaa
N. ニヤムダワー
モンゴル
25

## S

**Sagarmatha**
サガルマータ
Emil Heradi
エミル・ヘラティ
インドネシア
65

**Saint in a Turbulent Age, A**
風雲の聖者
Ts. Tserendorj, L. Sharavdorj
Ts. シェレンドルジ、L. シャラブドルジ
モンゴル
21

**Samson & Delilah**
サムソンとデリラ
Warwick Thornton
ワーウィック・ソーントン
オーストラリア
55

**Sandy Lives**
砂のような人生
Nguyen Thanh Van
グエン・タイン・ヴァン
ベトナム
35

**Santi - Vina**
サンティとウィーナー（デジタル修復版）
Thavi Na Bangchang
タヴィー・ナ・バーンチャーン
タイ
69

**Santouri**
サントゥール奏者
Dariush Mehrjui
ダリウシュ・メールジュイ
イラン
51

**Sara**
サラ
Dariush Mehrjui
ダリウシュ・メールジュイ
イラン
25

**Saroja**
サロージャー
Somaratne Dissanayake
ソーマラトゥネ・ティサーナーヤカ
スリランカ
35

**Saturday Afternoon**
土曜の午後
Mostofa Sarwar Farooki
モストファ・サルワル・ファルキ
バングラデシュ
75

**Scandal**
スキャンダル
Victor Vu
ヴィクトアー・ヴー
ベトナム
67

**Scandalous Adventures of Buraikan, The**
無頼漢
Shinoda Masahiro
篠田正浩
日本
63

**Season in the Sun**
ポリウルの夏
Lee Min Yong
イ・ミニョン（이민용／李珉鎔）
韓国
41

**Seasons Change**
早春譚
Nithiwat Tharatorn
ニティワット・タラートーン
タイ
49

**Secret Sunshine**
シークレット・サンシャイン
Lee Chang Dong
イ・チャンドン（이창동／李滄東）
韓国
61

**Senario Again**
追いつ追われつ
Aziz M. Osman
アズイス・M・オスマン
マレーシア
37

**Separation, A**
→ Nader and Simin, A Separation

**September, The**
9月
Cemil Agacikoglu
ジェミル・アアジュックオウル
トルコ
59

**Sergeant Hassan**
ハッサン軍曹
Lamberto Avellana
ランベルト・アヴェリャーナ
マレーシア
19

**Servile, The**
従属する者
Adoor Gopalakrishnan
アドゥール・ゴーパーラクリシュナン
インド
23

**Seven Days in Heaven**
お父ちゃんの初七日
Wang Yulin, Essay Liu
ワン・ユイリン（王育麟）、エッセイ・リウ（劉粹潔）
台湾
55

**Seventies, The**
苦難の時代
Chito S. Roño
チト・S・ローニョ
フィリピン
43

**(Sex) Appeal**
その夏に抱かれて
Wang Weiming
ワン・ウェイミン（王維明）
台湾
65

**Shackled**
果てしなき鎖
Lawrence Fajardo
ローレンス・ファハルド
フィリピン
61

**Shackles**
枷(かせ)
N. Uranchimeg
ナンサリーン・オランチメグ
モンゴル
21

**Shadow Kill**
シャドー・キル
Adoor Gopalakrishnan
アドゥール・ゴーパーラクリシュナン
インド
41

**Shadow, The**
山の蒼い影
B. Badaruugan
B・バダルオーガン
モンゴル
37

**Shanghai**
シャンハイ
Dibakar Banerjee
ティバーカー・バナルジー
インド
61

**Sharaku**
写楽
Shinoda Masahiro
篠田正浩
日本
63

**Shelter**
ほくの家出
Sivan
シヴァン
インド
21

**Sherina's Adventure**
シェリナの大冒険
Riri Riza
リリ・リザ
インドネシア
65

**Siddharth**
シツダルタ
Richie Mehta
リチャー・メーヘター
インド、カナダ
63

**Sivaranjani and Two Other Women**
シヴァランジャニとふたりの女
Vasanth S. Sai
ヴァサント・S・サーイ
インド
73

**Slingshot**
どん底
Brillante Ma. Mendoza
ブリランテ・メンドーサ
フィリピン
51

**Smaller and Smaller Circles**
影の内側
Raya Martin
ラヤ・マーティン
フィリピン
71

**So Close, So Far**
こんなに近く、こんなに遠く
Reza Mir Karimi
レザ・ミル・キヤリミ
イラン
45

**Something in the Way**
タクシードライバー日誌
Teddy Soeriaatmadja
テディ・スリアアトマジャ
インドネシア
61

**Son of Mongolia**
モンゴルの息子
I. Trauberg
I. ト라우ベルク
モンゴル
21

**Song of Awakening, The**
夜明けのうた
Kurahara Koreyoshi
蔵原惟繕
日本
73

**Song of My Mother**
望郷のうた
Erol Mintaş
エロル・ミンタシュ
トルコ
65

**Song of Sparrows, The**
すずめの唄
Majid Majidi
マジド・マジティ
イラン
51, 55

**Song of the Exile**
客途秋恨
Ann Hui
アン・ホイ（許鞍華）
香港
17

**Song of the Stork**
コウトリの歌
Jonathan Foo, Nguyen Phan Quang Binh

ジョナサン・フー、グエン・ファン・クアン・ビン
ベトナム、シンガポール
43

**Sound of Light, The**
ひかりのおと
Yamasaki Juichiro
山崎樹一郎
日本
59

**Soup, One Morning, The**
ある朝スープは
Takahashi Izumi
高橋泉
日本
45

**Southbound Swallow**
小雨の歌
Lien Chin Hua
リエン・チンホア（連錦華）
台湾
41

**Southeast Asian Cinema - When the Rooster Crows**
Leonardo Cinieri Lombroso
イタリア、シンガポール
65

**Spanning Australia and Japan - The Railroad of Love**
- 豪日に架ける - 愛の鉄道
Chiba Shigeki
千葉茂樹
日本
33

**Speak Up**
BOL～声をあげる～
Shoaib Mansoor
ショエーブ・マンスール
パキスタン
59

**Speck in the Water, A**
水の中のほくら（デジタルレストア・リマスター版）
Ishmael Bernal
イシュマエル・ベルナル
フィリピン
71

**Spicy Love Soup**
スパイシー・ラブスープ
Zhang Yang
チャン・ヤン（張揚）
中国
33

**Spirit Doesn't Come Anymore, The**
祈禱師
Tsering Rhitar Sherpa
ツェリン・リタル・シエルパ
ネパール
31

**Spring, The**
春へ
Abolfazl Jalili
アボルファズル・ジャリリ
イラン
33

**Stage Door**
虎度門（フードウモン）[喝采の扉]
Shu Kei
シュウ・ケイ（舒琪）
香港
27

**Steppen**
エスタツパン
G. Aravindan
G. アラヴィンダン
インド
17

**Stirring Trip to Mutuo**
秘境モオトゥオへ…
Hasi Chaolu
ハスチャロー（哈斯朝魯）
中国
43

**Story of Pao**
パオの物語
Ngo Quang Hai
ゴー・クワン・ハイ
ベトナム
47

**Story of Zhula, The**
草原の女
Hasi Chaolu
ハスチャロー（哈斯朝魯）
中国
45

**Straight from the Heart**
心のままに
Sanjay Leela Bhansali
サンジャイ・リーラー・バンサーリー
インド
35

**Strolling Singers, The**
街角の歌
Chau Hue
チャウ・フエ
ベトナム
19

**Suddenly Dangdut**
いきなり、ダンドゥット
Rudi Soedjarwo
ルティスジャルウォ
インドネシア
49

**Suffocation**
窒息
Zhang Bingjian
チャン・ピンジエン（張秉堅）
中国
45

**Sukiyaki**
スキヤキ
Suzuki Junichi
すずきじゅんいち
日本
25

**Sun Beaten Path, The**
陽に灼けた道
Sonthar Gyal
ソントルジャ（松太加）
中国
57

**Super Citizen Ko**
超級大国民
Wan Jen
ワン・レン（萬仁）
台湾
29

**Super X.**
超人X.
Nguyen Quang Dung
グエン・クワン・ズン
ベトナム
65

**Sweet Agony**
としごろ
Alireza Davudnezhad
アリ=レザ・ダヴドネジャード
イラン
33

**Swordsman**
剣士【スウォーズマン剣士列伝】
King Hu, Tsui Hark, Ching Siu Tung
キン・フー（胡金銓）、ツイ・ハーク（徐克）、チン・シウトン（程小東）
香港
19

## T

**Taebaek Mountains, The**
太白山脈
Im Kwon Taek
イム・グォンテク（임권택／林権澤）
韓国
25

**Tailor, The**
仕立て屋
サイゴンを生きる【サイゴン・クチュール】
Kay Nguyen, Tran Buu Loc
ケイ・グエン、チャン・ビュー・ロック
ベトナム
71

***Taipei Exchanges*** 台北カフェ・ストーリー Hsiao Ya Chuan シアオ・ヤーチュアン（蕭雅全）台湾 57

***Tale of Three Sisters, A*** 三人姉妹の物語 Emin Alper エミン・アルベル トルコ 75

***Talentine*** タレンタイム Yasmin Ahmad ヤスミン・アフマド マレーシア 53

***Tales of Intransigence*** 頑固者たちの物語 Reis Çelik レイス・チェリッキ トルコ 45

***Teacher of Cyrill Alphabet, The*** 新文字先生 B. Badaruugan B・バダルオーガン モンゴル 33

***Tear of the Cold, The*** 冷たい涙 Azizollah Hamidnezhad アズイゾラー・ハミドネジャド イラン 43

***Teeth of Love*** 愛の歯 Zhuang Yuxin チュアン・ユイシン（庄宇新）中国 51

***Tehran: City of Love*** 恋の街、テヘラン Ali Jaberansari アリ・ジャベルアンサリ イラン 73

***Ten Seconds Before Sunrise*** 夜明けを待ちながら Teddy Soeriaatmadja テティ・スリアアトマジャ インドネシア 73

***Terrorist, The*** テロリスト Santosh Sivan サントーシュ・シヴァン インド 33

***That Girl in Pinafore*** シンガポール・グラフィティ Chai Yee Wei ツァイ・ユイウエイ（蔡於位）シンガポール 61

***Thatched Memories*** 草の家 Xu Geng シュイ・ゴン（徐耿）中国 35

***that's it*** ソレダケ／that's it Ishii Gakuryu 石井岳龍 日本 65

***The Obs: A Singapore Story*** Yeo Siew Hua ヨー・シユウホア（楊修華）シンガポール 67

***The Spiders' The Road to Bali*** サ・スパイダースのバリ島珍道中 Nishikawa Katsumi ニシホクキ 日本 65

***The Way We Dance*** 狂舞派 Adam Wong アダム・ウォン（黃修平）香港 61

***Then and Now*** 昔と今 Marilou Diaz-Abaya マリルー・ディアス=アバヤ フィリピン 43

***There was Once a Time When…*** メタオ Viet Linh ヴィエト・リン ベトナム 41

***Three-oh-One, Three-oh-Two*** 301・302 Park Chul Soo パク・チュルス（박철수／朴哲洙）韓国 27

***Through Sunglasses*** ふたりのミナ Mohammad Hossein Latifi モハマド・ホセイン・ラティフィ イラン 39

***Tick Tack*** チック・タック Mohammad-Ali Talebi モハマッド=アリ・タレビ イラン 25

***Time Far Past, A*** はるか遠い日 Ho Quang Minh ホー・クワン・ミン ベトナム、フランス 45

***Time for Drunken Horses, A*** 酔っぱらった馬の時間 Bahman Ghobadi バフマン・ゴバティ イラン 37

***Timeline*** タイムライン Nonzee Nimibutr ノンスイー・ニミブット タイ 63

***To Love*** 愛する Kumai Kei 熊井啓 日本 29

***Together*** 少し恋して、ちよっと愛して Hsu Chao Jen シュイ・チャオレン（許肇任）台湾 61

***Toilet*** トイレット Ogigami Naoko 荻上直子 日本 57

***Tokyo Olympiad*** 東京オリンピック Ichikawa Kon 市川崑 日本 61

***Tokyo Sonata*** トウキョウソナタ Kurosawa Kiyoshi 黒沢清 日本 55

***Tomorrow-Farda-*** 旅の途中で -FARDA- Nakayama Setsuo 中山節夫 イラン、日本 39

***Tony Takitani*** トニー滝谷 Ichikawa Jun 市川準 日本 71

***Tool*** 道具 Yoon Yong-A ユン・ヨンア（윤용아）韓国 49

***Touch Me Not*** ノリ・メ・タンヘレ Gerardo de Leon ヘラルド・テ・レオン フィリピン 27

***Tree House, The*** 樹上の家 Truong Minh Quý チューン・ミン・クイ ベトナム 75

***Tree Without Roots, A*** 根のない樹 Tanvir Mokammel タンビール・モカンメル バングラデシュ 39

***Tropical Fish*** 熱帯魚 Chen Yu Hsun チェン・ユージュン（陳玉勳）台湾 27

***True Hearted, The*** 心の香り Sun Zhou スン・チョウ（孫周）中国 19,35

***True Noon*** トゥルナー・ヌーン Nosir Saidov ノシール・サイドフ タジキスタン 55

***True Women for Sale*** 崖っぷちの女たち Herman Yau ハーマン・ヤウ（邱禮濤）香港 53

***Tumur of Mountain*** 逃亡者トゥムル O. Bat-ulzii O. バトウルズイー モンゴル 45

***Turn Over*** 二人日和（ふたりびより）Nomura Keiichi 野村恵一 日本 45

***Tuya's Marriage*** トゥーヤの結婚 [トゥヤーの結婚] Wang Quanan ワン・チュアンアン（王全安）中国 49

***Twenty*** セレモニーホール Abdolreza Kahani アブドレザ・カハニー イラン 55

***Twilight*** 黄昏 G. Aravindan G. アラヴインダン インド 17

***Twisted*** ねじきれ奇譚 Chai Yee Wei ツァイ・ユイウエイ（蔡於位）シンガポール 59

***Two Great Sheep*** ようこそ、羊さま Liu Hao リイウ・ハオ（劉浩）中国 45

***Two Guys*** あぶない奴ら〜 TOW GUYS〜 Park Hun Soo パク・ホンス（박현수）韓国 45

***Two Worlds, The*** アナザー・ワールド Cherd Songsri チャード・ソンスイー タイ 19

## U

***Uncle Pasikom*** パシコムおじさん Chaerul Umam ハエルル・ウマム インドネシア 19

***Under the Bridge*** その橋の下で H. D. Premaratne H. D. プレーマラトゥナ スリランカ 23

***Under the Skin of the City*** 街の陰 Rakhshan Bani-Etemad ラクシャン・バニエテムド イラン 37

***Unfortunate Fortune, An*** 至福の禍 N. Nyamdawaa N. ニヤムダワー モンゴル 21

***Unripe Pomegranates*** 未熟なざくら Majid-Reza Mostafavi マジドレザ・モスタファアウイ イラン 65

***Unseeable, The*** 見えざる者 Wisit Sasanatieng ウィシット・サーサナティアン タイ 69

***Utamaro and His Five Women*** 歌麿をめぐる五人の女 Mizoguchi Kenji 溝口健二 日本 63

***Utamaro's World*** 歌麿 夢と知りせば Jissoji Akio 実相寺昭雄 日本 63

## V

***Valley of Saints*** 聖者の谷 Musa Syeed ムーサー・サイド インド、アメリカ 61

***Vanaja*** ヴァナジャ Rajnesh Domalpalli ラージネーシュ・ドーマラパッリ インド、アメリカ 49

***Vanishing Trade, A*** ゴビを渡るフィルム D. Tsenddorj, T. Sarantuya D. ツェンドルジ、T. サラントヤー モンゴル 37

***Village of Dreams*** 絵の中のほくの村 Higashi Yoichi 東陽一 日本 27

***Village of No Return, The*** 健忘村 Chen Yu Hsun チェン・ユージュン（陳玉勳）台湾 69

***Violinist*** バイオリン弾き Mohammad Ali Talebi モハマド=アリ・タレビ イラン 69

## W

***Wait for Tomorrow*** あした晴れるか Nakahira Ko 中平康 日本 75

***Wall, The*** カンペーン Boonsong Nakphoo ブンソン・ナークプー タイ 73

***Walls Within*** 城壁 Prasanna Vithanage プラサンナ・ヴィターナゲー スリランカ 29

***Walnut Tree*** くるみの木 Yerlan Nurmukhambetov エルラン・ヌルムハンベトフ カザフスタン 67

***WARABINOKOU - to the bracken fields*** 蕨野行（わらびのこ）Onchi Hideko 恩地日出男 日本 41

***Warmth of the Old House*** 老年萬歳 Chang Pei Cheng チャン・ペイチェン（張佩成）台湾 29

***Warship that Walked on Land, The*** 陸（おか）に上った軍艦 Yamamoto Yasuhiro 山本保博 日本 49

***Water*** とらわれの水 Deepa Mehta ティーバ・メータ インド、カナダ 49

***Way Home, The*** おばあちゃんの家 Lee Jung Hyang イ・ジョンヒャン（이정향）韓国 39

***Way of the Lotus, The*** 蓮の道 Tissa Abeysekera ティツサ・アペーセーカラ スリランカ 23,39

***Way We Are, The*** 生きていく日々 Ann Hui アン・ホイ（許鞍華）香港 51

***We Are Moluccans*** モルツカの光 Angga Dwimas Sasongko アンガ・ドウィマス・サソニコ インドネシア 65

***Wedding Banquet, The*** ウェディング・バンケット Lee Ang リー・アン（李安）台湾 21,51

***Welcome to Sajjanpur*** ようこそサッジャンプルへ Shyam Benegal シャーム・ベネガル インド 53

***What' s With Love?*** ビューティフル・テイズ Rudi Soedjarwo ルティ・スジャルウォ インドネシア 67

***What's With Love 2*** 再会の時〜ビューティフル・テイズ 2〜 Riri Riza リリ・リザ インドネシア 67

***Wheel, The*** 車輪 Morshedul Islam モルシエドウル・イスラム バングラデシュ 25

***When I Turned Nine*** 僕が9歳になったら【僕が9歳だったころ】 Yun In Ho ユン・イノ（윤인호）韓国 43

***When Miracle Meets Maths*** この街に心揺れて Lin Chun Yang リン・ジュンヤン（林君陽）台湾 67

***When Ruoma was Seventeen*** ルオマは17歳【雲南の少女ルオマの初恋】 Zhang Jiarui チアン・チアルイ（章家瑞）中国 43

***Where is the Friend's Home?*** 友だちのうちはどこ？ Abbas Kiarostami アッバス・キアロスタミ イラン 21

***Where the Sun Rises*** ここに陽はのぼる ～東ティモール独立への道 Grace Phan グレース・パン シンガポール、東ティモール 49

***Where the Sun Sets*** 日が沈むところ Lester James Peries レスター・ジェームス・ピーリス スリランカ 23

***Whisper with the Wind*** 風のささやき Shahram Alidi シャフラム・アリーティ イラク 55

***Whispers*** ささやき Parviz Shahbazi パルビズ・シャーバズィ イラン 35

***Whispers and Moans*** セックスワーカー Herman Yau ハーマン・ヤウ（邱禮濤）香港 55

***White Page*** 空白のページ Ho Quang Minh ホー・クワン・ミン カンボジア 19

***White Shadows*** 白い影 Sunil Ariyaratna スニル・アーリヤラトゥナ スリランカ 39

***White Silk Dress, The*** アオザイ Luu Huynh Luu リュー・フイン・リュウ ベトナム 49,55

***White Valentine*** ホワイト・バレンタイン Yang Yun Ho ヤン・ユノ（양윤호）韓国 43

***Who is Running?*** 運命からの逃走 Oxide Pang オキサイド・パン タイ 31

***Why Is There a Yesterday?*** あの時、なぜ！ Joel Lamangan ジョエル・ラマンガン フィリピン 29

***Will You Still Love Me Tomorrow?*** ウィル・ユー・ステイル・ラブ・ミー・トゥモロー？ Arvin Chen アーヴィン・チェン（陳駿霖）台湾 61

***Willow Tree, The*** 柳の木のように Majid Majidi マジド・マジディ イラン 45,55

***Winter Vacation*** 冬休みの情景 Li Hongqi リー・ホンチー（李紅旗）中国 57

***With Fire as Witness*** 誓いの炎 Shyamaprasad シャーマプラサード インド 33

***With You, Without You*** やさしい女 Prasanna Vithanage プラサンナ・ヴィターナゲー スリランカ 59

***Witness Out of the Blue, A*** 犯罪現場 Fung Chih Chiang フォン・チーチアン（馮志强）香港 75

***Wolf Cub among People*** 少年と狼 Talgat Temenov タルガット・テメノフ カザフスタン 19

***Wolves Cry Under the Moon*** 國道封閉 Ho Ping ホー・ピン（何平）台湾 31

***Woman on Fire Looks for Water*** 水辺の物語 Woo Ming Jin ウー・ミンジン（胡明進）マレーシア 55

***Women of the Weeping River*** 嘆きの河の女たち Sheron Dayoc シェロン・ダヨック フィリピン 71

***Women's Prison*** 刑務所の女たち Manijeh Hekmat マニジェ・ヘクマツト イラン 41

***Wonder Boy*** ワンダーボーイ・ストーリー Dick Lee, Daniel Yam ティック・リー、ダニエル・ヤム シンガポール 69

***Words from the Heart*** 心の言葉 O. Bat-ulzii O. バトウルズイー モンゴル 41

***World Apartment Horror*** ワールド・アパートメント・ホラー Otomo Katsuhiko 大友克洋 日本 17

## X

***Xiao Mei*** 小美（シャオメイ） Maren Hwang ホアン・ロンシエン（黃榮昇）台湾 71

## Y

***Yellow Flowers on the Green Grass*** 緑の野に黄色い花[草原に黄色い花を見つける] Victor Vu ヴィクター・ヴー ベトナム 67

***Yesterday's Promise*** あの日の約束 Joel Lamangan ジョエル・ラマンガン フィリピン 27

***Yoshino' s Barber Shop*** バーバー吉野 Ogigami Naoko 荻上直子 日本 57

***You Are the Apple of My Eye*** あの頃、君を追いかけた Giddens ギデンズ（九把刀）台湾 59

***You Will Know*** いつか判る Kim Young Jae キム・ヨンジェ（김영제）韓国 49

***You, Too, Can Make Good*** 君も出世ができる Sugawa Eizou 須川栄三 日本 61

***Yukinojo (An Actor's Revenge)*** 雪之丞変化 Ichikawa Kon 市川崑 日本 67

***Yumeji*** 夢二 Suzuki Seijun 鈴木清順 日本 17,63

## Z

***Zegen*** 女衞 ZEGEN Imamura Shohei 今村昌平 日本 65

## 邦題作品名索引   Title Index (Japanese)

邦題作品名、英題作品名、監督名（日本語）、監督名（英語）、国名の順に記載しています。

From Left to Right : Film Title, Film Director

### あ

**ああ爆弾** *Oh! My Bomb!* 岡本喜八 Okamoto Kihachi 日本 61

**愛する** *To Love* 熊井啓 Kumai Kei 日本 29

**愛すればこそ** *Because I Love You* ローリス・ギリエン Laurice Guillen フィリピン 27

**愛のさだめ** *Alaqlil Hee* J. ピンテル J. Binder モンゴル 35

**愛の歯** *Teeth of Love* チュアン・ユイシン（庄宇新） Zhuang Yuxin 中国 51

**愛は至高のもの** *Love is God* スンダル C. Sunder C. インド 43

**愛を信ず** *In Love We Trust* ワン・シャオシュアイ（王小帥） Wang Xiaoshuai 中国 51

**哀戀花火** *Red Firecracker, Green Firecracker* ハー・ピン（何平） He Ping 中国 23

**青いベール** *The Blue-Veiled* ラクシャン・バニエテマド Rakhshan Bani-Etemad イラン 25

**青いマンゴー** *The Raw Mango* アモール・パーレーカル Amol Palekar インド 35

**アオザイ** *The White Silk Dress* リュー・フイン・リュウ Luu Huynh Luu ベトナム 49,55

**蒼ざめた時刻** *The Blue Hour* アヌチャー・ブンヤワツタナ Anucha Boonyawatana タイ 65

**青空がほくの家** *My Sky, My Home* スラメット・ラハルジヨ・ジャロット Slamet Rahardjo Djarot インドネシア 17

**赤い柿** *Red Persimmon* ワン・トン（王童） Wang Tong 台湾 29

**赤い季節の忘却** *Red Amnesia* ワン・シャオシュアイ（王小帥） Wang Xiaoshuai 中国 65

**あかね色の空を見たよ** *Hope beyond the Crimson Skies* 中山節夫 Nakayama Setsuo 日本 35

**悪女列傳** *Bad Girl Trilogy* 台湾 33

**2番手のクイーン** *Queen of the Bench* ウォン・ヤオティン（溫耀庭） Wen Yao Ting

**私の可愛い拳銃 (ピストル)** *My Own Personal Gun* リン・チンジエ（林靖傑） Lin Jing Jie

**猫ちゃん、犬ちゃん** *A Dog from Hong Kong* チャン・イン・ユウ（詹穎瑜） Chan Ying Yu

**アクスアット** *Aksuat* セリック・アプリモフ Serik Aprymov カザフスタン 37

**朝よ 来ないで** *The Golden Key* レ・ホアン Le Hoang ベトナム 37

**アジア三面鏡 2016：リフレクションズ** *Asian Three-Fold Mirror 2016: Reflections* 日本 69

**SHINIUMA Dead Horse** ブリランテ・メンドーサ Brillante Ma Mendoza

**鳩 Pigeon** 行定勲 Yukisada Isao

**Beyond The Bridge** ソト・クオーリーカー Sotho Kulikar

**あじさいの歌** *Blossoms of Love* 滝沢英輔 Takizawa Eisuke 日本 75

**明日から幸せな人になろう** *From Tomorrow On, I Will* イヴァン・マルコヴィッチ、ウー・リンフォン Ivan Marković, Wu Linfeng 中国、セルビア 75

**あした晴れるか** *Wait for Tomorrow* 中平康 Nakahira Ko 日本 75

**明日への戴冠** *The Crown* エカチャイ・スイーウイチャイ Akechai Srivichai タイ 69

**あたしが踊る！** *I Want to Dance* フー・シュー（胡庶） Hu Shu 中国 49

**熱海殺人事件** *The Atami Murder Case* 高橋和男 Takahashi Kazuo 日本 67

**アドナン中尉** *Lieutenant Adnan* アズイス・M・オスマン Aziz M. Osman マレーシア 37

**アナザー・ワールド** *The Two Worlds* チャード・ソンスイー Cherd Songsri タイ 19

**あなたがいない時** *In Your Absence* O. バトウルズイー O. Bat-ulzii モンゴル 47

**あなたなしでは生きていけない** *No Puedo Vivir Sin Ti* レオン・ダイ（戴立忍） Leon Dai Li Ren 台湾 53

**あなたに夢中で** *Loving Someone* ホセ・ハヴァール・レイエス Jose Javier Reyes フィリピン 27

**貴女のためにたたかう** *Redeem Her Honor* マリルー・ティアス=アバヤ Marilou Diaz-Abaya フィリピン 25, 37

**あの頃、君を追いかけた** *You Are the Apple of My Eye* ギデンズ（九把刀） Giddens 台湾 59

**あの時、なぜ！** *Why Is There a Yesterday?* ジョエル・ラマンガン Joel Lamangan フィリピン 29

**あの日の約束** *Yesterday's Promise* ジョエル・ラマンガン Joel Lamangan フィリピン 27

**あの時に思いを** *The Moment* ウォン・クオツフアイ（黃國輝） Wong Kwok Fai 香港 67

**アパートメント** *Collective Flat* ヴィエト・リン Viet Linh ベトナム 33

**アバウト・エリ** **【彼女が消えた浜辺】** *About Elly* アスガー・ファルハディ Asghar Farhadi イラン 53,59

**あぶない奴ら〜TOW GUYS〜** *Two Guys* パク・ホンス（박헌수） Park Hun Soo 韓国 45

**アメリカン・アドボ** *American Adobo* ローリス・ギリエン Laurice Guillen フィリピン 41

**アモク** *Amok* ローレンス・ファハルド Lawrence Fajardo フィリピン 59

**蟻の兵隊** *The Ants* 池谷薫 Ikeya Kaoru 日本 47

**ありふれた話** *Mundane History* アノーチャ・スウィチャーゴーンポン Anocha Suwichakornpong タイ 55,75

**ある朝スープは** *The Soup, One Morning* 高橋泉 Takahashi Izumi 日本 45

**ある女の一生** *Kuei-Mei, A Woman* チャン・イ（張毅） Chang Yi 台湾 29

**ある時一度** *Once upon a Time* バンティット・リッタコン Bhandit Rittakol タイ 25

**アルファ 殺しの権利** *Alpha, The Right To Kill* ブリランテ・メンドーサ Brillante Ma. Mendoza フィリピン 73

**安居** **【榕樹の丘へ】** *Live at Peace* フー・ピンリウ（胡炳榴） Hu Bing Liu 中国 31

**暗殺** *Assassination/The Assassin* 篠田正浩 Shinoda Masahiro 日本 61

**生きていく日々** *The Way We Are* アン・ホイ（許鞍華） Ann Hui 香港 51

**いきなり、ダンドゥット** *Suddenly Dangdut* ルティ・スジャルウォ Rudi Soedjarwo インドネシア 49

**生きる** *Alive* パク・ジョンボム（박정범） Park Jungbum 韓国 65

**生きるために** *A Borer for Life* レザ・アザミアン Reza Azamian イラン 45

**異人たちとの夏** *The Discarnates* 大林宣彦 Obayashi Nobuhiko 日本 69

**無花果の顔** *Faces of a Fig Tree* 桃井かおり Momoi Kaori 日本 55

**一度でいいからキスしたい** *Bird-Man Tale* ガリン・ヌグロホ Garin Nugroho インドネシア 43

**いつか暗くなるときに（暗くなるまでには）** *By the Time It Gets Dark* アノーチャ・スウィチャーゴーンポン Anocha Suwichakornpong タイ 69,75

**いつか判る** *You Will Know* キム・ヨンジェ（김영제） Kim Young Jae 韓国 49

**山猪温泉** *The Boar King* クオ・チェンティ（郭珍弟） Kuo Chen Ti 台湾 63

**祈り** *Gone, Gone, Forever Gone* ホー・クワン・ミン Ho Quang Minh スイス、ベトナム 27

**癒やされた地** *Living in Fear* ブイ・タク・チュエン Bui Thac Chuyen ベトナム 47

**イリ** *Iri* チャン・リュル（張律／장률） Zhang Lu 韓国 53

**飲食男女** **【恋人たちの食卓】** *Eat Drink Man Woman* リー・アン（李安） Lee Ang 台湾 23, 51

**インターナショナル** *The International* スツル・スレイヤ・オンドル、ムハツレム・ギェルメズ Sirri Sureyya Önder ,Muharrem Gülmez トルコ 51

**インビジブル** *Invisible* ローレンス・ファハルド Lawrence Fajardo フィリピン 65

**ヴァナジャ** *Vanaja* ラージネーシュ・ドーマラバツリ Rajnesh Domalpalli インド、アメリカ 49

**ウィル・ユー・スティル・ラブ・ミー・トゥモロー？** *Will You Still Love Me Tomorrow?* アーヴィン・チェン（陳駿霖） Arvin Chen 台湾 61

**ウェディング・キャンペーン** *My Wedding Campaign* ファン・ビョングク（황병국） Hwang Byeng Gug 韓国 47

**ウェディング・バンケット** *The Wedding Banquet* リー・アン（李安） Lee Ang 台湾 21, 51

**歌って** *Don't Cry* アミール・カラクーロフ Amir Karakulov カザフスタン 41

**歌麿 夢と知りせば** *Utamaro's World* 実相寺昭雄 Jissoji Akio 日本 63

**歌麿をめぐる五人の女** *Utamaro and His Five Women* 溝口健二 Mizoguchi Kenji 日本 63

**美しい都市 (まち)** *Beautiful City* アスガー・ファルハディ Asghar Farhadi イラン 59

**美しい夏キリシマ** *Kirishima 1945* 黒木和雄 Kuroki Kazuo 日本 39

**腕輪を売る男** *Balekempa* イーレー・ガウダ Ere Gowda インド 71

**乳母車** *A Baby Carriage* 田坂具隆 Tasaka Tomotaka 日本 75

**海に抱かれて** *In the Navel of the Sea* マリルー・ティアス=アバヤ Marilou Diaz-Abaya フィリピン 31, 37

**海辺の女たち** *Oyster Girl* リー・チャ（李嘉）リー・シン（李行） Lee Chia, Lee Hsing 台湾 29

**裏側の子どもたち** *Children of Secret* アイドゥン・サイマン、ウミット・C・ギユベン Aydin Sayman, Ümit C. Güven トルコ 43

**噂の男** *The Master* ナワボン・タムロンラタナリット Nawapol Thamrongrattanarit タイ 69

**運転手の恋** *The Cabbie* チャン・ホアクン（張華坤）チェン・イーウェン（陳以文） Chang Hwa Kun, Chen Yi Wen 台湾 37

**運命からの逃走** *Who is Running?* オキサイド・パン Oxide Pang タイ 31

**運命線** *The Line of Destiny* レスター・ジェームス・ピーリス Lester James Peries スリランカ 23, 35

**永遠探しの3日間** *3 Days to Forever* リリ・リザ Riri Riza インドネシア 49

**EIGHTEEN ～旋風～** *Eighteen* チャン・ゴンジェ（장건제） Jang Kun Jae 韓国 55

**エイン** *EIN* モンテインダン Maung Thein Dan 日本 47

**エスタツパン** *Stephen G. アラヴィンダン* G. Aravindan インド 17

**絵の裏** *Behind the Painting* チャード・ソンスイー Cherd Songsri タイ 37,47

**絵の中の池** *The Painting Pool* マズイヤール・ミーリー Maziar Miri イラン 63

**絵の中のほくの村** *Village of Dreams* 東陽一 Higashi Yoichi 日本 27

**延安の娘** *Daughter from Yan'an* 池谷薫 Ikeya Kaoru 日本 41

**演説者** *Orator* ユスフ・ラジコフ Yusup Razykov ウズベキスタン 39

**遺雷** *Enrai* 根岸吉太郎 Negishi Kichitaro 日本 59

**オアシス** *Oasis* イ・チャンドン（이창동／李滄東） Lee Chang Dong 韓国 41, 61

**追いつ追われつ** *Senario Again* アズイス・M・オスマン Aziz M. Osman マレーシア 37

**黄金杖秘聞** *The Golden Cane Warrior* イファ・イスファンジャ Ifa Isfanyah インドネシア 65

**黄金のシーター** *Golden Sita* G. アラヴィンダン G. Aravindan インド 17

**押繪と旅する男** *Mirage* 川島透 Kawashima Toru 日本 21

**オー！マイDJ** *Au Revoir, UFO* キム・ジンミン（김진민） Kim Jin Min 韓国 43

**大芝居** *The Great Actor* ソク・ミヌ（석민우） Seok Min Woo 韓国 67

**オーム・シャンティ・オーム** *Om Shanti Om* ファラー・カーン Farah Khan インド 51

**陸(おか)に上った軍艦** *The Warship that Walked on Land* 山本保博 Yamamoto Yasuhiro 日本 49

**贈り物** *Gift* イ・イニ（이인익） Lee In Eui 韓国 49

**おせっかいはいNO、愛はOK** *Love is Oh Yeah* キム・ユジン（김유진／金裕珍） Kim Yoo Jin 韓国 23

**お父ちゃんの初七日** *Seven Days in Heaven* ワン・ユイリン（王育麟）エッセイ・リウ（劉梓潔） Wang Yulin, Essay Liu 台湾 55

**男が踊るとき** *Men's Dance* ユスフ・ラジコフ Yusup Razykov ウズベキスタン 45

**おばあちゃんの家** *The Way Home* イ・ジョンヒヤン（이정향） Lee Jung Hyang 韓国 39

**お引越し** *Moving* 相米慎二 Somai Shinji 日本 71

**オペラジャワ** *Opera Jawa* ガリン・ヌグロホ Garin Nugroho インドネシア 65

**おやすみなさい、兵士たち** *Goodbye, Life* エンスイエ・シャー・ホセイニー Ensieh Shah-Hosseini イラン 47

**追われた人々** *The Dispossessed* G. アラヴィンダン G. Aravindan インド 17

### か

**開闢 (かいびやく)** *Kae Byok* イム・グォンテク（임권택／林権澤） Im Kwon Taek 韓国 21

**凱里ブルース** *Kaili Blues* ビー・ガン（毕赣） Bi Gan 中国 67

**崖つぶちの女たち** *True Women for Sale* ハーマン・ヤウ（邱禮濤） Herman Yau 香港 53

**影の内側** *Smaller and Smaller Circles* ラヤ・マーティン Raya Martin フィリピン 71

**カシミールの秋** *Autumn* アーミル・バシール Aamir Bashir インド 57

**ガス・ステーション** *A Gas Station* タンワリン・スカピシット Tanwarin Sukkhapsit タイ 69

**枷 (かせ)** *Shackles* ナンサリーン・オランチメグ N. Uranchimeg モンゴル 21

**風と砂の女** *Desert Dream* チャン・リュル（張律／장률） Zhang Lu モンゴル、韓国 49,73

**風のささやき** *Whisper with the Wind* シャフラム・アリーティ Shahram Alidi イラク 55



## か

**風は記憶** *Memories of the Wind* オズジャン・アルベル Özcan Alper トルコ 67

**カティの幸せ** *The Happiness of Kati* ジェーンワイ・トンティーンーク Genwai Thongdenok タイ 53

**悲しみを聴く石** *The Patience Stone* アティグ・ラヒミ Atiq Rahimi アフガニスタン 61

**彼女が消えた浜辺【アバウト・エリ】** *About Elly* アスガー・ファルハティ Asghar Farhadi イラン 53,59

**カハーニー／物語【女神は二度微笑む】** *Kahaani* スジヨイ・ゴージュ Sujoy Ghosh インド 59

**蒲田行進曲** *Fall Guy* 深作欣二 Fukasaku Kinji 日本 67

**神さまへの贈り物** *Bag of Rice* モハマッド＝アリ・タレビ Mohammad-Ali Talebi イラン 27

**神に誓って** *In the Name of God* ショエーブ・マンスール Shoaib Mansoor パキスタン 51,55

**神の与えしもの** *Creation* T. ハリハラン T. Hariharan インド 21

**神の戯れ** *The Play of God* ジャヤラージ Jayaraaj インド 31

**神の眼の元に** *God's Eye View* イ・ジャンホ (이장호／李長鎬) Lee Jang Ho 韓国 63

**神も人も犬も** *God Man Dog* チェン・シンイー (陳芯宜) Chen Singing 台湾 51

**かもめ食堂** *Kamome Diner* 荻上直子 Ogigami Naoko 日本 57

**カラー・オブ・パラダイス【太陽は、ぼくの瞳】** *The Color of Paradise* マジド・マジディ Majid Majidi イラン 33,55

**玻璃の城** *City of Glass* メイベル・チャン (張婉婷) Cheung Yuen Ting 香港 33

**下流人生** *Raging Years* イム・グォンテク (임권택／林權澤) Im Kwon Taek 韓国 43

**カルナル～愛の不条理** *Of the Flesh* マリルー・ティアス＝アバヤ Marilou Diaz-Abaya フィリピン 37

**乾いた花** *Pale Flower* 篠田正浩 Shinoda Masahiro 日本 61

**川島芳子** *The Last Princess of Manchuria (Kawashima Yoshiko)* エディ・フォン (方令正) Fong Ling Ching (Eddie Fong) 香港 17

**河の女** *The Girl on the River* ダン・ニャット・ミン Dang Nhat Minh ベトナム 19

**川の流れるように** *Down Stream* チー・ソウ・トン Kyi Soe Tun ミャンマー 23

**河は流れる** *And the River Flows* ジャヌ・バルア Jahnü Barua インド 35

**頑固者たちの物語** *Tales of Intransigence* レイス・チェリツキ Reis Çelik トルコ 45

**歓待** *Hospitalité* 深田晃司 Fukada Koji 日本 57

**カンペーン** *The Wall* ブンソン・ナークプー Boonsong Nakphoo タイ 73

**鬼子来了【鬼が来た】** *Devils on the Doorstep* チアン・ウェン (姜文) Jiang Wen 中国 37

**GIE** *Gie* リリ・リザ Riri Riza インドネシア 47

**帰還** *The Return* ダン・ニャット・ミン Dang Nhat Minh ベトナム 23

**祈禱師** *The Spirit Doesn't Come Anymore* ツェリン・リタール・シェルバ Tsering Rhitar Sherpa ネパール 31

**きのう、平和の夢を見た** *Don't Burn* ダン・ニャット・ミン Dang Nhat Minh ベトナム 53,55

**牙** *The Fang* バヤンツァガーネ・バートル Bayanzagane Baatar モンゴル 21

**騎馬民族国家・第3編「高句麗」** *The Land of Equestrian People, vol.3: Koguryo* パク・キルス (박길수／朴吉洙) ソン・チグク (成到國) Pak Kil Su, Song Chi Guk 北朝鮮 17

**希望の行方** *The Immigrants* サイー・パラーンジペー Sai Paranjpye インド 17

**君も出世ができる** *You, Too, Can Make Good* 須川栄三 Sugawa Eizou 日本 61

**客途秋恨** *Song of the Exile* アン・ホイ (許鞍華) Ann Hui 香港 17

**兄弟** *Brother* テオナ・ムグヴァラゼ、ティエリ・グルナド Tèona Mghvdeladze, Thierry Grenade ジョージア 63

**狂舞派** *The Way We Dance* アダム・ウオン (黃修平) Adam Wong 香港 61

**きらめきの季節／美麗時光** *The Best of Times* チャン・ツォーチ (張作驥) Chang Tso Chi 台湾、日本 39

**霧の中の記憶** *Memories in the Mist* ブッダナーブ・ダスグプタ Buddhadeb Dasgupta インド 47

**キルドム** *Gilsodom* イム・グォンテク (임권택／林權澤) Im Kwon Taek 韓国 17,35

**キロメートル・ゼロ** *Kilometre Zero* ヒネル・サリーム Hiner Saleem イラク 47

**禁断の扉** *The Forbidden Door* ジョコ・アンワル Joko Anwar インドネシア 55

**グアバの季節** *Guava House* ダン・ニャット・ミン Dang Nhat Minh ベトナム 39

**空白～迷惘・ハンセン病報道～** *Kuhaku* 井上佳子 Inoue Keiko 日本 43

**空白のページ** *White Page* ホー・クアン・ミン Ho Quang Minh カンボジア 19

**クエン ～さらば、ベルリンの壁よ～** *Farewell, Berlin Wall* グエン・ファン・クワン・ビン Nguyen Phan Quang Binh ベトナム 67

**9月** *The September* ジェミル・アアジックオウル Cemil Agacikoglu トルコ 59

**草の家** *Thatched Memories* シュエイ・ゴン (徐耿) Xu Geng 中国 35

**グッバイ・トゥモロー** *Goodbye Tomorrow* レイス・チェリツキ Reis Çelik トルコ 33

**苦難の時代** *The Seventies* チト・S・ロニーヨ Chito S. Roño フィリピン 43

**苦難の大地** *Dukhai* モルシエドウル・イスラム Morshedul Islam バングラデシュ 29

**国のない国旗** *A Flag Without a Country* バフマン・ゴバティ Bahman Ghobadi イラク 67

**熊笹の遺言** *Live Forever* 今田哲史 Imada Satoshi 日本 43

**雲の下を** *Beneath Clouds* イワン・セン Ivan Sen オーストラリア 41

**暗くなるまでには(いつか暗くなるときに)** *By the Time It Gets Dark* アーチャ・スウィチャーゴーンボン Anocha Suwichakornpong タイ 69,75

**クラビ、2562** *Krabi, 2562* ベン・リヴァース、アーチャー・スウィチャーゴーンボン Ben Rivers, Anocha Suwihchakornpong イギリス、タイ 75

**グリーン・フィッシュ** *Green Fish* イ・チャンドン (이창동／李滄東) Lee Chang Dong 韓国 61

**クルドサック** *Kuldesak* リリ・リザ、ミラ・レスmana、ナン T. アハナス、リザル・マントフアニ Riri Riza, Mira Lesmana, Nan T. Achnas, Rizal Mantovani インドネシア 65

**車の影に** *Chassis* アドルフォ・ボリナガ・アリックス Jr. Adolfo Borinaga Alix Jr. フィリピン 57

**くるみの木** *Walnut Tree* エルラン・ヌルムハンベトフ Yerlan Nurmukhambetov カザフスタン 67

**くるりのこと** *All Around Us* 橋口亮輔 Hashiguchi Ryosuke 日本 71

**グレイスランド** *Graceland* アーチャー・スウィチャーゴーンボン Anocha Suwichakornpong タイ 49,75

**黒いサボテン** *The Black Cactuses* レー・ザン Le Dan ベトナム 19

**黒い太陽** *Black Sun* 蔵原惟繕 Kurahara Koreyoshi 日本 73

**黒犬、吠える** *Black Dogs Barking* メフメット・バハドウル・エル、マリナ・コルバチ Mehmet Bahadir Er, Maryna Gorbach トルコ 53

**クロスファイアー** *Crossfire* リトゥボルノ・ゴージュ Rituparno Ghosh インド 31

**群山：鷺鳥を詠う** *Ode to the Goose* チャン・リュル (張律／張魯) Zhang Lu 韓国 73

**慶州** *Gyeongju* チャンリュル (張律／張魯) Zhang Lu 韓国 63

**刑務所の女たち** *Women's Prison* マニジェ・ヘクマツト Manijeh Hekmat イラン 41

**ゲーマー** *Gaamer* オレグ・センツォフ Oleg Sentsov ウクライナ 61

**ケーララの獅子** *Kerala Varma Pazhassi Raja* ハリハラン Hariharan インド 55

**ゲシエル～ぎりぎり日記** *Gesher* ワヒド・ワキリフアー Vahid Vakilifar イラン 57

**結界の男** *Man on the Edge* チョ・ジンギュ (조진규) Jo Jin Kyu 韓国 61

**結婚相談** *The Passionate Spinster* 中平康 Nakahira Ko 日本 75

**月曜日のユカ** *Only On Mondays* 中平康 Nakahira Ko 日本 61

**原郷人** *My Native Land* リー・シン (李行) Lee Hsing 台湾 29

**剣士【スウォーズマン剣士列伝】** *Swordsman* キン・フー (胡金銓)、ツイ・ハーク (徐克)、チン・シウトン (程小東) King Hu, Tsui Hark, Ching Siu Tung 香港 19

**健忘村** *The Village of No Return* チェン・ユーシユン (陳玉勳) Chen Yu Hsun 台湾 69

**原野の子ら** *Children of the Plains* 中山節夫 Nakayama Setsuo 日本 31

**恋するトマト** *Love Tomato* 南部英夫 Nanbu Hideo 日本 59

**恋するリトル・コメディアン** *The Little Comedian* ウィッタヤー・トーンユーンヨン、メート・タラトーン Vithaya Thongyuyong, Mez Tharatorn タイ 57

**恋の街、テヘラン** *Tehran: City of Love* アリ・ジャベルアンサリ Ali Jaberansari イラン 73

**恋は五・七・五!** *Koiwa Go-Shichi-Go!* 荻上直子 Ogigami Naoko 日本 57

**恋人たちの食卓(飲食男女)** *Eat drink Man Woman* リー・アン (李安) Lee Ang 台湾 23,51

**コウトリの歌** *Song of the Stork* ジョナサン・フー、グエン・ファン・クワン・ビン Jonathan Foo, Nguyen Phan Quang Binh ベトナム、シンガポール 43

**- 豪日に架ける - 愛の鉄道** *Spanning Australia and Japan - The Railroad of Love* 千葉茂樹 Chiba Shigeki 日本 33

**幸福になりたい** *Luck Trier* トウ・フイ Tu Huy ベトナム 19

**小梅姐さん** *KOUME, the Legendary Singer* 山本睦古 Yamamoto Hiko 日本 49

**香魂女** *Oilmaker's Family* シエ・フエイ (謝飛) Xie Fei 中国 21

**GO GO 70s** *Go Go 70s* チェ・ホ (최호) Choi Ho 韓国 53

**ゴーン・ショッピング!** *Gone Shopping* ウイー・リー・リン Wee Li Lin シンガポール 53

**五月の雲** *Clouds of May* スリ・ビルゲ・ジェイラン Nuri Bilge Ceylan トルコ 37

**国道封閉** *Wolves Cry Under the Moon* ホー・ピン (何平) Ho Ping 台湾 31

**告白** *The Compensation* ベナットウ・ラトゥナーヤカ Bennett Rathnayake スリランカ 39

**ここに陽はのぼる ～東ティモール独立への道** *Where the Sun Rises* グレース・パン Grace Phan シンガポール、東ティモール 49

**午後の遺言状** *A Last Note* 新藤兼人 Shindo Kaneto 日本 25

**心の言葉** *Words from the Heart* O. バトウルズイー O. Bat-ulzii モンゴル 41

**心の香り** *The True Hearted* スン・チョウ (孫周) Sun Zhou 中国 19,35

**心の調べ** *Octave* シャー・ジ、N. カルン Shaji N. Karun インド 39

**心のままに** *Straight from the Heart* サンジャイ・リーラー・バンサーリー Sanjay Leela Bhansali インド 35

**心の闇** *Dark Night of the Soul* プラサンナ・ヴィターナゲー Prasanna Vithanage スリランカ 27

**小雨の歌** *Southbound Swallow* リエン・チンホア (連錦華) Lien Chin Hua 台湾 41

**子象ちゃん** *The Catch - Naming Ceremony* G. アラヴィンダン、N. マーダヴァン・ピツライ G. Aravindan, N. Madhavan Pillai インド 17

**国境に生きる ～難民キャンプの小さな監督たち～** *Life on the Border* バフマン・ゴバティ (プロデューサー) Bahman Ghobadi (Producer) イラク 67

**ゴッドスピード** *Godspeed* チョン・モンホン (鍾孟宏) Chung Mong Hong 台湾 69

**子どもたちは死を恐れないが、お化けは怖がる** *Children Are Not Afraid of Death, Children Are Afraid of Ghosts* ロン・グアン・ロン (榮光榮) Rong Guang Rong 中国 69

**この街に心揺れて** *When Miracle Meets Maths* リン・ジュンヤン (林君陽) Lin Chun Yang 台湾 67

**湖畔の邸宅** *Mansion by the Lake* レスター・ジェームス・ピーリス Lester James Peries スリランカ 39

**ゴビの蜃気楼** *Mirage above the Gobi Desert* R. ドルジバラム R. Dorjpalam モンゴル 21

**ゴビの聖者** *Ferocious Saint Lord of Gobi* I. ニヤムガワー I. Nyamgavaa モンゴル 31,35

**ゴビを渡るフィルム** *A Vanishing Trade* D. ツェンドルジ、T. サラントヤー D. Tsenddorj, T. Sarantuya モンゴル 37

**ゴミの山の大将** *King of Rubbish-Dump* ドー・ミン・トゥアン Do Minh Tuan ベトナム 41

**これを最後に** *Once and for All* シルス・アルバンド Sirus Alvand イラン 25

**こんなに近く、こんなに遠く** *So Close, So Far* レザ・ミル・キヤリミ Reza Mir Karimi イラン 45

**ザ・カップ【ザ・カップ、夢のアンテナ】** *The Cup* ケンツェ・ノルブ Khyentse Norbu ブータン 35

**ザ・コンタクト** *The Contact* チャン・ユンヒョン (장윤현／張允炫) Chang Yoon Hyun 韓国 31

**ザ・スパイダースのバリ島珍道中** *The Spiders' The Road to Bali* 西河克己 Nishikawa Katsumi 日本 65

**ザ・デュオ** *The Duo* マニラトナム Maniratnam インド 31

**ザ・ブーツ** *The Boots* モハマッド＝アリ・タレビ Mohammad-Ali Talebi イラン 23

**ザ・リザード** *The Lizard* カマル・タブリーズイー Kamal Tabrizi イラン 43

**サーカス** *The Circus Tent* G. アラヴィンダン G. Aravindan インド 17

**サーピス圏外** *Out of Coverage* アブドルラティフ・アブドルハミド Abdullatif Abdulhamid シリア 51

**サイアム・スクエア【ミュウの歌】** *Love of Siam* チューキアット・サックウイーラクン Chookiat Sakveerakul タイ 51

**再会の時～ビューティフル・デイズ 2～** *What's With Love 2* リリ・リザ Riri Riza インドネシア 67

**サイクリスト** *The Cyclist* モフセン・マフマルバフ Mohsen Makhmalbaf イラン 17

**歲月** *Hai Nguyet* ミー・ハー My Ha ベトナム 33

**最後の舞** *The Last Dance* シャー・ジ、N. カルン Shaji N. Karun インド 35

**サイの季節** *Rhino Season* バフマン・ゴバティ Bahman Ghobadi イラク 61

**さかなの寓話** *Fable of the Fish* アドルフォ・ボリナガ・アリックス Jr. Adolfo Borinaga Alix Jr. フィリピン 59

## ク

**サガルマータ** *Sagarmatha* エミル・ヘラディ Emil Heradi インドネシア 65

**昨夜、あなたが微笑んでいた** *Last Night I Saw You Smiling* ニアン・カヴィッチ Neang Kavich カンボジア 75

**ザクロとミルラ** *Pomegranates and Myrrh* ナジワフ・ナツジャール Najwa Najjar パレスチナ 53

**酒を呑むなら** *Daytime Drinking* ノ・ヨンソク (노영석) Noh Young Seok 韓国 53

**ささやき** *Whispers* パルビズ・シャーバズィ Parviz Shahbazi イラン 35

**砂塵にままよう** *Dancing in the Dust* アスガー・ファルハディ Asghar Farhadi イラン 59

**砂塵を越えて** *Crossing The Dust* シャウキット A. コルキ Shawkat A. Korki イラク、クルディスタン 49

**裁き** *Court* チャイタニヤ・タームハネー Chaitanya Tamhane インド 65

**サビ** *Possession* ブリランテ・メンドーサ Brillante Ma. Mendoza フィリピン 63

**さまよう雄鹿** *Running Antelope* L. ニヤムガワー、N. ニヤムダワー L. Nyamgawaa, N. Nyamdawaa モンゴル 25

**サムゾンとデリラ** *Samson & Delilah* ワーウィック・ソートン Warwick Thornton オーストラリア 55

**さよならグルサルー** *Farewell, Gulsary!* アルダク・アミルクロフ Ardak Amirkulov カザフスタン 53

**サラ** *Sara* ダリウシュ・メールジュイ Dariush Mehrjui イラン 25

**サロージャー** *Saroja* ソーマラトウネ・ティサーナーヤカ Somaratne Dissanayake スリランカ 35

**三国志・第一部「英雄たちの夜明け」** *Romance of the Three Kingdoms Part1: The Dawn of Heroes* 勝間田具治 Katsumata Tomoharu 日本 17

**サンティとウィーナー (デジタル修復版)** *Santi - Vina* タウイー・ナ・バーンチャーン Thavi Na Bangchang タイ 69

**サントウール奏者** *Santouri* ダリウシュ・メールジュイ Dariush Mehrjui イラン 51

**三人姉妹の物語** *A Tale of Three Sisters* エミン・アルベル Emin Alper トルコ 75

**散歩の園** *The Garden* スミトラ・ピーリス Sumitra Peries スリランカ 43

**301・302** *Three-oh-One, Three-oh-Two* バク・チョルス (박철수/朴哲洙) Park Chul Soo 韓国 27

**三文役者** *Byplayer* 新藤兼人 Shindo Kaneto 日本 35

**山嶺の女王** *Kurmanjan Datka Queen of the Mountains* サティック・シェル・ニヤーズ Sadyk Sher-Niyaz キルギスタン 65

**鯛育** *The Catch* リティイー・パニコ Rithy Panh カンボジア 59

**シーフレット・サンシャイン** *Secret Sunshine* イ・チャンドン (이창동/李滄東) Lee Chang Dong 韓国 61

**シヴァランジャニとふたりの女** *Sivaranjani and Two Other Women* ヴァサント・S・サーイ Vasanth S. Sai インド 73

**シェリナの大冒険** *Sherina's Adventure* リリ・リザ Riri Riza インドネシア 65

**4月の終わりに霧雨が降る** *In April The Following Year, There Was a Fire* ウィチャノン・ソムウムジャーン Wichanon Somumjarn タイ 59

**時空の扉** *Lee's Adventure* クオ・ファン (郭帆)、リー・ヤン (李阳) Frant Gwo, Li Yang 中国 59

**地獄変** *Portrait of Hell* 豊田四郎 Toyoda Shiro 日本 63

**至上の掟** *Bliss* アブドッラー・オウス Abdullah Oğuz トルコ 51

**静か過ぎる町** *The Quiet Town* レー・ドゥック・ティエン Le Duc Tien ベトナム 19

**仕立て屋** **サイゴンを生きる【サイゴン・クチュール】** *The Tailor* ケイ・グエン、チャン・ビュー・ロック Kay Nguyen, Tran Buu Loc ベトナム 71

**7月32日** *July 32nd* チン・スンヒョン (진승현) Jin Seung Hyun 韓国 51

**シッドアルタ** *Siddharth* リチャー・メーヘター Richie Mehta インド、カナダ 63

**自転車で行こう** *The Road in the Air* イサク・リイ (李志勳) Isaac Li 台湾 49

**至福の禍** *An Unfortunate Fortune* N. ニヤムダワー N. Nyamdawaa モンゴル 21

**島** *The Island* ギリーシャ・カーサラヴァल्ली Girish Kasaravalli インド 39

**沙河悲歌 (シャーはーヌレレー)** *Lament of the Sand River* チャン・チイヨン (張志勇) Chang Chi Yung 台湾 35

**小美 (シャオメイ)** *Xiao Mei* ホアン・ロンシエン (黃榮昇) Maren Hwang 台湾 71

**灼熱の日々** *August Sun* プラサンナ・ヴィターナゲー Prasanna Vithanage スリランカ 41

**灼熱の屋上** *A Hot Roof* イ・ミニョン (이민용/李珉鎬) Lee Min Yong 韓国 29

**ジャツリカトゥ** *Jallikattu* リジヨー・ジョーズ・ベツリシエーリ Lijo Jose Pellissery インド 75

**シャドー・キル** *Shadow Kill* アドゥール・ゴーパーラクリシュナン Adoor Gopalakrishnan インド 41

**ジャパニーズ・ストーリー** *Japanese Story* シュー・ブルックス Sue Brooks オーストラリア 43

**写楽** *Sharaku* 篠田正浩 Shinoda Masahiro 日本 63

**砂利の道** *The Gravel Road* ティーバク・クマラン・メーナン Deepak Kumaran Menon マレーシア 45

**車輪** *The Wheel* モルシエドウル・イスラム Morshedul Islam バングラデシュ 25

**ジャングル・スクール** *The Jungle School* リリ・リザ Riri Riza インドネシア 63

**シャンハイ** *Shanghai* ティバーカル・バナルジー Dibakar Banerjee インド 61

**上海假期** *My American Grandson* アン・ホイ (許鞍華) Ann Hui 香港 19

**ジャンプ! ボーイズ** *Jump! Boys* リン・ユウシエン (林育賢) Lin Yu Hsien 台湾 45

**自由行** *A Family Tour* イン・リヤン (应亮) Ying Liang 台湾 73

**11時10分前** *10 to 11* ペリン・エスマエル Pelin Esmer トルコ 55

**10月のソナタ** *October Sonata* ソムキアット・ウィットウラニット Somkiat Vithuranich タイ 55

**十月になれば** *How I Long for October* ダン・ニャット・ミン Dang Nhat Minh ベトナム 17, 35

**十字路** *Crossroads* ナム・ロン Nam Ron マレーシア 71

**従属する者** *The Servile* アドゥール・ゴーパーラクリシュナン Adoor Gopalakrishnan インド 23

**祝祭** *Festival* イム・グオンテク (임권택/林權澤) Im Kwon Taek 韓国 27

**樹上の家** *The Tree House* チューン・ミン・クイ Truong Minh Quý ベトナム 75

**春香伝** *Chunhyang* イム・グオンテク (임권택/林權澤) Im Kwon Taek 韓国 35

**少女ヘジャル** *Hejar* ハندان・イペクチ Handan Ipekçi トルコ 41

**少女ジャーン** *Life* ジャノ・ロジエビアニーー Jano Rosebiani イラク 45

**浄土アニャン** *Anyang, Paradise City* バク・チャンギョン (박찬경) Park Chan Kyong 韓国 57

**少年とハーモニカ** *Mouth Organ* A. K. ビール A. K. Bir インド 41

**少年義勇兵** *Boys will be Boys, Boys will be Men* ユッタナー・ムクダーサニット Euthana Mukdasanit タイ 35

**少年と狼** *Wolf Cub among People* タルガット・テムノフ Talgat Temenov カザフスタン 19

**城壁** *Walls Within* プラサンナ・ヴィターナゲー Prasanna Vithanage スリランカ 29

**シヨンヤンの酒家 (みせ)** *Life Show* フォ・ジェンチイ (霍建起) Huo Jianqi 中国 41

**白い影** *White Shadows* スニル・アーリヤラトウナ Sunil Ariyaratna スリランカ 39

**新・あつい壁** *New Thick Wall* 中山節夫 Nakayama Setsuo 日本 49

**シンガポール・グラフィティ** *That Girl in Pinafore* ツァイ・ユイウエイ (蔡於位) Chai Yee Wei シンガポール 61

**新生** *Birth of a Butterfly* モジータバ・ライー Mojtaba Raie イラン 31

**新不了情 (つきせぬ想い)** *C'est la Vie, Mon Chéri* イー・タンシン (爾冬陞) Derek Yee Tung Sing 香港 23

**新文字先生** *The Teacher of Cyril Alphabet* B・バダルオーガン B. Badaruogan モンゴル 33

**親友** *Dear Dakanda* コムグリット・ドゥリーウイモン Khomkrit Treewimol タイ 47

**酔画仙** *Chihwaseon* イム・グオンテク (임권택/林權澤) Im Kwon Taek 韓国 39

**推手** *Pushing Hands* リー・アン (李安) Lee Ang 台湾 25, 51

**過ぎ去る一日** *One Day to Be Passing by* キム・ヤンヒ (김양희) Kim Yang Hee 韓国 49

**スキヤキ** *Sukiyaki* すずきじゅんいち Suzuki Junichi 日本 25

**スキヤングル** *Scandal* ヴィクター・ヴー Victor Vu ベトナム 67

**スケッチャー・オブ・Peking** *On the Beat* ニン・イン (寧瀛) Ning Ying 中国 27

**少し恋して、ちょっと愛して** *Together* シュイ・チャオレン (許肇任) Hsu Chao Jen 台湾 61

**すずめの唄** *The Song of Sparrows* マジド・マジディ Majid Majidi イラン 51, 55

**スター誕生** *Already Famous* ミシェル・チョン (庄米雪) Michelle Chong シンガポール 61

**ステファノとグレチエン** *Oseam* バク・チョルス (박철수/朴哲洙) Park Chul Soo 韓国 17

**砂のような人生** *Sandy Lives* グエン・タイン・ヴァン Nguyen Thanh Van ベトナム 35

**スニーカーの少女** *The Girl in the Sneakers* ラスール・サドレアメリ Rassul Sadr-Ameli イラン 35

**頭脳ゲーム【バッド・ジーニアス 危険な天才たち】** *Bad Genius* ナタウト・プーンピリヤ Nattawut Poonpiriya タイ 69

**スパイシー・ラブスープ** *Spicy Love Soup* チャン・ヤン (張揚) Zhang Yang 中国 33

**すばらしき大世界** *It's A Great, Great World* ケルビン・トン (唐永健) Kelvin Tong シンガポール 57

**相撲ら!** *Let's Sumo!* アフドリン・シャウキ Afdlin Shauki マレーシア 49

**スリ** *Pickpocket* リンタン・セーマゲー Linton Semage スリランカ 39

**聖者の谷** *Valley of Saints* ムーサー・サイード Musa Syeed インド、アメリカ 61

**青春デンデケデケデケ** *The Rocking Horsemen* 大林宣彦 Obayashi Nobuhiko 日本 69

**聖なる踊子** *The Dancer* イファ・イスファンシャ Ifa Isfansyah インドネシア 61

**石油地帯の子たち** *Oil Children* エブラヒム・フルゼシュ Ebrahim Forouzesht イラン 37

**女衞 ZEGEN** *Zegen* 今村昌平 Imamura Shohei 日本 65

**セックスワーカー** *Whispers and Moans* ハーマン・ヤウ (邱禮濤) Herman Yau 香港 55

**セブンレターズ** *7 Letters* シンガポール 67

<b>Cinema</b>	エリック・クー Eric Khou
<b>That Girl</b>	ジャック・ネオ Jack Neo
<b>The Flame</b>	K. ラジャゴパル K Rajagopal
<b>Bunga Sayang</b>	ロイストン・タン Royston Tan
<b>Pineapple Town</b>	タン・ピンピン Tan Pin Pin
<b>Parting</b>	ブー・ユンファン Boo Jun Feng
<b>GPS</b>	ケルビン・トン (唐永健) Kelvin Tong

**セレモニーホール** *Twenty* アブドレザ・カハニー Abdolreza Kahani イラン 55

**戦火の中へ** *Hoor on Fire* アズイゾラー・ハミドネジャド Azizollah Hamidnezhad イラン 25

**1947年・大地** *Earth* ティーバ・メータ Deepa Mehta インド、カナダ 49

**千言萬語** *Ordinary Heroes* アン・ホイ (許鞍華) Ann Hui 香港 37

**選択** *The Need* アリ=レザ・ダヴドネジャード Alireza Davudnezhad イラン 21

**草原の女** *The Story of Zhula* ハスチョロー (哈斯朝魯) Hasi Chaolu 中国 45

**早春譚** *Seasons Change* ニティワット・タラートーン Nithiwat Tharatorn タイ 49

**そこに光を** *Let There Be Light* レイス・チェリツキ Reis Çelik トルコ 31

**その木戸を通して** *Fusa* 市川崑 Ichikawa Kon 日本 23

**その橋の下で** *Under the Bridge* H. D. プレーマラトウナ H. D. Premaratne スリランカ 23

**その夏に抱かれて (Sex) Appeal** ワン・ウェイミン (王維明) Wang Weiming 台湾 65

**空の穴** *Hole in the Sky* 熊切和嘉 Kumakiri Kazuyoshi 日本 37

**それぞれの道のり** *Lakbayan (Journey)* フィリピン 73

<b>Hugaw (Dirt)</b>	ラヴ・デアス Lav Diaz
<b>Desfocado (Defocused)</b>	ブリランテ・メンドーサ Brillante Ma Mendoza
<b>Lakaran Ni kabunyan (Kabunyan's Journey)</b>	キドラット・タヒミック Kidlat Tahimik

**ソレダケ/ that's it** *that's it* 石井岳龍 Ishii Gakuryu 日本 65

## た

**ダークホース** *The Dark Horse* ジェームス・ネイピア・ロバートソン James Napier Robertson ニューージーランド 65

**ダイトウモロコ** *Die Tomorrow* ナワボン・タムロンラタナリット Nawapol Thamrongrattanarit タイ 71

**ダイヤモンド・アイランド** *Diamond Island* テイヴィ・シュー Davy Chou カンボジア 69

**退役將軍** *The Retired General* グエン・カック・ロイ Nguyen Khac Loi ベトナム 19

**大楽師** *Concerto of the Bully* フォン・チーチアン (馮志強) Fung Chi Chiang 香港 71

**大都会** *The City* H. D. プレーマラトウナ H. D. Premaratne スリランカ 23

**大仏 +** *The Great Buddha +* ホアン・シンヤオ (黃信堯) Huang Hsin Yao 台湾 71

**台北カフェ・ストーリー** *Taipei Exchanges* シアオ・ヤーチュアン (蕭雅全) Hsiao Ya Chuan 台湾 57

**タイムライン** *Timeline* ノンスイー・ニミブット Nonzee Nimitbutr タイ 63

**太陽のジャングル** *Fire Fighters* ソーマラトウネ・ティサーナーヤカ Somaratne Dissanayake スリランカ 43

**太陽の少年** *In the Heat of the Sun* チアン・ウエン（姜文） Jiang Wen 中国 29

**台湾往事** *My Bittersweet Taiwan* ジョン・ドオンテイエン（鄭洞天） Zheng Dongtian 中国 43

**タクシードライバー日誌** *Something in the Way* テディ・スリアアトマジャ Teddy Soeriaatmadja インドネシア 61

**黄昏** *Twilight* G. アラヴィンダン G. Aravindan インド 17

**漂うがごとく** *Adrift* ブイ・タク・チュエン Bui Thac Chuyen ベトナム 67

**奪命金** *Life Without Principle* ジョニー・トー（杜琪峰） Johnnie To 香港 61

**太白山脈** *The Taebaek Mountains* イム・クワンテク（임권택／林権澤） Im Kwon Taek 韓国 25

**旅路** *The Journey* シヴァン Sivan インド 33

**旅立ちの汽笛** *The Chimp* アクタン・アブテイカリコフ Aktan Abdykalykov キルギスタン 39

**旅の途中で -FARDA-** *Tomorrow-Farda-* 中山節夫 Nakayama Setsuo イラン、日本 39

**卵** *Egg* セミヒ・カブランオウル Semih Kaplanoglu トルコ 51

**誰かの妻** *Other Man's Wife* テイルマワン・ハッタ Dirmawan Hatta インドネシア 73

**タレントタイム** *Talentime* ヤスミン・アフマド Yasmin Ahmad マレーシア 53

**ダンシング・クイーン** *Dancing Queen* イ・ソクン（이석훈） Lee Seok Hoon 韓国 59

**ダンシング・ベル** *Dancing Bells* ティーバク・クマーラン・メーナン Deepak Kumaran Menon マレーシア 49

**タンロン之歌姫** *The Fate of a Songstress in Thang Long* ダオ・バー・ソン Dao Ba Son ベトナム 57

**誓いの炎** *With Fire as Witness* シャーマブラサード Shyamaprasad インド 33

**チキンライス・ウォー** *Chicken Rice War* チーク Cheek シンガポール 39

**チダンバラム** *Chidambaram* G. アラヴィンダン G. Aravindan インド 17

**父** *The Father* マジド・マジテイ Majid Majidi イラン 27、55

**父の選択** *My Father's Choice* ユエン・ヤンティン Yuen Yan Ting オランダ、中国 69

**父への電話** *A Call to Father* セリック・アプリームフ Seric Aprymov カザフスタン 71

**チック・タック** *Tick Tack* モハマド=アリ・タレビ Mohammad-Ali Talebi イラン 25

**窒息** *Suffocation* チャン・ビンジエン（張秉堅） Zhang Bingjian 中国 45

**血の抗争** *Gangs of Wasseypur* アヌラーグ・カシヤブ Anurag Kashyap インド 61

**地の果てまでも** *Last Queen of the Earth, The* モハマド・レザ・アラブ Mohammad Reza Arab イラン 49

**チュンと家族** *Ah Chung* チャン・ツォーチ（張作驥） Chang Tso Chi 台湾 29

**超級大国民** *Super Citizen Ko* ワン・レン（萬仁） Wan Jen 台湾 29

**長女** *The Eldest Daughter* スミトラ・ペーリス Sumitra Peries スリランカ 23

**超人 X**、*Super X*、グエン・クワン・ズン Nguyen Quang Dung ベトナム 65

**超夫人の地獄鍋** *Claypot Curry Killers* ジェームス・リー（李添興） James Lee マレーシア 57

**チンパオ - 陳宝的故事 -** *Chen Bao* 中田新一 Nakada Shinichi 中国、日本 33

**沈黙の夜** *Night of Silence* レイス・チェリツキ Reis Çelik トルコ 61

**月はどっちに出ている** *All Under the Moon* 崔洋一 Sai Yoichi 日本 55

**月までアナザー・トリップ** *Another Trip to the Moon* イスマイル・バスベス Ismail Basbeth インドネシア 65

**月夜の願い** *He Ain't Heavy, He's My Father* ピーター・チャン（陳可辛）、チャー・リー（李志毅） Peter Chan, Chee Lee 香港 25

**妻は、はるか日本に** *The Japanese Wife* アパルナ・セン Aparna Sen インド 57

**妻はフィリピーナ** *My wife is Filipina* 寺田靖範 Terada Yasunori 日本 23

**冷たい涙** *The Tear of the Cold* アズイゾラー・ハミドネジャド Azizollah Hamidnezhad イラン 43

**ティモール島アタンブア 39℃** *Atambua 39°Celsius* リリ・リザ Riri Riza インドネシア 61

**手のとどく限り** *Elbowroom* ハム・ギヨンク（함경록） Ham Kyoung Rock 韓国 55

**テヘランの孤独** *Lonely Tunes of Tehran* サマン・サルール Saman Salour イラン 53

**デモンズ** *Demons* ダニエル・フイ Daniel Hui シンガポール 73

**テロリスト** *The Terrorist* サントーシュ・シヴァン Santosh Sivan インド 33

**天馬茶房** *March of Happiness* リン・チェンシエン（林正盛） Lin Cheng Sheng 台湾 35

**天空の路** *The Road Under the Heavens* カマラ・カマロワ Kamara Kamalova ウズベキスタン 49

**転校生ディプー** *Dipu Number Two* モルシエドウル・イスラム Morshedul Islam バングラデシュ 31

**天使の墜落** *Angel's Fall* セミヒ・カブランオウル Semih Kaplanoglu トルコ 51

**天使のような子どもたち【運動靴と赤い金魚】** *Children of the Heaven* マジド・マジテイ Majid Majidi イラン 29、55

**伝説の男** *The Legend is Alive* リュー・フイン・リュウ Luu Huynh Luu ベトナム 53

**天の網** *Heaven's Net* フィー・ティエン・ソン Phi Tien Son ベトナム 41

**天龍一座がゆく** *Flying Dragon, Dancing Phoenix* ワン・ユイリン（王育麟） Wang Yulin 台湾 59

**トイレット** *Toilet* 荻上直子 Oigami Naoko 日本 57

**トゥーヤの結婚【トゥヤーの結婚】** *Tuya's Marriage* ワン・チュアンアン（王全安） Wang Quanan 中国 49

**東京オリンピック** *Tokyo Olympiad* 市川崑 Ichikawa Kon 日本 61

**トウキョウソナタ** *Tokyo Sonata* 黒沢清 Kurosawa Kiyoshi 日本 55

**道具** *Tool* ユン・ヨンア（윤용아） Yoon Yong-A 韓国 49

**動物園からのポストカード** *Postcards From the Zoo* エドウィン Edwin インドネシア 65

**逃亡くそたわけ-21才の夏** *Fuckin' Runaway* 本橋圭太 Motohashi Keita 日本 49

**逃亡者トゥムル** *Tumur of Mountain* O. バトウルズィー O. Bat-ulzii モンゴル 45

**トゥルー・ヌーン** *True Noon* ノシール・サイードフ Nosir Saidov タジキスタン 55

**遠い帰郷** *Return Ticket* トン・ヨンシン（鄧勇星） Teng Yung Shing 中国 57

**どこでもないところで羽ばたいて** *Flapping in the Middle of Nowhere* グエン・ホアン・ティエツプ Nguyen Hoang Diep ベトナム 67

**としごろ** *Sweet Agony* アリ=レザ・ダヴドネジャード Alireza Davudnezhad イラン 33

**トニー滝谷** *Tony Takitani* 市川準 Ichikawa Jun 日本 71

**ドバイの恋** *Dubai* ロリー・B・キントス Rory B. Quintos フィリピン 47

**飛び魚を待ちながら** *Fishing Luck* ツェン・ウエンチェン（曾文珍） Tseng Wen Chen 台湾 47

**飛びたち** *The Flight* ハントーナ・ボルドロイ Santwana Bardoloi インド 29

**扉のむこう** *Left Handed* ローレンス・スラツシュ Laurence Thrush 日本 53

**豆満江（とまんこう）** *Dooman River* チャン・リュル（張律／昝暑） Zhang Lu 中国 55、73

**友だちのうちはどこ？** *Where is the Friend's Home?* アツバス・キアロスタミ Abbas Kiarostami イラン 21

**土曜の午後** *Saturday Afternoon* モストファ・サルワル・ファルキ Mostofa Sarwar Farooki バングラデシュ 75

**囚われの美女ロロ・ムンドウツ** *Roro Mendut* アミ・プリヨノ Ami Priyono インドネシア 17

**とらわれの水** *Water* ティーバ・メータ Deepa Mehta インド、カナダ 49

**ドン** *Don* ファルハーン・アクタル Farhan Akhtar インド 49

**どん底** *Slingshot* ブリランテ・メンドーサ Brillante Ma. Mendoza フィリピン 51

**とんちんかんなボム** *Bom, The Fool* レー・ドウツク・ティエン Le Duc Tien ベトナム 19

**ドント・ルック・バック** *Don't Look Back* キム・ヨンナム（김영남） Kim Young Nam 韓国 47

## な

**なあばす・とらんすれいしょん** *Nervous Translation* シェリーン・セノ Shireen Seno フィリピン 71

**ナイト・ゴッド** *Night God* アティルハン・イェルジャノフ Adilkhan Yerzhanov カザフスタン 73

**泣かないで** *Let's not Cry!* ミン・ビヨンファン（민병훈） Min Byung Hoon 韓国 41

**流れに逆らって** *Against the Tide* スダツウ・デーワプリヤ Sudath Devapriya スリランカ 45

**ナギヨンとキヌカワ** *Nakyung and Kinukawa* 堀江貴大 Horie Takahiro 日本 69

**嘆きの河の女たち** *Women of the Weeping River* シェロン・ダヨック Sheron Dayoc フィリピン 71

**ナデルとシミン【別離】** *Nader and Simin, A Separation [A Separation]* アスガー・ファルハディ Asghar Farhadi イラン 57、59

**七つの海を越えて** *Beyond the Seven Seas* サイド・アンジウム、エスペン・トーシュテンソン Saeed Anjum, Espen Thorstenson パキスタン、ノルウェー 19

**ナビイの恋** *Nabbie' s Love* 中江裕司 Nakae Yuji 日本 55

**なりゆきな魂、** *Random Lives* 瀬々敬久 Zese Takahisa 日本 67

**男人四十** *July Rhapsody* アン・ホイ（許鞍華） Ann Hui 香港 39

**No. 10 ブルース／さらばサイゴン** *Number 10 Blues/ Goodbye, Saigon* 長田紀生 Osada Norio 日本、ベトナム 61

**難民キャンプ** *Refugee* レイス・チェリツキ Reis Çelik トルコ 53

**憎いあんちくしょう** *I Hate But Love* 蔵原惟繕 Kurahara Koreyoshi 日本 73

**虹に乗って** *Ride on the Rainbow* ジャヌ・バルア Jahnru Barua インド 39

**虹の兵士たち** *The Rainbow Troops* リリ・リザ Riri Riza インドネシア 53

**日本脱出** *Escape from Japan* 吉田喜重 Yoshida Kiju 日本 61

**人形の家** *Dollhouse* モルシエドウル・イスラム Morshedul Islam バングラデシュ 47

**人間喜劇** *The Human Comedy* ホンホン（鴻鴻） Hung Hung 台湾 41

**盗まれた花嫁** *Pure Coolness* エルネスト・アブテイジャバロフ Ernest Abdyjaparov キルギスタン 51

**ネギをサクサク、卵をボン** *Cracked Eggs & Noodles* オ・サンファン（오상훈） Oh Sang Hun 韓国 45

**ネコナデ** *Nekonade* 大森美香 Oomori Mika 日本 51

**ねじきれ奇譚** *Twisted* ツァイ・ユイウエイ（蔡於位） Chai Yee Wei シンガポール 59

**熱帯魚** *Tropical Fish* チェン・ユージュン（陳玉勳） Chen Yu Hsun 台湾 27

**環盗られ宗介** *Netorare Sosuke* 若松孝二 Wakamatsu Koji 日本 67

**根のない樹** *A Tree Without Roots* タンビール・モカンメル Tanvir Mokammel バングラデシュ 39

**ノリ・メ・タンヘレ** *Touch Me Not* ヘラルド・デ・レオン Gerardo de Leon フィリピン 27

## は

**ばあさん** *Lola* ブリランテ・メンドーサ Brillante Ma. Mendoza フィリピン 55

**バーバー吉野** *Yoshino' s Barber Shop* 荻上直子 Oigami Naoko 日本 57

**ハーモニカ** *Harmonica* アミル・ナデリ Amir Naderi イラン 25

**バイオリン弾き** *Violinist* モハマド=アリ・タレビ Mohammad Ali Talebi イラン 69

**バイオレンス** *Rage* チト・S・ローニョ Chito S. Roño フィリピン 27

**はい毎度！** *A Korean I met in Japan* ファン・ビヨングク（황병국） Hwang Byeng Gug 日本 47

**HOUSE／ハウス** *HOUSE* 大林宣彦 Obayashi Nobuhiko 日本 69

**パオの物語** *Story of Pao* ゴー・クワン・ハーイ Ngo Quang Hai ベトナム 47

**鋼のピアノ** *The Piano in a Factory* チャン・メン（張猛） Zhang Meng 中国 57

**バガへ** *The Baggage* ジグ・ドゥライ Zig Dulay フィリピン 71

**爆走自転車** *Crazy Racer* ニン・ハオ（寧浩） Ning Hao 中国 53

**はぐれ道（JAGAT 世界の残酷）** *Brutal* サンジェイ・クマール・ベルマル Shanjhey Kumar Perumal マレーシア 69

**バシコムおじさん** *Uncle Pasikom* ハエルル・ウマム Chaerul Umam インドネシア 19

**蓮の道** *The Way of the Lotus* テイツサ・アペーセーカラ Tissa Abeysekara スリランカ 23、39

**バスは夜を走る** *Night Bus* エミル・ヘラディ Emil Heradi インドネシア 71

**裸足でヘラートまで** *Barefoot to Heart* マジド・マジテイ Majid Majidi イラン 41、55

**裸足のピクニック** *Down the Drain* 矢口史靖 Yaguchi Shinobu 日本 21

**8ダック** *Baduk* マジド・マジテイ Majid Majidi イラン 55

**8月のクリスマス** *Christmas in August* ホ・ジノ（허진호／許秦豪） Hur Jin Ho 韓国 31

**881 歌え！ハバイヤ** *881* ロイストン・タン Royston Tan シンガポール 51

**ハッサン軍曹** *Sergeant Hassan* ランベルト・アヴェリャーナ Lamberto Avellana マレーシア 19

**ハッシュ！** *Hush!* 橋口亮輔 Hashiguchi Ryosuke 日本 37

**果てしなき鎖** *Shackled* ローレンス・ファハルド Lawrence Fajardo フィリピン 61

**花筐／HANAGATAMI** *Hanagatami* 大林宣彦 Obayashi Nobuhiko 日本 69

**バナナ・パラダイス** *Banana Paradise* ワン・トン（王童） Wang Tung 台湾 17、35

**HANA-BI** *HANA-BI* 北野武 Kitano Takeshi 日本 71

## は

**ハノイ、1946年冬** *Hanoi, Winter 1946* ダン・ニャット・ミン Dang Nhat Minh ベトナム 31
**ハノイの12日間** *Hanoi 12 Days and Nights* ブイ・ティン・ハック Bui Dinh Hac ベトナム 41
**ハノイの少女** *The Little Girl of Hanoi* ハーイ・ニン Hai Ninh ベトナム 19
**母** *Elegy for a Mother* レスター・ジェームス・ピーリス Lester James Peries スリランカ 47
**母ギーラーネ** *Gilaneh* ラクシャン・バニエテマド、モフセン・アブドルヴァッハーブ Rakhshan Bani-Etemad, Mohsen Abdolvahab イラン 45
**Ha Ha 上海** *Ha Ha Shanghai* クリステイン・チヨイ（崔明慧） Christine Choy 香港 37
**母と子** *Child* ロリー・B・キントス Rory B. Quintos フィリピン 37
**バボ** *BA:BO* キム・ジョングォン（김정권） Kim Jung Kwon 韓国 51
**バラナシへ** *From Seoul to Varanasi* チョン・ギユファン（전규환） Joen Kyu Hwan 韓国 59
**ハラル・ラブ** *Halal Love (and Sex)* アサド・フラッドカー Assad Fouladkar レバノン 67
**バラン**【少女の髪どめ】 *Baran* マジド・マジティ Majid Majidi イラン 37, 55
**バルウイズ** *Parviz* マジド・バルゼガル Majid Barzegar イラン 61
**はるか、ノスタルジイ** *Haruka, Nostalgie* 大林宣彦 Obayashi Nobuhiko 日本 19
**はるか遠い日** *A Time Far Past* ホー・クワン・ミン Ho Quang Minh ベトナム、フランス 45
**遥かな旅【サイゴンからの旅人】** *The Long Journey* レ・ホアン Le Hoang ベトナム 29
**春の夢** *A Quiet Dream* チャン・リュル（張律／장률） Zhang Lu 韓国 69
**ハルハ河の英雄的な頁ーノモンハン事件ー** *The Heroic Pages from the History of the Haruha River Region* トゥデビーン・チミッド Tudevin Chimid（解説者） モンゴル 19

**春へ** *The Spring* アボルファズル・ジャリリ Abolfazl Jalili イラン 33
**バロミタ** *House of Memories* アパルナ・セン Aparna Sen インド 37
**犯罪現場** *A Witness Out of the Blue* フォン・チーチアン（馮志強） Fung Chih Chiang 香港 75
**パンと詩** *Bread and Poetry* キュマルス・プリアマド Kiumars Poorahmad イラン 25, 35
**悲哀** *Pathos* ジャヤラージ Jayaraaj インド 35
**Pee Mak（原題）【愛しのゴースト】** *Pee Mak* バンジョン・ピサンタナクーン Banjong Pisanthanakun タイ 61
**日が沈むところ** *Where the Sun Sets* レスター・ジェームス・ピーリス Lester James Peries スリランカ 23
**光（ひかり）** *Guang* クイツク・シオチュアン Quek Shio Chuan マレーシア 71
**光、新たに** *New Moon* マリルー・ティアス=アバヤ Marilou Diaz-Abaya フィリピン 39
**光と陰の物語：台湾新電影** *Flowers of Taipei - Taiwan New Cinema* シェ・チンリン（謝慶鈴） Hsieh Chinlin 台湾、イタリア 65
**ひかりのおと** *The Sound of Light* 山崎樹一郎 Yamasaki Juichiro 日本 59
**轢き殺された羊** *Jinpa* ベマツェテン（万玛才旦） Pema Tseden 中国 73
**美脚の娘たち** *Long Legged Girls* ヴー・ゴク・ダン Vu Ngoc Dang ベトナム 67
**秘境モオトウオへ…** *Stirring Trip to Mutuo* ハスチョロー（哈斯朝魯） Hasi Chaolu 中国 43
**ビザさえあれば** *La Visa Loca* マーク・メイリー Mark Meily フィリピン 47
**飛天舞（ビチョンム）** *Bichunmoo* キム・ヨンジュン（김영준） Kim Young Jun 韓国 37
**ビッグ・ドリアン** *The Big Durian* アミール・ムハマド Amir Muhammad マレーシア 43
**ひと呼吸** *A Breath* サンディーブ・サーヴァント Sandeep Sawant インド 45
**ひとり** *Little Brother* セリツク・アプリモフ Serik Aprymov カザフスタン 63
**陽に灼けた道** *The Sun Beaten Path* ソンタルジヤ（松太加） Sonthar Gyal 中国 57
**ピノイ・サンデー** *Pinoy Sunday* ホー・ウィー・ティン（何蔚庭） Ho Wi Ding 台湾、フィリピン 57
**火祭り** *Fireworks Wednesday* アスガー・ファルハティ Asghar Farhadi イラン 59
**ビューティフル・デイズ** *What' s With Love?* ルテイ・スジャルウォ Rudi Soedjarwo インドネシア 67
**ビューティフル・フラワー** *A Beautiful Flower* ナビン・スッパ Nabin Subba ネパール 39
**ビルマ・ストーリーブック** *Burma Storybook* ペテル・ロム Petr Lom オランダ、ミャンマー、ルルウェー 69
**広島廿八** *Hiroshima 28* ルン・コン（龍剛） Lung Kong 香港 29
**檳榔売りの娘** *Betelnut Beauty* リン・チェンシェン（林正盛） Lin Cheng Sheng 台湾 37
**FAN** *Fan* マニーシュ・シャルマー Maneesh Sharma インド 69
**ファン・バー・カラオケ** *Fun, Bar, Karaoke* ペンエーク・ラタナルアン Pen-Ek Ratanaruang タイ 29
**風雲の聖者** *A Saint in a Turbulent Age* ツ・シエレンドルジ、L・シャラブドルジ Ts. Tserendorj, L. Sharavdorj モンゴル 21
**風音（ふうおん）** The Crying Wind 東陽一 Higashi Yoichi 日本 43
**虎度門（フドゥモン）【喝采の扉】** *Stage Door* シュウ・ケイ（舒琪） Shu Kei 香港 27
**胡同（フートン）の理髪師** *The Old Barber* ハスチョロー（哈斯朝魯） Hasi Chaolu 中国 47
**フーリッシュ・バード** *The Foolish Bird* ホアン・ジー（黃驥）、大塚竜治 Huang Ji, Otsuka Ryuji 中国 69
**4：30（フォー・サーティ）** 4:30 ロイストン・タン Royston Tan シンガポール 47
**福岡** *Fukuoka* チャン・リュル（張律／장률） Zhang Lu 韓国 73, 75
**福福荘の福ちゃん** *Fuku-chan of FukuFuku Flats* 藤田容介 Fujita Yousuke 日本 63
**福本耕平かく走りき** *Kohei's Race* 久保田傑 Kubota Suguru 日本 19
**再び森で…** *In the Forest..Again* ゴータム・ゴーシュ Goutam Ghose インド 43
**ふたりのミナ** *Through Sunglasses* モハマド・ホセイン・ラティフィ Mohammad Hossein Latifi イラン 39
**二人日和（ふたりびより）** *Turn Over* 野村恵一 Nomura Keiichi 日本 45
**淵に立つ** *Harmonium* 深田晃司 Fukada Koji 日本 67
**普通の人々** *Ordinary People* イ・ユリム（이유림） Lee Yu Rim 韓国 49
**冬休みの情景** *Winter Vacation* リー・ホンチー（李紅旗） Li Hongqi 中国 57
**無頼漢** *The Scandalous Adventures of Buraikan* 篠田正浩 Shinoda Masahiro 日本 63
**ブラインド・マッサージ** *Blind Massage* ロウ・イエ（婁燁） Lou Ye 中国 63
**プラハからの手紙** *Letters from Prague* アンガ・ドウイマス・サソニコ Angga Dwimas Sasongko インドネシア 67
**Bleak Night（原題）** *Bleak Night* ユン・ソンヒョン（윤성현） Yoon Sung Hyun 韓国 57
**ぶれない男** *A Man of Integrity* モハマド・ラスロフ Mohammad Rasoulof イラン 71

**フロール事件** *The Flor Contemplacion Story* ジョエル・ラマンガン Joel Lamangan フィリピン 27
**不惑のアダージョ** *Autumn Adagio* 井上都紀 Inoue Tsuki 日本 55
**フンバ・ドリーム** *Humba Dreams* リリ・リザ Riri Riza インドネシア 73
**平和の行進** *An Army of Peace* チェン・ダラブッド・コサル Chheng Daravuth Kosal カンボジア 31
**北京の自転車** *Beijing Bicycle* ワン・シャオシュアイ（王小帥） Wang Xiaoshuai 中国 37
**へだたり** *At a Distance* シャーマプラサード Shyamaprasad インド 43
**別離（ナデルとシミン）** *Nader and Simin, A Separation [A Separation]* アスガー・ファルハティ Asghar Farhadi イラン 57, 59
**ベトナムを懐（おも）う** *Hello Vietnam* グエン・クワン・ズン Nguyen Quang Dung ベトナム 69
**べにおしろい／紅粉** *Blush* リー・シャオフオン（李少紅） Li Shao Hong 中国 25
**ペパーミント・キャンディー** *Peppermint Candy* イ・チャンドン（이창동／李滄東） Lee Chang Dong 韓国 35, 61
**ペマニ** *Bemani* ダリウシュ・メールジュイ Dariush Mehrjui イラン 39
**変革の時代** *The Age of Kali* レスター・ジェームス・ピーリス Lester James Peries スリランカ 23
**ベンとジョティー〜珈琲哲學 第二章〜** *Ben & Jody* アンガ・ドウイマス・サソニコ Angga Dwimas Sasongko インドネシア 69
**放火犯** *The Arsonist* ウ=エイ・ビン・ハジサアリ U-wei Bin Hajisaari マレーシア 27
**望郷のうた** *Song of My Mother* エロル・ミンタシュ Erol Mintaş トルコ 65
**彷徨のゆくえ** *Fourth Direction* グルヴインダル・シング Gurvinder Singh インド 67
**ポエトリー アグネスの詩** *Poetry* イ・チャンドン（이창동／李滄東） Lee Chang Dong 韓国 61
**吠える犬は噛まない** *Barking Dogs Never Bite* ボン・ジュノ（봉준호） Bong Joon Ho 韓国 37
**僕が9歳になったら【僕が9歳だったころ】** *When I Turned Nine* ユン・イノ（윤인호） Yun In Ho 韓国 43
**北斎漫画** *Edo Porn* 新藤兼人 Shindo Kaneto 日本 63
**ほくの家出** *Shelter* シヴァン Sivan インド 21
**僕の帰る場所** *Passage of Life* 藤元明緒 Fujimoto Akio 日本 71
**ぼくは一人前** *The Little Man* エブラヒム・フルゼシユ Ebrahim Forouzesht イラン 31
**ぼくはジダン** *Little Zizou* スーニー・ターラーブルワラー Sooni Taraporevala インド 57
**ぼくはひとりぼっち** *The Alienation* モルシェドウル・イスラム Morshedul Islam バングラデシュ 45
**ぼくは詩の王様と暮らした** *My Life with a King* カルロ・エンシーソ・カトゥ Carlo Enciso Catu フィリピン 67
**僕らのオリンピック** *Olympic in Camp* マジド・マジティ Majid Majidi イラン 41, 55
**ポケットの花** *Flower in the Pocket* リユウ・センタツク（劉城達） Liew Seng Tat マレーシア 51
**ホセ・リザール** *Jose Rizal* マリルー・ティアス=アバヤ Marilou Diaz-Abaya フィリピン 33, 37
**炎** *Fire* ティーバ・メータ Deepa Mehta インド、カナダ 49
**頬にキス** *A Peck on the Cheek* マニラトナム Maniratnam インド 43
**ポリウルの夏** *Season in the Sun* イ・ミニョン（이민용／李珉鎔） Lee Min Yong 韓国 41
**ポリス・エボ** *Polis Evo* ガズ・アブ・バカル Ghaz Abu Bakar マレーシア 67
**BOL 〜声をあげる〜** *Speak Up* ショエーブ・マンズール Shoab Mansoor パキスタン 59
**ホワイト・バレンタイン** *White Valentine* ヤン・ユノ（양윤호） Yang Yun Ho 韓国 43
**ボンベイ** *Bombay* マニー・ラトナム Mani Ratnam インド 27

## け

**マイ・マザー・イズ・ア・ベリーダンサー** *My Mother is a Belly Dancer* リー・コンロツ（李公樂） Lee Kung Lok 香港 49
**マグニフィコ** *Magnifico* マーリオ・J・テ・ロス・レイエス Maryo J. de los Reyes フィリピン 41
**マザー・アローン** *Mother Alone* スミトラ・ピーリス Sumitra Peries スリランカ 31
**マジョリティ** *Majority* セレン・ユジェ Seren Yüce トルコ 57
**また逢えるなら** *Maybe Some Other Time* バハラム・ベイザイ Bahram Beizai イラン 29
**マタンゴ** *Matango* 本多猪四郎 Honda Ishiro 日本 65
**街角の歌** *The Strolling Singers* チャウ・フエ Chau Hue ベトナム 19
**街の陰** *Under the Skin of the City* ラクシャン・バニエテマド Rakhshan Bani-Etemad イラン 37
**マチャン／大脱走** *Machan* ウベルト・パソリーニ Uberto Pasolini スリランカ 53
**マッド探偵（ディテクトイブ）** *Mad Detective* ジョニー・トー（杜琪峰）、ワイ・カーファイ（韋家輝） Johnnie To, Wai Ka Fai 香港 51
**マドンナ・アンド・チャイルド** *Madonna and Child* マリルー・ティアス=アバヤ Marilou Diaz-Abaya フィリピン 27, 35, 37
**マナサロワールの愛** *Manasarovar* アヌーブ・クリアン Anup Kurian インド 45
**マニラ・スカイ** *Manila Skies* レイモンド・レッド Raymond Red フィリピン 55
**マニラ・光る爪** *Manila: In the Claws of Light* リノ・ブロッカ Lino Brocka フィリピン 19
**麻婆島（マバド）** *Mapado* チュ・チャンミン（추창민） Choo Chang Min 韓国 45
**魔法使いのおじいさん** *The Bogey-Man* G. アラヴィンダン G. Aravindan インド 17
**まぼろしの砦** *Fortress* シャーミル・ナジャフザデ Shamil Najafzada アゼルバイジャン 55
**幻の光** *Maborosi* 是枝裕和 Koreeda Hirokazu 日本 71
**ママのお客** *Mama's Guest* ダリウシュ・メールジュイ Dariush Mehrjui イラン 43
**マヨネーズ** *Mayonnaise* ユン・イノ（윤인호） Yoon In Ho 韓国 33
**マリyam** *Mariam* シャリパ・ウラズバエヴァ Sharipa Urzabayeva カザフスタン 75
**マリー・イズ・ハッピー** *Mary is Happy, Mary is Happy* ナワボン・タムロンラタナリット Nawapol Thamrongrattanarit タイ 69
**マルカド、月を喰らうもの** *Markado: The Moon Devourer* ジョー・バクス Joe Bacus フィリピン 73
**マンタレイ** *Manta Ray* プットイボン・アルンベン Phuttipong Aroonpheng タイ 73
**三池〜終わらない炭鉱(やま)の物語** *Echoes from the Miike Mine* 熊谷博子 Kumagai Hiroko 日本 45
**ミーजू** *Mheejou* スカンヤー・ウオンサターバット Sukanya Vongsthatap タイ 49
**見えざる者** *The Unseeable* ウィシット・サーサナティアン Wisit Sasanatieng タイ 69
**未熟なざくろ** *Unripe Pomegranates* マジドレザ・モスタファウイ Majid-Reza Mostafavi イラン 65
**未熟な犯罪者** *Juvenile Offender* カン・イグァン（강이관） Kang Yi Kwan 韓国 61
**見知らぬ国で** *Hello, Stranger* キム・ドンヒョン（김동현） Kim Dong Hyun 韓国 51

## お

**ミスター・ツリー** *Mr. Tree* ハン・ジェ（韩杰） Han Jie 中国 59
**Mr. & Mrs. アイヤル** *Mr. and Mrs. Iyer* アパルナ・セン Aparna Sen インド 41
**ミスター主婦クイズ王** *Mr. Housewife* ユ・ソンドン（유선동） Yoo Sun Dong 韓国 47
**ミステリー・オブ・ザ・キューブ** *The Mystery of the Cube* ジョナサン・ユー（유상욱） Jonathan You 韓国 33
**水の中のほくら** **【デジタルレストア・リマスター版】** *A Speck in the Water* イシュマエル・ベルナル Ishmael Bernal フィリピン 71
**水辺の物語** *Woman on Fire Looks for Water* ウー・ミンジン（胡明進） Woo Ming Jin マレーシア 55
**蜜を与える女(ひと)** *Honeygiver Among the Dogs* デチエン・ロデル Dechen Roder ブータン 69
**緑の野に黄色い花【草原に黄色い花を見つける】** *Yellow Flowers on the Green Grass* ヴィクター・ヴー Victor Vu ベトナム 67
**ミョンジャ・明子・ソーニャ** *Myungja-Akiko-Sonya* イ・ジャンホ（이장호／李長鎬） Lee Jang Ho 韓国 19
**未来へつづく声** *Future Lasts Forever* オズジャン・アルベル Özcan Alper トルコ 59
**ミラグロス** *Milagros* マリルー・ティアス=アバヤ Marilou Diaz-Abaya フィリピン 29,37
**魅惑** *Love-Stricken, The* アリ・ハタミ Ali Hatami イラン 33
**民衆の中の顔** *Face in the Millions* ザキル・ホセイン・ラジュ Zakir Hossain Raju バングラデシュ 19
**ミンヨン倍音の法則** *Harmonics Minyoung* 佐々木昭一郎 Sasaki Shoichiro 日本 65
**ムアとリット** *Muen and Rid* チャード・ソンスイー Cherd Songsri タイ 23
**ムーンハンター** *The Moonhunter* バンデイト・リッタコン Bhandit Rittakol タイ 39
**昔と今** *Then and Now* マリルー・ティアス=アバヤ Marilou Diaz-Abaya フィリピン 43
**無窮動** *Perpetual Motion* ニン・イン（寧瀛） Ning Ying 中国 47
**ムロアミ** *Reef Hunters* マリルー・ティアス=アバヤ Marilou Diaz-Abaya フィリピン 35,37
**冥王星の時** *The Pluto Moment* チャン・ミン（章明） Zhang Ming 中国 71
**めがね** *Megane* 荻上直子 Oigigami Naoko 日本 57
**メコン・フルムーン・パーティー** *Mekhong Full Moon Party* チラ・マリクン Jira Malikul タイ 41
**めざめ** *The Initiation* アルン・コウル Arun Kaul インド 19
**メタオ** *There was Once a Time When…* ヴィエト・リン Viet Linh ベトナム 41
**メルセデス、わが愛** *Mercedes, Mon Amour* ベイ・オカン Bay Okan トルコ 23
**メロディ** *Melody* サイー・バラーンジペー Sai Paranjpye インド 31
**殯の森** *The Mourning Forest* 河瀬直美 Kawase Naomi 日本 55
**もし、あなたなら** *If You Were Me* 韓国 41

- 大陸横断** *Crossing* ヨ・ギユンドン（여균동） Yeo Kyun Dong
- その男、事情あり** *The Man with an Affair* チョン・ジェウン（정재은） Jeong Jae Eun
- 彼女の重さ** *The Weight of Her* イム・スルレ（임순례） Yim Soon Rye
- 顔の価値** *Face Value* バク・クァンス（박광수） Park Kwang Su
- 神秘的な英語の国** *Tongue Tie* バク・ジンピョ（박진표） Park Jin Pyo
- 平和と愛は終わらない** *Never Ending Peace and Love* バク・チャヌク（박찬욱） Park Chan Wuk

**モスラ** *Mothra* 本多猪四郎 Honda Ishiro 日本 65
**モノローグ** *Monologue* アドワール・ゴーパーラクリシュナン Adoor Gopalakrishnan インド 31
**モルッカの光** *We Are Moluccans* アンガ・ドウイマス・サンソコ Angga Dwimas Sasongko インドネシア 65
**モンゴルの息子** *Son of Mongolia* I.トラウベルク I. Trauberg モンゴル 21

## や

**やさしいあなた** *Gentle* レ・ヴァン・キエト Le Van Kiet ベトナム 67
**やさしい女** *With You, Without You* プラサンナ・ヴィターナゲー Prasanna Vithanage スリランカ 59
**柳の木のように** *The Willow Tree* マジド・マジディ Majid Majidi イラン 45,55
**山の蒼い影** *The Shadow* B.バダルオーガン B. Badaruugan モンゴル 37
**勇者の道** *Path of the Brave* ユッタナー・ムクダーサニット Yuthana Mukdasanit タイ 19
**雪之丞変化** *Yukinojo (An Actor's Revenge)* 市川崑 Ichikawa Kon 日本 67
**夢追いかけて** *The Dreamer* リリ・リザ Riri Riza インドネシア 55
**夢がほんとに** *Leily is with Me* キャマル・タブリジ Kamal Tabrizi イラン 27
**夢二** *Yumeji* 鈴木清順 Suzuki Seijun 日本 17,63
**夢と現実の日々** *Dreamy Visions* ワーハ・アル=ラーヒブ Waha Alraheb シリア 45
**夢にかける女** *A Fallible Girl* コンラッド・クラーク Conrad Clark イギリス、中国 61
**夢の中のランプ** *Light in Dream* ドー・ミン・トゥアン Do Minh Tuan ベトナム 19
**夢の花びら** *Flowers of the Sky* プラサンナ・ヴィターナゲー Prasanna Vithanage スリランカ 53
**夜明けのうた** *The Song of Awakening* 蔵原惟繕 Kurahara Koreyoshi 日本 73
**夜明けを待ちながら** *Ten Seconds Before Sunrise* テディ・スリアアトマジャ Teddy Soeriaatmadja インドネシア 73
**ようこそ、羊さま** *Two Great Sheep* リイウ・ハオ（劉浩） Liu Hao 中国 45
**ようこそサッジャンプルへ** *Welcome to Sajjanpur* シヤーム・ベネガル Shyam Benegal インド 53
**幼獣マメシバ** *Mameshiba* 亀井亨 Kamei Toru 日本 53
**欲望の仮面** *Mask of Desire* ツェリン・リタール・シェルバ Tsering Rhitar Sherpa ネパール 35
**預言者ムハンマド** *Muhammad, the Messenger of God* マジド・マジディ Majid Majidi イラン 67
**予兆の森で** *Fish and Cat* シヤールム・モクリ Shahram Mokri イラン 63
**酔っぱらった馬の時間** *A Time for Drunken Horses* ハフマン・ゴバディ Bahman Ghobadi イラン 37
**夜に逃れて** *Fleeing by Night* シュー・リーコン（徐立功）、イン・チー（尹祺） Hsu Li Kong, Yin Chi 台湾 37

## ら

**Lovers' Concerto** **【永遠の片思い】** *Lovers' Concerto* イ・ハン（이한） Lee Han 韓国 41
**ラジオ・ドリーム** *Radio Dreams* ババック・ジャリリ Babak Jalali アメリカ、イラン 67
**ラスト・プレゼント** *Last Present* オ・ギファン（오기환） Oh Ki Hwan 韓国 39
**ラスト・マレー・ウーマン** *The Last Malay Women* エルマ・ファティマ Erma Fatima マレーシア 33

**ラロン** *Lalon* タンビール・モカンメル Tanvir Mokammel バングラデシュ 43
**リトル・チュン** *Little Cheung* フルーツ・チャン（陳果） Fruit Chan 香港 35
**Little Big Master** **（原題）【小さな国の大きな奇跡】** *Little Big Master* エイドリアン・クアン（關信輝） Adrian Kwan 香港 65
**李蓮英～清朝最後の宦官** *Li Lianying, The Imperial Eunuch* ティエン・チュアンチュアン（田壮社） Tian Zhuang Zhuang 中国 17
**ルオマは17歳** **【雲南の少女 ルオマの初恋】** *When Ruoma was Seventeen* チアン・チアルイ（章家瑞） Zhang Jiarui 中国 43
**レ・バ・ダン** *Le Ba Dang - from Bich La to Paris* ダン・ニャット・ミン Dang Nhat Minh ベトナム 67
**レッド・イーグル** *The Red Eagle* ウィシット・サーサナティアン Wisit Sasanatieng タイ 57
**レッド・ロータス** *The Red Lotus* ソムオック・スツティポン Som-ok Southiphone ラオス 23
**老年萬歳** *Warmth of the Old House* チャン・ペイチェン（張佩成） Chang Pei Cheng 台湾 29
**ロスト・ドラゴン** *The Lost Dragon* ゴー・クーン Ngo Cuong ベトナム 67
**ロマンス狂想曲** *Apolitical Romance* シエ・チュンイー（謝駿毅） Hsieh Chun Yi 台湾 63

## わ

**ワールド・アパートメント・ホラー** *World Apartment Horror* 大友克洋 Otomo Katsuhiro 日本 17
**わが友ラシュド** *My Friend Rashed* モルシエドウル・イスラム Morshedul Islam バングラデシュ 59
**別れの花** *Malika: The Farewell Flower* アヌチャー・ブンヤワツタナ Anucha Boonyawatana タイ 71
**私自身のもの** *My Own* シャー・ジ・N. カルン Shaji N. Karun インド 25,35
**私の生涯で最も美しい一週間** *All for Love-The Most Beautiful Week of My Life* ミン・ギユドン（민규동） Min Kyu Dong 韓国 47
**私のテヘラン** *My Tehran for Sale* グラナーズ・ムサウィー Granaz Moussavi イラン 55
**私は彼ではない** *I'm Not Him* タイフン・ピルセルムオウル Tayfun Pirselimoglu トルコ 63
**私は15歳** *I'm Taraneh, 15* ラスール・サドレアメリ Rassul Sadr-Ameli イラン 39
**私はガンディーを殺していない** *I Did Not Kill Gandhi* ジャヌ・バルア Jahnur Barua インド 47,55
**私への旅** *Pilgrimage* ワサンタ・オベーセーカラ Vasantha Obeyesekere スリランカ 39
**巖野行(わらびのこ)** *WARABINOKOU - to the bracken fields* 恩地日出男 Onchi Hideko 日本 41
**われらの歪んだ英雄** *Our Twisted Hero* バク・チヨンウォン（박종원） Park Chong Won 韓国 21
**ワン・ナイト・ハズバンド** *One Night Husband* ビムパカー・トーウイラ Pimpaka Towira タイ 41
**ワンダーボーイ・ストーリー** *Wonder Boy* ティツク・リー、ダニエル・ヤム Dick Lee, Daniel Yam シンガポール 69
**娃娃(ワウ)と子豚** *A Piggy Tail* コ・イーチョン（柯一正） Ko I Cheng 台湾 19

***The Ambassadors*** ベン・リヴァース、アノーチャ・スウィチャーゴーンボン Ben Rivers, Anocha Suwichakornpong タイ 75
***Black Mirror*** アノーチャ・スウィチャーゴーンボン Anocha Suwichakornpong タイ 75
***Don't Think I've Forgotten:Cambodia's Lost Rock and Roll*** John Pirozzi カンボジア、アメリカ 65
***Jai*** アノーチャ・スウィチャーゴーンボン Anocha Suwichakornpong タイ 75
***The Line*** アノーチャ・スウィチャーゴーンボン Anocha Suwichakornpong タイ 75
***Live from UB*** ローレン・クナツプ Lauren Knapp モンゴル、アメリカ 67
***Nightfall*** アノーチャ・スウィチャーゴーンボン、トゥラポップ・セーンジャルーン Anocha Suwichakornpong, Tulapop Saenjaroen タイ 75
***Original Copy*** Florian Heinzen-Ziob, Georg Heinzen ドイツ、インド 67
***Overseas*** アノーチャ・スウィチャーゴーンボン、ウィチャノン・ソムウムジャーン Anocha Suwichakornpong, Wichanon Somumjam タイ 75
***Remake, Remix, Rip-Off*** Cem Kaya ドイツ、トルコ 65
***Southeast Asian Cinema - When the Rooster Crows*** Leonardo Cinieri Lombroso イタリア、シンガポール 65
***The Obs: A Singapore Story*** ヨー・シユウホア（楊修華） Yeo Siew Hua シンガポール 67

## 国別索引 Index (Country of Production)

国名、邦題作品名、英題作品名、、監督名（日本語）、監督名（英語）の順に記載しています。

From Left to Right : Country of Production, Film Title, Film Director

<b>アゼルバイジャン</b> <b>Azerbaijan</b>	まほろしの砦 <i>Fortress</i> シャーミル・ナジャフザテ Shamil Najafzada 55
<b>アフガニスタン</b> <b>France, Afghanistan</b>	悲しみを覗く石 <i>The Patience Stone</i> アティグ・ラヒミ Atiq Rahimi 61
<b>イタリア・シンガポール</b> <b>Italy, Singapore</b>	<i>Southeast Asian Cinema - When the Rooster Crows</i> Leonardo Cinieri Lombroso 65
<b>イラク</b> <b>Iraq</b>	風のささやき <i>Whisper with the Wind</i> シャフラム・アリーテイ Shahram Alidi 55 <p>キロメートル・ゼロ <i>Kilometre Zero</i> ヒネル・サリーム Hiner Saleem 47</p> <p>国のない国旗 <i>A Flag Without a Country</i> バフマン・ゴバテイ Bahman Ghobadi 67</p> <p>国境に生きる ～難民キャンプの小さな監督たち～ <i>Life on the Border</i> バフマン・ゴバテイ（プロデューサー）Bahman Ghobadi (Producer) 67</p>
	サイの季節 <i>Rhino Season</i> バフマン・ゴバテイ Bahman Ghobadi 61
	少女ジャーン <i>Life</i> ジャノ・ロジエビアアーニー Jano Rosebiani 45
	砂塵を越えて <i>Crossing The Dust</i> シャウキツト A. コルキ Shawkat A. Korki 49
<b>イラク・クルディスタン</b> <b>Iraq Kurdistan</b>	
<b>イラン</b> <b>Iran</b>	青いベール <i>The Blue-Veiled</i> ラクシャン・バニエテマド Rakhshan Bani-Etemad 25
	アバウト・エリ [彼女が消えた浜辺] <i>About Elly</i> アスガー・ファルハティ Asghar Farhadi 53, 59
	生きるために <i>A Borer for Life</i> レザ・アザミアン Reza Azamian 45
	美しい都市(まち) <i>Beautiful City</i> アスガー・ファルハティ Asghar Farhadi 59
	絵の中の池 <i>The Painting Pool</i> マズイヤール・ミーラー Maziar Miri 63
	おやすみなさい、兵士たち <i>Goodbye, Life</i> エンスイエ・シャール・ホセイニー Ensieh Shah-Hosseini 47
	彼女が消えた浜辺 <i>About Elly</i> アスガー・ファルハティ Asghar Farhadi 53, 59
	神さまへの贈り物 <i>Bag of Rice</i> モハマッド＝アリ・タレビ Mohammad-Ali Talebi 27
	カラー・オブ・パラダイス [太陽は、ほくの瞳] <i>The Color of Paradise</i> マジド・マジテイ Majid Majidi 33, 55
	刑務所の女たち <i>Women’s Prison</i> マンジエ・ヘクマツト Manijeh Hekmat 41
	ゲシェル〜ぎりぎり日記 <i>Gesher</i> ワヒド・ワキリフアー Vahid Vakilifar 57
	恋の街、テヘラン <i>Tehran: City of Love</i> アリ・ジャベルアンサリ Ali Jaberansari 73
	これを最後に <i>Once and for All</i> シルス・アルバンド Sirus Alvand 25
	こんなに近く、こんなに遠く <i>So Close, So Far</i> レザ・ミル・キャリミ Reza Mir Karimi 45
	ザ・ブーツ <i>The Boots</i> モハマッド＝アリ・タレビ Mohammad-Ali Talebi 23
	ザ・リザード <i>The Lizard</i> カマル・タブリーズイー Kamal Tabrizi 43
	サイクリスト <i>The Cyclist</i> モフセン・マフマルバフ Mohsen Makhmalbaf 17
	ささやき <i>Whispers</i> バルビズ・シャールバズィ Parviz Shahbazi 35
	砂塵にさまよう <i>Dancing in the Dust</i> アスガー・ファルハティ Asghar Farhadi 59
	サラ <i>Sara</i> ダリウシュ・メールジュイ Dariush Mehrjui 25
	サントゥール奏者 <i>Santouri</i> ダリウシュ・メールジュイ Dariush Mehrjui 51
	新生 <i>Birth of a Butterfly</i> モジュタバ・ライー Mojtaba Raie 31
	すずめの唄 <i>The Song of Sparrows</i> マジド・マジテイ Majid Majidi 51, 55
	スニーカーの少女 <i>The Girl in the Sneakers</i> ラスール・サドレアメリ Rassul Sadr-Ameli 35
	石油地帯の子たち <i>Oil Children</i> エブラヒム・フルゼシュ Ebrahim Forouzesch 37
	セレモニーホール <i>Twenty</i> アブドレザ・カハニー Abdolreza Kahani 55
	戦火の中へ <i>Hoor on Fire</i> アズイゾラー・ハミドネジャド Azizollah Hamidnezhad 25
	選択 <i>The Need</i> アリ＝レザ・ダヴドネジャード Alireza Davudnezhad 21
	父 <i>The Father</i> マジド・マジテイ Majid Majidi 27, 55
	チック・タック <i>Tick Tack</i> モハマッド＝アリ・タレビ Mohammad-Ali Talebi 25
	地の果てまでも <i>The Last Queen of the Earth</i> モハマド・レザ・アラブ Mohammad Reza Arab 49
	冷たい涙 <i>The Tear of the Cold</i> アズイゾラー・ハミドネジャド Azizollah Hamidnezhad 43
	テヘランの孤独 <i>Lonely Tunes of Tehran</i> サマン・サルール Saman Salour 53
	天使のような子どもたち [運動靴と赤い金魚] <i>Children of the Heaven</i> マジド・マジテイ Majid Majidi 29, 55
	としごろ <i>Sweet Agony</i> アリ＝レザ・ダヴドネジャード Alireza Davudnezhad 33
	友だちのうちはどこ？ <i>Where is the Friend’s Home?</i> アツバス・キアロスタミ Abbas Kiarostami 21
	ナデルとシミン [別離] <i>Nader and Simin, A Separation [A Separation]</i> アスガー・ファルハティ Asghar Farhadi 57, 59
	ハーモニカ <i>Harmonica</i> アミル・ナデリ Amir Naderi 25
	バイオリン弾き <i>Violinist</i> モハマド＝アリ・タレビ Mohammad Ali Talebi 69
	裸足でヘラートまで <i>Barefoot to Heart</i> マジド・マジテイ Majid Majidi 41, 55
	バダック <i>Baduk</i> マジド・マジテイ Majid Majidi 55
	母ギーラーネ <i>Gilaneh</i> ラクシャン・バニエテマド、モフセン・アブドルヴァッハーブ Rakhshan Bani-Etemad, Mohsen Abdolvahab 45
	バラン [少女の髪どめ] <i>Baran</i> マジド・マジテイ Majid Majidi 37, 55
	パルウイズ <i>Parviz</i> マジド・バルゼガル Majid Barzegar 61
	春へ <i>The Spring</i> アボルファズル・ジャリリ Abolfazl Jalili 33
	パンと詩 <i>Bread and Poetry</i> キュマルス・プリアマド Kiumars Poorahmad 25, 35
	火祭り <i>Fireworks Wednesday</i> アスガー・ファルハティ Asghar Farhadi 59

ふたりのミナ *Through Sunglasses* モハマド・ホセイン・ラティファイ Mohammad Hossein Latifi 39

ふれない男 *A Man of Integrity* モハマド・ラスロフ Mohammad Rasoulof 71

別離 [ナデルとシミン] *Nader and Simin, A Separation [A Separation]* アスガー・ファルハティ Asghar Farhadi 57, 59

ベマニ *Bemani* ダリウシュ・メールジュイ Dariush Mehrjui 39

ほくは一人前 *The Little Man* エブラヒム・フルゼシュ Ebrahim Forouzesch 31

僕らのオリンピック *Olympic in Camp* マジド・マジテイ Majid Majidi 41, 55

また逢えるなら *Maybe Some Other Time* ハハラム・ベイザイ Bahram Beizai 29

街の陰 *Under the Skin of the City* ラクシャン・バニエテマド Rakhshan Bani-Etemad 37

ママのお客 *Mama’s Guest* ダリウシュ・メールジュイ Dariush Mehrjui 43

未熟なざくろ *Unripe Pomegranates* マジドレザ・モスタファアワイ Majid-Reza Mostafavi 65

魅惑 *The Love-Stricken* アリ・ハタミ Ali Hatami 33

柳の木のように *The Willow Tree* マジド・マジテイ Majid Majidi 45, 55

夢がほんとに *Leily is with Me* キャマル・タブリジ Kamal Tabrizi 27

預言者ムハンマド *Muhammad, the Messenger of God* マジド・マジテイ Majid Majidi 67

予兆の森で *Fish and Cat* シャーラム・モクリ Shahram Mokri 63

酔っぱらった馬の時間 *A Time for Drunken Horses* バフマン・ゴバテイ Bahman Ghobadi 37

私のテヘラン *My Tehran for Sale* グラナーズ・ムサウィー Granaz Moussavi 55

私は15歳 *I’m Taraneh, 15* ラスール・サドレアメリ Rassul Sadr-Ameli 39

ラジオ・ドリーム *Radio Dreams* ハバック・ジャリリ Babak Jalali 67

旅の途中で -FARDA- *Tomorrow-Farda-* 中山節夫 Nakayama Setsuo 39

愛は至高のもの *Love is God* スンダル C. Sunder C. 43

青いマンゴー *The Raw Mango* アモール・パーレーカル Amol Palekar 35

腕輪を売る男 *Balekempa* イーレー・ガウダ Ere Gowda 71

エスタツパン *Stephen* G. アラヴィンダン G. Aravindan 17

黄金のシーター *Golden Sita* G. アラヴィンダン G. Aravindan 17

オーム・シャンティ・オーム *Om Shanti Om* ファラー・カーン Farah Khan 51

追われた人々 *The Dispossessed* G. アラヴィンダン G. Aravindan 17

カシミールの秋 *Autumn* アーミル・バシール Aamir Bashir 57

カハーニー／物語 [女神は二度微笑む] *Kahaani* スジョイ・ゴージュ Sujoy Ghosh 59

神の与えしもの *Creation* T. ハリハラン T. Hariharan 21

神の戯れ *The Play of God* ジャヤラージ Jayaraaj 31

河は流れる *And the River Flows* ジャヌ・バルア Jahnu Barua 35

希望の行方 *The Immigrants* サイー・バラーンジペー Sai Paranjpye 17

霧の中の記憶 *Memories in the Mist* ブツダテーブ・ダスグプタ Buddhadeb Dasgupta 47

クロスファイアー *Crossfire* リトゥボルノ・ゴージュ Rituparno Ghosh 31

ケーララの獅子 *Kerala Varma Pazhassi Raja* ハリハラン Hariharan 55

心の調べ *Octave* シャージ、N. カルン Shaji N. Karun 39

心のままに *Straight from the Heart* サンジャイ・リーラー・バンサーリー Sanjay Leela Bhansali 35

子象ちゃん *The Catch - Naming Ceremony* G. アラヴィンダン, N. マーダヴァン・ピツライ

G. Aravindan, N. Madhavan Pillai 17

ザ・デュオ *The Duo* マニラトナム Maniratnam 31

サーカス *The Circus Tent* G. アラヴィンダン G. Aravindan 17

最後の舞 *The Last Dance* シャージ、N. カルン Shaji N. Karun 35

裁き *Court* チャイタニヤ・タームハネー Chaitanya Tamhane 65

シヴァランジャニとふたりの女 *Sivaranjani and Two Other Women* ヴァサント・S・サーイ Vasanth S. Sai 73

島 *The Island* キリーシャ・カーサラヴァツリ Girish Kasaravalli 39

ジャツリカットウ *Jallikattu* リジヨー・ジョーズ・ベツリシエーリ Lijo Jose Pellissery 75

シャドー・キル *Shadow Kill* アドゥール・ゴーパーラクリシュナン Adoor Gopalakrishnan 41

シャンハイ *Shanghai* ティバーカル・バナルジー Dibakar Banerjee 61

従属する者 *The Servile* アドゥール・ゴーパーラクリシュナン Adoor Gopalakrishnan 23

少年とハーモニカ *Mouth Organ* A. K. ビール A. K. Bir 41

黄昏 *Twilight* G. アラヴィンダン G. Aravindan 17

旅路 *The Journey* シヴァン Sivan 33

誓いの炎 *With Fire as Witness* シャーマブラサード Shyamaprasad 33

チダンバラム *Chidambaram* G. アラヴィンダン G. Aravindan 17

血の抗争 *Gangs of Wasseypur* アヌラグ・カシャブ Anurag Kashyap 61

妻は、はるか日本に *The Japanese Wife* アパルナ・セン Aparna Sen 57

テロリスト *The Terrorist* サントーシュ・シヴァン Santosh Sivan 33

飛びたち *The Flight* ハントーナ・ボルドロイ Santwana Bardoloi 29

ドン *Don* ファルハーン・アクタル Farhan Akhtar 49

虹に乗って *Ride on the Rainbow* ジャヌ・バルア Jahnu Barua 39

パロミタ *House of Memories* アパルナ・セン Aparna Sen 37

悲哀 *Pathos* ジャヤラージ Jayaraaj 35

ひと呼吸 *A Breath* サンティーブ・サーヴァント Sandeep Sawant 45

FAN *Fan* マニーシュ・シャルマー Maneesh Sharma 69

再び森で… *In the Forest…Again* ゴータム・ゴージュ Goutam Ghose 43

へだたり *At a Distance* シャーマブラサード Shyamaprasad 43

<p><b>インド India</b></p>	<p>彷徨のゆくえ <i>Fourth Direction</i> グルヴィンダル・シング Gurvinder Singh 67</p> <p>はくの家出 <i>Shelter</i> シヴァン Sivan 21</p> <p>僕はジダン <i>Little Zizou</i> スーニー・ターラーブルワラー Sooni Taraporevala 57</p> <p>頬にキス <i>A Peck on the Cheek</i> マニラトナム Maniratnam 43</p> <p>ボンベイ <i>Bombay</i> マニー・ラトナム Mani Ratnam 27</p> <p>マナサロールの愛 <i>Manasarovar</i> アヌーブ・クリアン Anup Kurian 45</p> <p>魔法使いのおじいさん <i>The Bogey-Man</i> G. アラヴィンダン G. Aravindan 17</p> <p>Mr. &amp; Mrs. アイヤル <i>Mr. and Mrs. Iyer</i> アパルナ・セン Aparna Sen 41</p> <p>めざめ <i>The Initiation</i> アルン・コウル Arun Kaul 19</p> <p>メロディ <i>Melody</i> サイー・パラーンジペー Sai Paranjpye 31</p> <p>モノローグ <i>Monologue</i> アドゥール・ゴーパーラクリシュナン Adoor Gopalakrishnan 31</p> <p>ようこそサツジャンプルへ <i>Welcome to Sajjanpur</i> シャーム・ベネガル Shyam Benegal 53</p> <p>私自身のもの <i>My Own</i> シャージ・N. カルン Shaji N. Karun 25, 35</p> <p>私はガンディーを殺していない <i>I Did Not Kill Gandhi</i> ジャヌ・バルア Jahnnu Barua 47, 55</p>
<p><b>インド・アメリカ India, USA</b></p>	<p>ヴァナジャ <i>Vanaja</i> ラージネーシュ・ドーマラパツリ Rajnesh Domalpalli 49</p> <p>聖者の谷 <i>Valley of Saints</i> ムーサー・サイード Musa Syeed 61</p> <p>シツダルタ <i>Siddharth</i> リチー・メーヘター Richie Mehta 63</p> <p>1947年・大地 <i>Earth</i> ティーパ・メータ Deepa Mehta 49</p> <p>とらわれの水 <i>Water</i> ティーパ・メータ Deepa Mehta 49</p> <p>炎 <i>Fire</i> ティーパ・メータ Deepa Mehta 49</p>
<p><b>インド・ドイツ India, Germany</b></p> <p><b>インドネシア Indonesia</b></p>	<p><i>Original Copy</i> Florian Heinzen-Ziob, Georg Heinzen 67</p> <p>青空がはくの家 <i>My Sky, My Home</i> スラメット・ラハルジョ・ジャロット Slamet Rahardjo Djarot 17</p> <p>いきなり、ダンドゥット <i>Suddenly Dangdut</i> ルディ・スジャルウォ Rudi Soedjarwo 49</p> <p>一度でいいからキスしたい <i>Bird-Man Tale</i> ガリン・ヌグロホ Garin Nugroho 43</p> <p>永遠探しの3日間 <i>3 Days to Forever</i> リリ・リザ Riri Riza 49</p> <p>黄金杖秘聞 <i>The Golden Cane Warrior</i> イファ・イスファンシャ Ifa Isfansyah 65</p> <p>オペラジャワ <i>Opera Jawa</i> ガリン・ヌグロホ Garin Nugroho 65</p> <p>GIE <i>Gie</i> リリ・リザ Riri Riza 47</p> <p>禁断の扉 <i>The Forbidden Door</i> ジョコ・アンワル Joko Anwar 55</p> <p>クルドサック <i>Kuldesak</i> リリ・リザ, ミラ・レスmana, ナン T. アハナス, リサル・マントファニ Riri Riza, Mira Lesmana, Nan T. Achnas, Rizal Mantovani 65</p> <p>再会の時〜ビューティフル・デイズ 2〜 <i>What's With Love 2</i> リリ・リザ Riri Riza 67</p> <p>サガルマータ <i>Sagarmatha</i> エミル・ヘラディ Emil Heradi 65</p> <p>シェリナの大冒険 <i>Sherina's Adventure</i> リリ・リザ Riri Riza 65</p> <p>ジャングル・スクール <i>The Jungle School</i> リリ・リザ Riri Riza 63</p> <p>聖なる踊子 <i>The Dancer</i> イファ・イスファンシャ Ifa Isfansyah 61</p> <p>タクシードライバー日誌 <i>Something in the Way</i> テディ・スリアアトマジャ Teddy Soeriaatmadja 61</p> <p>誰かの妻 <i>Other Man's Wife</i> テイルマワン・ハッタ Dirmawan Hatta 73</p> <p>月までアナザー・トリップ <i>Another Trip to the Moon</i> イスマイル・バスベス Ismail Basbeth 65</p> <p>ティモール島アタンブア 39℃ <i>Atambua 39°Celsius</i> リリ・リザ Riri Riza 61</p> <p>動物園からのポストカード <i>Postcards From the Zoo</i> エドウィン Edwin 65</p> <p>囚われの美女ロロ・ムンドゥット <i>Roro Mendut</i> アミ・プリヨノ Ami Priyono 17</p> <p>虹の兵士たち <i>The Rainbow Troops</i> リリ・リザ Riri Riza 53</p> <p>バシコムおじさん <i>Uncle Pasikom</i> ハエルル・ウمام Chaerul Umam 19</p> <p>バスは夜を走る <i>Night Bus</i> エミル・ヘラディ Emil Heradi 71</p> <p>ビューティフル・デイズ <i>What' s With Love?</i> ルディ・スジャルウォ Rudi Soedjarwo 67</p> <p>プラハからの手紙 <i>Letters from Prague</i> アンガ・ドウィマス・サソニコ Angga Dwimas Sasongko 67</p> <p>フンバ・ドリーム <i>Humba Dreams</i> リリ・リザ Riri Riza 73</p> <p>ベンとジョディ〜珈琲哲学 第二章〜 <i>Ben &amp; Jody</i> アンガ・ドウィマス・サソニコ Angga Dwimas Sasongko 69</p> <p>モルツカの光 <i>We Are Moluccans</i> アンガ・ドウィマス・サソニコ Angga Dwimas Sasongko 65</p> <p>夢追いかけて <i>The Dreamer</i> リリ・リザ Riri Riza 55</p> <p>夜明けを待ちながら <i>Ten Seconds Before Sunrise</i> テディ・スリアアトマジャ Teddy Soeriaatmadja 73</p>
<p><b>ウクライナ Ukraine</b></p> <p><b>ウズベキスタン Uzbekistan</b></p>	<p>ゲーマー <i>Gaamer</i> オレグ・センツォフ Oleg Sentsov 61</p> <p>演説者 <i>Orator</i> ユスフ・ラジコフ Yusup Razykov 39</p> <p>男が踊るとき <i>Men's Dance</i> ユスフ・ラジコフ Yusup Razykov 45</p> <p>天空の路 <i>The Road Under the Heavens</i> カマラ・カマロワ Kamara Kamalova 49</p>
<p><b>オーストラリア Australia</b></p>	<p>雲の下を <i>Beneath Clouds</i> イワン・セン Ivan Sen 41</p> <p>サムソンとデリラ <i>Samson &amp; Delilah</i> ワーウィック・ソーントン Warwick Thornton 55</p> <p>ジャパニーズ・ストーリー <i>Japanese Story</i> シュー・ブルックス Sue Brooks 43</p>
<p><b>オランダ・中国 Netherland, China</b></p> <p><b>オランダ・ミャンマー・ノルウェー Netherland, Myanmar, Norway</b></p> <p><b>カザフスタン Kazakhstan</b></p>	<p>父の選択 <i>My Father's Choice</i> ユエン・ヤンティン Yuen Yan Ting 69</p> <p>ビルマ・ストーリーブック <i>Burma Storybook</i> ペテル・ロム Petr Lom 69</p> <p>アクスアット <i>Aksuat</i> セリック・アプリモフ Serik Aprymov 37</p> <p>歌って <i>Don't Cry</i> アミール・カラクーロフ Amir Karakulov 41</p> <p>くるみの木 <i>Walnut Tree</i> エルラン・ヌルムハンベトフ Yerlan Nurmukhambetov 67</p> <p>さよならグルサルー <i>Farewell, Gulsary!</i> アルダク・アミルクロフ Ardak Amirkulov 53</p> <p>少年と狼 <i>Wolf Cub among People</i> タルガット・テムノフ Talgat Temenov 19</p>

<p>父への電話 <i>A Call to Father</i> セリック・アプリモフ Seric Aprymov 71</p> <p>ナイト・ゴッド <i>Night God</i> アティルハン・イェルジャノフ Adilkhan Yerzhanov 73</p> <p>ひとり <i>Little Brother</i> セリック・アプリモフ Serik Aprymov 63</p> <p>マリyam <i>Mariam</i> シャリパ・ウラスバエヴァ Sharipa Urzabayeva 75</p> <p>あぶない奴ら〜TOW GUYS〜 <i>Two Guys</i> パク・ホンス (박헌수) Park Hun Soo 45</p> <p>生きる <i>Alive</i> パク・ジョンボム (박정범) Park Jungbum 65</p> <p>いつか判る <i>You Will Know</i> キム・ヨンジエ (김영제) Kim Young Jae 49</p> <p>イリ <i>Iri</i> チャン・リュル (張律／장률) Zhang Lu 53</p> <p>ウェディング・キャンペーン <i>My Wedding Campaign</i> ファン・ビョングク (황병국) Hwang Byeng Gug 47</p> <p>EIGHTEEN 〜旋風〜 <i>Eighteen</i> チャン・ゴンジエ (장건재) Jang Kun Jae 55</p> <p>オアシス <i>Oasis</i> イ・チャンドン (이창동／李滄東) Lee Chang Dong 41, 61</p> <p>オー!マイDJ <i>Au Revoir, UFO</i> キム・ジンミン (김진민) Kim Jin Min 43</p> <p>大芝居 <i>The Great Actor</i> ソク・ミノ (석민우) Seok Min Woo 67</p> <p>贈り物 <i>Gift</i> イ・イニ (이인익) Lee In Eui 49</p> <p>おせっかいはNO、愛はOK <i>Love is Oh Yeah</i> キム・ユジン (김유진／金裕珍) Kim Yoo Jin 23</p> <p>おばあちゃんの家 <i>The Way Home</i> イ・ジョンヒャン (이정향) Lee Jung Hyang 39</p> <p>開闢 (かいびやく) <i>Kae Byok</i> イム・グォンテク (임권택／林權澤) Im Kwon Taek 21</p> <p>神の眼の元に <i>God's Eye View</i> イ・ジャンホ (이장호／李長鎬) Lee Jang Ho 63</p> <p>下流人生 <i>Raging Years</i> イム・グォンテク (임권택／林權澤) Im Kwon Taek 43</p> <p>キルソドム <i>Gilsodom</i> イム・グォンテク (임권택／林權澤) Im Kwon Taek 17, 35</p> <p>グリーン・フィッシュ <i>Green Fish</i> イ・チャンドン (이창동／李滄東) Lee Chang Dong 61</p> <p>群山：鷺鳥を詠う <i>Ode to the Goose</i> チャン・リュル (張律／장률) Zhang Lu 73</p> <p>慶州 <i>Gyeongju</i> チャンリュル (張律／장률) Zhang Lu 63</p> <p>結界の男 <i>Man on the Edge</i> チョ・ジンギュ (조진규) Jo Jin Kyu 61</p> <p>GO GO 70s <i>Go Go 70s</i> チェ・ホ (최호) Choi Ho 53</p> <p>ザ・コンタクト <i>The Contact</i> チャン・ユンヒョン (장윤현／張允炫) Chang Yoon Hyun 31</p> <p>酒を呑むなら <i>Daytime Drinking</i> ノ・ヨンソク (노영석) Noh Young Seok 53</p> <p>301・302 <i>Three-oh-One, Three-oh-Two</i> パク・チョルス (박철수／朴哲洙) Park Chul Soo 27</p> <p>シークレット・サンシャイン <i>Secret Sunshine</i> イ・チャンドン (이창동／李滄東) Lee Chang Dong 61</p> <p>7月32日 <i>July 32nd</i> チン・スンヒョン (진승현) Jin Seung Hyun 51</p> <p>灼熱の屋上 <i>A Hot Roof</i> イ・ミニョン (이민용／李珉鎔) Lee Min Yong 29</p> <p>祝祭 <i>Festival</i> イム・グォンテク (임권택／林權澤) Im Kwon Taek 27</p> <p>春香伝 <i>Chunhyang</i> イム・グォンテク (임권택／林權澤) Im Kwon Taek 35</p> <p>浄土アニヤン <i>Anyang, Paradise City</i> パク・チャンギョン (박찬경) Park Chan Kyong 57</p> <p>醉画仙 <i>Chihwaseon</i> イム・グォンテク (임권택／林權澤) Im Kwon Taek 39</p> <p>過ぎ去る一日 <i>One Day to Be Passing by</i> キム・ヤンヒ (김양희) Kim Yang Hee 49</p> <p>ステファ/ヒグレチェン <i>Oseam</i> パク・チョルス (박철수／朴哲洙) Park Chul Soo 17</p> <p>太白山脈 <i>The Taebaek Mountains</i> イム・グォンテク (임권택／林權澤) Im Kwon Taek 25</p> <p>ダンシング・Queen <i>Dancing Queen</i> イ・ソクン (이석훈) Lee Seok Hoon 59</p> <p>手のとどく限り <i>Elbowroom</i> ハム・ギョンrok (함경록) Ham Kyoung Rock 55</p> <p>道具 <i>Tool</i> ユン・ヨンア (윤용아) Yoon Yong-A 49</p> <p>ドント・ルック・バック <i>Don't Look Back</i> キム・ヨннаム (김영남) Kim Young Nam 47</p> <p>泣かないで <i>Let's not Cry!</i> ミン・ビョンフン (민병훈) Min Byung Hoon 41</p> <p>ネギをサクサク、卵をボン <i>Cracked Eggs &amp; Noodles</i> オ・サンフン (오상훈) Oh Sang Hun 45</p> <p>8月のクリスマス <i>Christmas in August</i> ホ・ジノ (허진호／許秦豪) Hur Jin Ho 31</p> <p>パボ <i>BA:BO</i> キム・ジョングォン (김정권) Kim Jung Kwon 51</p> <p>ハラナシへ <i>From Seoul to Varanasi</i> チョン・ギユファン (전규환) Joen Kyu Hwan 59</p> <p>春の夢 <i>A Quiet Dream</i> チャン・リュル (張律／장률) Zhang Lu 69</p> <p>飛天舞 (ピチョンム) <i>Bichunmoo</i> キム・ヨンジュン (김영준) Kim Young Jun 37</p> <p>福岡 <i>Fukuoka</i> チャン・リュル (張律／장률) Zhang Lu 73, 75</p> <p>普通の人々 <i>Ordinary People</i> イ・ユリム (이유림) Lee Yu Rim 49</p> <p>Bleak Night (原題) <i>Bleak Night</i> ユン・ソンヒョン (윤성현) Yoon Sung Hyun 57</p> <p>ペパーミント・キャンディー <i>Peppermint Candy</i> イ・チャンドン (이창동／李滄東) Lee Chang Dong 35, 61</p> <p>ポエトリー アグネスの詩 <i>Poetry</i> イ・チャンドン (이창동／李滄東) Lee Chang Dong 61</p> <p>吠える犬は噛まない <i>Barking Dogs Never Bite</i> ボン・ジユノ (봉준호) Bong Joon Ho 37</p> <p>僕が9歳になったら【僕が9歳だったころ】 <i>When I Turned Nine</i> ユン・イノ (윤인호) Yun In Ho 43</p> <p>ポリウルの夏 <i>Season in the Sun</i> イ・ミニョン (이민용／李珉鎔) Lee Min Yong 41</p> <p>ホワイト・バレンタイン <i>White Valentine</i> ヤン・ユノ (양윤호) Yang Yun Ho 43</p> <p>麻婆島 (마포도) <i>Mapado</i> チュ・チャンミン (추창민) Choo Chang Min 45</p> <p>マヨネーズ <i>Mayonnaise</i> ユン・イノ (윤인호) Yoon In Ho 33</p> <p>未成年犯罪者 <i>Juvenile Offender</i> カン・イグァン (강이관) Kang Yi Kwan 61</p> <p>見知らぬ国で <i>Hello, Stranger</i> キム・ドンヒョン (김동현) Kim Dong Hyun 51</p> <p>ミスター主婦クイズ王 <i>Mr. Housewife</i> ユ・ソンドン (유선동) Yoo Sun Dong 47</p> <p>ミステリー・オブ・ザ・キューブ <i>The Mystery of the Cube</i> ジョナサン・ユー (유상욱) Jonathan You 33</p> <p>ミョンジャ・明子・ソーニヤ <i>Myungja-Akiko-Sonya</i> イ・ジャンホ (이장호／李長鎬) Lee Jang Ho 19</p>
--

<p><b>韓国</b> <b>Korea</b></p>	<p>もし、あなたなら <i>If You Were Me</i> 41</p> <p>大陸横断 <i>Crossing</i> ヨ・ギユンドン (여균동) Yeo Kyun Dong</p> <p>その男、事情あり <i>The Man with an Affair</i> チョン・ジェウン (정재은) Jeong Jae Eun</p> <p>彼女の重さ <i>The Weight of Her</i> イム・スルレ (임순례) Yim Soon Rye</p> <p>顔の価値 <i>Face Value</i> パク・クァンス (박광수) Park Kwang Su</p> <p>神秘的な英語の国 <i>Tongue Tie</i> パク・ジンピョ (박진표) Park Jin Pyo</p> <p>平和と愛は終わらない <i>Never Ending Peace and Love</i> パク・チャヌク (박찬욱) Park Chan Wuk</p> <p>Lovers' Concerto [永遠の片思い] <i>Lovers' Concerto</i> イ・ハン (이한) Lee Han 41</p> <p>ラスト・プレゼント <i>Last Present</i> オ・ギファン (오기환) Oh Ki Hwan 39</p> <p>私の生涯で最も美しい一週間 <i>All for Love-The Most Beautiful Week of My Life</i></p>
<p><b>カンボジア</b> <b>Cambodia</b></p>	<p>われらの歪んだ英雄 <i>Our Twisted Hero</i> パク・チョンウオン (박종원) Park Chong Won 21</p> <p>空白のページ <i>White Page</i> ホー・クァン・ミン Ho Quang Minh 19</p> <p>昨夜、あなたが微笑んでいた <i>Last Night I Saw You Smiling</i> ニアン・カヴィッチ Neang Kavich 75</p> <p>飼育 <i>The Catch</i> リティン・パニユ Rithy Panh 59</p> <p>ダイヤモンド・アイランド <i>Diamond Island</i> テイヴィ・シユー Davy Chou 69</p> <p>平和の行進 <i>An Army of Peace</i> チェン・ダラブッド・コサル Chheng Daravuth Kosal 31</p> <p><i>Don't Think I've Forgotten:Cambodia's Lost Rock and Roll</i> John Pirozzi 65</p> <p>騎馬民族国家・第3編「高句麗」 <i>The Land of Equestrian People, vol.3: Koguryo</i></p>
<p><b>カンボジア・アメリカ</b> <b>Cambodia, USA</b></p> <p><b>北朝鮮</b> <b>North Korea</b></p>	<p>山嶺の女王 <i>Kurmanjan Datka Queen of the Mountains</i></p>
<p><b>キルギスタン</b> <b>Kyrgyzstan</b></p>	<p>サティック・シェル・ニヤーズ Sadyk Sher-Niyaz 65</p> <p>旅立ちの汽笛 <i>The Chimp</i> アクタン・アブディカリコフ Aktan Abdykalykov 39</p> <p>盗まれた花嫁 <i>Pure Coolness</i> エルネスト・アブテイジャバロフ Ernest Abdyjaparov 51</p> <p>兄弟 <i>Brother</i> テオナ・ムグヴテラゼ、ティエリ・グルナド Téona Mghvdeladze, Thierry Grenade 63</p> <p>サービス圏外 <i>Out of Coverage</i> アブドルラティフ・アブドルハミド Abdullatif Abdulhamid 51</p> <p>夢と現実の日々 <i>Dreamy Visions</i> ワーハ・アル＝ラーヒブ Waha Alraheb 45</p> <p><i>The Obs: A Singapore Story</i> ヨー・シュウホア (楊修華) Yeo Siew Hua 67</p> <p>ゴーン・ショッピング! <i>Gone Shopping</i> ウィー・リー・リン Wee Li Lin 53</p> <p>シンガポール・グラフィティ <i>That Girl in Pinafore</i> ツァイ・ユイウエイ (蔡於位) Chai Yee Wei 61</p> <p>スター誕生 <i>Already Famous</i> ミシェル・チョン (庄米雪) Michelle Chong 61</p> <p>すばらしき大世界 <i>It's A Great, Great World</i> ケルビン・トン (唐永健) Kelvin Tong 57</p> <p>セブンレターズ <i>7 Letters</i> 67</p>
<p><b>ジョージア</b> <b>Georgia</b></p> <p><b>シリア</b> <b>Syria</b></p>	<p>Cinema エリック・クー Eric Khoo</p> <p>That Girl ジャック・ネオ Jack Neo</p> <p>The Flame K. ラジャゴパル K Rajagopal</p> <p>Bunga Sayang ロイストン・タン Royston Tan</p> <p>Pineapple Town タン・ピンピン Tan Pin Pin</p> <p>Parting ブー・ユンファン Boo Jun Feng</p> <p>GPS ケルビン・トン (唐永健) Kelvin Tong</p> <p>チキンライス・ウォー <i>Chicken Rice War</i> チーク Cheek 39</p> <p>デモンズ <i>Demons</i> ダニエル・ファイ Daniel Hui 73</p> <p>ねじきれ奇譚 <i>Twisted</i> ツァイ・ユイウエイ (蔡於位) Chai Yee Wei 59</p> <p>881 歌え! ハバイヤ <i>881</i> ロイストン・タン Royston Tan 51</p> <p>4:30 (フォー・サーティ) <i>4:30</i> ロイストン・タン Royston Tan 47</p> <p>ワンダーボーイ・ストーリー <i>Wonder Boy</i> ティック・リー、ダニエル・ヤム Dick Lee, Daniel Yam 69</p> <p>ここに陽のはほる ~東ティモール独立への道 <i>Where the Sun Rises</i> グレース・パン Grace Phan 49</p>
<p><b>シンガポール・東ティモール</b> <b>Singapore, Timor Leste</b></p> <p><b>スリランカ</b> <b>Sri Lanka</b></p>	<p>運命線 <i>The Line of Destiny</i> レスター・ジェームス・ピーリス Lester James Peries 23, 35</p> <p>告白 <i>The Compensation</i> ベナットウ・ラトゥナーヤカ Bennett Rathnayake 39</p> <p>心の闇 <i>Dark Night of the Soul</i> ブラサンナ・ヴィターナゲー Prasanna Vithanage 27</p> <p>湖畔の邸宅 <i>Mansion by the Lake</i> レスター・ジェームス・ピーリス Lester James Peries 39</p> <p>サロージャー <i>Saroja</i> ソーマラトゥネ・ティサーナーヤカ Somaratne Dissanayake 35</p> <p>散歩の園 <i>The Garden</i> スミトラ・ピーリス Sumitra Peries 43</p> <p>灼熱の日々 <i>August Sun</i> ブラサンナ・ヴィターナゲー Prasanna Vithanage 41</p> <p>城壁 <i>Walls Within</i> ブラサンナ・ヴィターナゲー Prasanna Vithanage 29</p> <p>白い影 <i>White Shadows</i> スニル・アールイヤラトゥナ Sunil Ariyaratna 39</p> <p>スリ <i>Pickpocket</i> リンタン・セーマゲー Linton Semage 39</p> <p>その橋の下で <i>Under the Bridge</i> H. D. プレーマラトゥナ H. D. Premaratne 23</p> <p>大都会 <i>The City</i> H. D. プレーマラトゥナ H. D. Premaratne 23</p> <p>太陽のジャングル <i>Fire Fighters</i> ソーマラトゥネ・ティサーナーヤカ Somaratne Dissanayake 43</p> <p>長女 <i>The Eldest Daughter</i> スミトラ・ピーリス Sumitra Peries 23</p> <p>流れに逆らって <i>Against the Tide</i> スダットウ・デーワプリヤ Sudath Devapriya 45</p> <p>蓮の道 <i>The Way of the Lotus</i> ティツサ・アペーセーカラ Tissa Abeysekera 23, 39</p> <p>母 <i>Elegy for a Mother</i> レスター・ジェームス・ピーリス Lester James Peries 47</p> <p>日が沈むところ <i>Where the Sun Sets</i> レスター・ジェームス・ピーリス Lester James Peries 23</p> <p>変革の時代 <i>The Age of Kali</i> レスター・ジェームス・ピーリス Lester James Peries 23</p> <p>マザー・アローン <i>Mother Alone</i> スミトラ・ピーリス Sumitra Peries 31</p>

<p><b>タイ</b> <b>Thailand</b></p>	<p>マチャン/大脱走 <i>Machan</i> ウベルト・パソリーニ Uberto Pasolini 53</p> <p>やさしい女 <i>With You, Without You</i> ブラサンナ・ヴィターナゲー Prasanna Vithanage 59</p> <p>夢の花びら <i>Flowers of the Sky</i> ブラサンナ・ヴィターナゲー Prasanna Vithanage 53</p> <p>私への旅 <i>Pilgrimage</i> ワサンタ・オペーセーカラ Vasantha Obeyesekere 39</p> <p><i>Black Mirror</i> アノーチャ・スウィチャーゴーンボン Anocha Suwichakornpong 75</p> <p><i>Jai</i> アノーチャ・スウィチャーゴーンボン Anocha Suwichakornpong 75</p> <p><i>The Line</i> アノーチャ・スウィチャーゴーンボン Anocha Suwichakornpong 75</p> <p><i>Nightfall</i> アノーチャ・スウィチャーゴーンボン、トゥラポップ・セーンジャルーン</p>
<p><b>タイ</b> <b>Thailand, UK</b></p>	<p>Anocha Suwichakornpong, Tulapop Saenjaroen 75</p> <p><i>Overseas</i> アノーチャ・スウィチャーゴーンボン、ウィチャノン・ソムウムジャーン</p>
<p><b>台湾</b> <b>Taiwan</b></p>	<p>Anocha Suwichakornpong, Wichanon Somumjam 75</p> <p>蒼ざめた時刻 <i>The Blue Hour</i> アヌチャー・ブンヤワツタナ Anucha Boonyawatana 65</p> <p>明日への戴冠 <i>The Crown</i> エカチャイ・スイーウィチャイ Akechai Srivichai 69</p> <p>アナザー・ワールド <i>The Two Worlds</i> チャード・ソンスイー Cherd Songsri 19</p> <p>ありふれた話 <i>Mundane History</i> アノーチャ・スウィチャーゴーンボン Anocha Suwichakornpong 55, 75</p> <p>ある時一度 <i>Once upon a Time</i> バンディット・リッタコン Bhandit Rittakol 25</p> <p>いつか暗くなるときに <i>By the Time It Gets Dark</i> アノーチャ・スウィチャーゴーンボン Anocha Suwichakornpong 69, 75</p> <p>噂の男 <i>The Master</i> ナワボン・タムロンラタナリット Nawapol Thamrongrattanarit 69</p> <p>運命からの逃走 <i>Who is Running?</i> オキサイド・パン Oxide Pang 31</p> <p>絵の裏 <i>Behind the Painting</i> チャード・ソンスイー Cherd Songsri 37, 47</p> <p>ガス・ステーション <i>A Gas Station</i> タンワリン・スカピシット Tanwarin Sukkhapsit 69</p> <p>カティの幸せ <i>The Happiness of Kati</i> ジェーンワイ・トンディーノーク Genwai Thongdenok 53</p> <p>カンペーン <i>The Wall</i> ブンソン・ナークプー Boonsong Nakphoo 73</p> <p>暗くなるまでには <i>By the Time It Gets Dark</i> アノーチャ・スウィチャーゴーンボン Anocha Suwichakornpong 69, 75</p> <p>グレイスランド <i>Graceland</i> アノーチャ・スウィチャーゴーンボン Anocha Suwichakornpong 49, 75</p> <p>恋するリトル・コメディアン <i>The Little Comedian</i></p>
<p><b>タイ</b> <b>Thailand, UK</b></p>	<p>ウィツタヤー・トーンユーヨン、メート・タラトーン Vithaya Thongyuyong, Mez Tharatorn 57</p> <p>サイアム・スクエア [ミウの歌] <i>Love of Siam</i> チューキアット・サックウィーラクン Chookiat Sakveerakul 51</p> <p>サンティとウィーナー (デジタル修復版) <i>Santi - Vina</i> タウイー・ナ・バーンチャーン Thavi Na Bangchang 69</p> <p>4月の終わりに霧雨が降る <i>In April The Following Year, There Was a Fire</i></p>
<p><b>タイ</b> <b>Thailand, UK</b></p>	<p>ウィチャノン・ソムウムジャーン Wichanon Somumjarn 59</p> <p>10月のソナタ <i>October Sonata</i> ソムキアット・ウイットウラニット Somkiat Vithuranich 55</p> <p>少年義勇兵 <i>Boys will be Boys, Boys will be Men</i> ユツタナー・ムクダーサニット Euthana Mukdasanit 35</p> <p>親友 <i>Dear Dakanda</i> コムグリット・ドゥリーウイモン Khomkrit Treewimol 47</p> <p>頭脳ゲーム [バッド・ジーニアス 危険な天才たち] <i>Bad Genius</i> ナタウト・プーンピリヤ Nattawat Poonpiriya 69</p> <p>早春譜 <i>Seasons Change</i> ニティワット・タラートーン Nithiwat Tharatorn 49</p> <p>ダイ・トゥモロー <i>Die Tomorrow</i> ナワボン・タムロンラタナリット Nawapol Thamrongrattanarit 71</p> <p>タイムライン <i>Timeline</i> ンスイー・ニミプット Nonzee Nimibutr 63</p> <p>Pee Mak (原題)[愛しのゴースト] <i>Pee Mak</i> バンジョン・ピサンタナクーン Banjong Pisanthanakun 61</p> <p>ファン・バー・カラオケ <i>Fun, Bar, Karaoke</i> ベンエーク・ラタナルアン Pen-Ek Ratanaruang 29</p> <p>マリー・イズ・ハッピー <i>Mary is Happy, Mary is Happy</i> ナワボン・タムロンラタナリット Nawapol Thamrongrattanarit 69</p> <p>マンダレイ <i>Manta Ray</i> プッティボン・アルンベン Phuttiiphong Aroonpheng 73</p> <p>ミーजूー <i>Mheejou</i> スカンヤー・ウォンサターバット Sukanya Vongsthat 49</p> <p>見えざる者 <i>The Unseeable</i> ウィシット・サーサナティアン Wisit Sasanatieng 69</p> <p>ムアンとリット <i>Muen and Rid</i> チャード・ソンスイー Cherd Songsri 23</p> <p>ムーンハンター <i>The Moonhunter</i> バンディット・リッタコン Bhandit Rittakol 39</p> <p>メコン・フルムーン・パーティー <i>Mekhong Full Moon Party</i> チラ・マリクン Jira Malikul 41</p> <p>勇者の道 <i>Path of the Brave</i> ユツタナー・ムクダーサニット Yuthana Mukdasanit 19</p> <p>レッド・イーグル <i>The Red Eagle</i> ウィシット・サーサナティアン Wisit Sasanatieng 57</p> <p>別れの花 <i>Mallia: The Farewell Flower</i> アヌチャー・ブンヤワツタナ Anucha Boonyawatana 71</p> <p>ワン・ナイト・ハズバンド <i>One Night Husband</i> ビムバカー・トーウイラ Pimpaka Towira 41</p> <p><i>The Ambassadors</i> ベン・リヴァース、アノーチャ・スウィチャーゴーンボン Ben Rivers, Anocha Suwichakornpong 75</p> <p>クラビ、2562 <i>Krabi, 2562</i> ベン・リヴァース、アノーチャ・スウィチャーゴーンボン</p>
<p><b>タイ</b> <b>Thailand, UK</b></p>	<p>Ben Rivers, Anocha Suwihchakornpong 75</p>
<p><b>台湾</b> <b>Taiwan</b></p>	<p>赤い柿 <i>Red Persimmon</i> ワン・トン (王麗) Wang Tong 29</p> <p>悪女列傳 <i>Bad Girl Trilogy</i> 33</p> <p>2番手のクイーン <i>Queen of the Bench</i> ウォン・ヤオティン (溫耀庭) Wen Yao Ting</p> <p>私の可愛い拳銃 (ピストル) <i>My Own Personal Gun</i> リン・チンジエ (林靖傑) Lin Jing Jie</p> <p>猫ちゃん、犬ちゃん <i>A Dog from Hong Kong</i> チャン・イン・ユウ (詹韻郁) Chan Ying Yu</p> <p>あなたなしでは生きていけない <i>No Puedo Vivir Sin Ti</i> レオン・ダイ (戴立忍) Leon Dai Li Ren 53</p> <p>あの頃、君を追いかけた <i>You Are the Apple of My Eye</i> ギデンズ (九把刀) Giddens 59</p> <p>ある女の一生 <i>Kuei-Mei, A Woman</i> チャン・イ (張毅) Chang Yi 29</p> <p>山猪温泉 <i>The Boar King</i> クオ・チエンティ (郭珍弟) Kuo Chen Ti 63</p> <p>飲食男女 [恋人たちの食卓] <i>Eat Drink Man Woman</i> リー・アン (李安) Lee Ang 23, 51</p> <p>ウィル・ユー・スティル・ラブ・ミー・トゥモロー? <i>Will You Still Love Me Tomorrow?</i></p>
<p><b>台湾</b> <b>Taiwan</b></p>	<p>アーヴィン・チェン (陳駿霖) Arvin Chen 61</p> <p>ウエディング・バンケット <i>The Wedding Banquet</i> リー・アン (李安) Lee Ang 21, 51</p> <p>海辺の女たち <i>Oyster Girl</i> リー・チャ (李羈),リー・シン (李行) Lee Chia, Lee Hsing 29</p>







<b>フィリピン</b> <b>Philippines</b>	<p>マグニフィコ <i>Magnifico</i> マーリオ・J・デ・ロス・レイエス Maryo J. de los Reyes 41</p> <p>マドンナ・アンド・チャイルド <i>Madonna and Child</i> マリルー・ディアス=アバヤ Marilou Diaz-Abaya 27, 35, 37</p> <p>マニラ・スカイ <i>Manila Skies</i> レイモンド・レッド Raymond Red 55</p> <p>マニラ・光る爪 <i>Manila: In the Claws of Light</i> リノ・ブロッカ Lino Brocka 19</p> <p>マルカド、月を喰らうもの <i>Markado: The Moon Devourer</i> ジョー・バクス Joe Bacus 73</p> <p>水の中のほくら (デジタルレストア・リマスター版) <i>A Speck in the Water</i> イシュマエル・ベルナル Ishmael Bernal 71</p> <p>ミラグロス <i>Milagros</i> マリルー・ディアス=アバヤ Marilou Diaz-Abaya 29, 37</p> <p>昔と今 <i>Then and Now</i> マリルー・ディアス=アバヤ Marilou Diaz-Abaya 43</p> <p>ムロアミ <i>Reef Hunters</i> マリルー・ディアス=アバヤ Marilou Diaz-Abaya 35, 37</p>
<b>ブータン</b> <b>Bhutan</b>	<p>ザ・カップ [ザ・カップ、夢のアンテナ] <i>The Cup</i> ケンツェ・ノルブ Khyentse Norbu 35</p> <p>蜜を与える女 (ひと) <i>Honeygiver Among the Dogs</i> デチエン・ロデル Dechen Roder 69</p>
<b>ベトナム</b> <b>Vietnam</b>	<p>アオサイ <i>The White Silk Dress</i> リュー・フイン・リュウ Luu Huynh Luu 49, 55</p> <p>朝よ 来ないで <i>The Golden Key</i> レ・ホアン Le Hoang 37</p> <p>アパートメント <i>Collective Flat</i> ヴィエト・リン Viet Linh 33</p> <p>癒やされた地 <i>Living in Fear</i> ブイ・タク・チュエン Bui Thac Chuyen 47</p> <p>河の女 <i>The Girl on the River</i> ダン・ニャット・ミン Dang Nhat Minh 19</p> <p>帰還 <i>The Return</i> ダン・ニャット・ミン Dang Nhat Minh 23</p> <p>きのう、平和の夢を見た <i>Don't Burn</i> ダン・ニャット・ミン Dang Nhat Minh 53, 55</p> <p>グアバの季節 <i>Guava House</i> ダン・ニャット・ミン Dang Nhat Minh 39</p> <p>クエン 〜さらば、ベルリンの壁よ〜 <i>Farewell, Berlin Wall</i> グエン・ファン・クアン・ビン Nguyen Phan Quang Binh 67</p> <p>黒いサボテン <i>The Black Cactuses</i> レー・ザン Le Dan 19</p> <p>幸福になりたい <i>Luck Trier</i> トウ・フイ Tu Huy 19</p> <p>ゴミの山の大将 <i>King of Rubbish-Dump</i> ドー・ミン・トゥアン Do Minh Tuan 41</p> <p>歳月 <i>Hai Nguyet</i> ミー・ハー My Ha 33</p> <p>静か過ぎる町 <i>The Quiet Town</i> レー・ドゥック・ティエン Le Duc Tien 19</p> <p>仕立て屋 サイゴンを生きる [サイゴン・クチュール] <i>The Tailor</i> ケイ・グエン、チャン・ビュー・ロック Kay Nguyen, Tran Buu Loc 71</p> <p>十月になれば <i>How I Long for October</i> ダン・ニャット・ミン Dang Nhat Minh 17, 35</p> <p>樹上の家 <i>The Tree House</i> チューン・ミン・クイ Truong Minh Quy 75</p> <p>スキャンダル <i>Scandal</i> ヴイクター・ヴー Victor Vu 67</p> <p>砂のような人生 <i>Sandy Lives</i> グエン・タイン・ヴァン Nguyen Thanh Van 35</p> <p>退役將軍 <i>The Retired General</i> グエン・カック・ロイ Nguyen Khac Loi 19</p> <p>漂うがごとく <i>Adrift</i> ブイ・タク・チュエン Bui Thac Chuyen 67</p> <p>タンロンの歌姫 <i>The Fate of a Songstress in Thang Long</i> ダオ・バー・ソン Dao Ba Son 57</p> <p>超人 X. <i>Super X.</i> グエン・クアン・ズン Nguyen Quang Dung 65</p> <p>伝説の男 <i>The Legend is Alive</i> リュー・フイン・リュウ Luu Huynh Luu 53</p> <p>天の網 <i>Heaven's Net</i> フィー・ティエン・ソン Phi Tien Son 41</p> <p>どこでもないところで羽ばたいて <i>Flapping in the Middle of Nowhere</i> グエン・ホアン・ティエップ Nguyen Hoang Diep 67</p> <p>とんちんかんなボム <i>Bom, The Fool</i> レー・ドゥック・ティエン Le Duc Tien 19</p> <p>パオの物語 <i>Story of Pao</i> ゴー・クアン・ハーイ Ngo Quang Hai 47</p> <p>ハノイ、1946年冬 <i>Hanoi, Winter 1946</i> ダン・ニャット・ミン Dang Nhat Minh 31</p> <p>ハノイの12日間 <i>Hanoi 12 Days and Nights</i> ブイ・ティン・ハック Bui Dinh Hac 41</p> <p>ハノイの少女 <i>The Little Girl of Hanoi</i> ハーイ・ニン Hai Ninh 19</p> <p>遥かな旅 [サイゴンからの旅人] <i>The Long Journey</i> レ・ホアン Le Hoang 29</p> <p>美脚の娘たち <i>Long Legged Girls</i> ヴー・ゴク・ダン Vu Ngoc Dang 67</p> <p>ベトナムを懐 (おも) う <i>Hello Vietnam</i> グエン・クアン・ズン Nguyen Quang Dung 69</p> <p>街角の歌 <i>The Strolling Singers</i> チャウ・フエ Chau Hue 19</p> <p>緑の野に黄色い花 [草原に黄色い花を見つける] <i>Yellow Flowers on the Green Grass</i> ヴイクター・ヴー Victor Vu 67</p> <p>メタオ <i>There was Once a Time When…</i> ヴィエト・リン Viet Linh 41</p> <p>やさしいあなた <i>Gentle</i> レ・ヴァン・キエト Le Van Kiet 67</p> <p>夢の中のランブ <i>Light in Dream</i> ドー・ミン・トゥアン Do Minh Tuan 19</p> <p>レ・バ・ダン <i>Le Ba Dang - from Bich La to Paris</i> ダン・ニャット・ミン Dang Nhat Minh 67</p> <p>ロスト・ドラゴン <i>The Lost Dragon</i> ゴー・クーン Ngo Cuong 67</p> <p>コウトリの歌 <i>Song of the Stork</i> ジョナサン・フォー、グエン・ファン・クアン・ビン Jonathan Foo, Nguyen Phan Quang Binh 43</p>
<b>ベトナム・シンガポール</b> <b>Vietnam, Singapore</b>	
<b>ベトナム・スイス</b> <b>Vietnam, Switzerland</b>	<p>祈り <i>Gone, Gone, Forever Gone</i> ホー・クワン・ミン Ho Quang Minh 27</p>
<b>ベトナム・フランス</b> <b>Vietnam, France</b>	<p>はるか遠い日 <i>A Time Far Past</i> ホー・クワン・ミン Ho Quang Minh 45</p>
<b>香港</b> <b>Hong Kong</b>	<p>あの時に思いを <i>The Moment</i> ウォン・クオツファイ (黃國輝) Wong Kwok Fai 67</p> <p>生きていく日々 <i>The Way We Are</i> アン・ホイ (許鞍華) Ann Hui 51</p> <p>崖つぶちの女たち <i>True Women for Sale</i> ハーマン・ヤウ (邱禮濤) Herman Yau 53</p> <p>玻璃の城 <i>City of Glass</i> メイベル・チャン (張婉婷) Cheung Yuen Ting 33</p> <p>川島芳子 <i>The Last Princess of Manchuria (Kawashima Yoshiko)</i> エディ・フォン (方令正) Fong Ling Ching (Eddie Fong) 17</p> <p>客途秋恨 <i>Song of the Exile</i> アン・ホイ (許鞍華) Ann Hui 17</p> <p>狂舞派 <i>The Way We Dance</i> アダム・ウォン (黃修平) Adam Wong 61</p> <p>剣士 [スウォーズマン剣士列伝] <i>Swordsman</i> キン・フー (胡金銓)、ツイ・ハーク (徐克)、チン・シウトン (程小東) King Hu, Tsui Hark, Ching Siu Tung 19</p>

	<p>上海假期 <i>My American Grandson</i> アン・ホイ (許鞍華) Ann Hui 19</p> <p>新不了情 (つきせぬ想い) <i>C'est la Vie, Mon Chéri</i> イー・タンシン (爾冬陞) Derek Yee Tung Sing 23</p> <p>セックスワーカー <i>Whispers and Moans</i> ハーマン・ヤウ (邱禮濤) Herman Yau 55</p> <p>千言萬語 <i>Ordinary Heroes</i> アン・ホイ (許鞍華) Ann Hui 37</p> <p>大楽師 <i>Concerto of the Bully</i> フォン・チーチアン (馮志強) Fung Chi Chiang 71</p> <p>奪命金 <i>Life Without Principle</i> ジョニー・トー (杜琪峰) Johnnie To 61</p> <p>男人四十 <i>July Rhapsody</i> アン・ホイ (許鞍華) Ann Hui 39</p> <p>月夜の願い <i>He Ain't Heavy, He's My Father</i> ピーター・チャン (陳可辛)、チー・リー (李志毅) Peter Chan, Chee Lee 25</p>
--	---

	<p>Ha Ha 上海 <i>Ha Ha Shanghai</i> クリスティン・チョイ (崔明慧) Christine Choy 37</p> <p>犯罪現場 <i>A Witness Out of the Blue</i> フォン・チーチアン (馮志強) Fung Chih Chiang 75</p> <p>広島廿八 <i>Hiroshima 28</i> ルン・コン (龍剛) Lung Kong 29</p> <p>虎度門 (ワドゥモン) [喝采の扉] <i>Stage Door</i> シュウ・ケイ (舒琪) Shu Kei 27</p> <p>マイ・マザー・イズ・ア・ベリー・ダンサー <i>My Mother is a Belly Dancer</i> リー・コンロツ (李公樂) Lee Kung Lok 49</p> <p>マッド探偵 (タイテクティブ) <i>Mad Detective</i> ジョニー・トー (杜琪峰)、ワイ・カーファイ (韋家輝) Johnnie To, Wai Ka Fai 51</p>
--	--

	<p>リトル・チュン <i>Little Cheung</i> フルーツ・チャン (陳果) Fruit Chan 35</p> <p>Little Big Master (原題) [小さな嵐の大きな奇跡] <i>Little Big Master</i> エイドリアン・クワン (關信輝) Adrian Kwan 65</p> <p>アドナン中尉 <i>Lieutenant Adnan</i> アズイス・M・オスマン Aziz M. Osman 37</p> <p>追いつ追われつ <i>Senario Again</i> アズイス・M・オスマン Aziz M. Osman 37</p> <p>砂利の道 <i>The Gravel Road</i> ティー・バク・クマーラン・メーナン Deepak Kumaran Menon 45</p> <p>十字路 <i>Crossroads</i> ナム・ロン Nam Ron 71</p> <p>相撲ら! <i>Let's Sumo!</i> アフドリン・シャウキ Afdlin Shauki 49</p> <p>タレントタイム <i>Talentine</i> ヤスミン・アフマド Yasmin Ahmad 53</p> <p>ダンシング・ベル <i>Dancing Bells</i> ティー・バク・クマーラン・メーナン Deepak Kumaran Menon 49</p> <p>趙夫人の地獄鍋 <i>Claypot Curry Killers</i> ジェームス・リー (李添興) James Lee 57</p> <p>はぐれ道 (JAGAT 世界の残酷) <i>Brutal</i> サンジェイ・クマール・ベルマル Shanjhey Kumar Perumal 69</p> <p>ハッサン軍曹 <i>Sergeant Hassan</i> ランベルト・アヴェリヤーナ Lamberto Avellana 19</p> <p>光 (ひかり) <i>Guang</i> クイック・シオチュアン Quek Shio Chuan 71</p> <p>ビッグ・ドリアン <i>The Big Durian</i> アミール・ムハマド Amir Muhammad 43</p> <p>放火犯 <i>The Arsonist</i> ウ=エイ・ビン・ハジサアリ U-wei Bin Hajisaari 27</p> <p>ポケットの花 <i>Flower in the Pocket</i> リュウ・センタツク (劉城達) Liew Seng Tat 51</p> <p>ポリス・エボ <i>Polis Evo</i> ガズ・アブ・バカル Ghaz Abu Bakar 67</p> <p>水辺の物語 <i>Woman on Fire Looks for Water</i> ウー・ミンジン (胡明進) Woo Ming Jin 55</p> <p>ラスト・マレー・ウーマン <i>The Last Malay Women</i> エルマ・ファティマ Erma Fatima 33</p>
--	---

<b>ミャンマー</b> <b>Myanmar</b>	
<b>モンゴル</b> <b>Mongolia</b>	
	<p>川の流れるように <i>Down Stream</i> チー・ソウ・トン Kyi Soe Tun 23</p> <p>愛のさだめ <i>Alaqlil Hee</i> J. ビンデル J. Binder 35</p> <p>あなたがいらない時 <i>In Your Absence</i> O. バトウルズイー O. Bat-ulzii 47</p> <p>枷 (かせ) <i>Shackles</i> ナンサリーン・オランチメグ N. Uranchimeg 21</p> <p>牙 <i>The Fang</i> バヤンツァガーネ・バートル Bayanzagane Baatar 21</p> <p>心の言葉 <i>Words from the Heart</i> O. バトウルズイー O. Bat-ulzii 41</p> <p>ゴビの嵐気楼 <i>Mirage above the Gobi Desert</i> R. ドルジバラム R. Dorjpalam 21</p> <p>ゴビの聖者 <i>Ferocious Saint Lord of Gobi</i> I. ニヤムガワー I. Nyamgavaa 31, 35</p> <p>ゴビを渡るフィルム <i>A Vanishing Trade</i> D. ツェンドルジ、T. サラントヤー D. Tsenddorj, T. Sarantuya 37</p> <p>さまよう雄鹿 <i>Running Antelope</i> I. ニヤムガワー、N. ニヤムダワー I. Nyamgawaa, N. Nyamdawaa 25</p> <p>至福の禍 <i>An Unfortunate Fortune</i> N. ニヤムダワー N. Nyamdawaa 21</p> <p>新文字先生 <i>The Teacher of Cyrilil Alphabet</i> B. バダルオーガン B. Badaruugan 33</p> <p>逃亡者トゥムル <i>Tumur of Mountain</i> O. バトウルズイー O. Bat-ulzii 45</p> <p>ハルハ河の英雄的な頁ーノモンハン事件ー <i>The Heroic Pages from the History of the Haruha River Region</i> トゥデビン・チミッド Tudevin Chimid (解説者) 19</p>

	<p>風雲の聖者 <i>A Saint in a Turbulent Age</i> Ts. シェレンドルジ、L. シャラブドルジ Ts. Tserendorj, L. Sharavdorj 21</p> <p>モンゴルの息子 <i>Son of Mongolia</i> I. トraubベルク I. Trauberg 21</p> <p>山の蒼い影 <i>The Shadow</i> B. バダルオーガン B. Badaruugan 37</p> <p><i>Live from UB</i> ローレン・クナツプ Lauren Knapp 67</p> <p>風と砂の女 <i>Desert Dream</i> チャン・リュル (張律/장률) Zhang Lu 49, 73</p> <p>レッド・ロータス <i>The Red Lotus</i> ソムオック・スツティボン Som-ok Southiphone 23</p> <p>ハラル・ラブ <i>Halal Love (and Sex)</i> アサド・フラッドカー Assad Fouladkar 67</p>
--	--

**モンゴル・アメリカ** **Mongolia, USA**

**モンゴル・韓国** **Mongolia, Korea**

**ラオス** **Laos**

**レバノン** **Germany, Lebanon**

## 監督名索引 Index (Film Director)

監督名（日本語）、監督名（英語）、邦題作品名、英題作品名、国名の順に記載しています。

From Left to Right : Film Director, Film Title

<b>A. K. ビール</b> A. K. Bir	少年とハーモニカ <i>Mouth Organ</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> インド 41
<b>B. バダルオーガン</b> B. Badaruugan	新文字先生 <i>The Teacher of Cyrillic Alphabet</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> モンゴル 33
<b>Cem Kaya</b>	山の蒼い影 <i>The Shadow</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> モンゴル 37
<b>D. ツェンドルジ</b> D. Tsenddorj	<i>Remake, Remix, Rip-Of</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> トルコ、ドイツ 65
<b>Florian Heinzen-Ziob</b>	ゴビを渡るフィルム <i>A Vanishing Trade</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> モンゴル 37
<b>G. アラヴィンダン</b> G. Aravindan	<i>Original Copy</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> ドイツ、インド 67
	黄金のシーター <i>Golden Sita</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> インド 17
	サーカス <i>The Circus Tent</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> インド 17
	魔法使いのおじいさん <i>The Bogey-Man</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> インド 17
	エスタツパン <i>Stephen</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> インド 17
	黄昏 <i>Twilight</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> インド 17
	チダンバラム <i>Chidambaram</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> インド 17
	追われた人々 <i>The Dispossessed</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> インド 17
	子象ちゃん <i>The Catch - Naming Ceremony</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> インド 17
	<i>Original Copy</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> ドイツ、インド 67
<b>Georg Heinzen</b>	その橋の下で <i>Under the Bridge</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> スリランカ 23
<b>H. D. プレーマラトウナ</b> H. D. Premaratne	大都会 <i>The City</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> スリランカ 23
<b>I. ニヤムガワー</b> I. Nyamgawaa (I. Nyamgavaa)	さまよう雄鹿 <i>Running Antelope</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> モンゴル 25
	ゴビの聖者 <i>Ferocious Saint Lord of Gobi</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> モンゴル 31, 35
	モンゴルの息子 <i>Son of Mongolia</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> モンゴル 21
	<i>Don't Think I've Forgotten:Cambodia's Lost Rock and Roll</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> カンボジア、アメリカ 65
<b>J. ビンデル</b> J. Binder	愛のさだめ <i>Alaqrnil Hee</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> モンゴル 35
<b>K. ラジャゴバル</b> K Rajagopal	<i>The Flame</i> (オムニバスタイトル:セブンレターズ) <span><span><span></span></span><span> </span></span> シンガポール 67
<b>Leonardo Cinieri Lombroso</b>	<i>Southeast Asian Cinema - When the Rooster Crows</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> イタリア、シンガポール 65
<b>L. シャラブドルジ</b> L. Sharavdorj	風雲の聖者 <i>A Saint in a Turbulent Age</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> モンゴル 21
<b>N. ニヤムダワー</b> N. Nyamdawaa	至福の禍 <i>An Unfortunate Fortune</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> モンゴル 21
	さまよう雄鹿 <i>Running Antelope</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> モンゴル 25
	子象ちゃん <i>The Catch - Naming Ceremony</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> インド 17
	心の言葉 <i>Words from the Heart</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> モンゴル 41
	逃亡者トゥムル <i>Tumur of Mountain</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> モンゴル 45
	あなたがいない時 <i>In Your Absence</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> モンゴル 47
	ゴビの蜃気楼 <i>Mirage above the Gobi Desert</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> モンゴル 21
	ゴビを渡るフィルム <i>A Vanishing Trade</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> モンゴル 37
	風雲の聖者 <i>A Saint in a Turbulent Age</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> モンゴル 21

<b>アーヴィン・チェン</b> （陳駿霖） Arvin Chen	ウイル・ユー・スタイル・ラブ・ミー・トゥモロー? <i>Will You Still Love Me Tomorrow?</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> 台湾 61
-----------------------------------	--

<b>アーミル・バシール</b> Aamir Bashir	カンミールの秋 <i>Autumn</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> インド 57
<b>アイドゥン・サイマン</b> Aydin Sayman	裏側の子どもたち <i>Children of Secret</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> トルコ 43
<b>アクタン・アブディカリコフ</b> Aktan Abdykalykov	旅立ちの汽笛 <i>The Chimp</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> キルギスタン 39
<b>アサド・フラッドカー</b> Assad Fouladkar	ハラル・ラブ <i>Halal Love (and Sex)</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> レバノン 67
<b>アズイス・M・オスマン</b> Aziz M. Osman	追いつ追われつ <i>Senario Again</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> マレーシア 37
	アドナン中尉 <i>Lieutenant Adnan</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> マレーシア 37
	戦火の中へ <i>Hoor on Fire</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> イラン 25
	冷たい涙 <i>The Tear of the Cold</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> イラン 43
	アバウト・エリ [彼女が消えた浜辺] <i>About Elly</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> イラン 53, 59
	ナデルとシミン [別離] <i>Nader and Simin, A Separation [A Separation]</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> イラン 57, 59

<b>アズイゾラー・ハミドネジャド (アズイゾラー・ハミド=ネジャド)</b> Azizollah Hamidnezhad (Azizollah Hamid-Nezhad)	砂塵にさまよう <i>Dancing in the Dust</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> イラン 59
<b>アスガー・ファルハディ</b> Asghar Farhadi	美しい都市 (まち) <i>Beautiful City</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> イラン 59
	火祭り <i>Fireworks Wednesday</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> イラン 59
	狂舞派 <i>The Way We Dance</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> 香港 61
	友だちのうちはどこ? <i>Where is the Friend's Home?</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> イラン 21
	悲しみを聴く石 <i>The Patience Stone</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> アフガニスタン 61
	ナイト・ゴッド <i>Night God</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> カザフスタン 73
	従属する者 <i>The Servile</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> インド 23
	モノローグ <i>Monologue</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> インド 31
	シャドー・キル <i>Shadow Kill</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> インド 41
	車の影に <i>Chassis</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> フィリピン 57
	さかなの寓話 <i>Fable of the Fish</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> フィリピン 59

<b>アダム・ウォン</b> （黃修平） Adam Wong	
<b>アッバス・キアロスタミ</b> Abbas Kiarostami	
<b>アティグ・ラヒミ</b> Atiq Rahimi	
<b>アディルハン・イェルジャノフ</b> Adilkhan Yerzhanov	
<b>アドゥール・ゴーパーラクリシュナン</b> Adoor Gopalakrishnan	
<b>アドルフオ・ボリナガ・アリックス Jr.</b> Adolfo Borinaga Alix Jr.	

<b>アヌーブ・クリアン</b> Anup Kurian	
<b>アヌチャー・ブンヤワッタナ</b> Anucha Boonyawatana	

<b>アナラーグ・カシャブ</b> Anurag Kashyap	
<b>アノーチャ・スウィッチャーゴーンボン</b> Anocha Suwichakornpong	
<b>(アノーチャ・スイツチャーゴーンボン)</b>	
<b>(アノーチャ・スウィツチャーゴーンボン)</b>	

<b>アパルナ・セン (アパルナ・セーン)</b> Aparna Sen	
--------------------------------------	--

<b>アブドッラー・オウズ</b> Abdullah Oğuz	
<b>アフドリン・シャウキ</b> Afdlin Shauki	
<b>アブドラティフ・アブドルハミド</b> Abdullatif Abdulhamid	
<b>アブドレザ・カハニー</b> Abdolreza Kahani	
<b>アボルファズル・ジャリリ</b> Abolfazl Jalili	
<b>アミ・プリヨ</b> Ami Priyono	
<b>アミール・カラクーロフ</b> Amir Karakulov	
<b>アミール・ムハマド</b> Amir Muhammad	
<b>アミル・ナデリ</b> Amir Naderi	
<b>アモール・バーレーカル</b> Amol Palekar	
<b>アリ・ジャベルアンサリ</b> Ali Jaberansari	
<b>アリ・ハタミ</b> Ali Hatami	
<b>アリ=レザ・ダウドネジャード (アリザ・ダウドネジャード)</b> Alireza Davudnezhad (Ali-Reza Davudnezhad)	
<b>アルダク・アミルクロフ</b> Ardak Amirkulov	
<b>アルン・コウル</b> Arun Kaul	
<b>アン・ホイ</b> （許鞍華） Ann Hui	

<b>アング・ドウィマス・サソニコ</b> Angga Dwimas Sasongko	
---	--

<b>イ・イニ</b> (이인익) Lee In Eui	
<b>イ・ジャンホ (イ・ジャンホ)</b> (이장호／李長鎬) Lee Jang Ho	

<b>イ・ジョンヒャン</b> (이정향) Lee Jung Hyang	
<b>イ・ソクン</b> (이석훈) Lee Seok Hoon	
<b>イ・チャンドン</b> (이창동／李滄東) Lee Chang Dong	

<b>イ・ハン</b> (이환) Lee Han	
<b>イ・ミニョン</b> (이민용／李珉鎔) Lee Min Yong	

<b>イ・ユリム</b> (이유림) Lee Yu Rim	
<b>イー・タンシン</b> （爾冬陞） Derek Yee Tung Sing	
<b>イーレー・ガウダ</b> Ere Gowda	
<b>イヴァン・マルコヴィッチ</b> Ivan Marković	
<b>池谷薫</b> Ikeya Kaoru	

<b>イサク・リイ</b> （李志燾） Isaac Li	
<b>石井岳龍</b> Ishii Gakuryu	
<b>イシュマエル・ベルナル</b> Ishmael Bernal	

<b>イスマイル・バสบス</b> Ismail Basbeth	
<b>市川崑</b> Ichikawa Kon	

<b>市川準</b> Ichikawa Jun	
-------------------------	--

マナサロワールの愛 Manasarovar <span><span><span></span></span><span> </span></span> インド 45
蒼ざめた時刻 <i>The Blue Hour</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> タイ 65
別れの花 <i>Malila: The Farewell Flower</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> タイ 71
血の抗争 <i>Gangs of Wasseypur</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> インド 61
グレイスランド <i>Graceland</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> タイ 49, 75
ありふれた話 <i>Mundane History</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> タイ 55, 75
暗くなるまでには (いつか暗くなるときに) <i>By the Time It Gets Dark</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> タイ 69, 75
クラビ, 2562 <i>Krabi, 2562</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> イギリス、タイ 75
<i>Black Mirror</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> タイ 75
<i>Jai</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> タイ 75
<i>Overseas</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> タイ 75
<i>Nightfall</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> タイ 75
<i>The Ambassadors</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> タイ 75
<i>The Line</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> タイ 75

バロミタ <i>House of Memories</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> インド 37
Mr. & Mrs. アイヤル <i>Mr. and Mrs. Iyer</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> インド 41
妻は、はるか日本に <i>Japanese Wife, The</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> インド 57
至上の掟 <i>Bliss</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> トルコ 51
相撲ら! <i>Let's Sumo!</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> マレーシア 49
サービス圏外 <i>Out of Coverage</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> シリア 51
セレモニーホール <i>Twenty</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> イラン 55
春へ <i>The Spring</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> イラン 33
囚われの美女口ロ・ムンドゥット <i>Roro Mendut</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> インドネシア 17
歌って <i>Don't Cry</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> カザフスタン 41
ビッグ・ドリアン <i>Big Durian, The</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> マレーシア 43
ハーモニカ <i>Harmonica</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> イラン 25
青いマンゴー <i>The Raw Mango</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> インド 35
恋の街、テヘラン <i>Tehran: City of Love</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> イラン 73
魅惑 <i>The Love-Stricken</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> イラン 33
選択 <i>The Need</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> イラン 21
としごろ <i>Sweet Agony</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> イラン 33
さよならグルサルー <i>Farewell, Gulsary!</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> カザフスタン 53
めざめ <i>The Initiation</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> インド 19
客途秋恨 <i>Song of the Exile</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> 香港 17
上海假期 <i>My American Grandson</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> 香港 19
千言萬語 <i>Ordinary Heroes</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> 香港 37
男人四十 <i>July Rhapsody</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> 香港 39
生きていく日々 <i>Way We Are, The</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> 香港 51

モルツカの光 <i>We Are Moluccans</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> インドネシア 65
プラハからの手紙 <i>Letters from Prague</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> インドネシア 67
ベンとジョアイ〜珈琲哲学 第二章〜 <i>Ben &amp; Jody</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> インドネシア 69
贈り物 <i>Gift</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> 韓国 49
ミョンジャ・明子・ソーニャ <i>Myungja-Akiko-Sonya</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> 韓国 19
神の眼の元に <i>God's Eye View</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> 韓国 63
おはあちゃんの家 <i>The Way Home</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> 韓国 39
ダンシング・クイーン <i>Dancing Queen</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> 韓国 59
ペパーミント・キャンディー <i>Peppermint Candy</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> 韓国 35, 61
オアシス <i>Oasis</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> 韓国 41, 61
グリーン・フィッシュ <i>Green Fish</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> 韓国 61
シークレット・サンシャイン <i>Secret Sunshine</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> 韓国 61
ポエトリー アグネスの詩 <i>Poetry</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> 韓国 61

Lovers' Concerto [永遠の片思い] <i>Lovers' Concerto</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> 韓国 41
灼熱の屋上 <i>A Hot Roof</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> 韓国 29
ポリウルの夏 <i>Season in the Sun</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> 韓国 41
普通の人々 <i>Ordinary People</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> 韓国 49
新不了情 (つきせぬ想い) <i>C'est la Vie, Mon Chéri</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> 香港 23
腕輪を売る男 <i>Balekempa</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> インド 71
明日から幸せな人になろう <i>From Tomorrow On, I Will</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> 中国、セルビア 75
延安の娘 <i>Daughter from Yan'an</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> 日本 41
蟻の兵隊 <i>The Ants</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> 日本 47
自転車で行こう <i>The Road in the Air</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> 台湾 49
ソレダケ/ that's it <i>that's it</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> 日本 65
水の中のほくら (デジタルレストア・リマスター版) <i>A Speck in the Water</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> フィリピン 71

月までアナザー・トリップ <i>Another Trip to the Moon</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> インドネシア 65
その木戸を通して <i>Fusa</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> 日本 23
東京オリンピック <i>Tokyo Olympiad</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> 日本 61
雪之丞変化 <i>Yukinojo (An Actor's Revenge)</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> 日本 67
トニー滝谷 <i>Tony Takitani</i> <span><span><span></span></span><span> </span></span> 日本 71

**井上佳子** Inoue Keiko  
**井上都紀** Inoue Tsuki  
**イファ・イスファンシャ** Ifa Isfansyah

**今田哲史** Imada Satoshi  
**今村昌平** Imamura Shohei  
**イム・グォンテク** (임권택／林權澤) Im Kwon Taek

**イム・スルレ** (임순례) Yim Soon Rye  
**イワン・セン** Ivan Sen  
**イン・チー** (尹祺) Yin Chi  
**イン・リャン** (应亮) Ying Liang

**ウ=エイ・ピン・ハジサアリ** U-wei Bin Hajisaari  
**ヴァサント・S・サーイ** Vasanth S. Sai  
**ウィー・リー・リン** Wee Li Li Lin  
**ヴィエト・リン** Viet Linh

**ヴィクター・ヴー** Victor Vu

**ウィシット・サーサナティアン** Wisit Sasanatieng  
**ウィチャノン・ソムウムジャーン** Wichanon Somumjarn

**ウィッタヤー・トーンユーヨン** Vithaya Thongyuyong  
**ヴー・ゴク・ダン** Vu Ngoc Dang  
**ウー・ミンジン** (胡明進) Woo Ming Jin  
**ウー・リンフォン** Wu Linfeng  
**ウォン・クオツファイ** (黃國輝) Wong Kwok Fai  
**ウォン・ヤオティン** (溫耀庭) Wen Yao Ting  
**ウベルト・パゾリーニ** Uberto Pasolini  
**ウミット・C・ギュベン** Ümit C. Güven  
**エイドリアン・クワン** (關信輝) Adrian Kwan  
**エカチャイ・スィーウィーチャイ** Akechai Srivichai  
**エスベン・トールシュテンゾン** Espen Thorstenson  
**エッセイ・リウ** (劉梓濠) Essay Liu  
**エディ・フォン** (方令正) Fong Ling Ching (Eddie Fong)  
**エドウィン** Edwin  
**エブラヒム・フルゼシュ** Ebrahim Forouzesh (Ebrahim Foruzesh)

**エミル・ヘラディ** Emil Heradi

**エミン・アルベル** Emin Alper  
**エリック・クー** Eric Khoo  
**エルネスト・アブディジャハロフ** Ernest Abdyjaparov  
**エルマ・ファティマ** Erma Fatima  
**エルラン・ヌルムハンベトフ** Yerlan Nurmukhambetov  
**エロル・ミンタシュ** Erol Mintaş  
**エンスイエ・シャー・ホセイニエ** Ensieh Shah-Hosseini  
**オ・ギファン** (오기환) Oh Ki Hwan  
**オ・サンフン** (오상훈) Oh Sang Hun  
**大塚竜治** Otsuka Ryuji  
**大友克洋** Otomo Katsuhiro  
**大林宣彦** Obayashi Nobuhiko

**大森美香** Oomori Mika  
**岡本喜八** Okamoto Kihachi  
**荻上直子** Ogigami Naoko

空白〜述懐・ハンセン病報道〜 *Kuhaku* 日本 43  
不惑のアダージョ *Autumn Adagio* 日本 55  
聖なる踊子 *The Dancer* インドネシア 61  
黄金杖秘聞 *The Golden Cane Warrior* インドネシア 65  
熊笹の遺言 *Live Forever* 日本 43  
女衞 ZEGEN *Zegen* 日本 65  
キルソドム *Gilsodom* 韓国 17, 35  
開闢 (かいびやく) *Kae Byok* 韓国 21  
太白山脈 *The Taebaek Mountains* 韓国 25  
祝祭 *Festival* 韓国 27  
春香伝 *Chunhyang* 韓国 35  
酔画仙 *Chihwaseon* 韓国 39  
下流人生 *Raging Years* 韓国 43

彼女の重さ *The Weight of Her* (オムニバスタイトル:もし、あなたなら) 韓国 41  
雲の下を *Beneath Clouds* オーストラリア 41  
夜に逃れて *Fleeing by Night* 台湾 37  
自由行 *Family Tour, A* 台湾 73  
放火犯 *The Arsonist* マレーシア 27  
シヴァランジャニとふたりの女 *Sivaranjani and Two Other Women* インド 73  
ゴーン・ショッピング! *Gone Shopping* シンガポール 53  
アパートメント *Collective Flat* ベトナム 33  
メタオ *There was Once a Time When…* ベトナム 41  
スキャンダル *Scandal* ベトナム 67  
緑の野に黄色い花 [草原に黄色い花を見つける] *Yellow Flowers on the Green Grass* ベトナム 67  
レッド・イーグル *The Red Eagle* タイ 57  
見えざる者 *The Unseeable* タイ 69  
4月の終わりに霧雨が降る *In April The Following Year, There Was a Fire* タイ 59

*Overseas* タイ 75  
恋するリトル・コメディアン *The Little Comedian* タイ 57  
美脚の娘たち *Long Legged Girls* ベトナム 67  
水辺の物語 *Woman on Fire Looks for Water* マレーシア 55  
明日から幸せな人になろう *From Tomorrow On, I Will* 中国、セルビア 75  
あの時に思いを *The Moment* 香港 67  
2番手のクイーン *Queen of the Bench* (オムニバスタイトル:悪女列傳) 台湾 33  
マチャン/大脱走 *Machan* スリランカ 53  
裏側の子どもたち *Children of Secret* トルコ 43  
Little Big Master (原題)[小さな園の大きな奇跡] *Little Big Master* 香港 65  
明日への戴冠 *The Crown* タイ 69  
七つの海を越えて *Beyond the Seven Seas* パキスタン、ノルウェー 19  
お父ちゃんの初七日 *Seven Days in Heaven* 台湾 55  
川島芳子 *The Last Princess of Manchuria* (*Kawashima Yoshiko*) 香港 17  
動物園からのポストカード *Postcards From the Zoo* インドネシア 65  
ぼくは一人前 *The Little Man* イラン 31

石油地帯の子たち *Oil Children* イラン 37  
サガルマータ *Sagarmatha* インドネシア 65  
バスは夜を走る *Night Bus* インドネシア 71  
三人姉妹の物語 *A Tale of Three Sisters* トルコ 75  
Cinema (オムニバスタイトル:セブンレターズ) シンガポール 67  
盗まれた花嫁 *Pure Coolness* キルギスタン 51  
ラスト・マレー・ウーマン *The Last Malay Women* マレーシア 33  
くるみの木 *Walnut Tree* カザフスタン 67  
望郷のうた *Song of My Mother* トルコ 65  
おやすみなさい、兵士たち *Goodbye, Life* イラン 47  
ラスト・プレゼント *Last Present* 韓国 39  
ネギをサクサク、卵をボン *Cracked Eggs & Noodles* 韓国 45  
フーリッシュ・バード *The Foolish Bird* 中国 69  
ワールド・アパートメント・ホラー *World Apartment Horror* 日本 17

はるか、ノスタルジイ *Haruka, Nostalgie* 日本 19  
花筐／HANAGATAMI *Hanagatami* 日本 69  
HOUSE／ハウス *HOUSE* 日本 69  
異人たちとの夏 *The Discarnates* 日本 69  
青春デンテケテケテケ *The Rocking Horsemen* 日本 69  
ネコナテ *Nekonade* 日本 51  
ああ爆弾 *Oh! My Bomb!* 日本 61  
バーバー吉野 *Yoshino's Barber Shop* 日本 57  
恋は五・七・五! *Koiwa Go-Shichi-Go!* 日本 57  
かもめ食堂 *Kamome Diner* 日本 57

**荻上直子** Ogigami Naoko

**オキサイド・パン** Oxide Pang  
**長田紀生** Osada Norio

**オズジャン・アルベル** Özcan Alper

**オレグ・センツォフ** Oleg Sentsov  
**恩地日出男** Onchi Hideko

**ガズ・アブ・バカール** Ghaz Abu Bakar  
**勝間田具治** Katsumata Tomoharu

**カマラ・カマロワ** Kamara Kamalova  
**カマル・タブリーズイー** Kamal Tabrizi  
**亀井亨** Kamei Toru  
**ガリン・ヌグロホ** Garin Nugroho

**カルロ・エンシーソー・カトゥ** Carlo Enciso Catu  
**川島透** Kawashima Toru  
**河瀬直美** Kawase Naomi  
**カン・イグァン** (강이관) Kang Yi Kwan  
**北野武** Kitano Takeshi  
**ギデنز** (九把刀) Giddens  
**キドラット・タヒミック** Kidlat Tahimik

**キム・ジョングォン** (김정권) Kim Jung Kwon  
**キム・ジンミン** (김진민) Kim Jin Min  
**キム・ドンヒョン** (김동현) Kim Dong Hyun  
**キム・ヤンヒ** (김양희) Kim Yang Hee  
**キム・ユジン** (김유진／金裕珍) Kim Yoo Jin  
**キム・ヨンジェ** (김영제) Kim Young Jae  
**キム・ヨンジュン** (김영춘) Kim Young Jun  
**キム・ヨングナム** (김영남) Kim Young Nam  
**キャマル・タブリジ** Kamal Tabrizi  
**キュマルス・プリアマド** Kiumars Poorahmad  
**ギリーシャ・カーサラヴァッリ** Girish Kasaravalli  
**キン・フー** (胡金銓) King Hu

**クイック・シオチュアン** Quek Shio Chuan  
**グエン・カック・ロイ** Nguyen Khac Loi  
**グエン・クワン・ズン** Nguyen Quang Dung

**グエン・タイン・ヴァン** Nguyen Thanh Van  
**グエン・ファン・クワン・ビン** Nguyen Phan Quang Binh

**グエン・ホアン・ティエツプ** Nguyen Hoang Diep  
**クオ・チェンティ** (郭珍弟) Kuo Chen Ti  
**クオ・ファン** (郭帆) Frant Gwo  
**久保田傑** Kubota Suguru  
**熊井啓** Kumai Kei  
**熊谷博子** Kumagai Hiroko  
**熊切和嘉** Kumakiri Kazuyoshi  
**グラナーズ・ムサウイー** Granaz Moussavi  
**蔵原惟繕** Kurahara Koreyoshi

**黒木和雄** Kuroki Kazuo  
**黒沢清** Kurosawa Kiyoshi  
**ケイ・グエン** Kay Nguyen  
**ケルビン・トン** (ケルビン・トング)(唐永健) Kelvin Tong

**ケンツェ・ノルブ** Khyentse Norbu  
**コ・イーチョン** (柯一正) Ko I Cheng  
**ゴー・クワン・ハーイ** Ngo Quang Hai  
**ゴー・クワン** Ngo Cuong

めがね *Megane* 日本 57  
トイレット *Toilet* 日本 57  
運命からの逃走 *Who is Running?* タイ 31  
No. 10 ブルース／さらばサイゴン *Number 10 Blues/ Goodbye, Saigon* 日本、ベトナム 61

未来へつづく声 *Future Lasts Forever* トルコ 59  
風は記憶 *Memories of the Wind* トルコ 67  
ゲーマー *Gaamer* ウクライナ 61  
蕨野行 (わらびのこう) *WARABINOKOU - to the bracken fields* 日本 41

ポリス・エボ *Polis Evo* マレーシア 67  
三国志・第一部「英雄たちの夜明け」*Romance of the Three Kingdoms Part1: The Dawn of Heroes* 日本 17  
天空の路 *The Road Under the Heavens* ウズベキスタン 49  
ザ・リザード *The Lizard* イラン 43  
幼獣マメシバ *Mameshiba* 日本 53  
一度でいいからキスしたい *Bird-Man Tale* インドネシア 43  
オペラジャワ *Opera Jawa* インドネシア 65  
ぼくは詩の王様と暮らした *My Life with a King* フィリピン 67  
押繪と旅する男 *Mirage* 日本 21  
殯の森 *The Mourning Forest* 日本 55  
未熟な犯罪者 *Juvenile Offender* 韓国 61  
HANA-BI *HANA-BI* 日本 71  
あの頃、君を追いかけた *You Are the Apple of My Eye* 台湾 59  
Lakaran Ni Kabunyan (*Kabunyan's Journey*) (オムニバスタイトル:それぞれの道のり) フィリピン 73

バボ *BA:BO* 韓国 51  
オー!マイDJ *Au Revoir, UFO* 韓国 43  
見知らぬ国で *Hello, Stranger* 韓国 51  
過ぎ去る一日 *One Day to Be Passing by* 韓国 49  
おせっかいはNO、愛はOK *Love is Oh Yeah* 韓国 23  
いつか判る *You Will Know* 韓国 49  
飛天舞 (ビチヨンム) *Bichunmoo* 韓国 37  
ドント・ルック・バック *Don't Look Back* 韓国 47  
夢がほんとに *Leily is with Me* イラン 27  
パンと詩 *Bread and Poetry* イラン 25, 35  
島 *The Island* インド 39  
剣士 [スウォーズマン剣士列伝] *Swordsman* 香港 19  
光 (ひかり) *Guang* マレーシア 71  
退役将軍 *The Retired General* ベトナム 19  
超人 X. *Super X.* ベトナム 65

ベトナムを懐 (おも) う *Hello Vietnam* ベトナム 69  
砂のような人生 *Sandy Lives* ベトナム 35  
コウトリの歌 *Song of the Stork* ベトナム、シンガポール 43  
クエン ～さらば、ベルリンの壁よ～ *Farewell, Berlin Wall* ベトナム 67  
どこでもないところで羽ばたいて *Flapping in the Middle of Nowhere* ベトナム 67  
山猪温泉 *The Boar King* 台湾 63  
時空の扉 *Lee's Adventure* 中国 59  
福本耕平かく走りき *Kohei's Race* 日本 19  
愛する *To Love* 日本 29  
三池～終わらない炭鉱 (やま) の物語 *Echoes from the Miike Mine* 日本 45  
空の穴 *Hole in the Sky* 日本 37  
私のテヘラン *My Tehran for Sale* イラン 55  
憎いあんちくしょう *I Hate But Love* 日本 73  
黒い太陽 *Black Sun* 日本 73  
夜明けのうた *The Song of Awakening* 日本 73  
Ha Ha 上海 *Ha Ha Shanghai* 香港 37  
彷徨のゆくえ *Fourth Direction* インド 67  
ここに陽はのぼる ～東ティモール独立への道 *Where the Sun Rises* シンガポール、東ティモール 49

美しい夏キリシマ *Kirishima* 1945 日本 39  
トウキョウソノナタ *Tokyo Sonata* 日本 55  
仕立て屋 サイゴンを生きる [サイゴン・クチュール] *The Tailor* ベトナム 71  
すばらしき大世界 *It's A Great, Great World* シンガポール 57  
GPS (オムニバスタイトル:セブンレターズ) シンガポール 67  
ザ・カップ [ザ・カップ、夢のアンテナ] *The Cup* ブータン 35  
娃娃 (ワフ) と子豚 *A Piggy Tail* 台湾 19  
パオの物語 *Story of Pao* ベトナム 47  
ロスト・ドラゴン *The Lost Dragon* ベトナム 67

**ゴータム・ゴーシュ** Goutam Ghose

**コムグリット・ドゥリーウイモン** Khomkrit Treewimol

**是枝裕和** Koreeda Hirokazu

**コンラッド・クラーク** Conrad Clark

## サ

**崔洋一** Sai Yoichi

**サイー・パラーンジペー** Sai Paranjpye

**サイド・アンジュム** Saeed Anjum

**ザキル・ホセイン・ラジュ** Zakir Hossain Raju

**佐々木昭一郎** Sasaki Shoichiro

**サディック・シェル・ニヤーズ** Sadyk Sher-Niyaz

**サマン・サルール** Saman Salour

**サンジェイ・クマール・ベルマル** Shanjhey Kumar Perumal

**サンジャイ・リーラー・バンサーリー** Sanjay Leela Bhansali

**サンディーブ・サーヴァント** Sandeep Sawant

**サントーシュ・シヴァン** Santosh Sivan

**シアオ・ヤーチュアン**（蕭雅全） Hsiao Ya Chuan

**シヴァン** Sivan

**シエ・チュンイー**（謝駿毅） Hsieh Chun Yi

**シエ・チンリン**（謝慶鈴） Hsieh Chinlin

**シエ・フェイ**（謝飛） Xie Fei

**ジェームス・ネイピア・ロバートソン** James Napier Robertson

**ジェームス・リー**（李添興） James Lee

**ジェーンワイ・トンディーノーク** Genwai Thongdenok

**ジェミル・アアジュックオウル** Cemil Agacikoglu

**シェリーン・セノ** Shireen Seno

**シェロン・ダヨック** Sheron Dayoc

**ジョン・ドオンティエン**（鄭洞天） Zheng Dongtian

**ジグ・ドウライ** Zig Dulay

**実相寺昭雄** Jissoji Akio

**篠田正浩** Shinoda Masahiro

**シャーン・N. カルン** Shaji N. Karun

**シャーマプラサード** Shyamaprasad

**シャーミル・ナジャフザデ** Shamil Najafzada

**シャーム・ベネガル** Shyam Benegal

**シャーラム・モクリ** Shahram Mokri

**シャウキット A. コルキ** Shawkat A. Korki

**ジャック・ネオ** Jack Neo

**ジャヌ・バルア**（ジャヌ・ボルア） Jahnu Barua

**ジャノ・ロジェビアーニー** Jano Rosebiani

**シャフラム・アリーディ** Shahram Alidi

**ジャヤラージ** Jayaraaj

**シャリバ・ウラズバエヴァ** Sharipa Urazbayeva

**シュイ・ゴン**（徐耿） Xu Geng

**シュイ・チャオレン**（許肇任） Hsu Chao Jen

**シュウ・ケイ**（舒琪） Shu Kei

**シュー・ブルックス** Sue Brooks

**シュー・リーゴン**（徐立功） Hsu Li Kong

**ジャヤラージ** Jayaraaj

**ショエーブ・マンスール** Shoaib Mansoor

**ジョノ・ロジェビアーニー** Jano Rosebiani

**シャフラム・アリーディ** Shahram Alidi

**ジャヤラージ** Jayaraaj

**シャリバ・ウラズバエヴァ** Sharipa Urazbayeva

**シュイ・ゴン**（徐耿） Xu Geng

**シュイ・チャオレン**（許肇任） Hsu Chao Jen

**シュウ・ケイ**（舒琪） Shu Kei

**シュー・ブルックス** Sue Brooks

**シュー・リーゴン**（徐立功） Hsu Li Kong

**ジャヤラージ** Jayaraaj

**ショエーブ・マンスール** Shoaib Mansoor

**ジョエル・ラマンガン** Joel Lamangan

**ジョー・バクス** Joe Bacus

**ジョコ・アンワル** Joko Anwar

**ジョナサン・フー** Jonathan Foo

再び森で… *In the Forest…Again* インド 43

親友 *Dear Dakanda* タイ 47

幻の光 *Maborosi* 日本 71

夢にかける女 *A Fallible Girl* イギリス、中国 61

月はどっちに出ている *All Under the Moon* 日本 55

希望の行方 *The Immigrants* インド 17

メロディ *Melody* インド 31

七つの海を越えて *Beyond the Seven Seas* パキスタン、ルウェー 19

民衆の中の顔 *Face in the Millions* バングラデシュ 19

ミンヨン倍音の法則 *Harmonics Minyoung* 日本 65

山嶺の女王 *クルマンジャン* *Kurmanjan Datka Queen of the Mountains* キルギスタン 65

テヘランの孤独 *Lonely Tunes of Tehran* イラン 53

はぐれ道 (JAGAT 世界の残酷) *Brutal* マレーシア 69

心のままに *Straight from the Heart* インド 35

ひと呼吸 *A Breath* インド 45

テロリスト *The Terrorist* インド 33

台北カフエ・ストーリー *Taipei Exchanges* 台湾 57

ぼくの家出 *Shelter* インド 21

旅路 *The Journey* インド 33

ロマンス狂想曲 *Apolitical Romance* 台湾 63

光と陰の物語 :台湾新電影 *Flowers of Taipei - Taiwan New Cinema* 台湾、イタリア 65

香魂女 *Oilmaker's Family* 中国 21

ダークホース *The Dark Horse* ニュージーランド 65

趙夫人の地獄鍋 *Claypot Curry Killers* マレーシア 57

カティの幸せ *The Happiness of Kati* タイ 53

9月 *The September* トルコ 59

なあばす・とらんすれいしよん *Nervous Translation* フィリピン 71

嘆きの河の女たち *Women of the Weeping River* フィリピン 71

台湾往事 *My Bittersweet Taiwan* 中国 43

バガへ *The Baggage* フィリピン 71

歌麿 夢と知りせば *Utamaro's World* 日本 63

暗殺 *Assassination/The Assassin* 日本 61

乾いた花 *Pale Flower* 日本 61

無頼漢 *The Scandalous Adventures of Buraikan* 日本 63

写楽 *Sharaku* 日本 63

私自身のもの *My Own* インド 25, 35

最後の舞 *The Last Dance* インド 35

心の調べ *Octave* インド 39

誓いの炎 *With Fire as Witness* インド 33

へだたり *At a Distance* インド 43

まほろしの砦 *Fortress* アゼルバイジャン 55

ようこそサツジャンプルへ *Welcome to Sajjanpur* インド 53

予兆の森で *Fish and Cat* イラン 63

砂塵を越えて *Crossing The Dust* イラク クルティスタン 49

*That Girl* (オムニバスタイトル:セブンレターズ) シンガポール 67

虹に乗って *Ride on the Rainbow* インド 39

私はガンディーを殺していない *I Did Not Kill Gandhi* インド 47, 55

河は流れる *And the River Flows* インド 35

少女ジャーン *Life* イラク 45

風のささやき *Whisper with the Wind* イラク 55

悲哀 *Pathos* インド 35

マリyam *Mariam* カザフスタン 75

草の家 *Thatched Memories* 中国 35

少し恋して、ちょっと愛して *Together* 台湾 61

虎度門 (フードゥモン)[喝采の扉] *Stage Door* 香港 27

ジャパニーズ・ストーリー *Japanese Story* オーストラリア 43

夜に逃れて *Fleeing by Night* 台湾 37

神の戯れ *The Play of God* インド 31

神に誓って *In the Name of God* パキスタン 51, 55

BOL〜声をあげる〜 *Speak Up* パキスタン 59

フロール事件 *The Flor Contemplacion Story* フィリピン 27

あの日の約束 *Yesterday's Promise* フィリピン 27

あの時、なぜ！ *Why Is There a Yesterday?* フィリピン 29

マルカド、月を喰らうもの *Markado: The Moon Devourer* フィリピン 73

禁断の扉 *The Forbidden Door* インドネシア 55

コウトリの歌 *Song of the Stork* ベトナム、シンガポール 43

**ジョナサン・ユー**（ユン尚욱） Jonathan You

**ジョニー・トー**（杜琪峰） Johnnie To

**シルス・アルバンド** Sirius Alvand

**新藤兼人** Shindo Kaneto

**スーニー・ターラーブルワーラー** Sooni Taraporevala

**須川栄三** Sugawa Eizou

**スカンヤー・ウォンサターバット** Sukanya Vongsthatpat

**スジョイ・ゴーシュ** Sujoy Ghosh

**すずきじゅんいち** Suzuki Junichi

**鈴木清順** Suzuki Seijun

**スダトゥウ・デーワプリヤ** Sudath Devapriya

**スツル・スレイヤ・オンデル** Sirri Sureyya Önder

**スニル・アーリヤラトゥナ** Sunil Ariyaratna

**スミトラ・ピーリス** Sumitra Peries

**スラメット・ラハルジョ・ジャロット** Slamet Rahardjo Djarot

**スン・チョウ**（孫周） Sun Zhou

**スندگان C.** Sunder C.

**瀬々敬久** Zese Takahisa

**セミヒ・カブランオウル**（**セミフ・カブランオール**） Semih Kaplanoglu

**セリック・アプリモフ** Serik Aprymov

**セレン・ユジェ** Seren Yüce

**相米慎二** Somai Shinji

**ソーマラトウネ・ディサーナーヤカ** Somaratne Dissanayake

**ソク・ミン**（석민우） Seok Min Woo

**ソト・クォーリーカー** Sotho Kulikar

**ソムオック・スツティボン**

**ソムキアット・ウィットウラニット** Somkiat Vithuranich

**ソン・チダク**（成國圖） Song Chi Guk

**ソントアルジャ**（松太加） Sonthar Gyal

**タイフン・ビルセリムオウル** Tayfun Pirselimoglu

**タウィー・ナ・バーンチャーン** Thavi Na Bangchang

**ダオ・バー・ソン** Dao Ba Son

**高橋泉** Takahashi Izumi

**高橋和男** Takahashi Kazuo

**滝沢英輔** Takizawa Eisuke

**田坂具隆** Tasaka Tomotaka

**ダニエル・フイ** Daniel Hui

**ダニエル・ヤム** Daniel Yam

**ダリウシュ・メールジュイ**（**ダリユシ・メヘルジュイ**） Dariush Mehrjui

**タリウシュ・メールジュイ**（**ダリユシ・メヘルジュイ**） Dariush Mehrjui

**タルガット・テムメフ** Talgat Temenov

**ダン・ニャット・ミン** Dang Nhat Minh

**タン・ピンピン** Tan Pin Pin

**タンビール・モカンメル** Tanvir Mokammel

**タンワリン・スカピシット** Tanwarin Sukkhapisit

**チアン・ウェン**（**チャン・ウエン**）（姜文） Jiang Wen

ミステリー・オブ・ザ・キューブ *The Mystery of the Cube* 韓国 33

マッド探偵 (ディテクティブ) *Mad Detective* 香港 51

奪命金 *Life Without Principle* 香港 61

これを最後に *Once and for All* イラン 25

午後の遺言状 *A Last Note* 日本 25

三文役者 *Byplayer* 日本 35

北斎漫画 *Edo Porn* 日本 63

僕はジダン *Little Zizou* インド 57

君も出世ができる *You, Too, Can Make Good* 日本 61

ミージュー *Mheejou* タイ 49

カハーニー／物語 [女神は二度微笑む] *Kahaani* インド 59

スキヤキ *Sukiyaki* 日本 25

夢二 *Yumeji* 日本 17, 63

流れに逆らって *Against the Tide* スリランカ 45

インターナショナル *The International* トルコ 51

白い影 *White Shadows* スリランカ 39

長女 *The Eldest Daughter* スリランカ 23

マザー・アローン *Mother Alone* スリランカ 31

散歩の園 *The Garden* スリランカ 43

靑空がぼくの家 *My Sky, My Home* インドネシア 17

心の香り *The True Hearted* 中国 19, 35

愛は至高のもの *Love is God* インド 43

なりゆきな魂、 *Random Lives* 日本 67

天使の墜落 *Angel's Fall* トルコ 51

卵 *Egg* トルコ 51

アクスアット *Aksuat* カザフスタン 37

ひとり *Little Brother* カザフスタン 63

父への電話 *A Call to Father* カザフスタン 71

マジョリテイ *Majority* トルコ 57

お引越し *Moving* 日本 71

サロージャー *Saraja* スリランカ 35

太陽のジャングル *Fire Fighters* スリランカ 43

大芝居 *The Great Actor* 韓国 67

*Beyond the Bridge* (オムニバスタイトル:アジア三面鏡 2016:リフレクションズ) 日本 69

Som-ok Southiphone レッド・ロータス *The Red Lotus* ラオス 23

10月のソナタ *October Sonata* タイ 55

騎馬民族国家・第3編「高句麗」 *The Land of Equestrian People, vol.3: Koguryo* 北朝鮮 17

陽に灼けた道 *The Sun Beaten Path* 中国 57

私は彼ではない *I'm Not Him* トルコ 63

サンティとウィーナー（デジタル修復版） *Santi - Vina* タイ 69

タンロンンの歌姫 *The Fate of a Songstress in Thang Long* ベトナム 57

ある朝スープは *The Soup, One Morning* 日本 45

熱海殺人事件 *The Atami Murder Case* 日本 67

あじさいの歌 *Blossoms of Love* 日本 75

乳母車 *A Baby Carriage* 日本 75

デモンズ *Demons* シンガポール 73

ワンダーボーイ・ストーリー *Wonder Boy* シンガポール 69

サラ *Sara* イラン 25

ベマニ *Bemani* イラン 39

ママのお客 *Mama's Guest* イラン 43

サントウール奏者 *Santouri* イラン 51

少年と狼 *Wolf Cub among People* カザフスタン 19

十月になれば *How I Long for October* ベトナム 17, 35

河の女 *The Girl on the River* ベトナム 19

帰還 *The Return* ベトナム 23

ハノイ、1946年冬 *Hanoi, Winter 1946* ベトナム 31

グアバの季節 *Guava House* ベトナム 39

きのう、平和の夢を見た *Don't Burn* ベトナム 53, 55

レ・バ・ダン *Le Ba Dang - from Bich La to Paris* ベトナム 67

*Pineapple Town* (オムニバスタイトル:セブンレターズ) シンガポール 67

根のない樹 *A Tree Without Roots* バングラデシュ 39

ラロン *Lalon* バングラデシュ 43

ガス・ステーション *A Gas Station* タイ 69

太陽の少年 *In the Heat of the Sun* 中国 29

鬼子来了 [鬼が来た] *Devils on the Doorstep* 中国 37

**チアン・チアルイ**（章家瑞） Zhang Jiarui

**チー・ソウ・トン** Kyi Soe Tun

**チー・リー**（李志毅） Chee Lee

**チーク** Cheek

**チェ・ホ** (최호) Choi Ho

**チェン・イーウエン**（陳以文） Chen Yi Wen

**チェン・シンイー**（陳芯宜） Chen Singing

**チェン・ダラブット・コサル** Chheng Daravuth Kosal

**チェン・ユーシュン**（陳玉勳） Chen Yu Hsun

**チト・S・ローニヨ** (**チト・ローニヨ**) Chito S. Roño (Chito Roño)

**千葉茂樹** Chiba Shigeki

**チャード・ソンスイー** Cherd Songsri

**チャイタニヤ・タームハネー** Chaitanya Tamhane

**チャウ・フエ** Chau Hue

**チャン・イ**（張毅） Chang Yi

**チャン・イン・ユウ**（詹穎郁） Chan Ying Yu

**チャン・ゴンジェ**（장건재） Jang Kun Jae

**チャン・チイヨン**（張志勇） Chang Chi Yung

**チャン・ツォーチ** (**チャン・ツォーチー**)（張作驥） Chang Tso Chi

**チャン・ビュー・ロツク** Tran Buu Loc

**チャン・ピンジエン**（張秉堅） Zhang Bingjian

**チャン・ペイチェン**（張佩成） Chang Pei Cheng

**チャン・ホアクン**（張華坤） Chang Hwa Kun

**チャン・ミン**（章明） Zhang Ming

**チャン・メン**（張猛） Zhang Meng

**チャン・ヤン**（張揚） Zhang Yang

**チャン・ユンヒョン** (장윤현／張允炫） Chang Yoon Hyun

**チャン・リュル**（張律／장률） Zhang Lu

**チュ・チャンミン** (추창민) Choo Chang Min

**チュアン・ユイシン**（庄宇新） Zhuang Yuxin

**チューキアット・サックウィーラクン** Chookiat Sakveerakul

**チャード・ソンスイー** Cherd Songsri

**チューン・ミン・クイ** Truong Minh Quý

**チョ・ジンギュ** (조진규) Jo Jin Kyu

**チョン・ギュフアン** (전규환) Joen Kyu Hwan

**チョン・ジェウン** (정재은) Jeong Jae Eun

**チョン・モンホン**（鍾孟宏） Chung Mong Hong

**チラ・マリクン** Jira Malikul

**チン・シウトン**（程小東） Ching Siu Tung

**チン・スンヒョン** (진승현) Jin Seung Hyun

**ツァイ・ユイウエイ**（蔡於位） Chai Yee Wei

**ツイ・ハーク**（徐克） Tsui Hark

**ツェリン・リタール・シェルバ** (**ツェリン・リタール**) Tsering Rhitar Sherpa (Tsering Rhitar)

**ツェン・ウェンチェン**（曾文珍） Tseng Wen Chen

**ディーバ・メータ** Deepa Mehta

**ディーバク・クマーラン・メーナン** Deepak Kumaran Menon

**デイヴィ・シュー** Davy Chou

**ティエリ・グルナド** Thierry Grenade

**ティエン・チュアンチュアン**（田壮壮） Tian Zhuang Zhuang

**ディック・リー** Dick Lee

ルオマは17歳【雲南の少女 ルオマの初恋】 *When Ruoma was Seventeen* 中国 43

川の流れのように *Down Stream* ミャンマー 23

月夜の願い *He Ain't Heavy, He's My Father* 香港 25

チキンライス・ウォー *Chicken Rice War* シンガポール 39

GO GO 70s *Go Go 70s* 韓国 53

運転手の恋 *The Cabbie* 台湾 37

神も人も犬も *God Man Dog* 台湾 51

平和の行進 *An Army of Peace* カンボジア 31

熱帯魚 *Tropical Fish* 台湾 27

健忘村 *The Village of No Return* 台湾 69

バイオレンス *Rage* フィリピン 27

苦難の時代 *The Seventies* フィリピン 43

- 豪日に架ける - 愛の鉄道 *Spanning Australia and Japan - The Railroad of Love* 日本 33

アナザー・ワールド *The Two Worlds* タイ 19

絵の裏 *Behind the Painting* タイ 37,47

裁き *Court* インド 65

街角の歌 *The Strolling Singers* ベトナム 19

ある女の一生 *Kuei-Mei, A Woman* 台湾 29

猫チャン、犬チャン *A Dog from Hong Kong* (オムニバスタイトル: 悪女列傳) 台湾 33

EIGHTEEN～旋風～ *Eighteen* 韓国 55

沙河悲歌 (シャーはーえれじー) *Lament of the Sand River* 台湾 35

チュンと家族 *Ah Chung* 台湾 29

きらめきの季節／美麗時光 *The Best of Times* 台湾、日本 39

仕立て屋 サイゴンを生きる [サイゴン・クチュール] *The Tailor* ベトナム 71

窒息 *Suffocation* 中国 45

老年萬歳 *Warmth of the Old House* 台湾 29

運転手の恋 *The Cabbie* 台湾 37

冥王星の時 *The Pluto Moment* 中国 71

鋼のピアノ *The Piano in a Factory* 中国 57

スパイシー・ラブスープ *Spicy Love Soup* 中国 33

ザ・コンタクト *The Contact* 韓国 31

風と砂の女 *Desert Dream* モンゴル、韓国 49,73

イリ *Iri* 韓国 53

豆満江 (とまんこう) *Dooman River* 中国 55,73

慶州 *Gyeongju* 韓国 63

春の夢 *A Quiet Dream* 韓国 69

群山: 鷺鳥を詠う *Ode to the Goose* 韓国 73

福岡 *Fukuoka* 韓国 73,75

麻婆島 (마포도) *Mapado* 韓国 45

愛の歯 *Teeth of Love* 中国 51

サイアム・スクエア [ミュウの歌] *Love of Siam* タイ 51

ムアンとリット *Muen and Rid* タイ 23

樹上の家 *The Tree House* ベトナム 75

結界の男 *Man on the Edge* 韓国 61

バラナシへ *From Seoul to Varanasi* 韓国 59

その男、事情あり *The Man with an Affair* (オムニバスタイトル: もし、あなたなら) 韓国 41

ゴッドスピード *Godspeed* 台湾 69

メコン・フルムーン・パーティー *Mekhong Full Moon Party* タイ 41

剣士 [スウォーズマン剣士列伝] *Swordsman* 香港 19

7月32日 *July 32nd* 韓国 51

ねじきれ奇譚 *Twisted* シンガポール 59

シンガポール・クラフィティ *That Girl in Pinafore* シンガポール 61

剣士 [スウォーズマン剣士列伝] *Swordsman* 香港 19

祈禱師 *The Spirit Doesn't Come Anymore* ネパール 31

欲望の仮面 *Mask of Desire* ネパール 35

飛び魚を待ちながら *Fishing Luck* 台湾 47

とらわれの水 *Water* インド、カナダ 49

1947年・大地 *Earth* インド、カナダ 49

炎 *Fire* インド、カナダ 49

砂利の道 *The Gravel Road* マレーシア 45

ダンシング・ベル *Dancing Bells* マレーシア 49

ダイヤモンド・アイランド *Diamond Island* カンボジア 69

兄弟 *Brother* ジョージア 63

李蓮英～清朝最後の宦官 *Li Lianyng, The Imperial Eunuch* 中国 17

ワンダーボーイ・ストーリー *Wonder Boy* シンガポール 69

**ティッサ・アベーセーカラ** Tissa Abeysekera

**ディバーカル・バナルジー** Dibakar Banerjee

**ディルマワン・ハッタ** Dirmawan Hatta

**テオナ・ムグヴデラゼ** Téona Mghvdeladze

**デチェン・ロテル** Dechen Roder

**テディ・スリアアトマジャ** (**テディ・スルヤットマジャ**) Teddy Soeriaatmadja

**寺田靖範** Terada Yasunori

**トゥ・フイ** Tu Huy

**トゥデビン・チミッド** Tudevin Chimid (解説者)

**トゥラポップ・セーンジャルーン** Tulapop Saenjaroen

**ドー・ミン・トゥアン** Do Minh Tuan

**豊田四郎** Toyoda Shiro

**トン・ヨンシン**（鄧勇星） Teng Yung Shing

**中江裕司** Nakae Yuji

**中田新一** Nakada Shinichi

**中平康** Nakahira Ko

**中山節夫** Nakayama Setsuo

**ナジュワ・ナツジャール** Najwa Najjar

**ナタウト・プーンピリヤ** Nattawut Poonpiriya

**ナビン・スツバ** Nabin Subba

**ナム・ロン** Nam Ron

**ナワボン・タムロンラタナリット** Nawapol Thamrongrattanarit

**ナン T. アハナス** Nan T. Achnas

**ナンサリーーン・オランチメグ** N. Uranchimeg

**南部英夫** Nanbu Hideo

**ニアン・カヴィツチ** Neang Kavich

**西河克己** Nishikawa Katsumi

**ニティワット・タラートーン** Nithiwat Tharatorn

**ニン・イン**（寧瀛） Ning Ying

**ニン・ハオ**（寧浩） Ning Hao

**ヌリ・ビルゲ・ジェイラン** Nuri Bilge Ceylan

**根岸吉太郎** Negishi Kichitaro

**ノ・ヨンソク** (노영석) Noh Young Seok

**ノシール・サイードフ** Nosir Saidov

**野村恵一** Nomura Keiichi

**ノンスイー・ニミブット** Nonzee Nimibutr

**ハー・ピン**（何平） He Ping

**ハーイ・ニン** Hai Ninh

**ハーマン・ヤウ**（邱禮濤） Herman Yau

**ハエルル・ウマム** Chaerul Umam

**バク・キルス** (박길수／朴吉洙) Pak Kil Su

**バク・クワンズ** (박광수) Park Kwang Su

**バク・ジョンボム** (박정범) Park Jungbum

**バク・ジンピョ** (박진표) Park Jin Pyo

**バク・チャヌク** (박찬욱) Park Chan Wuk

**バク・チャンギョン** (박찬경) Park Chan Kyong

**バク・チョルス** (박철수／朴哲洙) Park Chul Soo

**バク・チョンウォン** (박종원) Park Chong Won

**バク・ホンズ** (박훈수) Park Hun Soo

**橋口亮輔** Hashiguchi Ryosuke

蓮の道 *The Way of the Lotus* スリランカ 23,39

シャンハイ *Shanghai* インド 61

誰かの妻 *Other Man's Wife* インドネシア 73

兄弟 *Brother* ジョージア 63

蜜を与える女 (ひと) *Honeygiver Among the Dogs* ブータン 69

タクシードライバー日誌 *Something in the Way* インドネシア 61

夜明けを待ちながら *Ten Seconds Before Sunrise* インドネシア 73

妻はフィリピーナ *My wife is Filipina* 日本 23

幸福になりたい *Luck Trier* ベトナム 19

ハルハ河の英雄的な真一ノモンハン事件ー *Heroic Pages from the History of the Haruha River Region, The* モンゴル 19

*Nightfall* タイ 75

夢の中のランプ *Light in Dream* ベトナム 19

ゴミの山の大将 *King of Rubbish-Dump* ベトナム 41

地獄変 *Portrait of Hell* 日本 63

遠い帰郷 *Return Ticket* 中国 57

ナビイの恋 *Nabbie's Love* 日本 55

チンバオ - 陳宝的故事ー *Chen Bao* 中国、日本 33

月曜日のユカ *Only On Mondays* 日本 61

あした晴れるか *Wait for Tomorrow* 日本 75

結婚相談 *Passionate Spinster, The* 日本 75

原野の子ら *Children of the Plains* 日本 31

あかね色の空を見たよ *Hope beyond the Crimson Skies* 日本 35

旅の途中で -FARDA- *Tomorrow-Farda-* イラン、日本 39

新・あつい壁 *New Thick Wall* 日本 49

ザクロとミルラ *Pomegranates and Myrrh* パレスチナ 53

頭脳ゲーム [バッド・ジーニアス 危険な天才たち] *Bad Genius* タイ 69

ビューティフル・フラワー *A Beautiful Flower* ネパール 39

十字路 *Crossroads* マレーシア 71

マリー・イズ・ハッピー *Mary is Happy, Mary is Happy* タイ 69

噂の男 *The Master* タイ 69

ダイ・トゥモロー *Die Tomorrow* タイ 71

クルドサック *Kuldesak* インドネシア 65

枷 (かせ) *Shackles* モンゴル 21

恋するトマト *Love Tomato* 日本 59

昨夜、あなたが微笑んでいた *Last Night I Saw You Smiling* カンボジア 75

ザ・スパイダースのバリ島珍道中 *The Spiders' The Road to Bali* 日本 65

早春譚 *Seasons Change* タイ 49

スケッチ・オブ・Peking *On the Beat* 中国 27

無窮動 *Perpetual Motion* 中国 47

爆走自転車 *Crazy Racer* 中国 53

五月の雲 *Clouds of May* トルコ 37

遺雷 *Enrai* 日本 59

酒を呑むなら *Daytime Drinking* 韓国 53

トゥルー・ヌーン *True Noon* タジキスタン 55

二人日和 (ふたりびより) *Turn Over* 日本 45

タイムライン *Timeline* タイ 63

哀戀花火 *Red Firecracker, Green Firecracker* 中国 23

ハノイの少女 *The Little Girl of Hanoi* ベトナム 19

崖つばちの女たち *True Women for Sale* 香港 53

セックスワーカー *Whispers and Moans* 香港 55

バシコムおじさん *Uncle Pasikom* インドネシア 19

騎馬民族国家・第3編「高句麗」 *The Land of Equestrian People, vol.3: Koguryo* 北朝鮮 17

顔の価値 *Face Value* (オムニバスタイトル: もし、あなたなら) 韓国 41

生きる *Alive* 韓国 65

神秘的な英語の国 *Tongue Tie* (オムニバスタイトル: もし、あなたなら) 韓国 41

平和と愛は終わらない *Never Ending Peace and Love* (オムニバスタイトル: もし、あなたなら) 韓国 41

浄土アニヤン *Anyang, Paradise City* 韓国 57

ステファルとグレチェン *Oseam* 韓国 17

301・302 *Three-oh-One, Three-oh-Two* 韓国 27

われらの歪んだ英雄 *Our Twisted Hero* 韓国 21

あぶない奴ら～TOW GUYS～ *Two Guys* 韓国 45

ハッシュ! *Hush!* 日本 37

ぐるりのこと *All Around Us* 日本 71

**ハスチョロー**（ハ斯朝魯） Hasi Chaolu

**ババック・ジャリリ** Babak Jalali

**バハラム・ベイザイ** Bahram Beizai

**バフマン・ゴバディ** Bahman Ghobadi

**ハム・ギョンノク**（함경북） Ham Kyoung Rock

**バヤンツァガーネ・バートル** Bayanzagane Baatar

**ハリハラ** Hariharan

**バルビズ・シャーバズイ** Parviz Shahbazi

**ハン・ジェ**（韩杰） Han Jie

**バンジョン・ピサンタナクーン** Banjong Pisanthanakun

**ハンダン・イベクチ** Handan Ipekçi

**バンディット・リッタコン** Bhandit Rittakol

**ハントーナ・ホルドロイ** Santwana Bardoloi

**ビー・ガン**（毕赣） Bi Gan

**ピーター・チャン**（陳可辛） Peter Chan

**東陽一** Higashi Yoichi

**ヒネル・サリーム** Hiner Saleem

**ピムバカー・トーウイラ** Pimpaka Towira

**ファラー・カーン** Farah Khan

**ファルハーン・アクタル** Farhan Akhtar

**ファン・ビョングク**（황병국） Hwang Byeng Gug

**ブイ・タク・チュエン** Bui Thac Chuyen

**ブイ・ティン・ハック** Bui Dinh Hac

**フィー・ティエン・ソン** Phi Tien Son

**フー・シュー**（胡庶） Hu Shu

**フー・ピンリウ**（胡炳榴） Hu Bing Liu

**ブー・ユンファン** Boo Jun Feng

**フオ・ジェンチイ**（霍建起） Huo Jianqi

**フオン・チーチアン**（冯志強） Fung Chih Chiang

**深作欣二** Fukasaku Kinji

**深田晃司** Fukada Koji

**藤田容介** Fujita Yousuke

**藤元明緒** Fujimoto Akio

**ブッダデーブ・ダスグプタ** Buddhadeb Dasgupta

**プットィポン・アルンペン** Phuttiphong Aroonpheng

**ブラサンナ・ヴィターナゲー** Prasanna Vithanage

**ブリランテ・メンドーサ**（**ブリヤンテ・メンドーサ、プリリヤンテ・メンドーサ**） Brillante Ma. Mendoza (Brillante Mendoza)

**フルーツ・チャン**（陳果） Fruit Chan

**ブンソン・ナークプー** Boonsong Nakphoo

**ベイ・オカン** Bay Okan

**ベテル・ロム** Petr Lom

**ベナット・ラトゥナーヤカ** Bennett Rathnayake

**ペマツェデン**（万玛才旦） Pema Tseden

**ヘラルド・デ・レオン** Gerardo de Leon

**ペリン・エスマル** Pelin Esmer

**ベン・リヴァース** Ben Rivers

**ベンエーク・ラタナルアン** Pen-Ek Ratanaruang

**秘境モオトウオヘ…** *Stirring Trip to Mutuo* 中国 43

**草原の女** *The Story of Zhula* 中国 45

**胡同（フートン）の理髪師** *The Old Barber* 中国 47

**ラジオ・ドリーム** *Radio Dreams* アメリカ、イラン 67

**また逢えるなら** *Maybe Some Other Time* イラン 29

**酔っばらった馬の時間** *A Time for Drunken Horses* イラン 37

**サイの季節** *Rhino Season* イラク 61

**国のない国旗** *A Flag Without a Country* イラク 67

**手のとどく限り** *Elbowroom* 韓国 55

**牙** *The Fang* モンゴル 21

**神の与えしもの** *Creation* インド 21

**ケーララの獅子** *Kerala Varma Pazhassi Raja* インド 55

**ささやき** *Whispers* イラン 35

**ミスター・ツリー** *Mr. Tree* 中国 59

**Pee Mak**（原題）[愛しのゴースト] *Pee Mak* タイ 61

**少女ヘジヤル** *Hejar* トルコ 41

**ある時一度** *Once upon a Time* タイ 25

**ムーンハンター** *The Moonhunter* タイ 39

**飛びたち** *The Flight* インド 29

**凱里ブルース** *Kaili Blues* 中国 67

**月夜の願い** *He Ain't Heavy, He's My Father* 香港 25

**絵の中のほくの村** *Village of Dreams* 日本 27

**風音**（ふうおん） *The Crying Wind* 日本 43

**キロメートル・ゼロ** *Kilometre Zero* イラク 47

**ワン・ナイト・ハズバンド** *One Night Husband* タイ 41

**オーム・シャンティ・オーム** *Om Shanti Om* インド 51

**ドン** *Don* インド 49

**ウエディング・キャンペーン** *My Wedding Campaign* 韓国 47

**はい毎度！** *A Korean I met in Japan* 日本 47

**癒やされた地** *Living in Fear* ベトナム 47

**漂うがごとく** *Adrift* ベトナム 67

**ハノイの12日間** *Hanoi 12 Days and Nights* ベトナム 41

**天の網** *Heaven's Net* ベトナム 41

**あたしが踊る！** *I Want to Dance* 中国 49

**安居** [榕樹の丘へ] *Live at Peace* 中国 31

**Parting**（オムニバスタイトル:セブンレターズ） シンガポール 67

**シヨンヤンの酒家（みせ）** *Life Show* 中国 41

**大楽師** *Concerto of the Bully* 香港 71

**犯罪現場** *A Witness Out of the Blue* 香港 75

**蒲田行進曲** *Fall Guy* 日本 67

**歓待** *Hospitalité* 日本 57

**淵に立つ** *Harmonium* 日本 67

**福福荘の福ちゃん** *Fuku-chan of FukuFuku Flats* 日本 63

**僕の帰る場所** *Passage of Life* 日本 71

**霧の中の記憶** *Memories in the Mist* インド 47

**マンタレイ** *Manta Ray* タイ 73

**心の闇** *Dark Night of the Soul* スリランカ 27

**城壁** *Walls Within* スリランカ 29

**灼熱の日々** *August Sun* スリランカ 41

**夢の花びら** *Flowers of the Sky* スリランカ 53

**やさしい女** *With You, Without You* スリランカ 59

**どん底** *Slingshot* フィリピン 51

**はあさん** *Lola* フィリピン 55

**サビ** *Possession* フィリピン 63

**SHINJUMA Dead Horse**（オムニバスタイトル:アジア三面鏡 2016:リフレクションズ） 日本 69

**アルファ 殺しの権利** *Alpha, The Right To Kill* フィリピン 73

**Desfocado (Defocused)**（オムニバスタイトル:それぞれの道のり） フィリピン 73

**リトル・チュン** *Little Cheung* 香港 35

**カンペーン** *The Wall* タイ 73

**メルセデス、わが愛** *Mercedes, Mon Amour* トルコ 23

**ビルマ・ストーリーブック** *Burma Storybook* オランダ、ミャンマー、ノルウェー 69

**告白** *The Compensation* スリランカ 39

**轢き殺された羊** *Jinpa* 中国 73

**ノリメ・タンヘレ** *Touch Me Not* フィリピン 27

**11時10分前** *10 to 11* トルコ 55

**クラビ、2562** *Krabi, 2562* イギリス、タイ 75

**The Ambassadors** *The Ambassadors* タイ 75

**ファン・バー・カラオケ** *Fun, Bar, Karaoke* タイ 29

**ホ・ジン**（허진호／許秦豪） Hur Jin Ho

**ホアン・ジー**（黃驥） Huang Ji

**ホアン・シンヤオ**（黃信堯） Huang Hsin Yao

**ホアン・ロンシェン**（黃榮昇） Maren Hwang

**ホー・ウィー・ディン**（何蔚庭） Ho Wi Ding

**ホー・クワン・ミン** Ho Quang Minh

**ホー・ピン**（何平） Ho Ping

**ホセ・ハヴィール・レイエス** Jose Javier Reyes

**堀江貴大** Horie Takahiro

**ボン・ジュノ**（봉준호） Bong Joon Ho

**本多猪四郎** Honda Ishiro

**ホンホン**（鴻鴻） Hung Hung

**マーク・メイリー** Mark Meily

**マリーヨ・J・デ・ロス・レイエス** Maryo J. de los Reyes

**マジド・バルゼガル** Majid Barzegar

**マジド・マジディ** Majid Majidi

**マゾレザ・モスタファウイ** Majid-Reza Mostafavi

**マズィヤール・ミーリー** Maziar Miri

**マニー・ラトナム** Mani Ratnam

**マニーシュ・シャルマー** Maneesh Sharma

**マニジェ・ヘクマツ** Manijeh Hekmat

**マニラトナム** Maniratnam

**マリナ・ゴルバチ** Maryna Gorbach

**マリルー・ティアス=アバヤ** Marilou Diaz-Abaya

**ミー・ハー** My Ha

**ミシェル・チョン**（庄米雪） Michelle Chong

**溝口健二** Mizoguchi Kenji

**ミラ・レスmana** Mira Lesmana

**ミン・ギュドン**（민규동） Min Kyu Dong

**ミン・ビョンフン**（민병훈） Min Byung Hoon

**ムーサー・サイド** Musa Syyed

**ムハッレム・ギュルメズ** Muharrem Gülmez

**メイベル・チャン**（張婉婷） Cheung Yuen Ting

**メート・タラトーン** Mez Tharatorn

**メフメット・ババドウル・エル** Mehmet Bahadır Er

**モジュタバ・ライー** Mojtaba Raie

**モストファ・サルワル・ファルキ** Mostofa Sarwar Farooki

**本橋圭太** Motohashi Keita

**モハマッド=アリ・タレビ** Mohammad Ali Talebi

**ミン・ビョンフン**（민병훈） Min Byung Hoon

**ムーサー・サイド** Musa Syyed

**ムハッレム・ギュルメズ** Muharrem Gülmez

**メイベル・チャン**（張婉婷） Cheung Yuen Ting

**メート・タラトーン** Mez Tharatorn

**メフメット・ババドウル・エル** Mehmet Bahadır Er

**モジュタバ・ライー** Mojtaba Raie

**モストファ・サルワル・ファルキ** Mostofa Sarwar Farooki

**本橋圭太** Motohashi Keita

**モハマッド=アリ・タレビ** Mohammad Ali Talebi

**モハマド・ホセイ**ン・ラティフィ Mohammad Hossein Latifi

**モハマド・ラスロフ** Mohammad Rasoulof

8月のクリスマス *Christmas in August* 韓国 31

**フーリッシュ・バード** *The Foolish Bird* 中国 69

**大仏+** *The Great Buddha+* 台湾 71

**小美**（シャオメイ） *Xiao Mei* 台湾 71

**ピノイ・サンデー** *Pinoy Sunday* 台湾、フィリピン 57

**空白のページ** *White Page* カンボジア 19

**祈り** *Gone, Gone, Forever Gone* スイス、ベトナム 27

**はるか遠い日** *A Time Far Past* ベトナム、フランス 45

**國道封閉** *Wolves Cry Under the Moon* 台湾 31

**あなたに夢中で** *Loving Someone* フィリピン 27

**ナギョンとキヌカワ** *Nakying and Kinukawa* 日本 69

**吠える犬は噛まない** *Barking Dogs Never Bite* 韓国 37

**モスラ** *Mothra* 日本 65

**マタンゴ** *Matango* 日本 65

**人間喜劇** *The Human Comedy* 台湾 41

**ピザさえあれば** *La Visa Loca* フィリピン 47

**マグニフィコ** *Magnifico* フィリピン 41

**バルウイズ** Parviz イラン 61

**父** *The Father* イラン 27, 55

**天使のような子どもたち** [運動靴と赤い金魚] *Children of the Heaven* イラン 29, 55

**カラー・オブ・パラダイス** [太陽は、ほくの瞳] *The Color of Paradise* イラン 33, 55

**バラ** [少女の髪どめ] *Baran* イラン 37, 55

**裸足でヘラートまで** *Barefoot to Heart* イラン 41, 55

**僕らのオリンピック** *Olympic in Camp* イラン 41, 55

**柳の木のように** *The Willow Tree* イラン 45, 55

**すずめの唄** *The Song of Sparrows* イラン 51, 55

**バダック** *Baduk* イラン 55

**預言者ムハンマド** *Muhammad, the Messenger of God* イラン 67

**未熟なざくろ** *Unripe Pomegranates* イラン 65

**絵の中の池** *The Painting Pool* イラン 63

**ボンベイ** *Bombay* インド 27

**FAN** *Fan* インド 69

**刑務所の女たち** *Women's Prison* イラン 41

**ザ・デュオ** *The Duo* インド 31

**頬にキス** *A Peck on the Cheek* インド 43

**黒犬、吠える** *Black Dogs Barking* トルコ 53

**貴女のためにたたかう** *Redeem Her Honor* フィリピン 25, 37

**マドンナ・アンド・チャイルド** *Madonna and Child* フィリピン 27, 35, 37

**ミラグロス** *Milagros* フィリピン 29, 37

**海に抱かれて** *In the Navel of the Sea* フィリピン 31, 37

**ホセ・リサール** *Jose Rizal* フィリピン 33, 37

**ムロアミ** *Reef Hunters* フィリピン 35, 37

**カルナル〜愛の不条理** *Of the Flesh* フィリピン 37

**光、新たに** *New Moon* フィリピン 39

**昔と今** *Then and Now* フィリピン 43

**歲月** *Hai Nguyet* ベトナム 33

**スター誕生** *Already Famous* シンガポール 61

**歌鷹をめぐる五人の女** *Utamaro and His Five Women* 日本 63

**クルドサック** *Kuldesak* インドネシア 65

**私の生涯で最も美しい一週間**

*All for Love-The Most Beautiful Week of My Life* 韓国 47

**泣かないで** *Let's not Cry!* 韓国 41

**聖者の谷** *Valley of Saints* インド、アメリカ 61

**インターナショナル** *International, The* トルコ 51

**玻璃の城** *City of Glass* 香港 33

**恋するリトル・コメディアン** *The Little Comedian* タイ 57

**黒犬、吠える** *Black Dogs Barking* トルコ 53

**新生** *Birth of a Butterfly* イラン 31

**土曜の午後に** *Saturday Afternoon* バングラデシュ 75

**逃亡くそたわけ〜21才の夏** *Fuckin' Runaway* 日本 49

**ザ・ブーツ** *The Boots* イラン 23

**チック・タック** *Tick Tack* イラン 25

**神さまへの贈り物** *Bag of Rice* イラン 27

**バイオリン弾き** *Violinist* イラン 69

**ふたりのミナ** *Through Sunglasses* イラン 39

**ぶれない男** *A Man of Integrity* イラン 71





表紙デザイン

西原 幹雄 Nishihara Mikio

編集

梁木 靖弘 Hariki Yasuhiro  
楠本 賢司 Kusumoto Kenji  
榊田 大成 Sakakida Taisei  
高見澤 朋子 Takamizawa Tomoko  
井上 由紀 Inoue Yuki  
田島 安江 Tajima Yasue  
藤田 瞳 Fujita Hitomi

DTP

西原 幹雄 Nishihara Mikio

翻訳

デビット・キャリシャー David Kalischer

インタビュアー

高橋 哲也 Takahashi Tetsuya

執筆

梁木 靖弘 Hariki Yasuhiro  
森泉 敦子 Morizumi Atsuko

協力

福岡市総合図書館 Fukuoka City Public Library

編集協力

書肆侃侃房 Shoshikankanbou

アジアフォーカス・  
福岡国際映画祭全作品集  
1991-2020

発行日

2021年1月29日

発行人

アジアフォーカス・福岡国際映画祭実行委員会

発行所

アジアフォーカス・福岡国際映画祭実行委員会  
〒810-8620 福岡市中央区天神1丁目8-1

FOCUS ON ASIA



**FUKUOKA** INTERNATIONAL  
**FILM** FESTIVAL

アジアフォーカス・福岡国際映画祭